宮野真守 初の表紙巻頭30ページ大特集!

音楽、人間マガジン バックステージ・パス

2017 9

バックステージ・パス9月号 2017年7月27日発行 発売(毎月27日発行・発売)
第33巻第9号通巻472号 昭和61年8月2日第3種郵便物認可

BACKSTAGE B-PASS

付録
ピンナップ
宮野真守

表紙巻頭特集30P
Mamoru Miyano

宮野真守

"I, LOVE"

1万字超インタビューとたっぷりのグラビアで紐解く
約2年ぶりとなるニュー・アルバム『THE LOVE』のすべて

バックカバー&巻末特集
BOYS AND MEN

今夏、巻き起こせボイメン旋風!
集合インタビュー+アンケート+ミニコラムで
新曲と上半期を総まとめ

GRANRODEO／FLOWER FLOWER／高橋 優
家入レオ／大原櫻子／超特急／B.A.P／SF9
祭nine.／LiSA／Kalafina／天月-あまつき-／フレデリック／THE BEAT GARDEN
Anly／lol／BugLug／スダンナユズユリー／Fo'xTails and more

BACKSTAGE B-PASS
CONTENTS
9
SEPTEMBER
2017
NO.379

表紙巻頭特集
008
宮野真守
祝! 初表紙♪ 6枚目のアルバム『THE LOVE』にあふれる"愛"について。たっぷりインタビュー!

付録
両面ピンナップ
宮野真守

042
GRANRODEO
チャイナなフレーズがクセになる新曲「move on! イバラミチ」に迫る!

050
FLOWER FLOWER
インタビューでお会いできる時を待ってました! 新作を携えて4人揃って登場です

056
高橋 優
この夏にぴったりのニュー・シングル「虹／シンプル」を徹底解剖!!

064
家入レオ
歌との向き合い方の変化を楽しみながら、届けられたニュー・シングルとは?

072
大原櫻子
秦 基博さん作・プロデュースの新曲「マイフェイバリット ジュエル」の制作秘話を

080
超特急
爽やかな夏の1曲「My Buddy」のキラキラ感を写真とトークで

Book Share ZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

BACKSTAGE B-PASS
CONTENTS
9
SEPTEMBER
2017
NO.379

バックカバー&巻末特集
216
新曲「帆を上げろ!」を、より楽しめる集合インタビューのほか、上半期の活動を振り返るコラム&アンケートも! 上半期MVPは?

BOYS AND MEN

199 祭nine.

088 LiSA
094 Kalafina
100 天月-あまつき-
106 THE BEAT GARDEN
116 Anly
136 フレデリック
166 B.A.P
038 うたの☆プリンスさまっ♪ マジLOVELIVE 6th STAGE
120 lol
124 スダンナユズユリー
128 BugLug
132 Fo'xTails
142 CIVILIAN
172 SF9

088

094

100

106

116

136

166

■好評連載
146 高橋 優「その校訓を蹴っ飛ばせ」第百九回
147 MAGIC OF LiFE「三色丼と紅しょうが」第九十八回
148 DREAM-PASS vol.51「声優／船戸ゆり絵さん」
180 千葉雄大「ドレミファソラシどろん♪」第79回
180 阪本奨悟「SHOGO'S FILTER 2」No.3

■REGULAR CORNER
112 New Era® meets 牧 達弥(go!go!vanillas)
144 Hit The Street w/New Era® / 田口良一
150 Disc Rush!! 新譜CD紹介
155 News Rush!! 濃縮最新ニュース
156 Live Rush!! 行きたいライヴ発見
158 THE取材 編集者は見た!
160 潜入! B-PASS24時／EDITOR'S COLUMN+次号予告
162 New Era® Bags & Packs 今季デビューの新モデルを一挙大公開
178 Pick Up! Culture
183 B+file アーティスト企画ページ
186 B-PRESS 読者のページ
190 PRESENT FOR YOU
192 info jam オススメ情報を紹介

Cover Artist
宮野真守
Art Director
鶴羽高章
Back Cover Artist
BOYS AND MEN
Cover & Back Cover Photo
大川晋児
Back Cover Designer
桑名見智路
Graphic Designers
桑名見智路、金子歩未(hive)
Editor in Chief
吉崎美也子
Deputy Editor
高橋波奈子
Editors
鈴木明日香、佐藤 恵

Book Share 分享
http://bszh.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

この夏、ROCK+BANDな
B-PASS 9.5月号、堂々登場!!!

8月5日発売決定!!

BACKSTAGE B-PASS 2017 9.5

バックカバー&巻末特集21P

UNISON SQUARE GARDEN

10% roll, 10% romance

パーソナル&バンド・インタビューで、USGの“根っこ”と“今”をもっと深く知る!

04 Limited Sazabys

ニュー・シングル「Squall」についてを聞く。“YON FES”振り返りも

Awesome City Club

Tracksシリーズの集大成と新たな始まりを告げるベスト盤。オーサム入門編にもどうぞ!なお話を

雨のパレード

ドラマ『下北沢ダイハード』のエンディングにも出演? ニュー・シングル「Shoes」と青春と下北沢と

LACCO TOWER

結成15周年、ターニングポイントとなろう3rdアルバム『遥』を語る

大森靖子

凛として時雨のTK氏が手掛ける「draw(A)drow」を表題曲としたニュー・シングルについて

植田真梨恵

ポップでロックでシュールでDIY。ニュー・シングル「REVOLVER」の世界をたっぷりと

BSZIP Share ZIP
http://bszip.com

DISH//

ドラマ『僕たちがやりました』主題歌、5人のロックな心意気を撮り下ろし&インタビューで!

表紙巻頭総力特集60P

UVERworld TYCOON

パーソナル6本+集合インタビューで、約3年ぶりのニュー・アルバム『TYCOON』を語り倒す!
ライヴレポート@福岡ドラムBe-1も。B-PASS表紙恒例の応募者全員サービス企画もあります!!

Book Share ZIP
http://bszip.com

全国の書店、楽譜・書籍お取扱の楽器店・CDショップなどでお買い求めいただけます。店頭に無い場合は小売店にお取寄せをお申し出ください。
株式会社シンコーミュージック・エンタテイメント 営業部 TEL:03-3295-4191(電話でのご注文はできません) http://www.shinko-music.co.jp

Book Share ZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

Mamoru Miyano

宮野真守

THE LOVE

前作『FRONTIER』のリード曲「FRONTIER」で、
最前線を切り拓き、
前進し続けるという決意を歌った宮野真守。
そうやってひとりで歩き進んだ先に待っていたのは、
かけがえのない仲間や
いつも応援してくれるファンの
大きな愛と絆でした。
その想いへの感謝と愛情から生まれた
6枚目のアルバム『THE LOVE』。
さまざまな愛のかたちを
バラエティ豊かな楽曲で表現した
全12曲について、
アルバム・インタビューと
キーワード・トークの2本立てで大特集!
声優、役者、そしてアーティスト。
ハイブリッドに進化し続ける"表現者"宮野真守、
ついに表紙巻頭に登場です!

Book Share ZIP
http://bszip.com

Text ⇒ 飯島健一
Photo ⇒ 大川晋児
Hair & Make-Up ⇒ IKUYO(C+)
Styling ⇒ 横田勝広(YKP)

Book Share ZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

New Album "THE LOVE" Long Interview

"LOVE"という大きなテーマに挑戦した理由、
そしてその制作過程で感じた様々な巡り合わせ──。
さまざまな"愛"で構成された『THE LOVE』を
紐解いていきましょう。

■まずはアルバムのタイトル『THE LOVE』が生まれた経緯からお聞かせください！

「今日に至るまでに、ライヴのように自身の活動を通して、愛の溢れる場所をたくさん経験させていただく中で、周りのスタッフの支えやファンの皆さんの応援、その大きな愛に守られて活動できている、と常に感じていて。そういう皆からもらった愛、僕が伝えたい愛をテーマに、今回はアルバムを作りたいと思ったんです。僕の中で〝愛〟というのは大事な想いであり、ずっとやりたいことでもありました」

■〝やりたい〟とずっと思っていたことを、今このタイミングでやろうと思ったのは理由があったのでしょうか？

「来年、アーティスト・デビュー10周年を迎える、というのが非常に大きくて。ちょうどアルバムを制作させてもらえるタイミングだったので、皆で温かいものを共有する時間があるといいんじゃないかなって思ったんです。僕がアルバムを作るということはイコール、その先にライヴがあるということでもあるので」

■それに昨年は役者として舞台をこなし、声優としてもアニメ以外の分野に積極的に挑んだりと、新たな環境での活動も多かった。未知の経験が多ければ、なおさら仲間の存在が大きなエネルギーになったでしょうしね。

「本当にその通りですね。そういうまだ見ぬ環境に飛び込む時、自分の不安を救ってくれるいつもの仲間のありがたさを、いろんな形で感じる機会が多かったので。なので、まずはその想いを込めたかった。さらに、単に〝愛〟といっても、非常に難しいと思うんですよ。いろんな描き方があると思うし、でも形のないものだから、じゃあ宮野はどう表現するんだと……」

■そう、アルバム・タイトルが発表された時から気になってました。

「自分としてはさっき言った仲間やファンとの絆から感じられる〝愛〟をしっかり込めつつも、今までのアルバムのようにバラエティに富んだものにはしたかったので、そういった意味では、たくさんのクリエイターの力をと活動させていただいている僕だからこそできる愛の表現が絶対にあると思ったんですよね。だからそれぞれの方の表現する愛の形で、全然違う表情が今回も作れるんじゃないかと思ったんです」

■男性と女性で視点も異なるでしょうし、世代でも捉え方が異なるでしょうからね。

「そうなんです。僕の想いをきっかけに、そこから素敵な色をしたアルバムができるんじゃないかと思ったんです。それに自分は演じる身として、やっぱり世界観というのは非常に大事なので、今回は面白い世界観がたくさん作れるんじゃないかなって、そういう想いもありましたね」

■あぁ！　今の回答は『THE LOVE』というタイトルではあるけど、恋愛に限定したラブソング集ではないことを証明してますね。

「そう、決してそういうものではないんです。もし甘い恋愛のラブソングだけだったら、アルバム・ジャケットもポップなものになったかもしれないと思うんですが、今回はそれだけではないいろいろな愛を自分は表現したかったし、それを可視化するにはどうしたらいいのか……実は一番悩んだのがジャケットなんです」

■深い森の中に佇む宮野さん、この画だけで

BookShareZIP
http://bszip.com

も大きなテーマ性を感じます。

「そう、まさに大自然の力を借りて、大きな見せ方をする事で愛を表現する。自分が思い描いていたものプラス、スタッフ皆で意見を出しあって、実際にいろんなチャレンジをした結果、ものすごい深いものが生まれました。大きな〝愛〟を表現することができたなと思います」

■各クリエイターの方々へのオファーは、どのようにされたのですか?

「先ほどお話しした、今回のアルバムが生まれた想いを詰め込んだ〝EVER LOVE〟はJin Nakamuraさんに、アルバムのリード曲となった〝POWER OF LOVE〟はSTYさんに、今自分が伝えたいことをしっかり伝え、僕の想いを一緒に形にしてもらいました。そういう楽曲もあれば、元々いただいていたデモ曲の中から、メロディや曲調、ジャンルなどが自分の琴線に触れた楽曲を選出して、そこに〝こういう内容にしたいんです〟とお願いして歌詞を書いてもらった曲もあります。あるいは、せっかく夏に出すアルバムなので、夏らしい曲を入れたいということで、男女の恋愛プラス仲間との楽しい時間をテーマにした歌詞をSHOWさんにお願いして〝Uhh〟というサマードライブソングが完成したり」

■作品を発表する時期、届ける相手を想定するのは大事なことですよね。

「そうですね。そんな中で、さっき言った〝このタイミングじゃなかったら作れなかったな〟という言葉そのものなんですけれど、とても嬉しい出来事がありまして。〝愛溢れる〟という曲があるんですが、この曲は家族愛をテーマにしたいと考えていて、それを由潮さんにお願いしたのが、ちょうど彼女がお母さんになった時期だったんです」

■それはスゴイ、奇跡的なタイミングですね!

「今だからこそ感じられる想い、母が子供に注ぐ無償の愛を素直に書いていただきました。本当にいろんな出会いやタイミングが重なって、今回『THE LOVE』が制作できたんですよね」

■では、ここからアルバム楽曲を中心にお伺いしていきます。まず1曲目「EVER LOVE」は、キラキラした曲調でありながら力強さもあり、オープニングを飾るのに相応しい仕上がりですね。

「まさにそういうお願いをJinさんにしました。今回は自分の想いを込めるのはもちろん、始まりとなる1曲目に相応しい、ハッピーで温かいサウンドで歌いたいんですとお伝えして」

■確か、前アルバム『FRONTIER』では「Evolve」というドラマチックなロックチューンを書いていただきましたよね。

「はい。今回はまたひとつ新たな方向性というか、キラキラしたハッピーな曲を作ることができて。すごく楽しかったです」

■エネルギッシュなシングル曲「SHOUT!」に続く3曲目「恋されガール」は、宮野さんのハネるヴォーカリゼーションと、キャッチーなメロディが印象的。歌詞もときめき系に仕上げられてますね。

「そうなんです。とってもキュートなんです! 少女漫画の世界のような、あまり目立たない女の子が恋の相手で。みんなからは〝どうしてあの子が好きなの?〟って言われるけど、で

Book Share ZIP
http://bszip.com

も自分だけがその子の良いところを知っていて、彼女のピュアなハートを知っている……その愛の芽生え、恋の始まりみたいな、甘酸っぱいところも表現できればいいなって。誰しもが経験してきたような青春時代というか。それをキャッチーなサウンドワークで綴ったことにより、とても心がハズむ曲になったと思います」

■そんなときめきナンバーのあとに、ダークな「Now and Forever」が。

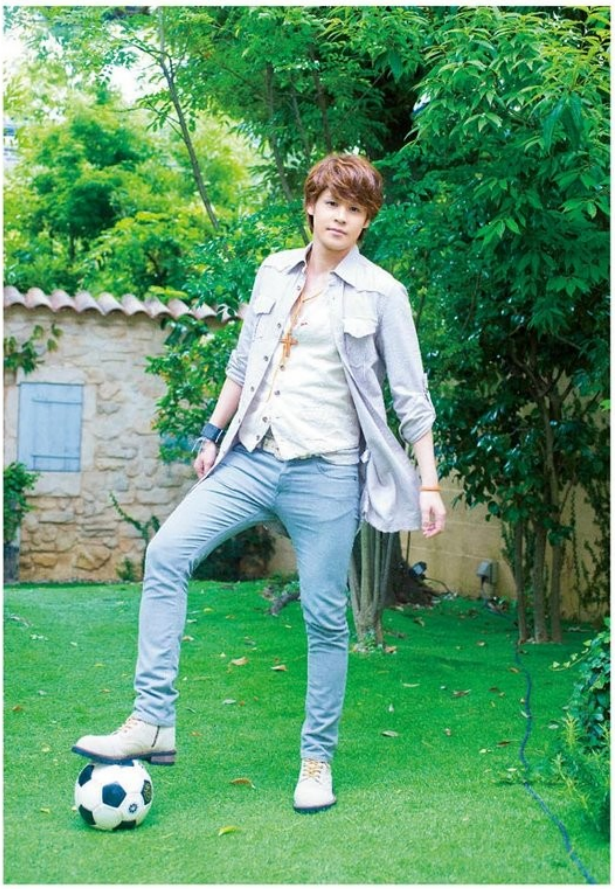
「この曲も世界観を大事にしました。声優という仕事をしている中で受けるインスピレーションを元に、ちょっとダーク寄りのアニメーションの世界観を想定して。闇からの脱却というか……」

■一見、愛というテーマからはかけ離れてるようにも思えますが……。

「大事な人がいるから、信じられる人がいるからこそ、闇の世界から抜け出す強い意志が持てるという、そういう愛の形を描いてみても面白いなと思ったんですよね」

■ハードボイルドな世界観だけど、信じてくれる人がいるから一歩を踏み出せる、その展開がロマンチックですよね。

「そうなんです。marhyさんが書いてくださった言葉が美しいんですよ。そんなダークな世界観に一筋の光のような希望のある歌詞が乗っているのも素敵ですし、TSUGEさんが手掛けた三連リズムのダンスサウンドがすごく小気味よく響くんですよね。この曲はTSUGEさんが宮野くんにこういう歌を歌って欲しいと持ってきてくれたんです！ ライヴが想像できる楽曲なので、ダンスでカッコよく表現したいなと思っています」



今だからこそ感じられる想い、母が子供に注ぐ無償の愛を素直に書いていただきました。本当にいろんな出会いやタイミングが重なって、今回『THE LOVE』が制作できたんですよね

■続く「Uhh」は、爽やかな青春ドライブソングですね。みんなと一緒の車の空間に、ちょっと想いを寄せる子がいるという設定がまた……！

「助手席にいるっていうこのドキドキ感がもうたまらないですよね（笑）。とにかく歌詞が、キラキラしていて若々しいんですよね。この歌詞は、今の自分には書けないなと思いました。〝行けるところまで行こうぜイエ～イ！〟みたいな。そのノリが眩しくていいんですよ！」

■そういう後先考えずに行動できる時期を、我々も経験してますしね。

「誰しも学生の時に〝何が面白いんだ？〟ってことで笑っていた記憶があるんじゃないかと思うんですよ（笑）。その懐かしい感じにグッと来るんですよね。まさに青春群像劇になっていて。今こういう時間を過ごしている人もいるだろうし、懐かしむ人もいたり。そして、この曲でチームマモと一緒にワイワイとドライブしているような世界観をみんなに感じてもらうのも面白いかなと思ったんですよね。あと、せっかく昨年免許も取ったので、ドライブソングもいいなって。そういうところから、この楽しい曲が生まれました」

■続く「HOW CLOSE YOU ARE」はシングル発表時にインタビューさせていただきましたが、アルバムの中では一番昔の発表なので、あえて今この曲に感じる想いを聞かせていただけますか？

「そうですね……大事な人のおかげでとか、大事な人に届けたくてとか、大事な人と繋がりたくて……、遠くに離れた大事な人を想うとても素敵な歌ですよね。制作時はTVアニメ『亜人』のエンディング曲ということで、ア

BookShareZIP
http://bszip.com

ニメの世界観を大切にしながら作っていったのですが、その時に最後まで歌詞に〝愛〟という言葉を入れるかどうかで悩んだこともあったんですよ」

■それはどうしてですか？

「アニメの世界観的に、愛という言葉を使っても大丈夫かな？と考えた時期もあったんですが、〝でも愛という言葉でしか表現できないものがある〟という思いに至って。〝愛〟にしてもらった思い出がありますね」

■『亜人』という作品が、絶望に染まっていた作品だっただけに、愛がないと苦しすぎましたからね。

「そういう想いもあって〝愛〟という言葉を入れてもらったんですけど、それが今回の『THE LOVE』に入ることによって、より浮き彫りになったというか。あの時、〝愛〟という言葉を怖がらずに表現して良かったなって、すごく思いました」

■そんな「HOW CLOSE YOU ARE」でしっとりとした雰囲気に染まったところから、SFチックな「Space Travellers」で一気に新たな世界へ突入しますね。

「そうなんですよ、アルバムの曲順って大事で！　ここから第2部始まります！みたいな、それくらいの勢いで世界観をガラッと変えてくれていますよね」

■しかも舞台が宇宙ですからね！

「ね、未来の恋人達になっちゃった（笑）。まさにSFチックな世界観で」

■宇宙デートに連れて行ってあげるなんて、ロマンチックだし、逞しさも感じますよね。

「Amon Hayashiさんが書いてくださったのですが、男らしいんですけどロマンチックでもあるんです。そこが可愛いくもあり、カッコ良くもある、恋人達のひとときを描いた世界観になってるんですよね。楽曲がまたカッコ良くて。デモで一聴き惚れして、これを歌いたいって思ったんですが、ドラムンベースで歌う本編とは全然違うオーバーチュア（＝序章）が付いていて」

■ものすごいクラシカルなテイストの。

「壮大なゲーム音楽的な、〝今からラスボス来るんじゃないか!?〟というくらいのオーバーチュアを聴いた時に、なんてすごい曲なんだ！と思ってたんです。レコーディング当日、作曲者の一人のDJ firstさんが来てくださって、そんな感想を話をしたら、やっぱりちょっとそういう世界を意識したとおっしゃっていて。この世界観は僕も大好きだし、ファンのみんなもきっと好きな世界観じゃないかと思ったんです。そこからドラムンベースに入っていくドラマチックな展開もスゴイなって思いましたね」

■続く「テンペスト」でも壮大な世界観を見せてくれて、その後に登場する「僕のマニュアル」、これは本アルバムの中でも、かなりの異色作ですよね!?

「そうですね（笑）。市川淳さんにはいつもジャズ的な楽曲を担当してもらうことが多くて、その方向性はライヴにおいてもとても楽しいものなので、今回も今まで歌ってきていないジャズの方向性プラス、昭和歌謡チックなゴージャス感、ドゥーワップで煌びやかな感じを出してもらって。そこにさらに主人公がペットになっちゃう面白い世界観の歌詞を、綾菓さんにお願いしたんですが」

■僕のマニュアル、つまり探線方法ですからね（笑）。

「そういう面白いテーマに挑戦できるのも、役者である自分ならではだと思っています。いろんな世界観を表現できるのは本当に楽しいですし、役者の仕事をしているので、作品の中からヒントをもらったりできるんですよ。だから面白いですよね、こういう曲を作れるんですから……ちなみにこれは自分の経験ではないですよ（笑）」

一人歩いてきた先には、仲間やファンのみなさんがいてくれて、そこにはこんなに素敵な愛と確かな絆があったんだ、こんなに見守られていたんだという歌にしたかったんです

BookShare ZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

■あくまでフィクションだよ、という（笑）。〝僕のことを愛させてあげる〟的な、それってもうネコですよね、ネコ男子（笑）。

「そうなんですよ。ちょっと気まぐれなネコ系男子（笑）。だって、自分の事を〝I'm akitty〟って自ら言っちゃってますからね（笑）」

■そんなユーモラスな曲のあとには、心温まる「愛溢れる」が来る。この構成がニクイですね。

「ありがとうございます。本当に大きな愛、注ぐ愛、無償な愛になっています」

■アコースティック・ギターの響きが本当に優しくて、それに寄り添う宮野さんの歌声が、子守唄を歌ってるように聴こえました。

「まさに。歌の表現にもおいても、子守唄のように、語るように歌うっていうのがやりたかったんです。なので、ヴォーカル・レコーディングもすごく細やかに取り組みました。これもタイミングの良さが影響していて。その〝語るように歌う、演じるように歌う〟っていうことを、ちょうど演っていた時期にレコーディングしたんです」

■あ！　帝劇ミュージカル『王家の紋章』のイズミル王子ですね!?

「そうなんですよ！　歌で演じることの可能性をすごく感じていた時期に録ったんですよね。それもタイミングだなって」

■由潮さんがお子さんを授かったという、このうえないタイミングにも重なって。

「そう、母親でないとなかなか書けないんじゃないかと思うんですよね、これほどに深い愛の曲は。今、歌えて良かったなって思います」

■続く「The Birth」で、自分が自分であることの意味を探す、今一度〝生まれること〟を歌ったあとに、タイトル通り、ゴスペルで愛の力を歌った「POWER OF LOVE」でアルバムが締められるという……。

「愛の力、強さを、しっかりとこの〝POWER OF LOVE〟で打ち出せてるし、この曲のMVでも打ち出せてたと思います。本当に申し分ない形で、アルバムを締め括ることができたんじゃないかな、と」

■なんというか、宮野さんの歌声の後ろに〝人〟が見える感じがするんですよね。

「あぁ本当に嬉しいです。まさにそれが感じられる世界が作りたくて、前作のアルバム『FRONTIER』の表題曲〝FRONTIER〟をSTYさんと一緒に作りましたが、その〝FRONTIER〟の先にある曲でありたかったんです、この〝POWER OF LOVE〟が。荒野をたった独りで歩いていく〝FRONTIER〟のMVで象徴していたように、自分のポリシーを信じて貫いて、こういう生き方をしていきますっていう決意表明をして一人歩いてきた先には、仲間やファンのみなさんがいてくれて、そこにはこんなに素敵な愛と確かな絆があったんだ、こんなに見守られていたんだという歌にしたかったんです。なので、みんなで歌える曲が良かったんですよね」

■人間賛歌を歌うゴスペル以外に考えられないですね。

「なので、そういう僕の想いや、歌詞までにはなっていないけど、たくさんの言葉たちをSTYさんにお伝えして、それを形にしてもらいました。そういう作り方ができたのが、すごく嬉しかったんです。みんなと繋いだ愛が力になるっていう……それはこの〝POWER OF LOVE〟のMVでも表現したんですよ。ファ

Book Share ZIP
http://bszip.com

ンクラブイベントで、ファンのみなさんにも参加してもらって撮ったので」

■ファンの皆が持っているライトの光の海が、ステージの宮野さんを取り囲んでいる……キレイな光景でしたよね。

「うん、すごいキレイでした。あの光に囲まれた瞬間、涙が出そうになって…本当に感動しました。だからMVも含めてこの『THE LOVE』というアルバムは、本当に自分が伝えたかったこと、自分の想いがしっかり体現できてるなと思いますね」

■前半でも少し触れましたが、今回のジャケットワークは、屋久島で撮影された写真で構成されているんですよね。

「そうなんです、力を借りに行きました。僕はスピリチュアルな人間じゃないほうなので、そういうスポットに行ってもあまり何かを感じたりはしないんですが、屋久島の森に入った瞬間に、〝あぁ、神がいる……〟ってホントに思いました」

■周りに『もののけ姫』に出てくる言霊がいませんでした?(笑)。

「カタカタカタ~ってね、何かいた気がします、ホントに(笑)。それくらい命の息吹をものすごく感じて、感動しました。例えば初回限定盤のジャケット写真で寄りかかったり寝そべったりしている苔は、でっかい木の幹に生えてるんですが、毛足がめちゃめちゃ長くて、ふさふさな毛皮のようなんですよ」

■それ自体が小動物かのような。

「そうそう、なので僕はそれをずっと〝ヨ~シヨシヨシ〟って撫でてました。思わず、話しかけていましたね(笑)」

■このジャケットを見れば、ファンにも〝今回のアルバムは単なるラブソング集じゃない。もっと大きなテーマがあるんだ〟と感じてもらえるでしょうね。

「ちゃんと意味を感じてもらえると思います。だってこの自分の表情だって屋久島に行かなければ撮れませんでしたもん。全部が全部、すごく自然な顔してるなと自分でも思いました」

■そして、アルバムを引っ提げて9月からは全国ツアーがスタートします。

「はい! 今、頑張って考えています。『THE LOVE』というタイトルにしているので、温かい想いをいろんな表現の仕方で見せていければいいなと思いますし、とにもかくにも新曲がこんなにあるので、それをしっかり表現する、楽しい演出を付けるのが毎回アルバムを出してからの使命だったりするので。みんなと温かい愛溢れる時間を過ごせるように、みんなに楽しんでもらえるものを考えていきたいですね」

■そのライヴで、ファンも新たな愛に出会えたら素敵ですよね。

「うん、そういうのを楽曲やライヴから受け取ってもらえたら素敵なことだなと思うんですよね。これだけいろんな世界観の愛を描いてるから……例えば〝愛溢れる〟のような曲を待ってましたという人も絶対いると思うんです」

■「僕のマニュアル」で、ネコ男子の素晴らしさに目覚める人もいるかもしれない(笑)。

「そうそう、なんならネコ男子に堕ちる女子を増やすくらいのライヴ演出を考えなきゃなって思ってますから(笑)。楽しみに待っていてほしいです!」

BookShareZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

“THE LOVE” Keyword Talk

アルバム収録曲のタイトルや歌詞に絡めて、
いろんな“キーワード”からマモの素顔に迫ります!

①「EVER LOVE」

■まずは「EVER LOVE」から。〝諦めかけてた ずっと探していた〟というフレーズが宮野さん自身の言葉で綴られてますが、宮野さんが長い間探している〝なにか〟はありますか?

「あぁ……なんだろう……僕、本当に物欲が薄くて、モノに関しては〝このビンテージものが欲しい〟とか、そういうふうになったことがないんですよね。だから僕が今探しているものは……この2ヵ月でなくした筋肉ですね!」

■筋肉か~! ちょっと動かなくなるとすぐ落ちますからね~、筋肉は。でもきっと今でも宮野さんの中に眠ってますよ。

「覚えてるかな~、俺の体(笑)。実はそのなくした筋肉を探すために、昨日ジムに行ったばかりなんですが、今もう体が悲鳴をあげてます。〝早く筋肉探して~!〟って(笑)」

■今から探して9月のツアーに間に合うのか~?って(笑)。

「あははは、それは何としても見つけないとダメですね(笑)」

②「SHOUT!」

■続いて「SHOUT!」。シングル取材時に〝思わず叫んでしまったことは?〟と聞いたら、免許取得直後に車のパンクという衝撃的なエピソードをお聞かせいただいたので……。

「あ~、ありましたね(笑)」

■なので、今度も期待しての第二弾を!

「そうですね……叫んだというか、大声をあげたことで言うと、アルバム・ジャケットの撮影で屋久島に行った時にフルーツ園に行ったんですが、本当に南国のような素敵な雰囲気だったので、思わずサルの鳴き声をやっちゃったんです。〝ホウォウォアアーッアーッ!〟って」

■なんですか、そのリアル鳴き声は! ウキキーッとかじゃないの!?(笑)

「そう、リアルな鳴き声を大きな声でやったら、屋久島のベテラン現地ガイドさんが、〝このフルーツ園、ホエザルいましたっけ?〟って(笑)」

■現地の手練れのガイドさんが騙されちゃった(笑)。

「勘違いさせちゃって、申し訳なかったのですが、役者冥利につきました(笑)。しかもガイドさんが、フルーツ園の人に〝ここホエザルいるんですね?〟って尋ねられてて。〝いないですよ〟ってフルーツ園の人が答えていらっしゃいましたけど、そりゃいないですよね、だって俺だもん(笑)」

③「恋されガール」

■「恋されガール」から、〝こんなに気になるなんて予想外〟というフレーズにかけて、最近予想外に克服できるようになったものってありますか?

「お酒かなぁ。自分がこんなに飲めるとは思っていなくて。今まで本当に飲んでこなかったから……でもよく考えてみれば、両親とも酒呑みなんですよね(笑)。そう考えれば、素質あったんだなって思うんですけど。それでも自分が〝お酒好き〟になるとは、まったく思ってもみませんでした」

■お気に入りのお酒は?

「最近、屋久島で焼酎をいただいて。実は焼酎はまだそんなにいけるほうではないんですけど、屋久島のは癖がなくて美味しいよって

BookShare ZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

聞いて飲んでみたら、本当に美味しかったです！」

4「Now and Forever」

■「Now and Forever」で〝初めて触れた世界は眩しくて〟と歌っていますが、最近の初体験で一番感動したことは？

「今はまだ体験してないんですが、きっと感動するんじゃないかということで。今度、中国・上海で行なわれる『BILIBILI MACRO LINK STAR PHASE×Aniso ng World Maturi』に出演するんですが、これが楽しみです。きっとまた新たな感動を感じるんじゃないかと思うんですよね」

■台湾で一度、感動を経験してますからね。

「そうなんですよね。まだ準備段階ではあるんですけど、会場の上海メルセデスベンツアリーナの画を見せてもらっただけで気分がアガっちゃって。だって、外から見た会場が浮いてるように見えるんですよ？」

■空中に浮いてるってこと？

「実際に浮いている訳ではないんですけど、大きなUFOのような作りになっているんですよ。見せてもらった時にすごくびっくりして。だからきっとすごく楽しい経験を上海でして、キラキラ輝くものを感じるんだろうなって。今からワクワクでいっぱいですね」

5「Uhh」

■続いて「Uhh」。〝行き先決めずにfree〟というフレーズのように、予定なしで行動できるタイプ？　それとも綿密に計画立てるタイプ？

「あぁもう計画立てるなんて、僕は無理です（笑）。元々、計画的にいろんなことをやるほうでもなくて」

■となると、宮野さんに旅をナビゲートさせると、予定外で楽しいか、大失敗のどちらかですね。

「そうかもしれませんね（笑）。楽しく行こうぜ！という感じかも（笑）。実際にどちらかというと、行先は決めないくらいのほうが好きかも。キッチリいくよりこんなんなっちゃったね……でもしょうがないかじゃあどうする？……温泉でも入って帰るうかとか、そのくらいのほうがいいですね（笑）」

■温泉に入れるのであれば、「いい旅だった～」とは言えますね（笑）。

「実際に、ミュージカル『王家の紋章』でイズミル役のダブルキャストだった平方元基くんと、それこそ行先決めずにドライブしたんですけど、最終的に温泉入って帰ってきました（笑）」

■どちらまで？

「元基くんがちょっと詳しいって言うから千葉方面に行ったんですけど、そこを曲がれば近道だからっていうところを入ったら、どう見てもけもの道で（笑）。〝大丈夫なの？　元基くん〟〝大丈夫大丈夫～〟なんて言いながらそのまま進んで行ったら、結局行き止まりで」

■ダメなやつじゃないですか！（笑）

「外はもう真っ暗で、街灯もそんなにないところで。〝おーい、全然道が見えないんだけど！〟〝マモくん、ごめ～ん〟とか言いながら、来た道を必死にバックして……っていうのが楽しかったですね（笑）」

■確かにちょっと楽しそうだけど、大変そうです（笑）。

Book Share ZIP
http://bszip.com

⑥「HOW CLOSE YOU ARE」

■「HOW CLOSE YOU ARE」に〝笑っていて 癒える事の無い 悲しみも〟というフレーズがありますが、辛いこと、悲しいことがあった時の回復法はありますか？

「なんだろう……さんざん反省しますね。ちゃんと、ずっと目を向けるかもしれない、落ち込んだことに対して」

■お酒を飲んで、とかはない？

「あんまりないですね。でも、最終的に飲んで切り替えることはあるかな（笑）。でもそれまでにちゃんとしっかり考えて、〝ここはダメだったな〟って、落ち込むところまでしっかり落ち込むんです。そうすると改善策とか、自分の気持ちの行き場がちゃんと見えてくる。原因に見向きもしないでいると、逆にずっともやもやを抱えちゃうんだろうなと思うから。ちゃんと向き合うと、〝だったらこうしよう〟っていうのが自分の中で見えてくるから。まず僕はすごく考えちゃいますね。で、最終的にお酒を飲んで〝よし！〟ってなる感じですね（笑）」

⑦「Space Travellers」

■「Space Travellers」は宇宙デートを歌ってますが、実際に宇宙に行けるようになったら行ってみたい？

「行ってみたいですね、宇宙旅行。無重力体験をしてみたいです、楽しそう！」

■真空だとか高温高熱とか、過酷過ぎる環境に恐怖感を感じる人もいますけどね。

「それは、もう万全な状態になってからということで（笑）。ちゃんと安全面が保証される時代になった暁には、是非宇宙に行きたいです（笑）」

⑧「テンペスト」

■続いて「テンペスト」。まだ出処では…終われやしない〟というフレーズから、いまでも続けられていることは？

「そうだなぁ……どんなことでも諦めずに続けたから、今があるのかなって思います。やっぱり苦しい時期もありましたからね。自分がこういう仕事をできるようになるまでは、本当いろんなことがあって」

■辞めたいと思ったことも？

「正直、〝大丈夫かな？〟って思った時期はたくさんありました。でも目の前のことに真っ直ぐ取り組んでやってきた結果、道が開けていって。今、自分がいろんなことに挑戦させてもらえることがすごく嬉しいです。そういうふうにこれからも苦しいことがあっても、諦めずに続けていけたらなって思っています。生涯現役でいたいな。おじいちゃんになっても踊っていたい……って、今みたいに踊るのはキツイかもしれないですけど（笑）」

⑨「僕のマニュアル」

■「僕のマニュアル」のネコ男子は、若干上から目線で自分の操縦法を教えてますが、〝宮野真守ならコレで言うことを聞いちゃいます！〟というのはありますか？

「なんだろう……笑ってくれればいいかな」

■笑顔でいてくれれば、ということですか？

「とにかく僕は楽しいことが好きな人なので、僕が楽しいと思うことをやった時に笑ってくれれば、たぶん僕を簡単に操縦できると思います（笑）」

■楽しい気持ちを共有できれば、という感じ

BookShareZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

なんですね。

「うん、笑ってくれるとすぐに調子に乗っちゃうと思います(笑)」

10 「愛溢れる」

■ハートフルな「愛溢れる」の〝愛が溢れるたびに 涙を誘うのは 幸せだから?〟というフレーズにかけて、嬉しいはずなのに思わず涙しちゃったことは?

「そうですね……以前お話したことの繰り返しになっちゃいますけど、2月の台湾公演〝RE MIXING!〟で、台湾のお客さんが日本語で僕の歌を歌ってくれたのが、すごく嬉しくて涙が出たんですけど、2009年のファースト・ライヴからずっと一緒にやってくれているダンサーのFUMIくんも感動して泣いちゃって。その瞬間も、本当に嬉しくて一緒になって泣きましたね。あと、屋久島に行った時も、自然に触れてるだけで、なぜか涙が出そうになる気持ちを味わったんですよね」

■涙もろいほうなんですか?

「いや、別にそんなに泣き上戸というワケではないですけど、……最近は心震わされることが多かったかな。でも、そうなった時に自分はちゃんと心震える人間でありたいと思います。泣くのがカッコイイ、カッコ悪いではなくて……ちゃんと自分の中で、いろいろと感じて心が震える人間でありたいなって。それは役者をやってるからというのもあるんですけど、そういう感情の動きには敏感でありたいなと思いますね」

11 「The Birth」

■「The Birth」。タイトルにかけて、最近新たに生まれた才能は?

「最近生まれた……次の曲の〝POWER OF LOVE〟でのことなんですけど、この曲は非常にテクニカルな曲で。もちろんこちらからオファーをして、ゴスペル調のこんな歌詞で歌いたいんですっていう想いを伝えた上でSTYさんがご自分で歌ったデモ曲を作ってくださったんですけど……それを初めて聴いた時、ビックリして。〝うわぁ、STYさんのこんな曲、初めて聴いた! すごくカッコイイ! でも、これを歌うのは無理だ!〟って思って(笑)」

■そんな(笑)。

「そうなんですけど、本当に〝こんな風に歌うことはできない!〟ってくらい技巧的なフェイクが入っていて。でもプリプロ時にSTYさんが〝これは絶対宮野くんは歌えるから大丈夫!〟って断言してくれて、〝頑張ります! STYさんかっこいい♡〟と思いまして(笑)」

■そこまで言われてしまっては。

「そうなんですよ。〝大先生がそんな風に言ってくださるんなんて! 頑張ります!〟みたいな気持ちで歌ったら、やっぱり自分の気持ちいい歌い心地が見つかって。それでもどうしても難しい箇所は、STYさんがその場で教えてくださったので、乗りこなせたりして。だから

Book Share ZIP
http://bszip.com

結果的に今までとは違う歌唱がたくさんできたんです」

■やはり何事もトライすべきなんですね。

「そうなんですよ。あと、レコーディングにおいての歌い心地の良さみたいなものを、STYさんとお話しさせてもらって。それも新たな発見でしたね。なるほどなぁ、と思うところがたくさんあって。歌い手にしか分からない絶妙なニュアンスみたいなものを、この曲で、このタイミングで新たにSTYさんと共有できたことが、大きな発見でしたね」

■生まれましたね、ゴスペル宮野が！

「生まれちゃいました！（笑）」

12 「POWER OF LOVE」

■ラストナンバー「POWER OF LOVE」のタイトルにかけて、〝誰かを愛するほど愛を注いでいるもの〟は？

「うーん……お笑い愛かな（笑）」

■あれ、役者なのに？（笑）

「あ！　でも、そのお笑い愛も含め、僕は役者愛、エンタメ愛っていうのが非常に強いと、自分でも思っていますね。子供の頃から、この世界で生きていくって思い込んでましたから」

■そうか、宮野さんは子役時代からこの世界でのキャリアをスタートさせてますからね。

「そうなんですよ。なので、エンタメへの愛、こだわりっていうのは、捨てられないんだなって思うんです。それが自分の表現の力になっているし、ライヴの力にもなってる。そして、自分の活動の方向性、多面的なことをやらせてもらってることへの力にもなってると思います。だからその気持ちがあって良かったなって、すごく思うんですよね。だからそれは譲

Book Share ZIP
http://bszip.com

れない愛だし、誇れる愛だし……そう思ってずっと活動しています。だからこそ悔しかったり、うまくいかなくて凹む時はあるんですけど、それも乗り越えて力にしていきたいです！」

■では最後に、アルバムタイトル『THE LOVE』にかけて、〝自分のここが愛おしいと思うところ〟というと？

「……笑いに貪欲なところ（笑）」

■役者なのに（笑）。

「時々ね、〝面白いこと、もういいですよ〟って言われるんです……でも僕はそれじゃイヤなんです！　やっぱ面白い人間になりたい！　面白い人間でいたいんです！　それは譲れない!!（笑）」

■じゃあもしスタッフから〝もうライヴのお楽しみ映像コーナーはやめませんか？〟って言われたら？

「えーっ、僕は、絶対続けましょう！って言うんでしょうね（笑）」

■なんて力強い宣言なんだ（笑）。

「あははは（笑）。面白い人間になりたいという気持ちは本当ですね。ずーっと面白いことを言ってたい。役者ですけど、やっぱり面白いってすごいことだと思うんです。人を笑顔にできるし」

■確かに本気で笑ってなければバレますもんね。それくらい笑いって、人の本音が出ますよね。

「本当にそう思います。だから自己確認って言い方をさせてもらうと、笑いのある時間っていうのは、実は自分のためでもあるんだって感じているんです」 B

BookShare ZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

1曲目「EVER LOVE」から始まり、いろんな愛の歌を経て、ラスト曲「POWER OF LOVE」で、
“ここで愛を歌おう”“これは僕らのPower of love”と力強く語りかけてくるマモの歌声。
『THE LOVE』を聴いていると、自然と心があたたかくなります。
そして、彼の“愛”がみんなの元に届いたら、きっとよりいっそう“大きな愛”に成長していくはず。
それが体感できるであろう9月からの全国ツアーが待ち遠しくて仕方ありません。

宮野真守
THE LOVE

Book Share ZIP
http://bszip.com

初回限定盤 CD+BD

初回限定盤 CD+DVD

通常盤

6th Album
THE LOVE
2017.08.02 Release
初回限定盤 CD+BD ¥3,700（tax out）
初回限定盤 CD+DVD ¥3,700（tax out）
通常盤 CD ¥3,000（tax out）

［CD］
01. EVER LOVE
作詞:宮野真守　作曲・編曲:Jin Nakamura
02. SHOUT!
作詞・作曲・編曲:STY
03. 恋されガール
作詞:marhy　作曲:FURUTA / サイトウ リョースケ　編曲:サイトウ リョースケ
04. Now and Forever
作詞:marhy　作曲・編曲:TSUGE
05. Uhh
作詞・作曲・編曲:SHOW
06. HOW CLOSE YOU ARE
作詞:marhy / CJ VANSTON / Jin Nakamura　作曲・編曲:Jin Nakamura / CJ VANSTON
07. Space Travellers
作詞:Amon Hayashi　作曲:Denzil"DR"Remedios/DJ first　編曲:DJ first
08. テンペスト
作詞:宮野真守 / 上松範康（Elements Garden）　作曲:上松範康（Elements Garden）　編曲:藤田淳平（Elements Garden）
09. 僕のマニュアル
作詞:綾菓　作曲・編曲:市川 淳
10. 愛溢れる
作詞・作曲:由潮　編曲:由潮・菊池達也
11. The Birth
作詞:宮野真守　作曲・編曲:Jin Nakamura
12. POWER OF LOVE
作詞:宮野真守 / STY　作曲・編曲:STY

［初回限定盤Blu-ray／DVD］
01.HOW CLOSE YOU ARE（Music Video）
02.SHOUT!（Music Video）
03.テンペスト（Music Video）
04.The Birth（Music Video）
05.POWER OF LOVE（Music Video）
06.MAKING
07.MAMO in屋久島

宮野真守 ⇒
みやのまもる。'83年6月8日生まれ。埼玉県出身。B型。182cm。声優、俳優、アーティストとしてマルチに活躍。'08年、アルバム『Discovery』で歌手デビューを果たす。'17年9月2日の岡山市民会館を皮切りに、『MAMORU MIYANO LIVE TOUR 2017』がスタートする。

宮野真守
Special Cover Original Print Present

ついにB-PASSの表紙を飾ってくれたマモさん。ここぞとばかりに、たっぷりな撮りおろし＆ロング・インタビューをお願いさせていただきました！　堪能していただけましたでしょうか？　そして皆様からの感想やメッセージ、お待ちしております！　恒例の表紙オリジナル・プリントを3名様にプレゼント。ご希望の方は、P.190にある応募券をハガキに貼り、〒&住所、氏名、年齢、電話番号、特集の感想、ご意見なども明記の上、〈〒101-8450 東京都千代田区神田錦町1-14-2F B-PASS「宮野真守 表紙プリント係」〉まで、ご応募ください（8月26日当日消印有効）。当選者は9月27日発売のB-PASS11月号当欄にて発表させて頂きます。たくさんのメッセージ、お待ちしております！

B-PASS7月号SILENT SIREN表紙プリント当選者
静岡県／大竹健太さん　岩手県／渕向俊之さん　福岡県／境英理奈さん

Bookshare.zip

ST☆RISH

谷山紀章（四ノ宮那月役）

鈴村健一（聖川真斗役）

寺島拓篤（一十木音也役）

鳥海浩輔（愛島セシル役）

下野 紘（来栖 翔役）

諏訪部順一（神宮寺レン役）

宮野真守（一ノ瀬トキヤ役）

うたの☆プリンスさまっ♪ マジLOVELIVE 6th STAGE

2017.05.27 Metlife Dome

『うたの☆プリンスさまっ♪』シリーズのTVアニメ第4期『うたの☆プリンスさまっ♪ マジLOVEレジェンドスター』に登場する人気グループ・ST☆RISH、QUARTET NIGHT、そしてHE★VENSが勢揃い！ 5月27～28日の2日間にわたり開催された『うたの☆プリンスさまっ♪ マジLOVELIVE 6th STAGE』、初日の模様をレポート！ 総勢18名のキャストが繋ぐ熱い絆を感じた、笑顔と涙あふれる一夜をお届けします。

Text ⇒ 柳川春香

QUARTET NIGHT

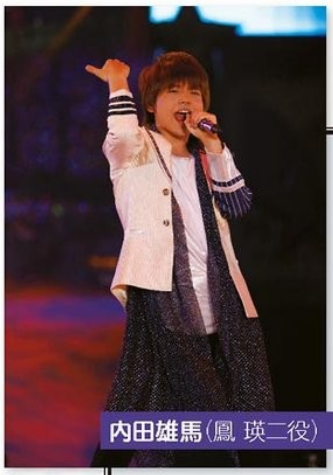
前野智昭（カミュ役）

蒼井翔太（美風 藍役）

鈴木達央（黒崎蘭丸役）

森久保祥太郎（寿 嶺二役）

Book Share ZIP
http://bszip.com


内田雄馬（鳳 瑛二役）

代永 翼（帝 ナギ役）

小野大輔（皇 綺羅役）

緑川 光（鳳 瑛一役）

HE★VENS

山下大輝（天草シオン役）

木村良平（日向大和役）

高橋英則（桐生院ヴァン役）

2010年にゲーム第一作をリリース以降、TVアニメなど多くのファンを魅了し続ける『うたの☆プリンスさまっ♪』。その世界観を体現するべく2012年からスタートしたライヴも、遂にドーム公演2日間という大舞台を迎えた。約3時間半、披露された楽曲はなんと33曲に及び、過去最多となる18名のキャストによる熱い競演が繰り広げられた。

オープニングムービーが流れ出すと同時に沸き上がる大歓声の中、ステージ上の巨大なバルーンからST☆RISHの7人、寺島拓篤（一十木音也役）、鈴村健一（聖川真斗役）、谷山紀章（四ノ宮那月役）、宮野真守（一ノ瀬トキヤ役）、諏訪部順一（神宮寺レン役）、下野 紘（来栖 翔役）、鳥海浩輔（愛島セシル役）が登場。止まない歓声と共に始まった1曲目は「マジLOVEレジェンドスター」。七色の歌声が重なり、客席のコールと一体になって生み出されるスケール感に胸がいっぱいになる。間髪入れずに登場したのはQUARTET NIGHTを演じる森久保祥太郎（寿 嶺二役）、鈴木達央（黒崎蘭丸役）、蒼井翔太（美風 藍役）、前野智昭（カミュ役）の4人。彼らの代名詞ともいえる「QUARTET★NIGHT」を息の合ったパフォーマンスで魅せ、単独ライヴも成功させた4人の強い絆を感じさせた。

既にヒートアップした空間に、続いて宮野の美しいファルセットが響き渡る。「テンペスト」に込められた激しい想いを全身で表現しながら歌う姿は凄まじい迫力だ。余韻が残る中、再び現われたのはQUARTET NIGHT。先輩グループらしいアダルトなデュエットソングで魅了すると、続けてソロステージへ。小道具を使いながらキャラクターの可愛い一面を表現した前野、激しいダンスで男らしさを見せる森久保、ストレートなバラードで熱い歌声を聴かせる鈴木、小悪魔的魅力満載のダンスで客席を沸かせる蒼井。それぞれが新たな趣向にチャレンジする姿に、このライヴに懸ける4人の想いを感じることができる。

客席と共に笑顔いっぱいの空間を作るDAY DREAM、切なげなラブソングを艶っぽく聴かせるNIGHT DREAMという対になるスペシャルユニットのステージを挟み、今度はST☆RISHのソロへ。トロッコに乗った宮野が客席に笑顔と元気を振りまくと、下野はウィニングロードから登場して観客を驚かせ、穏やかなラブソングを優しく歌う。生演奏を従えた谷山がドーム中に美声を響かせると、満員の客席も息を呑むように静かに聴き入った。続いて諏訪部がバランススクーターに乗り自在にステージの上を舞うと、会場は再びヒートアップ。続くステージでは少年が抱きかかえた黒猫が鳥海に早変わりするという演出で、観客をさらに驚かせた。鈴村は立ちのぼる噴水をバックに静かに熱くバラードを歌い上げ、ソロステージのトリを飾った寺島は、キッズダンサーズと共にひまわりの花を掲げながら歌うハートフルなパフォーマンス。ST☆RISHメンバー全員がステージに駆け寄ってくるという作品とリンクした演出に、涙する人も少なくなかっただろう。楽曲ごとに見せるキャラクターの個性を表現した様々なアイデアは、このライヴの醍醐味のひとつだ。

ここまでステージを駆け抜けた11人が揃い、改めて挨拶を述べると、ライヴの前半を締めくくるのは「マジLOVE1000% シャイニング・スターズVer.」。ファンと共に成長し、客

BookShare ZIP
http://bszip.com

席の歓声があってこそ完成するこの曲に、『うた☆プリ』の現在地を確かめるような思いだ。

そしてライヴは後半へ。暗転した会場に「聴け！　俺たちの歌を！」というセリフが轟き、緑川 光（鳳 瑛一役）、小野大輔（皇 綺羅役）、代永 翼（帝 ナギ役）、内田雄馬（鳳 瑛二役）、高橋英則（桐生院ヴァン役）、木村良平（日向大和役）、山下大輝（天草シオン役）の7人が登場。HE★VENSらしい堂々としたパフォーマンスで「HE★VENS GATE -Beginning of the Legend-」を歌い上げると、待望の初ステージを客席は大きな歓声で出迎えた。

ここからはST☆RISHとHE★VENSによるデュエットソング。トップバッターの宮野・内田はアカペラで美しいハーモニーを聴かせたかと思うと、まるでフリースタイルバトルを見ているようなヴォーカルとダンスの応酬に釘付けになる。続いての谷山・代永はキュートな楽曲でアピール、最後は背中合わせでポーズを決めて観客を沸かせた。鈴村・小野はそれぞれがクレーンに乗りながらしっとり歌い上げ、離れながらも繋がっているような大人っぽいステージング。諏訪部・高橋は濃厚なセクシーさで会場を魅了し、鳥海・山下がミステリアスで幻想的な雰囲気で会場を包んだかと思えば、下野・木村ペアはワイヤーアクションで熱いバトルを見せるなど、次々に繰り出されるバリエーション豊富なパフォーマンスに観る側も休む暇がない。最後はアニメでも重要なエピソードを担った寺島・緑川のデュエット。キャラクターの想いを背負い、挫折からの復活へという心情を全身で表現する寺島と、それを堂々と支える緑川。駆け抜けるような熱いステージングに、

BookShare ZIP
http://bszip.com

SET LIST

01.マジLOVEレジェンドスター/ST☆RISH
02.QUARTET★NIGHT/寿 嶺二,黒崎蘭丸,美風 藍,カミュ
03.テンペスト/宮野真守
04.KILLER KISS/寿 嶺二&カミュ
05.ハルハナ/黒崎蘭丸&美風 藍
06.Melting of snow/カミュ
07.オン・ユア・マーク!/寿 嶺二
08.BE PROUD/黒崎蘭丸
09.シンクロニズム/美風 藍
10.DAY DREAM/一十木音也,四ノ宮那月,神宮寺レン,来栖 翔,寿 嶺二,黒崎蘭丸
11.NIGHT DREAM/聖川真斗,一ノ瀬トキヤ,愛島セシル,美風 藍,カミュ
12.Be the light!/一ノ瀬トキヤ
13.初恋をまた始めよう/来栖 翔
14.Tears in love/四ノ宮那月
15.Give Me True Love/神宮寺レン
16.甘美なるアルカディア/愛島セシル
17.I swear.../聖川真斗
18.Brilliant Days/一十木音也
19.マジLOVE1000% シャイニング・スターズVer.
20.HE★VENS GATE-Beginning of the Legend-/HE★VENS
21.HE★VENLY PARADE/HE★VENS
22.Mighty Aura/一ノ瀬トキヤ&鳳 瑛二
23.Grown empathy/四ノ宮那月&帝 ナギ
24.Lasting Oneness/聖川真斗&皇 綺羅
25.Lovely Eyes/神宮寺レン&桐生院ヴァン
26.Visible Elf/愛島セシル&天草シオン
27.JUSTICE IMPULSE/来栖 翔&日向大和
28.NEXT DOOR/一十木音也&鳳 瑛一
29.God's S.T.A.R./QUARTET NIGHT
30.不滅のインフェルノ/HE★VENS
31.WE ARE ST☆RISH!!/ST☆RISH
〈ENCORE〉
32.夢を歌へと…!〈全員〉
33.マジLOVEレジェンドスター〈18人ver.〉

うたの☆プリンスさまっ♪ ⇒

'10年6月に発売された人気ゲームソフトを原作とし、'11年7月に第1期、'13年に第2期、'15年に第3期、'16年秋に第4期シリーズが放送されたTVアニメ『うたの☆プリンスさまっ♪』。ST☆RISH、QUARTET NIGHT、HE★VENSという全3組総勢18名のアイドルたちが夢のステージに向けて切磋琢磨していく様子を描いている。ライヴでは、そのキャラクターを演じる声優たちが実際に出演し、人気を博している。

会場中が大歓声と大きな拍手に包まれた。

ライヴ終盤は、3組が王者の座を競い合ったアニメのクライマックスを再現する、一曲入魂のステージだ。トップのQUARTET NIGHTは本格的なダンスとセクシーなパフォーマンスで風格を見せつけ、会場は一気に最高潮の盛り上がりへ。HE★VENSは燃え上がる炎に包まれながら重厚な歌声を聴かせ、迫力のパフォーマンスで観客を飲み込む。そしてラストを飾るST☆RISHは、この7人でしか生まれない美しいハーモニーで「WE ARE ST☆RISH!!」を静かに歌い始める。それはST☆RISHの軌跡はもちろん、7人から始まったこのライヴの軌跡を辿るようでもあり、《さあ今キスよりすごい歌が本当にあったとわかる》と歌われる《今》は、まさに今この瞬間なのだと感じられた。アニメを完璧に再現した決めポーズと共に音が止むと、今日一番の拍手と歓声がドームいっぱいに響き渡った。

アンコールでは18人のキャストが揃い、3グループがバトンのように繋いでいく「夢を歌へと…!」を披露。グループごとにトロッコで客席を回りながら、それぞれが手を振り笑顔を見せ、思い思いの形でファンに感謝を伝えていく。そして最後は「マジLOVEレジェンドスター〈18人Ver.〉」。18人の歌声にひときわ大きな客席の歌声が重なり、会場中が〝歌〟で繋がるその光景は、『うた☆プリ』という作品が伝えてきたメッセージそのものを体現したかのよう。作品を愛する人々の想い、それに全力以上で応えようとするキャストの想いが連鎖して生み出された、紛れもなく最高のステージだった。

Book Share ZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

move

全国ライヴハウスツアー真っ最中のGRANRODEOから、
この夏を盛り上げるニュー・シングル「move on! イバラミチ」が到着。
アジアンテイストがピリリと効いた
キャッチーアッパーチューンはロデオ節炸裂で中毒性高し!
今号では、作編曲を担うギタリスト・e-ZUKAさんに楽曲制作にまつわる
マニアックなエピソードを根掘り葉掘り聞いちゃいました。
そしてKISHOWさんには楽曲アンケートを実施。2本立てでお楽しみください♪

GRANRODEO

Book Share ZIP
http://bs.zip.com

Text ⇒ 飯島健一　Photo ⇒ キセキミチコ(KISEKI inc.)
Hair&Make Up ⇒ 西田裕美子(Manoa)　Styling ⇒ 奥村渉
costume ⇒ kiryuyrik tel : 03-5728-4048／PUERTA DEL SOL tel : 03-5489-9470
SHELLEC DAIKANYAMA tel : 03-5459-2180／Venom Tokyo tel : 03-5728-4765

e-ZUKA guitar

Book Share ZIP
http://bszip.com

KISHOW vocal

BookShareZIP
http://bszip.com

■新曲「move on! イバラミチ」の制作は、どんなふうに始まったのでしょうか？

「最初に、『最遊記RELOAD BLAST』制作サイドから、〝曲調的にはカッコ良くて激しくて、サビでもう一段階アガるような曲がいいです〟という相談があり、それで作り始めました。参考にアニメのトレーラー（予告映像）を観たんですけど、BGMが割とラウド系で、ギターもダウンチューニングだったりしてるから、こういう曲が好きなのかなって。そうやっていろいろ悩みながら作って、〆切を2日くらい過ぎたところで提出したんですけど、もう一つ何か欲しいと。で、〝なにかアイデアください〟って言ったんですよ。そしたら〝アジアンテイストはどうでしょう？〟って言われて」

■アニメが『西遊記』をモチーフにした物語ですからね。

「そういうアジアンテイストというかペンタトニック系のメロディ構成は〝Pierrot Dancin'〟（アルバム『Pierrot Dancin'』リードトラック）でやった手法ではあるんですけど、『西遊記』って言えば僕らの世代は完璧にゴダイゴの〝モンキーマジック〟なんで」

■誰もがイメージする中華メロディですよね。

「そう、そこからリフのイントロを思いついて、あとは芋づる式に出来ていって。アジアンテイストっていうのと、1曲の中に物語のような展開がある、ちょっとロードムービー的なものっていう。そういうインプットされるものがあれば刺激されるものがあれば、悩まずにいけるんですよね。結果採用された曲は、一日で出来ましたもん」

■中華的フレーズが印象的で、でもバトルもあるアニメの内容に相応しくサウンドはラウドという、GRANRODEOならではの仕上がりですよね。

「そういう意味では、すごく作品に寄せた感じにはなりましたし、それが良かったなって。語弊があるかもしれないけど、今回の曲は職業作家的なアプローチで作った曲と言えるかもしれないね」

■とはいえ、しっかりフックもあるのがGRANRODEOらしさというか。

「そうですね。サビも本当だったら半音下なんですけど、それだと普通過ぎちゃったんで、ムリヤリ半音上げてるんですよ。それが緊張感を出してるしフックにもなってるし。それも上手くいったなって思う。自分で言うのもなんだけど、よくできた曲だなって（笑）」

■はい。作品に寄せたという言葉が出てましたが、e-ZUKAさんのサウンドはもちろん、

BookShare ZIP
http://bszip.com

KISHOWさんの歌詞もアニメの世界を彷彿させるキーワードが散りばめられてますよね。

「そうですね。ただ、今回は歌詞のリテイクがあって。例えば1番の〝おあずけ拠り所〟ってフレーズは、最初は2番の〝おあずけ恋心〟が入ってたんですよ」

■歌詞に出てくる〝いばら道〟というキーワードも『西遊記』にピッタリですよね。

「そういえば今回、今までほとんどやったことないんですけど、僕が一回この歌詞で仮歌を歌ってるんですよ。とはいえ、KISHOWがどういう譜割りで歌詞を当て込んでいくのかは分からなかったから、僕が思う譜割りで歌ったんです。で、一番サビの〝遊び尽くせない明日が〟の〝明日〟を、僕は〝あした〟で歌ったんですが、KISHOWは最初の歌入れで〝あす〟って歌ったんですね。でも〝あす〟だと間延びしちゃうんで、〝あした〟に変えてもらったりね。そういうやり取りがあったのも、珍しかったですね」

■そうやっていろんな試行錯誤をした作品ですから、作品のファンにも楽しんでほしいですね。

「歴史のあるアニメだし、メインキャストも前と同じ声優さんがやってらっしゃるんですよね。そういう意味では思い入れの強いファンの方も多いと思うけど、その人たちにも気に入ってもらえたら嬉しいなと思いますね」

サビも本当だったら半音下なんですけど、それだと普通過ぎちゃったんで、ムリヤリ半音上げてるんですよ。それが緊張感を出してるしフックにもなってるし。上手くいったなって思う。自分で言うのもなんだけど、よくできた曲だなって（笑）

■ちなみにMVも派手な仕上がりでしたが、どこで撮影したんですか？

「埼玉県坂戸市にある聖天宮という場所で。香取慎吾くんの出ていたドラマ『西遊記』のロケでも使われてたみたいですよ」

■〝このMVのために作ったんじゃないのか？〟ってくらいに中華全開で色鮮やかでしたよね。

「一番最初の引きのカットをプレイバックで観た時に〝これは良いMVになるな。勝ったな〟って思いましたね（笑）」

■しかもスーツ好きのプロレスラー、真壁刀義（まかべとうぎ）選手がゴリラ役で登場しているという。

「西遊記だから、サル→ゴリラ→真壁さんっていうことで（笑）。僕はよく大河ドラマを観るんですけど、今放映中の『おんな城主直虎』に盗賊役で出演されているので、〝いつも観てます。来週が楽しみです〟という話をしました（笑）」

■心温まる（笑）。続いてカップリングについてもお伺いします。まず「エンドレスサマー」は、タイトルの通り、夏向きのラテンロックに仕上げられてますね。

「これは9月に開催する〝G

BookShareZIP
http://bszip.com

12 ROCK☆SHOW 道化達ノ宴〟用に作りました。〝move on! イバラミチ〟でやり切った感を感じているところに、スタッフから〝ツアーが始まる前にカップリング曲も録りたいです〟と言われ、オマエ〜いい加減にしろよ〜みたいな(笑)。ちょっと休ませてくれと。ツアーのリハだってあるし、練習しなきゃ弾けないし、覚えなきゃいけないこともいっぱいあるし。モード的にもツアーのパフォーマーモードになってるし、もういっそ表題曲以外全部ライヴ・バージョンっていうのでもいいじゃない?ってね?」

■もうボヤキが出まくりですが(笑)。

「でもそういうワケにもいかないんだろうなと思っていたら、またアイデアを出してくれて。G12の目玉的なものになる楽曲で、〝Pierrot Dancin'〟で和を、〝move on! イバラミチ〟で中華をやったので、今度はラテンっていうのはどうでしょうか?と。そのアイデアはすごく面白いなと思ってね。皆で歌えるようなサンバのノリにしたらいいんじゃないかって」

■ガットギターのメランコリックな音色が、いい雰囲気を作り出してますよね。

「ちょっとスパニッシュな感じがするよね。僕はジプシー・キングスとかも好きだったんで、ああいう感じを意識しましたね。あとサンバっぽくということで、パーカッションは生でやったらどうかとも思ったんですけど、人数を揃えないと思ったような効果が出せないだろうなと思って、この曲のためだけにサンバ用のソフトシンセを買って。楽しみながら作れましたね」

■KISHOWさんの歌詞も、大人の恋ならではの切なさ、やるせなさが感じられて、サウンドとマッチしてますよね。

「そうですね。そういえばこの曲はツアー中の5月にデモが出来て、KISHOWに渡したんですが、普段そういう時も感想とかはめったに言わないんですけど、今回は〝こないだカップリングのデモをもらったけど、あれすごくカッコいいね。ああいうのなんて言うの?〟とか言ってくれて。〝俺も夏の歌詞でいくよ〟とか珍しく食いついてて。〝あぁ、気に入ってんだな〟とか思って、それは嬉しかったですね」

■もう1曲の「恋は mirage」は、どんなふうに取り掛かったんですか?

「〝エンドレスサマー〟を作った時点で、もう1曲はアコースティックにしようと思ってて。小曲というか、ギターと歌だけ、入ってもパーカッションくらいの曲で。洋楽チックで、それといったフックもなく、淡々と流れる感じの2分くらいの曲を作って、これでいいんじゃないか、と提出したら、いつまで経ってもスタッフから返事が来なくてね。そしたら顔合わせた時に〝あのー、やっぱりダンスナンバーをもう1曲……〟と言われて」

■スタッフもこだわりますね〜。

「そのスタッフは年齢的に言うと、僕からみれば息子くらいなんですよ。となるとやっぱり息子の言うことは聞いてあげないと」

■お、大人な姿勢だ。

「若いやつが自分の仕事として、GRANRODEOでこういうことをやってみたいと思って、きっといろんな音楽を聴いたり探したりして、プレゼンしてきてるわけですからね」

■その要望通りダンサブルでどこか歌謡テイストを感じるナンバーになりましたね。

「お客さんと一緒に楽しめる感じで、ちょっとサ

GRANRODEO ⇒
グランロデオ。KISHOW〈Vo.〉、e-ZUKA〈G.〉によるロックユニット。'05年11月、シングル「Go For It!」デビュー。'17年9月22〜23日には『G12 ROCK☆SHOW』の日本武道館2デイズ公演を開催。

Book Share ZIP
http://bszip.com

ザンオールスターズがやりそうな感じ？　ロックンロールとかロカビリー的な雰囲気もありながら、日本的な感じもする……ザ・スパイダースなんかにも近いですよね」

■ダイレクトに洋楽を取り入れるのではなく、日本人向けの咀嚼をしてる感じですよね。

「歌詞の〝BANG×3〟って、僕の仮歌のままなんですけど、それってザ・スパイダースの〝バン・バン・バン〟からなんですよ。3月にかまやつひろしさんが亡くなられたし、〝バン・バン・バン〟といえばかまやつさんが書いた曲ですからね。その〝BANG×3〟をはじめ、キャッチーな言葉と、分かりやすい音符っていうのを意識しましたね」

■リズムがダンサブルなうえ、印象的なリフが多いから、気が付くと口ずさんでるんですよね、この曲って。

「実は、イントロからAメロのリフ、完成したやつとは別のバージョンがあって。作ってる途中で気になって確認してみたら、そのまんまだったんで変えたんですけど。サイモン&ガーファンクルの……」

■あ、「冬の散歩道」ですね。

「そうそう、あの曲にほぼ近いのを作っちゃってて（苦笑）。〝ちょっと待てよ？　コレ絶対誰かの曲であったな〟って。それで2小節単位の2コードっぽい感じに替えたんですよ。あとレッド・ツェッペリンでも似た感じのやつがあって……」

■「リヴィング・ラヴィング・メイド」だ（笑）。

「ああいうリフって、何かしら一緒になるんですよね。あと、ショッキング・ブルーにもあったんじゃないかと言われ……」

■「ヴィーナス」ですね……って、前シングル「Glorious days」の取材時も、カップリング曲「BIG SUN」で元ネタ話をしたような（笑）。

「そういうのも楽しみながら作ってましたね（笑）。ちょっとくらい似た雰囲気のものが合ってもイイかなって」

■リフっていうのは短い小節の中、限られた音数を反復させて作るわけですから、どうしても似たものは出てくるんですよね

「そうそう。でも作る方は〝これの元ネタ、あれじゃない？〟って言ってもらえたら嬉しいんで、僕も結構入れたりするんですよ」

■オリジナルとカブらないよう、ギリギリのアレンジを施してね。

「でも、たまにやり過ぎる時があるんですよ、みんなに分かっちゃう時がある（笑）。でも、そういう楽しみが一個でも見つかると、曲作りが楽しくなるんですよ。ギター・ソロにしてもチャック・ベリーのオマージュなんで。まぁ、ただの自己満足なんですけど、そうすることで尊敬や追悼を示すとか、意味を持たせたくなっちゃうんですよね」

■アーティストにとって自己満足でも、リスナーにとっては自分が知らなかった音楽への扉を開けるきっかけになると思うんですよね。

「そうですね。僕らもレッド・ツェッペリンを知ったことで、元ネタであるマディー・ウォーターズや昔のブルースを聴いてみようってなったし。今度は僕らがプロになり、そういうオマージュをすることで、若い人がツェッペリンを聴いてみようってなる……そうやって脈々と続いてる感じがしています」

B

Comment From KISHOW

KISHOWさんからも新曲にまつわるコメントをいただきました！

■1曲目「move on!　イバラミチ」について

Q1.アジアテイスト満載の楽曲を聴いた感想は？

「アジアテイストいいな！」

Q2.歌詞を書くにあたり「最遊記RELOAD BLAST」もしくは「西遊記」という物語の世界はどのくらい意識（影響）されましたか？

「20年続く作品なので、少しだけ慎重になりましたね」

Q3.歌詞でKISHOWさんが突き進めた部分（move on）、苦労した部分（イバラミチ）は？

「作品の持つ雰囲気にどの言葉のチョイスで寄り添うか（move on）、詞の直しが2ヵ所入った（イバラミチ）」

Q4.中華全開のロケ場所、プロレスラー真壁選手扮するモテゴリラ登場など、MVも楽曲の世界観にピッタリでしたが、撮影中に印象に残っていること、おもしろエピソードなどありましたら教えてください。

「王見役プロレスラーの肉体の厚みを目の当たりにして、畏敬の念を抱かざるを得ませんでした」

■2曲目「恋は mirage」について

Q1.ダンサブルなサウンド、合唱のしやすいフレーズなど、ライヴ向きのナンバーですが、KISHOWさんが楽曲からイメージした世界・物語とは？

「けっこうイケイケ。で、どこかおバカ」

Q2.歌詞がエロいと感じましたが、そこは狙ったところですか？（ストレートなキーワードこそ使ってませんが、どう考えてもエロいっしょ？という感覚は、サザンオールスターズでよく味わえてたよな、と個人的には思いました）

「書き手の人間性とか性分でしょうね。どうしても下品になります（笑）」

Q3.蜃気楼（mirage）といえば、追いかけても追いつけないもの。KISHOWさんがいまだに追い続けているものは？

「青春です。あり得たかもしれない自分です」

■3曲目「エンドレスサマー」について

Q1.歌詞はサウンドによりそった刹那感がにじみ出てますが、KISHOWさんがこの曲でイメージした物語とは？　お気に入りのフレーズは？

「夏の儚さ、恋の切なさ〝あの日散った恋の火花胸焦がした夢花火 幾年重ねた年月も消せやしない大炎上"←のくだりは素敵」

Q2.今年の夏の予想リア充度は？

「いやあ、例年になく狙いにいきますよ！（笑）」

初回生産限定盤

通常盤

New Single
move on! イバラミチ
2017.08.02 Release
初回限定盤 CD+DVD ¥1,800（tax out）
通常盤 CD ¥1,300（tax out）
アニメ盤 CD ¥1,300（tax out）

[CD]
01.move on! イバラミチ
02.恋は mirage
03.エンドレスサマー
04.move on! イバラミチ（OFF VOCAL）
05.恋は mirage（OFF VOCAL）
06.エンドレスサマー（OFF VOCAL）
[DVD] ※初回限定盤のみ同梱
move on! イバラミチ（Music Clip）
初回仕様「GRANRODEO LIVE 2017 G12 ROCK☆SHOW 道化逢ノ宴」チケット先行案内 封入

Book Share ZIP
http://bookszip.com

2017年、FLOWER FLOWERが始動!! 約3年半ぶりにステージに立ち、ニュー・シングルもリリース!! 続けざまに届いたこの朗報をB-PASSはキャッチ。恵比寿ガーデンホールでのライヴの約10日後、4人に会って話を聞くことができた。FLOWER FLOWERのするどく、温かい空気感やグルーヴを、音楽からはもちろん、彼らの言葉からも感じて欲しい。

Text ⇒ 山本祥子

■1年前、前作「宝物」のリリース時に答えていただいたアンケートにも「早くライヴがしたい」と書かれていましたが、実際に今年の東名阪ライヴ、シングルリリースの話が動き出したのはいつ頃なのでしょう?

mura☆jun「ライヴをやりたいね、やりたいよねーって言いながら秋を過ごして」

yui「年末に今回のワンマンライヴが決まったんですよ。そこからリアルに活動が見えてきたっていう感じですね。具体的には、5月からスタジオに入り始めてことは言え、忙しいメンバーなので、5回くらいかな?」

mafumafu「ちゃんと弾けるし、歌えるし、全っ然大丈夫じゃん!みたいな」

yui「ありがとうございます」

■ライヴだけでなく、ライヴのリハーサルも3年半ぶりじゃないですか。何か変化を感じたことはありましたか?

yui「いや、いい意味で変わらず」

mafumafu「そうなんですよね。あっ、mura☆junの機材が変わってたか」

sacchan「ただ本番では、やっぱり歌がまったく変わりましたよね。力強くなったというか、すごいなぁと思いました」

■まさに。YUI時代からずっとライヴを観てきましたけど、ダントツでかっこいい歌でした。太くて、切なくて、でもものすごく優しくて、本当に芯の通った歌声だなぁと。

yui「嬉しいなぁ」

■だからライヴを観ていたら、点からスーッと線が引かれていく感覚というか。リリースはありましたけど、表立った活動を控えていた3年半もバンドは止まってなかった、ちゃんと生きていたんだなって思ったんです。

BookShare ZIP
http://bszip.com

FLOWER FLOWER

マネキン

yui「自分たちもそうでしたね。音を出したら4人の空気感がスーッと蘇るというか」

■しかし、そもそも友達同士で結成したバンドではなく、yuiがそれぞれに声をかけて集まったメンバーなわけで。

yui「確かに。EGO-WRAPPIN'さんのライヴでmafumafuを見て、この人とやりたい！って思ったのが最初で、そこからメンバー探しが始まったんですけど。よく冗談ぽく言ってるのは、〝メンバー〟を自慢するためにバンドをやってるんですって言う。でもそれは本気で思ってることで。それぞれがすごくうまくて、大人で、自立してて、バンドなんだけどバンドじゃないみたいな距離感でいられる。いい意味で馴れ合わない。すごい心地いい関係だから」

3人「そうだね」

mafumafu「あとは曲作りをみんなでやってるんで、その体験を元に演奏すると空気感が戻ってくるっていうのはデカいと思いますね。サポートのお仕事だと、曲ができたときのことはわからないから、曲を与えられて弾く作業になっちゃうんですけど。FLOWERFLOWERは作ったときのあれやこれやがカラダに残ってるんですよね」

yui「自分の家に帰ってきたみたいな感じがするよね」

mafumafu「そう。何してもいいわけじゃないけど、自由度もあるし、信頼感もあるし、ホーム感が絶対的にある。それはやっぱりバンドの強みだと思うんですよ」

■いきなり曲の話をしちゃいますけど。カップリングの「ドラマ」なんて、4人で一緒に歌ってるような。アンサンブルなんだけど、耳の

BookShareZIP
http://bszip.com

位置を変えるとハーモニーにも響いてきて。

yui「なんかカチってハマる瞬間があって。グルーヴみたいなものが響き合った瞬間はもう、mura☆junが弾いてるのに、自分が発してるような高揚感がありますね」

mura☆jun「あるある」

■そう、そこが不思議なんです。そんなにしょっちゅう会っている4人じゃなかろうに。

mafumafu「たまにメールはするね」

yui「FLOWER FLOWERラインがあるからね。で、大事な用件の隙間に、つまんないことも送りあったりしてるよね」

mura☆jun「誰もツッコまないの」

■その光景、ライヴのMCでよく見ますね。

mafumafu「残念な光景を（笑）」

yui「そこもバンドっぽいのかなーと思ったりして。別にバンドって言葉にこだわりたくはないんですけど、この4人でバンドの話をするのはほんとに好きなんです」

■昨年のアンケートでもmafumafuさんが「バンド内で、バンドとはなんぞや？みたいなバンド論を繰り返してる」って。

mafumafu「昔から名物みたいなね」

■えっ、1年が経ち、答えは出たのかなと思って来たんですが。

mafumafu「全っ然出てない（笑）」

yui「でもやっぱ決まりごとは生まれてきているような気がしますね。例えば、煮詰まったときのコーラタイム。結成当初、本当に曲が出てこなくて、4〜5時間スタジオを取ってたんだけど、1時間くらいで私がめげてしまって。〝帰ろう〟って言ったら、〝コーラ飲もうよ〟って誰かが言い出して。で、待合室みたいなところでコーラを飲んで、〝もう一回音を出してみようか〟ってスタジオに戻ったら、3〜4曲できたんだよね」

3人「見事に抜けたよねー」

yui「なので今も煮詰まったときは、〝コーラタイムしよう〟ってみんなを誘ってコーラを飲む。絶対に根を詰めてやらなくちゃいけないとかじゃなくて、お互いを察しながら、みたいなお決まりはあります。まぁmafumafuはわりと無理するかな」

mafumafu「うん。フフフ」

■4人4様のペースがあっていいですもんね、大人になって結成したバンドだからこそ。

yui「バランスがすごくいいと思う。先輩2人は必ず先にスタジオ入りしてて、遅刻した私とmura☆junが〝おはようございます〟って恐る恐る入っていく、みたいな」

mura☆jun「まぁまぁ。それぞれあるからね、音を出すまでのペースが」

sacchan「時間に限りもあるんだよ！」

■ククク。今のやり取りでわかりました。sacchanさんが言うならまだしも、遅れてきた本人が「バランスがいい」だの、「それぞれのペース」だのと言っちゃうという。

mafumafu「そう、そういうこと」

yui「だからお父さんがいて、お母さんがいて、息子と娘みたいな感じ」

mafumafu「んん？　俺、オカン？」

yui「髪チリチリだからね（微笑）」

■そうして迎えた初日大阪ライヴはどうでしたか？

一同「良かったよね」

sacchan「良かったのは間違いないけど、俺、緊張してたっぽい。1stは特に」

yui「えっ、してたの？　それは終演後の疲れでわかるの？」

sacchan「いや、演ってるときに。俺、案外緊張してるんだなぁーみたいな」

mafumafu「会場の雰囲気と相まって、お客さんが固唾を呑んで見守る感じがあって。MCもシーンって。あ、これはいつもか（笑）」

yui「リアルにマネキンかなって思うくらい、お客さんもすごく固くなってたから。相乗効果で緊張が高まっていくという」

mafumafu「僕は1曲目がチェロなんですけど、初日ライヴの1音目が出なくて」

yui「私は生音が聴こえてたから気づかなくて。そこでmafumafuがいいのは、凹むんじゃなくて、高揚していくらしいの」

mafumafu「だって3年半ぶりのライヴを楽しみにあんなに真剣に聴いてくれているのに、僕だけ音が一切出てない。みんなの期待感とのこのギャップはなんだ?!　そ」

一同「あはははははは」

yui「そういうトラブルもありつつ。失敗したときほど後半盛り返すから、うちのメンバーはさすがだなって思いましたね」

■そのライヴでも披露していた「マネキン」が、2ndシングルとして届きました。

yui「私もいろいろ経験をしたので、やりたいことが変わるのかなって思ってたんです。なので最初は夏っぽくて最高にポップでヌケた曲をイメージしてたんですけど。久しぶりにリハに入ったら、このバンドにはロックが合うなぁと再確認して。この曲をレコーディングしたり、歌詞を書き始めたら、どんどん真面目になってしまって。結局、シリアスロックが完成したという」

■ポップな夏の曲からここへ辿り着くって、途中で相当な急カーブを曲がりましたね。

yui「歌詞を書いてるうちに気持ちが高まっていったというか、今はこういう歌詞が必要だし、書きたいんだって思って」

■ライヴで披露されたとき、すごく〝生〟を感じたんです。yui自身、小さな命に触れて生活しているわけで。やっぱりそういうものが詰まってるんじゃないかなって。

yui「そうですね」

■同じ生を描くんでも「宝物」は〈君が死ぬ

BookShare ZIP
http://bzip.com

時は僕の息も止めてよ〉だったし、「神様」に至っては〈どれだけ殺せば〉から始まっていた。けど今回は〈当たり前じゃないよ 君が生きてるのは〉と静かに語りだすんだよね。

yui「確かに。重要な曲を作ろうって思っている中のひとつだったの、〝神様〟も〝宝物〟も。メッセージ性が強いという意味では、今回の〝マネキン〟もそういうタイミングだったのかなと思いますね。実働的には3年半空いて、再び走り出すときだし、ちょっとインパクト強めにいきたいなっていう」

■初耳にもかかわらず、ライヴでは歌詞がすごく耳に残って。だからメンバーも、この曲の想いを一緒に演奏されていたのかなぁと。

yui「ライヴはそうだったかもね。けどレコーディングのときは、まだ歌詞はなくて」

mafumafu「♪フフーンって、まだ鼻歌のような状態で」

yui「逆に、メンバーが作ってくれた音に私が歌詞を合わせていったところがある気がしますね。ここは言葉を強くしたほうがこの演奏に対抗できる、とか」

■なるほど。詞曲ともにyuiってことは、yuiが作って、バンドに持っていったと。

mafumafu「そうです。ライヴ云々の前から、曲作りは結構やってて」

yui「曲の送り合いというか、〝こんなのを作ってみた〟みたいな感じで共有していて。〝マネキン〟のデモは今年の初めにみんなに送ったのかな」

■そのデモというのはどのくらいの状態の?

sacchan「ザックリした感じですね、いつも。この曲もメロディとギターとみたいな感じだった気がする」

mafumafu「それでも、かっこいい!って。どんなベースライン弾こうかな、早くスタジオに入りたいなぁと思いましたから」

sacchan「天才!って。いやいや、ほんとに。すんごいいい曲だって、多分ラインでも伝えたんじゃないかなぁ」

yui「これを作ったときは、青春時代に聴いていた、そして未だに自分にインスピレーションを与えてくれる90年代の音楽をもう一回体感したいという気持ちがあって。新しい世代のバンドやリスナーも、この辺りのロックを通っていなかったりするし。実際、最近やってる人も、実は少ないんじゃないかなと思って」

■yuiの中には、サウンドイメージが明確にあったということですよね。

yui「明確にあって。こんなのどうかな?って、実際に曲を3人に送ってみたり」

mura☆jun「そうだっけ?」

sacchan「来たよ。こんなイメージ、みたいなのが。まぁ、あくまでイメージだけど」

yui「それぞれの解釈があるからね。俺はこうやりたいっていう人はそうするし」

mura☆jun「送られてきたイメージを聴いて来ないって人もいますしね」

■自ら手を挙げました?(笑)

mura☆jun「いや、もちろんデモは聴いてますよ。けどこうしたいっていう要望は、ああ、そうなんだ……みたいな」

mafumafu「あんまり固めてもね」

mura☆jun「そう、そこに引っ張られちゃうから。実はデモもそんなには」

sacchan「フラットな状態で出したときの音が良かったりするし」

mura☆jun「そうなんだよねー」

yui「ハハハハ。これ、バンドっぽいんじゃない? フォローし合うっていう」

sacchan「ほとんど喋んないって言ってる俺がフォローするって、おかしいよ」

yui「いや、この前はびっくりした。ライヴ中にMCをsacchanに任せたら、本当にずっと喋んなくて」

mura☆jun「謎に親指だけ動いてて」

sacchan「いや、親指はそういうふうに振られたからさ。ほら、僕が喋ってもどうしようもないじゃない、ライヴで」

yui「と言いつつ、演奏は誰よりも前に」

sacchan「最前線にいくよね(笑)」

yui「この4人で音を出せば、FLOWER FLOWERになるもんね」

mafumafu「〝マネキン〟も音を出した瞬間、ゴールが見えそうだったし」

yui「ねっ。プリプロで2~3回やっただけで、もうレコーディングができる状態になって。それでも一回持ち帰って、もっとこうしたいなっていうのをそれぞれが考えてきて、本チャンで全部出すという」

mafumafu「だから本チャンの日まで手の内を明かさない。あはははは」

mura☆jun「けどそんな奇想天外なことにはならないよね」

yui「普通にアレンジするところ(目の高さ)だとしたら、うちのメンバーはその50センチ上のことが最初からできてるから、当日にさらに2センチあげてくる、みたいな」

mura☆jun「さじ加減の調整だね」

■一見淡々としているようで、こっそり展開していくリズムがとっても気持ち良くて。

sacchan「ドラムに対してはいろいろ迷いがあったっていうか。選択肢が多すぎて、レ

メッセージ性が強いという意味では、今回の「マネキン」もそういうタイミングだったのかなと思う

Book ShareZIP
http://bszip.com

2nd Single
マネキン
2017.08.02 Release
初回盤 2CD ¥1,500(tax out)
通常盤 CD ¥1,000(tax out)

初回盤

通常盤

01. マネキン
02. ドラマ

初回盤Disc2
Live at SHIBUYA CLUB QUATTRO
2013.10.07
01. 神様
02. 素晴らしい世界
03. バイバイ

mura☆jun(Key.)

yui(Vo.&G.)

私もみんなに育ててもらって、一緒に育って、
今、この居心地のいい場所が生まれたのかなって思いますね

コーディング中ずっと悩んだりしてて」
mura☆jun「そうだったんだ！」
yui「なんで迷ってたの？」
sacchan「そもそも全然違うフレーズでやってて、ずっと、どうしよう？って感じだったんだけど。まぁ最後は、これが一番いいなという回答が自分の中で持てたので」
yui「レコーディング中は、自分のパートが録れたなと思ったら、他のメンバーがやってるのをボーッと見ているだけなんで」
sacchan「それぞれがそれぞれで責任を持ってやって。しかしそれが結果的に……」
yui「ひとつになるから不思議だよねー。コーヒーを買いに出て、戻ってきたら、かっこ良くなってる！っていう感じなので」
mafumafu「俺も〝迷ってた〟って言ってみたいわぁ」
yui「全然迷ってなかったもん。ただmafumafuはスイッチが入ると、同じところを何回も弾くんです」
mura☆jun「さっきと一緒じゃーん！みたいなことをずっとやってる」
sacchan「細かいこだわりがね」
mura☆jun「そう。できあがりを聴くと、そういうことねーって。素晴らしい」

■mafumafuさんは「マネキン」に対してどんなイメージで臨んだのでしょう？

mafumafu「〝マネキン〟に関しては、曲を聴いた時点で、変わったことはyuiとmura☆junに任せよう、ベースはストイックにピックでゴリゴリいこうっていうイメージやったんですよね。フラフラってわりとリズムの音がデカい、みたいな意見もあったりするんですけど、そこがバンドっぽいな、勝負してるなっていう感じでもあるから」
mura☆jun「デカすぎるよ！」
sacchan「そういう曲だけだよ」
mafumafu「ヒップホップ的な解釈というか。曲ができたとき、個人的には(ロバート)グラスバーっぽい、ちょっとリズムのエッジが立った曲で、綺麗なピアノの上でyuiが歌ってるイメージがあったので。綺麗な曲なんだけどあえて綺麗にやらない、みたいな。わりと理想的なカタチになったかな」

■となれば、mura☆junさんは。

mura☆jun「リードっぽい音を弾かせてもらっていて。あれ、ピアノなんですよ」

■右上のほうで鳴っている音ですよね。そう、最初はギターかと思いました。

mura☆jun「そうですそうです。しかも鍵盤の中の純粋なピアノの音をこねくり回す、みたいなことを実はやっていて。にもかかわらず、あのメロディも別に何も考えてなかったかもしれないですねー」

■何も考えずにこねくり回しましたか？

mura☆jun「ハハハ。ただ歌との対比とか、リフと進んでいく感覚は、どっかで意識しながら出してるフレーズなんだと思います。自分が面白くしてやろうとかではなく」
yui「ポップな音楽も全然できる人なので、最初の頃は〝グーで弾いてよ〟とか、〝ここからここは使わないで〟とか、ずっとヘンなことを言っていたんですけど」

■「グーで弾いてよ」って(笑)。

yui「これもずっと言ってたんだけど、自分でも未だに意味が分からないんですけど。お父さんとお母さんと子供がいて、お父さんがふわっと浮かんだら、お母さんは驚いて倒れるけど、赤ちゃんはその光景が面白いから、きゃっきゃっ笑うじゃないですか。その脳の柔軟性ってすごくいいよね、とかいうことを力説してて(苦笑)。最初の頃は〝もっとはみ出してよ〟って言ったら、ちょっとはみ出したり、いっぱいはみ出しちゃったり、そういう経験を重ねた末に、〝俺的にちょうどいい場所〟を見つけたんだと思う」
mura☆jun「確かに。それの最終形態みたいなもんですかね」
mafumafu「もう最終に行き着いた？」
mura☆jun「現時点の最高地点。自然体で自分が鍵盤に向かってロックしたら、こんな音が出ました、みたいな」
yui「ナチュラルにこの音が出てくるって、すごいよ、ほんとに。超恥ずかしいだろうけど、mura☆junは昔、〝自分の殻を破ることができた〟って言ってたもんね」
mura☆jun「恥ずかしいいい」
yui「〝これが本来の俺だ〟みたいな」
一同「ヒュ～ッ！」
mura☆jun「いやぁ(照)。メロディと歌詞が素晴らしいから。そしてsacchanとmafumafuが土台をしっかり支えてくれているのでね、これは行っていいやつだな、みたいな解釈なのかもしれません。最初はグー?!って、本気で思ったけどね」

■4人のバランスも、音のバランスもそうで

Book Share ZIP
http://bszip.com

FLOWER FLOWER ⇒
フラワーフラワー。'13年に活動を開始。'14年11月に1stアルバム『実』を、'16年9月に1stシングル「宝物」をリリースした。

sacchan(Dr.)

mafumafu(B.)

すけど、今回は音の配置や鳴りも素晴らしくて。音源ってどうしても音が平面になりがちじゃないですか。けどここにドラムがいて、こっちにはベース、斜め上にトリッキーな鍵盤みたいな。とても立体的に響いてきたから。

yui「メンバーのセンスはもちろんのこと、プラス、今回は海外の方にMixをお願いしていて。立体的な音作りを考えている時、周りに相談していたら、音数が少ないのに寂しすぎない、空間が空きすぎないっていうアプローチを得意とする方を、紹介していただけたので。それも大きいと思いますね」

■すごくわかります。ギターやベースの弦の擦れる音とか、歌う際の息遣いって、雑音として切ることもできるけど、それがあることで伝わるものがあって。

yui「そう、全然変わりますね。息吸う音を切ったら不自然になるから、びっくりするくらい。そういう音作りも含めて、私がかっこいいと思うものをかっこいいと言ってくれるメンバーで、スタッフで、嬉しい」

■何回も出しちゃうけど、昨年のアンケートでyuiが「耳に残りやすいメロディとか、歌詞を意識して作っていない分、少し不安もありますが」と書いていて。でも今作を聴いて、今日お話を聞いていて、もうそんなところに意識はないんだなぁって思いました。

yui「そう。それはすごくあって。ただ伝えたいメッセージを乗せたポップで綺麗な曲をちゃんと作るっていうことも忘れないでいたいから、そこは欲張りなんですけど。このバンドでみんなに楽しんでもらえるようなポップな音楽も作ってみたいという気持ちもあります。そこも消化しつつ、やりたいことをやっていこうかなっていう感じです」

■それは当然だよね。ポップな要素もyuiの血肉であり、歴史なわけだから。そこを振り切ったら、過去を否定することになる。

一同「そうそうそうそう」

yui「活動休止直前くらいのテレビ出演で、実はこのメンバーで出演したこともあったんです。けど私の表情が緊張であまりに硬くて違和感があったみたい」

■へぇ〜、そんなことがあったんですね。そして続く2曲目、ジャジーな「ドラマ」はバンド名義ということは、セッションで生まれたのでしょうか？

mafumafu「まさに。音を出してたら、ポッと生まれちゃったみたいな感じ」

yui「4年近く前に作ってた曲で」

mafumafu「しかもピアノだけが当時の音源で、ドラムとベースは最新の今の俺たちなんですけど」

yui「当時のプレイがかなり良かったので、だったら残そうよ、みたいな」

mura☆jun「プリプロで、調律もしないでそこらへんにあったピアノをサッと弾いたテイクがすごく良くて。みんな、4年前の俺に合わせてくれ、みたいな。結果、まったく合わせてないですけどね（笑）」

yui「このメンバーはどんなジャンルでもできるんですよ。で、この曲が出てきたときに、ほんとならゴスペルを歌ってるような太い声の人が合うんだろうけど、私も歌ってみたいなと思って歌ってみて、そしたらカチッとハマったんで、おっ、いいじゃん！って」

■この曲を聴くと、FLOWER FLOWERが〝正しい〟ではなく、〝楽しい〟で動いているのがとてもよくわかります。

mura☆jun「いい言葉ですねぇ」

mafumafu「本当に。楽しく・楽しくないかでなんでも決めてるね、気がつけば」

mura☆jun「yuiさんにキッチリ育てていただきましたよ」

yui「いやいやいや。私もみんなに育てても らって、一緒に育って、今、この居心地のいい場所が生まれたのかなって思いますね」

■だから4年前からあったと聞いて驚いちゃったくらい、今のFLOWER FLOWERですって差し出された感じがする曲で。

yui「そこがFLOWER FLOWERの音楽が、いい意味で時代に当てはまってないっていう証拠になるのかもしれない。楽しいを追求しつつ、影響を受けてきた音楽を混ぜ込みつつ、自分たちが聴きたい もの、残していきたいものを響かせるっていう」

■そして期待と願望を込めて、次作は相当早く届きそうな予感がバリッバリします。

mura☆jun「おおっ。その話、しちゃいます？」

yui「これからフェスもあるんですけど、その合間に制作を進めつつ、丸いものをまたお届けできたらなぁと」

mafumafu「曲はいっぱいあるので」

sacchan「ライヴも、もっといろんな場所に行きたいし」

■初回限定盤についてるライヴ音源、確実にライヴに誘ってますもんね。

yui「そうですね。なかなか行けなくて申し訳ないんですけど。ライヴの雰囲気をちょっと味わってもらいつつ、温かい気持ちでお待ちいただければと思います」

B

BookShare ZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

高橋優

Yu Takahashi

虹／シンプル

「熱闘甲子園」テーマソングと花王ビオレのCMタイアップソングを両A面とした
17枚目となるニュー・シングル「虹/シンプル」を、7月26日に発売した高橋 優。
日本各地の試合を実際に観て廻り、そこで感じたことから構想を膨らませてゆく
“曲作りの旅”を経て完成した「虹」を始めとした、全4曲について
制作秘話や、楽曲に込めた想いをじっくりと語っていただきました。
恒例のテーマコラムでは、ひやっとした“怖い体験”について聞きましたよ♪

Text ⇒ えびさわなち
Photo ⇒ 竹中圭樹(D-CORD)
Styling ⇒ 横田勝広(YKP)

Book Share ZIP
http://bszip.com

■ニュー・シングル「虹／シンプル」が完成しましたが、前作「ロードムービー」からの〝旅〟が続いているな、という印象ですね。

「そんな感じしましたか？　このインドア派のわたくしが、外に出ている感。ご存知ですか？　僕ね、曲作りの旅に行ってきたんです。〝ロードムービー〟はツアー中だったから、自然と、外にいる最中にメモを取る、ということも多かったですし〝外〟というシチュエーションの中で作ることが多かったんですが、〝虹〟（ABC夏の高校野球応援ソング／「熱闘甲子園」テーマソング）に関して言うと、制作チームの方たちから、〝曲を作るために野球を観て廻る旅をしましょう〟という提案を頂いたんですね。それで外へ出掛けて行ったというか、旅に出ることになったので、メモ帳を持って行って、野球の試合を観ながら曲を構想していく、という旅になりました」

■「虹」のMVでは球場でメモを取る優さんの姿が捉えられていましたが、実際にあんな感じだったんですね。

「あれは、本当にその旅の最中に撮っていたシーンですね。歌っている場面は、本当に歌うために甲子園球場へ行ったものですが、メモを取っているところは本当にその時の模様です。カメラが回されていた中で、実際に試合を観て、感じたことをずっとメモに書き続けていたんです。それで、その時のメモを家に持ち帰って、メモに取られた言葉を元に曲を書き始めて。そういった形で楽曲を作っていくのは初めての経験でしたね」

■外での曲作り、というのはいかがでしたか？今後も取り入れたい？

「やりやすくはなかったですね。でもインドアで作っている時と、発想は違ってました。僕自身は野球にそれほど頓着があったわけではなかったので、今回、高校野球というものを生で観させてもらい、その場でしか見えないもの、聞こえないもの、その場に来なければ体感できなかったものを書き残したい、と思って作ったんです。それは外へ連れ出してもらったおかげだなと思いますね。例えば〝さっき派手に転んだばっかで笑われてるし、あちこち痛むけどそれくらいが上等だろう〟という歌詞があるんですけど、それは本当に目の前で、ファウルボールをキャッチしたくて走っていって、バターンと転んじゃった選手のことを観ていなかったら、出てこなかった歌詞だと思うし」

■体感したからこそ出て来る言葉だと。

「そう。その時観ていて、痛そう！って思ったんですよ。目の前で人が転ぶのって、テレビで観ているのとは違うんですよね。目の前でエラーしていたときなんて、場のムードが気まずくなるんですよ。〝失敗してる～！　それ取れば3アウトでこの攻撃が終わったのに何やってるんだよ〟っていう空気。それを目の前で観て、場の空気も感じて来たおかげで〝虹〟という歌が出来るためのワードが沢山生まれて来たと思います」

■今回は「熱闘甲子園」のテーマソングですが、むしろ甲子園のマウンド、バッターボックスという輝く場に立つまでのドラマであったり、そこに立つために歯を食いしばる選手たちの、夢に向かう姿が詰め込まれていますね。

「まさに。甲子園はもちろん素晴らしい場所ですし、甲子園がナンバーワンの場所だとは思うんですけど……甲子園の外側を歩くと、〝野球塔〟という塔があって、そこに立てられた板に歴代の優勝校の名前が刻まれているんです。優勝した学校の名前だけが刻まれるというのが、人間っぽいな、と感じたんですね。やっぱり金メダルを獲れない人たちの物語のほうが、僕は興味があるというか。試合を観ていても、ベンチで応援している人たちに目が向いてしまったり、ベンチにも入れなくて応援団になっている坊主頭の人たちを観てしまうとか。坊主頭っていうことは彼らも野球部なんでしょう、と。でも上手い人たちは一年生でもレギュラーになっていたりもしかして三年生でもベンチ入り出来ない人もいるかもしれない。なんなら試合が終わって家に帰ってから、どんな生活しているのかな？　親とどんな話をするのかな？　彼女はいるのかな？　そんな、背景を想像した時間のほうが長かったようにも思います」

■ちなみに、どんな試合を観に行ったんですか？

「甲子園球場や兵庫県での地方試合、あとは僕の地元である秋田県横手市のグリーンスタジアムよこてで、僕の母校というか、統合された学校の試合も観ました。関西と東北では応援の仕方も全然違うな、と思いましたね。関西はヤジもすごい。〝オラァ！　今のは何だァ！〟みたいな感じだったんですけど、東北では〝今度は自分たちが応援してもいい番ですよね？〟と周りを伺いながら……のような控えめな感じがあって。それが面白かったですね」

■母校の試合はいかがでしたか？

「コールド負けしました。7回で。点差が開き過ぎちゃって、やられまくってましたね。でも面白かったです。自分の出身校の人たちが出

勝利を信じて練習をする。
彼らは奇跡を待つんじゃなく、起こしに行ってるんだと思う。
奇跡を起こそうという意志を、何歳になっても持てたら幸せだなと思って書きました

BookShare ZIP
http://bszip.com

●高橋優●虹／シンプル
Book Share ZIP
http://bszip.com

● 高橋 優 ● 虹／シンプル

Book Share ZIP
http://bszip.com

ていると、個人的に応援したくなっちゃって、曲作りの旅なのにメモるのも忘れて〝頑張れー!〟とか〝打てよー!〟とか叫んでました」

■青春の想いとシンクロしたからこその熱いメモになっていそうですね。

「でも僕、青春のピークは何も高校生の時ではないと思うんです。今回の旅では客席にいる人のことも観ていたんですね。あそこに座っているおじさんはもしかしたら若い頃はすごい投手で、甲子園を目指していたのかもしれないな、とか想いを馳せながら。世の中には、高校を青春のピークだと思っている人が多い気がするんです。でも明日、そのピークが来てもいいじゃないか。ピンチでバッターボックスに立って、逆転サヨナラホームランを打つのに匹敵する感動が、今のあなたに起こるかもしれないし、それを起こしにいこうとしてもいいんじゃないかって思ったんです。だからあの、客席でつまらなそうに試合を観ていた人にも歌いたい。高校球児は、負けると思われていた試合で奇跡を起こして勝利したりする。その勝利を信じて練習をする。彼らは奇跡を待つんじゃなく、起こしに行ってるんだと思う。奇跡を起こそうという意志を、何歳になっても持てたら幸せだなと思って書きました」

■楽曲に関してはいかがですか?

「メロディが先に出来ていったんですけど、言葉をボソボソと話すように始まろうと思ったのが、最終的にはしゃべりかけるように、譜割いっぱいに言葉を詰め込む形になりましたね」

■歌詞詰め込み型の曲も久しぶりですね。

「そういう風にしちゃいました。〝熱い時の高橋優が聴きたい〟というリクエストもありましたし。確かに言いたいことを簡潔にしよう、とする傾向が最近あったけど、それを取っ払って、〝何言っちゃってるのコイツ!?〟くらいに自分の言いたい事を書いちゃおう、と思って提出したら〝これがいいです〟って言って頂けましたね。何度もやりとりを通して、〝熱闘甲子園〟とのコラボレーションで生まれました。今年の高校球児の中で一人でも、先々に〝この曲が俺の青春の一曲なんだ〟って言ってくれたら嬉しいです」

■そしてもう一曲は「シンプル」です。こちらは洗顔料のCMタイアップですが、いかがでしたか?

「先にCMのプロットを頂いたんです。キャッチコピーや絵コンテで。僕はCMを作るプロではないので、CMの内容のイメージは敢えてあまりしないようにして、〝シンプル〟というキーワードから、自分の中で浮かんできたものを楽曲にしていきました」

■〝何気ない日もドラマチック〟という想いが宿っているのを感じる曲ですよね。

「まさしく。結婚式とか成人式とか、この年の誕生日というのは〝一生に一度の大切な日〟とかありますが、それだけが特別な日と言ってしまうと〝そのほかの日は何だろう〟って、寂しい気がしてしまう。そうじゃなくて、〝今日〟という日を特別と思えるか。〝今日〟という日を大切にできる人は美しいと思うんです。〝今日はどうでもいい日〟って言う人と、そんな〝今日〟に約束をしていたら、その日に会う約束をしている俺はすごく悲しいじゃないですか? でも〝今日を楽しみにしてたんだ〟って言われたら嬉しい。だから曲の中でも、今までの人生で一番新しい日が〝今日〟だよねって言えば、それは常にリカテゴライズされるような感覚になる。そういう言葉の一つずつが大切なんじゃないかな、と思って作りました」

■それが〝洗顔〟という1日の最初の行動から感じられたら、毎日が彩られますよね。

「おまじないみたいな。気持ちの問題、とドライに言われてしまえばそれだけですが、気持ちの問題ってすごく大事だと思っていて。だから〝今日は一番新しい日だ!〟と思って洗顔したら、一日のすごくいい幕開けだな、と思うんですよね」

■そんな両A面の2曲を収録したこのシングルは、デビュー当時に呼ばれていた、〝リアルタイムシンガーソングライター・高橋 優〟のどんな〝リアルタイム〟が息づいているのでしょうか?

「現状維持をしたくない。〝今〟をぶっ壊したいですから。それをやり続けないと不健康だと思うんです、僕の場合。細胞が常に生まれ変わって、自分自身を更新していってる。それは気持ちの面でも、行動をすることでも、そのほうがいい。〝歌〟と言うアプローチの中で、新しいことにチャレンジして、工夫し続けていないと、僕にとっては不健康なんです。だから失敗しようとも新しいチャレンジを続けていきたい、前に進みたい。現状をぶち壊したい、という想いが込められた一枚になりました」

■カップリングには「白米の味」と亀田誠治さんとのユニット、メガネツインズの「Fitting」を収録です。

「〝白米の味〟はJA秋田(あきたこまち)のCMタイアップでもあるんですが、ラジオでも散々話してきた実話で、あきたこまちについて、米について考えていたときに〝そうだ、あの時の心境だ〟と思ったことを歌詞にしました。結構、攻めた感じになりましたね。それからメガネツインズのほうは、これまでラブソングを歌ってきたメガネツインズ初のメッセージソングになりましたね」

■メガネツインズのメッセージング?

「最近、誰かのフィルターを通して情報を見ることが多くなっていると感じるんです。この人が週刊誌に乗った人とか〝この人がこんな風に言ってる〟とか。発信する相手からの〝こういう風に捉えよう〟というフィルターを通して届けられる。一方、ネットにしても、声の大きな人が〝こういうことだ!〟と、その人の視力に合った眼鏡で見た情報で、みんなが自分の視力に合っていない眼鏡をかけさせられているような気がするんです。誰かが決めた〝こういう見方をするにはこの眼鏡を掛けなさい〟と渡された眼鏡で見ているんじゃないか?と。メガネツインズとして、かなり強く感じる社会への疑問を投げかけたので、じっくり聴いて下さい」

■その「虹/シンプル」ですが、ジャケットも印象的ですね。

「これはサンドアートなんです。去年、秋田CARAVAN MUSIC FESをさせて頂いたグリーンスタジアムよこてのグラウンドの土を使って作って頂きました。この一枚が、みなさんの夏の思い出になれば嬉しいです」

■そんなこの一枚を引っ提げて、今夏も秋田CARAVAN MUSIC FESが開催されます。最後に、そのフェスへの意気込みを。

「今年も、カッコいい人や、ユニークな人も来ますし、老若男女の人たちに観て頂けるようなライヴにしたいと思っているので、楽しみにしていてください」

BookShareZIP
http://bszip.com

怖い話

あれは2015年。BRAHMANとツーマンライヴのためにライヴ会場になる新潟に向かっていた特急の車窓から、新潟の街を観ていたら、街の灯りの上空に黒くて歪つな物体があったんです。器の断面みたいな。景色のように流れもせず動きもしない。しかもじっと観ていたら急に上昇して消えたんです。それでマネージャーに「今、UFO見た!」と言ったら、「湯切りしてたんすかね」って返されて。「焼きそばじゃねぇよ!」って。その切り返しが悲しかったです。

Book Share ZIP
http://bszip.com

期間限定生産盤

通常盤

秋田CARAVAN MUSIC FES 2017盤

17th Single
虹／シンプル
2017.07.26 Release
期間限定生産盤 CD+DVD ￥4,150（tax out）
通常盤 CD ￥1,200（tax out）
秋田CARAVAN MUSIC FES 2017盤 CD+オリジナル・スタジアムクッション ￥2,500（tax out）

［CD］
01 虹
02 シンプル
03 白米の味
04 Fitting／メガネツインズ（高橋優&亀田誠治）
［DVD］
DVD:全国ホール&アリーナツアー 2016-2017「来し方行く末」横浜アリーナ 2017.4.1 ＊初の横浜アリーナ公演を全曲収録

高橋優 ⇒
たかはしゆう。'83年12月26日秋田県生まれ。'10年7月21日にシングル「素晴らしき日常」でメジャー・デビュー。9月2日（土）、9月3日（日）に秋田県・鳥海高原 花立牧場公園 花立グラウンドにて、主催フェス「秋田CARAVAN MUSIC FES 2017」を開催。連載「その校訓を蹴っ飛ばせ!」はp.146へ。

Book Share ZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

家入レオ

ずっと、ふたりで

デビュー5周年を迎え、武道館でのアニバーサリーライヴも大成功に終えた家入レオ。2017年、第1弾シングル「ずっと、ふたりで」が7月26日にリリースされる。歌うことにより素直に、身を任せて声で表現することに重点を置いたという今作。そこに至った彼女の想いとは？

Text ⇒ 吉田可奈
Photo ⇒ 下田直樹
Hair & Make-Up ⇒ 岡野瑞恵
Styling ⇒ 岡部俊輔 (UM)

Book Share ZIP
http://bszip.com

■4月末に念願の武道館公演を終えて、心境の変化はありましたか？

「武道館に向けて、準備に長い時間を費やしていたので、いざ本番を終えた時は、なにかふっと抜けたような感覚になったんです。それからは、気持ちいいくらい、ナチュラルな状態なんですよね。そこで感じたのが、今後の音楽との向き合い方が少し変わったということで。どう変わったかを具体的に言葉にするのは難しいんですが、明らかに、音楽に対して考え方がいい方向に変わった気がします」

■武道館公演は1日だけだったからこそ、思うことも多かったのではないですか？

「そうなんです。その1公演ですべてを出さなくちゃいけないと思ったから、最初は力みすぎていて（苦笑）。でも、終わった今はすべてが発散できた気がします」

■武道館の後は、ゆっくりできましたか？

「実は、もうこの新曲〝ずっと、ふたりで〟の話が始まっていたので、ゆっくりはできていないんですよ」

■そうだったんですね。それにしても、この曲を最初に聴いたときに、サウンドも、歌詞も、いつもと違う印象でビックリしたんです

「あはは（笑）。気づいてくれて嬉しいです」

■そこでクレジットを見て、レオちゃんの今までの曲にはなかった方の提供曲だということに気づいたのですが、どういったいきさつでこの曲が仕上がったんですか？

「武道館公演の前に、ドラマ『愛してたって、秘密はある。』の主題歌のお話を頂いていたんです。その時点で何曲か候補曲を作っていたんですが、武道館を終えたときに、〝自我を〟一度、置いてみたい〟と思って、すべての曲を白紙に戻したんです」

■〝自我を置く〟とは？

「これまで、自分を解放することによって、聴いてくれる人も解放できるし、そのことでみなさんの背中を押すことにつながると思っていたんですが、それをしすぎると自己陶酔になってしまうのではと思って、この武道館では

「はい。そこで、自分で曲を作れば作るほど、曲に対して〝もっとこうしたい〟という際限がなくなるから、今回は作家さんである杉山勝彦さんにお願いしたんです」

■一度、曲を用意していたにもかかわらず、新しいことに挑戦した、と。

「はい。正直、すべてが新しいことなので大変でしたが、今、家入レオはそういうフェーズにきているのかなとも思ったんです」

■〝家入レオ〟を客観視したかったのかな？

「いや、自分が色々言うことよりも、時間や目に見えないもののほうが偉大だということに心から気づかされたんです。だからこそ、そこに挑むのではなく、いい意味で思ったことに純粋に流されてみるのも大事だと思ったんです」

■どうして杉山さんにお願いすることにしたんですか？

「中島美嘉さんの〝一番綺麗な私を〟を聴いたときに、〝この人と曲を作ってみたい〟って思っていたんです。とはいえ、杉山さんのことをよくよく調べたら、作詞、作曲、アレンジもすべてひとりでされる方なのであまり縁がないかもしれないと諦めていたんですよね。でも、このタイミングで、心境の変化を迎え、お願いしたいと思って。そうしたら、杉山さんも、〝ずっと家入さんに曲を作ってみたかったんです〟とおっしゃってくれたんです」

■実は思い合っていたんですね。

「すごく嬉しかったです」

■杉山さんには、この曲について、どんなリクエストをしたんですか？

「ドラマ主題歌になるということは伝えていたんですが、ドラマの内容は詳しく話さず、杉山さんが思う〝家入レオ像〟で曲を作ってくださいとお願いしたんです」

■でも、この曲の歌詞って、ものすごくドラマに沿ったものですよね。でも、そのお話だと、その時点でドラマがどんなものになるかも分かっていなかったということですよね？

「そうなんです！　私も、上がってきた歌詞を見てビックリしたんです。まだ外部にも内容が伝わっていなかったのに、なんでここまで脚本を読んだかのようなものが仕上がってくるのかわからないくらい！　しかも、詳しく聴けば、この曲は8年前に作った曲らしいんですよ」

■ちょっと、鳥肌が……。

BookShare ZIP
http://bszip.com

「ですよね（笑）。でも、いろんな流れに抗うことなく、前に進むと、こういった運命のような曲が仕上がるんだと思ったんです。改めて音楽のすばらしさを感じました」

■この曲を歌うレオちゃんの歌声も、今までとはまったく違う印象を受けました。

「特に、変えて歌おうと思ったわけではないんです。ただ、もらった曲に対して、自分の思い出を結びつける作業をしてから、表現するのは歌として違うと思ったんですよ。だからこそ、ただ、真っ白な気持ちでこの曲を歌おうと思ったんです」

■そうやってレコーディングするのは初めてですか？

「初めてです。言葉で説明できない気持ちも歌に乗せたくて、あえて気持ちを作らずに歌ったんです。レコーディングも、3回歌ったなかで一番いいものを使ったんですよ。杉山さん自身もアーティストなんですが、細かいディレクションはなく、〝家入さんが思うままに歌ってください〟と言ってくださったので、本当にナチュラルに歌いました」

■レオちゃんは今まで、西尾さんや多保孝一さんなど、ディレクションが細かくて有名な人達とずっと一緒にやってきましたよね。そこまでディレクションがないと、不安にはなりませんでしたか？

「最初は不安になるかなって思ったんですが、すごく歌いやすかったです。でも、前の私なら絶対に不安なままだと思っていて。きっと、そうならなかったのは、自分の感覚を信じられるようになったからだと思うんです」

■すごくいい変化ですね。

「そうですね。あとは、〝自分の声や身体って、自分のものって思っちゃいけないんだ〟って思ったりもして。今はこの身体を借りているだけだと思うことが多いんです。だから、すべてをわざとつなぎ合わせるんじゃなくて、思うままに、身体中で歌うということが、このレコーディングでできた気がするんです」

■それってさっきの武道館ライヴの感覚に似てるんじゃない？

「まさに、その感覚！　自分で歌詞を書くと、その出来事に至るまでの経緯を知っているから、広範囲で集中しなくちゃいけないこともあって。もちろん、この杉山さんが書いた歌詞も、家族や友人、恋人などのことがあって書いているとは思うんですが、その背景を知らないからこそ、歌に集中することができたと思います。それが純粋に楽しかったんですよ。そこで、改めてナチュラルに表現することが大好きなんだって思えたんです」

■それって、すごく素敵なことですね。

「すごく楽しかったです。……最近、歌うことって、軽く見られすぎていると思っていて。もちろん、聴く人によって考え方が違うのは全然いいと思うんですが……。でも、声だけで存在感を出すのは、すごい挑戦だと思うし、やってよかったなって思うんです。それに、〝音楽家〟と言われている方たちの才能があまりにもすごすぎて、いろんな感銘を受けたんですよ」

■たしかに、音楽家やスタジオミュージシャンなど、その道のプロは、本当に素晴らしい方だらけですからね。

「そうなんです。そういう方たちに、〝家入レオに歌ってもらいたい〟と思ってもらうためには、常に自分を磨いていないとダメだし、歌声だけで〝ありがとう〟って言ってもらえるようなアーティストになっていきたいなって思ったんです」

■ひとつ、また階段を上がったのかもね。

「そうかもしれないですね。新しい挑戦に、すごくワクワクしたし、いい経験になりました」

■今回、歌ってみたことで言葉選びで衝撃を受けたことはありますか？

「〝目の前の君以外　どうだっていいんだよ〟というフレーズには、強い衝撃を受けました。好きな人ができると、いいところしか見たくなくなりますよね。でも、〝輝いているところもいいけど、光と影が両方あっての君だから〟って言ってもらえたら、それ以上に嬉しいことはないと思うんです。その深い意味を感じて歌えた気がしたし、強く心に残りました」

■メロディもすごく王道でいいですよね。

「私の母は、山口百恵さんや中森明菜さんが大好きなんです。それもあって、この歌謡曲を彷彿とさせるメロディを歌えたのは嬉しかったですね。この曲は、最新の音楽とは違う、どこか懐かしい、気持ちのいい音楽なんです。私自身、そういった普遍的な音楽を残していきたいと思っていて。そう考えると、自分が良い曲を残すためには、今回のように誰かにお願いするときもあれば、共作することもあるだろうし。そう思うとすごく自由になって、自分で曲を作る時間がぐっと増えたんで

BookShareZIP
http://bszip.com

すよね」

■気持ちがより解放されたんですね。

「ラクになりました！　どんな表現でも、自分でいればいいんだと思えたので、より幅が広がった気がします。そう思ってからは、今は歌だけじゃなくて、声優やナレーションなどいろんなことに興味があるんですよ。今、嬉しいことにそういった仕事も増えていて。その仕事を終えた後に、音楽に戻ると、さらにいい音楽が生まれるような気がしてます」

■すべてがいい糧になっているんですね。さて、2曲目の「だってネコだから」は、レオちゃんが作詞作曲ですね。

「この曲は、日常的に生まれた曲なんです。以前、友達の藤原さくらから、洋楽のCDをもらったんですよね。それを聴いたら、肩の力が抜けた曲が多くて、こういう曲もいいなって思ったんです。その影響を受けた後にこの曲を作り、ある程度メロディができたときに、最初は英語の歌詞にしようと思ったんですが、英語だと、どこかごまかされちゃう部分があるから、歌詞はやっぱり、日本語にしようと思いました」

■主人公が猫なのは？

「私が曲を作っている部屋は、ピアノも、壁も、カーテンも白なんです。そこに、日が差した時にすごく幸せを感じるんですよ。その時に、その陽だまりにいる猫の視点で曲を書いてみようと思ったんです」

■前から犬を飼いたいって言っていたから、犬派なのかな？と思っていたんですが。

「そうなんです！　来年こそ飼いたいと思っているんですけど、最近は猫もいいなって思い始めていて（笑）。どちらにせよ、ペットは飼いたいので、そろそろ迎える準備をちゃんとしようと思っていますけどね」

■歌詞の言葉選びがすごく新鮮でした。

「この歌詞は、〝だってネコだもん〟って言っちゃえば、どんなことでも許されることに気づいて（笑）。それもあって、素直に思っていることを書けました」

■そして3曲目は「ヒーロー」。これはウルフルズのカバーになるんですね。

「これはCMでこの曲を歌ってほしいというリクエストを頂いたんです。トータスさんは、もはや〝ジャンル〟というか。歌い方ひとつで、どの曲もトータスさん色に染めてしまうんで。だからこそ、原曲をリスペクトしつつも、私が歌うなら、私の曲にしようと思って、アレンジも爽やかにして、変化させました」

■そこまで色がある方の歌を歌ってみて、大変だったのでは？

Book Share ZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

家入レオ

ずっと、ふたりで

家入レオ ⇒
いえいりれお。'94年12月13日生まれ。福岡県出身。'12年2月、1stシングル「サブリナ」でメジャー・デビュー。'16年7月に4thアルバム『WE』を、'17年2月にベストアルバムを発表。今作と同日7月26日に、Blu-ray/DVD「5th Anniversary Live at 日本武道館」をリリース。9月に東名阪ゼップライヴを開催。

「難しかったですね。でも、レコーディング前は、曲と一緒に時間を過ごすことを心がけて、キッチンにいるときも、シャワーを浴びているときも歌ったりして、自然と自分の色になっていくんだな、というのがあったから、難しく考えずに、ラフに純粋に歌う感覚でレコーディングに臨みました」

■このシングルでは、初めての方の楽曲を歌っていますが、新たに感じたことはありましたか？

「前までは、お話を頂いても自分の意思が頑なになっていた部分があったんです。でも今は、家入レオでできる楽しいことは全部してみたいって思うんです。それは、音楽に限らず、できることはどんどんやっていこうと思えたからで。すべての経験が音楽に帰ってくることが実感できたんですよね」

■友達ができたことで音楽も変わっていきましたもんね。

「そうなんです。（藤原）さくらや、らこちゃん（大原櫻子）と一緒にいるから生まれた曲もあるし、私がずっと抱えていたコンプレックスに対しても、違う考え方をするようになれたんです」

■どんなことも、相乗効果になりますからね。これからが楽しみですね。

「はい。今年はこれからフェスもあるし、新しい自分をどんどん見つけていきたいと思っています。プライベートでは、さくらと〝浴衣を着たいね〟って言っているんですよ」

■いいですね！

「浴衣を着て、夏祭りに行きたいんです。大きな場所ではなくて、町の神社などでやっているお祭りにいって、夏を感じたいですね！」 B

Book Share ZIP
http://bszip.com

13th Single
ずっと、ふたりで
2017.07.26 Release
初回盤 CD+DVD ¥1,700(tax out)
完全限定盤 CD+GOODS ¥2,200(tax out)
通常盤 CD ¥1,200(tax out)

初回盤

完全限定盤

通常盤

01. ずっと、ふたりで
02. だってネコだから
03. ヒーロー
04. ずっと、ふたりで <Instrumental>
05. だってネコだから <Instrumental>
06. ヒーロー <Instrumental>

column
IEIRI's HERO

収録曲「ヒーロー」にかけて、そのまんまですけど……家入レオのヒーロー像とは?

■レオちゃんにとっての、ヒーローとは?
「う〜ん……。小さい時から憧れのヒーローというのはいなかったかもしれない」
■セーラームーンとか、戦隊ものとか、あまり影響されたなかったんですか?
「されなかったですね。小さい頃はヒーローって弱いところがなにものない、完璧なのがヒーローだと思っていたから」
■憧れの存在はいました?
「もちろん、いました。尾崎豊さんもそうだし、YUIさんもそうだったし、でもヒーローという感じではなくて」
■どんなところに惹かれたのでしょうか。
「このおふたりは、"人間臭い"ところに惹かれて、素敵だなぁと思っていて。だから、そもそも私は完璧なヒーローに憧れたことがないのかもしれない。もっと不器用で粗削りで、人間的な人のほうが好きなんです」
■なるほど。そういう意味で、今、すごいなぁと思う人は?
「この前、桑田圭祐さんについて語る企画があって。改めて桑田佳祐さんってすごいなと思いました。桑田さんは、音楽でしか弱音を吐くことがなく、普段はおちゃらけたりしているイメージがあるけど、音楽にはすごく真剣なところがしっかり伝わってきて。そこがカッコいいなって思います」
■同年代のアーティストや人で、この人みたいに頑張りたいなとか、ライバルだと思うような人はいる?
「う〜ん……。まだまだ自分が足らなさ過ぎて、他人よりも自分を追求したいと思うタイプだから」
■周りというよりも。
「そうですね。デビュー当時とか、自分がずっと年下だった時は、まだなにも免疫もなくて、いろいろ考えて怖くなった時はありましたけど、ちゃんと自分は自分で生きてきて、積み上げてきたと思い直してからは、あんまり周りは気にならなくなりました」
■早い段階で気づけたというか。
「早い段階かもしれないけど、他の人は多分、何回か悩んだりすると思うんですけど、私は1回がでかくて。不安で爆発したときもありますよ(笑)」
■そんな時期もあったんですね。
「ありました、ありました! その時は、ちょうど環境が変わった時期だったから、より焦っていたんだと思います」
■今でも、分かりやすいヒーローものの映画とかは観ないんですか?
「たまに観るんですけど、ほんとにひねくれてるんです、私(笑)。昔から、そんな都合良くここでこう来る?とか、このロケ地は……とか、そういう見方をしちゃって。心の中に閉まっていましたけどね(笑)」
■言わんとしてることはわかる(笑)。若いときは余計に斜めに見ちゃいますよね。
「そういうタイプでした。あ、私の中である意味、クレヨンしんちゃんが一番ヒーローに近いかも。人間臭いし、やる時はやるし」
■ひねくれてるし。
「そうそう(笑)。だから、私のヒーローはクレヨンしんちゃんです!(笑)」

Book Share ZIP
http://bookzip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

SAKURAKO OHARA

大原櫻子

マイ フェイバリット ジュエル

8月9日に届けられる7thシングルは、秦 基博さんとのコラボレーション楽曲。
大原櫻子の新たな歌の引き出しを開けた、この初のトライについてたっぷりと話を聞いた。
今までとはまた違った楽しさを味わいながらの楽曲制作やレコーディングだったそうですよ。

Text ⇒ 前原雅子　Photo ⇒ 笹原清明　Hair & Make-Up ⇒ 木内真奈美 (Otie)　Styling ⇒ 佐藤和佳

Book Share ZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

■ニュー・シングル「マイ フェイバリット ジュエル」は秦 基博さん作詞・作曲・プロデュース、ということで。秦さんと面識はあったのですか?

「テレビ番組でご一緒させていただいたのを含めて、合計3回ぐらいお会いしていました。そのうち1回は、〝FNS歌謡祭〟という番組内で秦さんの〝ひまわりの約束〟をコラボさせていただいて。それが大きかったですね。すごいご縁を感じるというか。番組でコラボするということもなかなかないですし、それがまさかの大ファンだった秦さんで。本当に嬉しいなぁと思って」

■そのコラボレーション自体はいかがでした?

「いい曲だなというのと同時に私にはない要素がたくさんあって、最初は歌いながらもすごい違和感でした。メロディラインがあんまり歌ったことのない、ポツリポツリと歌うような楽曲だったので。でもサビとか、すごく滑らかなので、新鮮だった反面、とても難しかったですね」

■聴くのと歌うのでは大違いという。

「そう! そうなんですよね。聴いているぶんには全然カロリーを使わなそうな曲に思えて、歌うとめっちゃ難しいっていう。そのあとコンサートを観に行かせていただいたときも、そう思いましたね。でもいずれも、きちんとお話しする時間があったわけではなくて。そういう機会があったらいいなぁとは思っていたんですけど」

■秦さんの曲のこういうところが好き、ということでいうと?

「曲もですけど、秦さんがギター1本で弾き語っている姿がすごく好きなんです。癒されるって、こういうことなんだなぁって。曲で言うと〝鱗〟が特に好きですね。今回、スタッフさんから〝秦さんが曲を書いてくれるかもしれない〟と聞いた時は、〝まさか!〟すぎて。〝えー、そんなことある~!?〟と思いました。なんかこう音楽をやっていてもちょっとかけ離れたところにいる方というイメージだったので。私は歌い手だけど、秦さんはシンガーソングライターだし、男性だし、年齢もだしみたいな。でも大好きで憧れていたんで、まさかとは思いながらも超嬉しかったですね」

■アーティストの方にプロデュースや楽曲を提供していただくのは初めてですよね。

「初めてです。やっぱり違いますね、曲に個性がすごい出ているというか。最初、メロディをいただいたんですけど、難しいというか、切ない要素がすごく多いなぁと思って。それが今まで秦さんの曲に感じた優しさに通じていたんで、あぁ秦さんらしいなって思う半面、夏に発売する曲だけど……って、勝手に自分のなかで迷子になっている感じだったんですね」

■そのあとで歌詞が届いて。

「当初は作曲だけしていただくという話だったんです。でも私のほうから〝秦さんの歌詞も好きなので、どうしても書いてほしいんです〟って図々しくお願いしたら、〝いいよ~〟と言ってくださって。で、歌詞と同時にアレンジされたものが届いて。全体的に前向きで可愛らしくなったし、爽やかさも加わった感じになった気がして。キラッとした要素が入ったというか、キュッてまとまったなぁって。やっぱり歌詞によってこんなに変わるんだ、と思いました」

Book Share ZIP
http://bszip.com

■サウンドにもちょっとキラッとした感じがあしらわれていますよね。

「そういう効果もあると思います。最初はギターの音がメインに入っていて、サトウキビに覆われた道端で歌っているようなイメージだったんですけど」

■秦さんの曲ってほのか〜に切ないですよね。

「そうなんですよね。だからサビにしても、明るいけどちょっとこう悲しさがあるから。そこがすっごくポイントというか、聴いてほしいところですね」

■曲ができるまで、秦さんといろいろやりとりなどもしました？

「メールではやりとりがありました。タイトルは先に決まっていたんですけど、〝ジュエル〟というフレーズを入れるか入れないか、最後まで迷いましたね。ジュエルじゃなくてダイヤだったり他のアクセサリーはどうだろう、みたいな話もあったんですけど。ダイヤは大人の人が憧れるものであって、今の私の等身大じゃないなぁということで、結局ジュエルになりました。でもそこに限らず、歌詞はけっこう細かくやりとりしましたね。メロディもレコーディングに来てくださったときに、最後の〝幸せがあるかぁら〜〟で一度音が切れてから〝タラララ〜〟って始まるように変更があって。最後までいろんな変化があった曲でした」

■そういう曲作りはどうでした？　楽しかったですか。

「楽しかったですね。でも今回は自分発信というより、私が秦さんに染まりたいなと思っていて。秦さんが書いてくださったものを、全部食べたいなぁという想いがあったので。そういった意味で与えられた壁を乗り越えていく楽しみ、みたいな感覚はすごくありました」

■せっかくアーティストに提供いただくわけだから、その色に染まりたいと。

「そうなんです。染まってみたいなって」

■それにしても男性が書いたとは思えないほど、女子度が高い歌詞ですね。

「そうですね、すごく私を（女性として）大きく見てくださっていたのかなって。歌詞をいただいて思いましたね」

■〝鏡うつる顔 少し疲れてない？〟とか、エピソードの入れ方がすごく女性目線で。わかってらっしゃる！みたいな。

「本当にそう思います。特に、あ〜好き！って思ったのが、〝散歩している犬〟で。小っちゃな幸せがテーマというところで、〝犬きたー！〟みたいな。私、犬が大好きなんで、はぁー！もう〜わかるな〜と思ってそこにキューンときて。また最後の〝よろこびの中に 悲しみの先に わたしだけの幸せがあるから〟というフレーズにも、すごく共感しましたね。メロディはタンバリンとか叩きたくなるような感じなんだけど、曲の最後に楽しいだけじゃなくて、喜びの中に、悲しみの先に、でも幸せがあるからというのが、すごくいいなぁって」

■始まりは日常的なことだけれども、どんどん深くなっていって。聴き進むにつれて〝マイ フェイバリット ジュエル〟が何かに思い至るという。

「うんうん。そうなんです。だから〝痛みだって美しく輝くの〟というフレーズも好きですね」

■この曲のように、メロディと歌詞でそれぞ

7th Single
マイ フェイバリット ジュエル
2017.08.09 Release
初回盤A CD+DVD ¥1,500(tax out)
初回盤B CD+DVD ¥1,500(tax out)
通常盤 CD ¥1,200(tax out)

01. マイ フェイバリット ジュエル
02. Jet Set Music!
03. ALIVE
05. マイ フェイバリット ジュエル(instrumental)
06. Jet Set Music!(instrumental)
07. ALIVE(instrumental)

初回盤A

初回盤B

通常盤

Book Share ZIP
http://bszip.com

今回は自分発信というより、
私が秦さんに染まりたいなと思っていて

れの方向性がある曲を歌で表現するのは難しくないですか？

「難しいですね。メロディのイメージで歌ったほうがいいのか、歌詞のイメージで歌っていいのか、そこでかなり違ってくるので。でも〝マイ フェイバリット ジュエル〟というタイトルだから、サビの部分はキラッとさせて歌うように心がけています。その半面、AメロとBメロは、すーごい力を抜いて歌っていますね。それこそあんまりキラッとさせてないというか。吐いた息のまんまに歌が出てくるようなイメージで歌っていました」

■歌詞も小さな幸せの大切さがテーマになっているから。

「でも小さい幸せって、大っきな幸せに感じる瞬間だったりもするわけだから。とはいえ〝よし！　歌うぞ、わー！〟っていう歌じゃないので。だから〝買ったばかりの靴〟もそうですけど、この曲は、今この場でも歌えるくらい日常に寄り添っている歌だと思うので。そこはすごく新しいし、歌いやすかったなぁと思います」

■そういうところを含めて大原さんの歌い方も、すごく塩梅がいいですね。

「ほんとですか？」

■ほんとです（笑）。

「秦さんからも〝買ったばかりの靴〟〝髪を揺らす風〟は同じテンションで歌わないで、1個1個聴いている人にとって画が見えるように、色を変えて歌ってみてねって言われたんです。それはすごく意識して歌ったので、聴いた人がそういうふうに聴いてくれたら嬉しい、というのはありますね」

■〝鏡うつる顔　少し疲れてない？〟の歌い方、ちょっとしたニュアンスがとっても好きなんです。

「秦さんも〝そこ、好き〟って言っていました。〝疲れてない？〟というところに遊び心があっていいねって。実際にレコーディングのときもマイクに向かって〝すっこし疲れてない？〟って話しかけるように歌っていましたね」

■秦さんはレコーディングにも立ち合ってくださったんですね。

「はい。私たちだけで一度録って、それを確認するような感じで来てくださいました。そしたら、どこかしらで〝櫻子イズム〟じゃない、〝秦さんイズム〟として〝ここは譲れない〟というところがあって。そこを録り直したんですけど。ここはこう歌ってほしいというアドバイスをいただきながら歌い直しました。シンガーソングライターならではのニュアンスの伝え方というか」

■指摘されるまでは、気づかなかったようなところですか。

「そうですね。〝ひざーしをあーつめてぇー〟のところを何回も歌ったんですけど。私は〝あーつめてぇー〟の〝あ〟にアクセントを置いて歌っていたんです。だけど秦さんに、〝あ〟が強いかもって言われて。すっごい微妙なニュアンスなんですけど、確かに聴き比べると全然違うなと思って。でも秦さん、スパルタでした（笑）」

■そうなんですか？（笑）

「すごいです、秦さん。見た目と違って、ふんわりふんわりズバズバな感じ。〝う〜ん完璧！天才！〟とか言いながら、〝じゃ記念にもう一回〟〝はい、記念にもう一回〟〝はい、記念に〟って、〝記念に〟ってなに〜?!みたいな（笑）。でも気持ちいいですけどね、そうやって言ってく

Book Share ZIP
http://bszip.com

ださるほうが」

■今回のレコーディングで、一番長くお話できたんですね。

「そうですね。私、秦さんのことが大好きだったんで、YouTubeでいろいろ調べまくって。けっこう素が出ている映像とかも観て、面白い人なんだなぁ～なんて思っていたんですけど。今回いろいろお話しさせていただいて、思っていたよりもっと強いというか、もっと男っていう感じの方でした。ちょっと優しい男性というイメージだったのが、頼りがいある男性に変わったみたいな。喩えて言うと、自分のことを〝僕〟って呼びそうなイメージから、〝俺〟に変わった感じがしました」

■確かに男らしい方ですよね。そして2曲目の「Jet Set Music!」なんですが、この曲がまたメロディが難しくないですか?

「難しいというより、ものすごく体力を使います。でもライヴでぜひ皆さんに歌ってほしい曲でもあるので、ガンバっていただきたい(笑)。最初はアニメソングっぽいなって思っていたんですけど、可愛さとかっこよさを兼ね備えているというか。でもこれも、すごく新しい感じの曲だなぁと思いました」

■しかしメロディのアップダウンが。

「激しいです。インスタグラムにビフォーアフターで超げっそりした顔を載せたんですけど。それがこの曲を歌ったあとの顔。とにかくハイカロリーな曲なんで」

■「マイ フェイバリット ジュエル」は爽やかな夏、こちらはカラっと元気いっぱいな夏!という感じですよね。そこから3曲目「ALIVE」はバラードですけど、Aメロ、Bメロ、サビで、それぞれ個性が異なる曲のような。

「そうですね、それぞれ色が違う感じがしますね。同じバラードでも、秦さんの曲はメロディラインに微妙なニュアンスがある、今まで歌ってきてない感じですけど。それとはまた違って飾らずに、ありのままで歌える曲なので、歌っていても気持ちよかったですね。今までの経験がすごく活かされる曲でもあるなぁと思いました」

■この曲はいろんな声が楽しめる曲でもありますね。低い声からはじまって、サビになるとファルセットになって。

「そうそう、いろんな声が混ざった曲ですよね。最初はかなりキーが低いんで、すっごいどす暗～い曲なのかと思うかもしれないですけど、サビはとても爽快というか、解き放たれている感じがあるので。私もですけど、聴いている人も気持ちいいなぁって思ってもらえるんじゃないかと」

■ところでもう今年も下半期に突入しましたが、今年の上半期はどうでした?

「早い! 舞台、シングル、舞台、シングルで半分……、マジかぁ～～～(笑)。でもこの半年、いろいろありましたし、いろいろ経験できたんで。そういうなかで秦さんに巡り会って、またそれが次につながっていって。なんかお芝居も歌もすべてに影響しているんだなって、すごく実感した半年だったと思いますね。プライベートも仕事も全部歌に反映できるし。それはすごく、うん、いい半年だったなぁって」

■まさに充実ですか。

「はい。10月にはZeppツアー(4th TOUR 2017 AUTUMN ～ACCECHERRY BOX～)もあるので、このまま後半もいい流れを作っていけたらと思っています」 B

Book Share ZIP
http://bszip.com

マイ フェイバリット 〜〜〜

曲で歌われているような、ちょっとした幸せ、ちょっぴりテンションが上がったことは?

大原櫻子 ⇒
おおはらさくらこ。'96年1月10日生まれ。東京都出身。'14年11月、1stシングル「サンキュー。」でソロデビュー。'16年6月に2ndアルバム『V(ビバ)』を発売。10月にゼップツアーを開催。

■最近手に入れてちょっと嬉しいものというと?
「舞台が終わったとき、姉と母が"お疲れ様"ってトレーニングウェアにもアウターにも使えるようなピンク色の上着をくれたんですけど。私、運動が大好きでジムにもよく行くんで、運動でも使える大好きなピンク色というのが、もう好みにズバリ当たっていてめっちゃ嬉しかったですね」

■ピンクといっても、いろいろありますけど。
「ドンピシャのショッキングピンク!」

■お姉さんとお母さんのお見立てだから。
「いや〜もう間違いないです。ホントに姉が選ぶものは全部いいんです。ほとんどがマイフェイバリットですね」

■洋服の趣味が同じなんですか?
「それが全然違うんです、だから不思議で。お姉ちゃんの私服はけっこうロリータっぽい、衣装っぽい洋服を着るので。そもそも私とは、まるで違う。お姉ちゃんはめちゃくちゃ頭が良くてインドアで、私はめちゃくちゃアウトドアで頭は使えない(笑)。顔も全然似てないし」

■似てないんですか。
「お姉ちゃんのほうが3倍くらい顔が小っちゃくて、身長も小っちゃいんです。本当に全然違う」

■自分で買って、よかったなっていうものは?
「けっこうありますね……あ、バッグを買いました、それもピンクだ! 姉と一緒に吉祥寺に行って洋服や靴を買ったんです。でも自分へのご褒美でお金を使うのに、だいぶ罪悪感があって。マッサージとかの体のメンテ、栄養になる食べ物、習い事とかにはお金を使えるんですけど。それがご褒美かなぁ」

■真面目すぎる(笑)。
「ははは。物欲があんまりないかも。もしかして、もともとあんまり自我がないのかもしれない。"こうしたい"はあっても、"こういう私です、見てください"という外見的な欲があまりないというか。髪型もいろいろ遊びたい、メイクも日によって変えたら楽しい、みたいな感じなので。私はこう!というのがないのかもしれないです」

■じゃ、着たことがないような洋服でも。
「着たことないからNGじゃなくて、面白そうだから着てみようかなって。形がおしゃれなものは着たいって思いますね。だから絶対にギャルみたいにはなれない。メイクを毎日バッチリ決めて、このスカートの丈でとか、絶対無理。次の日くらいに超メガネっ娘になってそう(笑)」

■変化を楽しみたいんですね(笑)。 B

Book Share ZIP
http://bszip.com

超特急

My Buddy

超特急、13枚目のシングルが7月26日に到着! 2017年夏は、
キラッと輝くポップチューン「My Buddy」で爽やかに彩ります。
曲にちなんで、バディな写真&企画をギュギュッとお届け!

Book Share ZIP
http://bszip.com

Text ⇒山本祥子　Photo ⇒山本さちこ　Hair & Make-Up ⇒間篠歩、杉野智行

Book Share ZIP
http://bszip.com

■ツアー真っ只中に追加公演として組み込まれた日本武道館。MCでリョウガくんが「ツアーでもすごいメドレーをやってるけど、今日はスペシャル」と話してましたが、ガラリと内容を変えて臨んでいたのでしょうか？

カイ「そうですね。5周年記念公演なので、感謝の気持ちを伝えつつ、最後は笑顔で終わろうっていうのが大きなテーマとしてあって。だからツアーのステージを昇華させたカタチというか。普段15分のメドレーをやってるから、30分にしちゃおっか、みたいな」

■いやいや、軽く言いましたけども。

カイ「そう。あまりにサラッと言われたんで、事の重大さに気づいてなかったんです」

リョウガ「ツアーでは2パターンのメドレーをやってるんですけど、それを足したとかではなく、まったく新しい、自分たちの脳と体に深刻なダメージを与えるような、素晴らしいメドレーをお届けできたと思いますね」

■メドレーに限らず、作り込んだステージの中で瞬間移動みたいな演出もあったから、リハーサルはかなり大変だったと思うんです。

ユーキ「さすがに実寸では練習できないので、当日のリハーサルでまず動線を確認してから、初めて本番通りにやってみたっていう感じで。やっぱり実際に動いてみたら想定とは全然違いましたね。めっちゃ迷いますし」

ユースケ「だから本番中もステージの下ではスタッフさんが〝こっちこっち〜〟って」

■大変さで言えば、7メートルのリフターの上でのダンス。見ているだけで、揺れが。

タカシ「少しの手の振りだけで揺れるから、体の軸をキープするのに必死でしたね」

■誰も高所恐怖症とかではないんですね。

コーイチ&カイ&リョウガ&ユーキ&ユースケ&タカシ「まさかいないよな（微笑）」

タクヤ「いないです」

6人「おい!!」

タクヤ「もうね、ほんっとに怖かったです」

■あの高さはすごかったです。最後のタクヤくんの挨拶の「やっと他のアーティストと同じ土俵に立てた気がする」という言葉がとても印象的で。

タクヤ「正直、あまり記憶にないんですけども（苦笑）。6年経って、〝超ネバギバDANCE〟が1位を獲って、いろんな方から見ていただけるようになり、パフォーマンスのスキル云々は置いといて、やっと皆さんと同じ場所に立てたのかなって。だからここからが本当のスタートで、すごく大事なんだっていうことだったと思います、多分」

■なるほど。武道館後もツアーは着々と進行しておりますが、これまで廻った中で印象深い会場、景色、出来事を聞かせてください。

コーイチ「僕は6月18日の福岡ですね。自分の誕生日だったから、8号車（ファン）のみんなが黒のペンライトを……まぁ、やってって言うたんですけど（笑）。あの景色は残ってますね」

ユーキ&ユースケ「超綺麗だった！」

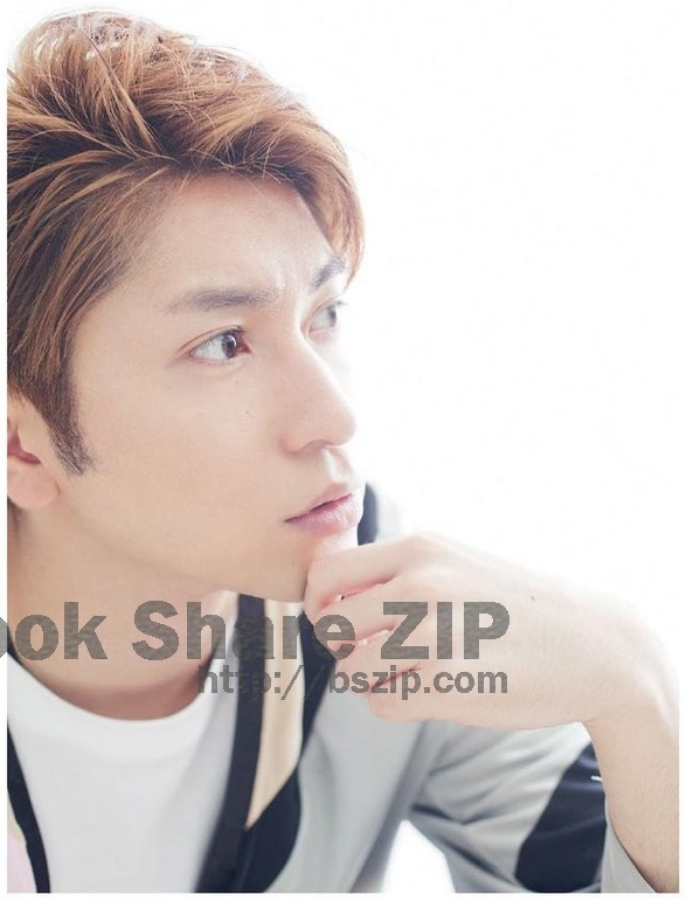
カイ「黒を何本も持ってる人が周りに貸してあげたりしてて。自然と8号車の輪が広がっていく感じもすごくよかったと思う」

リョウガ「けどすごいですよね。コーイチの誕生日がちゃんと父の日だったっていう」

■おぉ、それは素晴らしい偶然！

ユーキ「僕は鹿児島ですね。会場の作り的にいつもの演出が使えなくて。その代わりってわけじゃないですけど、〝HOPE STEP JU

1号車 コーイチ



2号車 カイ

Book Share ZIP
http://bszip.com

MP〟でバッと外へ出て、階段を駆け上がって、2階の扉から登場したんですよ。そしたらみんな〝ギャー!!!〟ってほんっとに喜んでくれて。と同時に、少し距離を感じてたんだなっていうのも伝わってきて、それが印象深かったのと。あとはステージに戻るときに親戚御一行と目が合ったっていう（照）」

■どちらもすごくいい話です。そして最終日東京国際フォーラムを待たずして、ニュー・シングル「My Buddy」が到着しました。

コーイチ「そうですね。ツアー中にリリースするって、今までなかった気がする」

■しかし4月末からずっとツアーを廻っているわけで、どの隙間に制作したんですか？

ユースケ「武道館の2日前だっけ？」

カイ「そうそう。前々日に振り付けをして」

タカシ「歌録りは6月アタマですね。カップリングも含めて武道館までには全部録り終わってました。ほぼ毎週末ライヴやから、東京にいる平日にレコーディングするっていう」

■「My Buddy」はもう、イントロからすでに名曲の佇まいというか。

一同「佇まいって！」

カイ「雰囲気とかオーラじゃないんだ（笑）」

■気づかなかっただけでずっとそこにあったキラキラしたもの、みたいな説得力がある。

コーイチ「確かに。ポップで、馴染みがよくて、つい口ずさんでくれそうな気がする」

リョウガ「夏っぽい爽やかさを感じる曲で。今までの超特急の曲は少し変わり者揃いというか、またおかしな曲がくるのかなって思っていたからね、その予想を逆方向に超えてこられて、ものすごく驚きましたっ」

■夏の爽やかな曲に驚く、という（笑）。

リョウガ「普通じゃないですよね」

■ドラマ『警視庁いきもの係』主題歌というのは、どのタイミングで知ったのでしょう？

カイ「ドラマのお話は最初に聞かせてもらってたんです。〝こんな物語なので、こんな曲になると思います〟みたいな感じで」

■楽曲的にも、タイアップ的にも、この大きな扉から入った新しい8号車が最初に遡るのが、前作「超ネバギバDANCE」だというのも最高に楽しくて。

一同「（笑）」

ユーキ「確実に裏切りますよね。そしてどっちかですよね。〝なんだよ!?〟ってなるか、〝すっごく面白い！〟ってなるか」

カイ「〝なんだよ!?〟ってなった人は、もう1作遡って〝Yeー!〟を聴いてください」

リョウガ「そう考えると俺達、忙しいなぁ」

タカシ「ただ今までの超特急は、曲も、衣装も、原色がドーン！　総柄でバーン！っていうイメージが強かったですけど、今回は衣装もジャケットもパステルカラーだし。〝My Buddy〟は相棒ってだけじゃなく、友達とか、家族とか、自分の大切な存在をよりいっそう大切に感じられる楽曲になっているので、初めて聴いた方でも共感していただける部分が多いんじゃないかなと思いますね。そしてサビの〈一人じゃ見れなかった世界　僕らしか見れない未来〉は、僕たち超特急と8号車の関係にも繋がるし。聴いているときはもちろん、歌っていても、自分も明日から頑張ろうって思える。本当に素敵なんです」

■タカシくんから熱い想いをいただいたので、それぞれのグッとくるフレーズ、お気に入りの振りなどを教えてください。

4号車 タクヤ

3号車 リョウガ

Book Share ZIP
http://bszip.com

6号車 ユースケ

ユースケ「ハイ！　〝繰り返す毎日に 意味はなくても 幸せって知らぬ間に ただそこにあるもの〟は、タクヤがソロで踊ってるんですけど、歌詞と振りが合っていて好きです。その振りに意味はなくても見えるものが確かにあるし、なんか幸せを感じるというか。好きすぎてついそこだけ歌っちゃうっていう。もうね、僕が踊りたかったくらい」

■今回のセンターはタクヤくんですか？

ユースケ「タクヤと僕のダブルセンターなんです。僕はタクヤが踊っている反対側でポーズをとってるんですけど、いいなぁって（笑）」

■まさに静と動というか、これまで対照的な楽曲でセンターを務めてきた2人なだけに、パフォーマンスを見るのが楽しみです。

ユーキ「この前撮影して、まだ完成はしてないんですけど、MVを観たらこの2人がダブルセンターである意味が一番わかってもらえると思いますね。クール&ポップをテーマにした映像で、両極端に振りきれていて」

カイ「まずポップは全員笑顔で、曲の世界観にぴったりのパステルピンクなセットで踊ってるんですけど。もう一方のクールでは、衣装もセットもダークな雰囲気の中、硬めの表情で踊っていて。すごくポップなこの曲で二面性を出すというのは、気持ちいい違和感になるのかなって思いますね」

ユーキ「ポップの奥にあるものも表現していくっていうか、どっちもですよね」

■ユーキくんのお気に入りはどうでしょう？

ユーキ「自分だと、〈悲しかった 愛おしかった 君は今 素敵〉ってところは、僕が振りでわかりやすく表現しています」

ユースケ「おまんじゅうみたいなの、ねっ」

ユーキ「〝愛おしかった〟で僕、アンパンマンみたいになってて（照）。ただ個人的には、〈「人は愛し合うから 争いをするのよ」〉というのが、綺麗な歌詞だなぁと思いますね」

■そこはコーイチくんの歌声です。

コーイチ「まぁそうやなとは思いますね」

ユーキ「軽いわ～（笑）」

■歌う際に意識したこととか、見えていた景色みたいなものはありましたか？

コーイチ「なんかこう、ベンチに腰掛けたお姉さんがテレビのニュースを観ながらポロっとつぶやく感じというか。怒ってるわけではないけど、〝争いをするのよ〟って吐き捨てている画を浮かべながら歌いました」

■すごく興味深いです。今の話で憤っている空気が伝わってきましたもん。

コーイチ「そうそうそう。興味がなかったら何も思わないし。それぞれの愛のカタチがあるから食い違いが生まれていろいろなことが起こる。すべて愛するが故というか」

タクヤ「僕は〈「誰かになりたい」とか「幸せそう」ってなっちゃって／僕となら無敵〉っていう歌詞がお気に入りで。超特急の曲、まぁ全部ではないですけど、大好きなBメロがたくさんあって。〝超ネバギバDANCE〟の〈理不尽な世界に ゴージャスな理想〉も好きですし。で、この曲だとここの部分。ああなりたいって気持ちは常にあるんだけど、君とだったら別に関係なくなっちゃうみたいな。すごく素敵だなぁと思いますね」

■タクヤくん自身、理想の自分に押しつぶされそうになることがありますか？

タクヤ「それはもう日々、理想と現実の差に悩んでるし、愕然とするし。けど聴いてくれ

Book Share ZIP
http://bszip.com

13th Single
My Buddy
2017.07.26 Release
Loppi・HMV限定盤 CD ¥1,111(tax out)
通常盤 CD ¥926(tax out)

Loppi・HMV限定盤

通常盤

01. My Buddy
02. 浮つきWAVES
03. UNKNOWN…(限定盤のみ)

超特急 ⇒
ちょうとっきゅう。メインダンサー(カイ、リョウガ、タクヤ、ユーキ、ユースケ)&バックヴォーカル(コーイチ、タカシ)グループ。'12年6月、1stシングル「TRAIN」でCDデビュー。'16年10月に2ndアルバム『Dramatic Seven』をリリースした。現在、全国ホールツアー中。。

「My Buddy」は相棒ってだけじゃなく、友達とか、家族とか、自分の大切な存在をよりいっそう大切に感じられる楽曲

る人もそうだと思うんです。だから一緒に共感し合えるんじゃないかな、とも思う」

カイ「同じフレーズなんですけど、僕はそこの振りがすごくかわいくて好きなんです。今回は全体的に一緒に踊れるシンプルな振り付けになっていて。ただここはキレを出しましょう!パートなので、超特急にしかできない、いや、やろうと思えば真似できるんだけど、キレの部分では誰も追いつけないくらいやろうぜってことで、キレッキレに踊ってます」

リョウガ「僕が超特急らしいというか、等身大だなって思うのは、〈ずっと進化してゆこう無限の可能性 感じながら〉ですね。僕らには8号車というかけがえのない自慢の相棒がいるんですから、8号車のみなさんも相棒・超特急を感じながら、未来を信じて日々過ごしてほしいなと思っております」

■ではその、自慢の8号車と描く〈僕らしか見れない未来〉は、どんなものだろう?

リョウガ「他のどの音楽グループも辿り着けない、唯一無二の存在になることじゃないですかね。それこそ超特急というスタイルを確立したいってことも言ってますし」

■そう思ったら、超特急は新しい道をゼロから作っていっている感じですもんね。

リョウガ「メインダンサー、バックヴォーカルもそうですけど、目の前にあるのは道なき道だから。多くの相棒と出会いながら、どんなに険しくても切り開いていきたいなと」

■さらに今回もまた、面白いカップリングが2曲控えてます。まずはオートチューンを多用しつつ、フェイクもサラリと入っていて、多彩なヴォーカリゼーションが楽しめるダンスナンバー「UNKNOWN…」。

ユーキ「新しいですよね。最初に聴いたとき、コーイチの声じゃないと思ったもん」

コーイチ「あぁ。けどめずらしく仮歌さんの声がけっこう入ってるのよ、今回」

タカシ「コーラス部分にね」

カイ「びっくりしたぁ。〝実はタメロは仮歌で〟とか言い出すのかと思った笑」

ユーキ「歌詞がまたとてもディープで。この歌詞を振りで表現したときにはきっと、今までと違う超特急が見せられると思いますし」

カイ「そう。これをライヴで披露したら空気感が一変するだろうから、どこに入れるのかっていうのも重要になってくるよね」

■もう1曲は、ひと癖もふた癖もあるサマーソング「浮つきWAVES」です。

タクヤ「ほんとにもうしっちゃかめっちゃか騒ぐ感じじゃないですか。単純にすんごい汗かきながら踊る自分が想像できますね」

ユースケ「タオル回したいです、そろそろ。うちらにはタオルを回す楽曲がないので、でもフェスやイベントで皆さんが持ってるのはペンライトじゃないので、きっと」

タクヤ「タオルは肩にかけてるもんね」

ユースケ「あともう夏が始まっちゃったんで、8月はフェスが多いのでね、そこが勝負ですよね。そのためにも早く振りを付けないと」

タカシ「ヴォーカルとしても遊びが多い曲なので、早くライヴで歌いたい。みんなと一緒に騒ぎたいなっていう感じですね」

■メッセージ云々の曲じゃないから。

タカシ「どれだけ楽しめるかが大事な曲なので、調子乗ってなんぼ!みたいな」

ユースケ「うん。今年は自分たち主催の超フェスもあるから、みんな来てね!っていう」 B

Book Share ZIP
http://bszip.com

Beach Boys Talk

海は海でもちょっと違う？　超特急と海の話

■せっかく常夏ビーチな「浮つきWAVES」が届いたので、それぞれのビーチボーイな話を聞きたいと思いつつ、正直、超特急ってあんまり海のイメージがないんですが。

ユーキ「えっ、本当ですか?!」

カイ「じゃあ誰だよ、逆に（笑）」

コーイチ「カイは名前に海が入ってるやん」

タカシ「小笠原海、苗字も海っぽいし」

カイ「あぁ。でも僕、日焼けが嫌いで」

タクヤ「出たー!!」

カイ「日焼けしなくて、汗も掻かないなら、毎日でも泳ぎに行きますよ」

リョウガ「そしたら室内プールへ行けよ」

カイ「魚好きでいうと、ユーキだけどな」

ユーキ「ちっちゃい頃の話ですけどね」

カイ「いやいや、高3だったでしょ!」

リョウガ「熱海の花火大会のイベントに出させていただいて、ユーキとカイと僕はそのまま泊まったんですよ。で、次の日にちょっと海で遊ぼうってなったときの話です」

ユーキ「小さい魚がいっぱいいたので、手づかみで獲ろうと2時間近く格闘したんですけど完敗。しかもひどい日焼けでねー」

カイ「日焼けを通り越して、ヤケドだよね」

ユーキ「痛かったなぁ。そう思うと、コーイチは海と釣竿が似合っていると思います」

ユースケ「けどテトラポットの上でしょ?」

コーイチ「そうよ。明日か明後日にまた、いいおじさんの雰囲気を出して釣って来ます」

■要は、超特急にビーチボーイはいないと?

ユーキ「いや、タクヤはそうだよね?」

タクヤ「昔はめっちゃ好きでしたね。伊豆が一番好きだったんですけど、新島とかの島へも行ったし、ひたすら海で泳いでました」

カイ「あっ、僕、水泳は習ってましたよ」

タカシ「無理矢理入れてきたなぁ」

ユーキ「僕の父が船の関係の仕事をしているので、小さい頃、“行ってらっしゃ〜い”っていうお見送りはよくやってましたけど」

リョウガ「それも釣り寄りの話じゃない?」

ユースケ「港だもんね。ハイ。超特急にビーチボーイはいないです（笑）」

コーイチ×ユーキ×リョウガ　Buddy Talk

この組み合わせが今回のバディということで、3組3様の相棒トークです。

■3人なので若干変則ではありますが、今回のテーマはBuddy＝相棒であります。

コーイチ「意外とこの3人ってないよね」

リョウガ「号車の奇数偶数で分かれることはあるんですよ。けどその時はタカシがいるし」

ユーキ「3人だけで喋ることがないもんね」

■なるほど。そしたら自分にとってのコーイチくん、リョウガくん、ユーキくんみたいな感じで聞いていこうと思います。

コーイチ「まずリョウガはめちゃくちゃ優しくて、絶対に納得してから動くんですね。なので勝手に突っ走るメンバーも少なくない中で、いないといけない存在だし。あとは“Believe×Believe”や“超えてアバンチュール”っていうのは、リョウガのサブカルキャラがあってこその楽曲だから。そしてその要素は超特急にとってとっても大きいし、歌う際には自分の中のそういう部分を引き出してくれる人やなぁと思う」

ユーキ「僕にとってのリョウガは頼れる理解者ですね。口下手な僕のことを、動作や空気で感じて、いつもフォローしてくれていて。そしてそれは長い付き合いの中で積み重ねてきた信頼関係かなって、リョウガもそう感じてくれてたらいいなぁと思ってますね」

コーイチ「ユーキはパフォーマンスする上でいないと成立しない存在というか。でもこれは俺からじゃないな。俺にとってだとしたら、ユーキは地方でぶらっとバッティングセンターに行く遊び仲間で、リョウガはブラックジョークを言い合えるちょけ仲間やな」

リョウガ「結構僕も言うからね（微笑）」

■ブラックな仲だと。

リョウガ「黒と紫ですから」

ユーキ「（笑）。間違ってなかったですね、最初に与えられた色は」

リョウガ「僕にとってのユーキは、考え方が真逆バディですね。自分にはないアイデアを持っているので、ひとりじゃ気づけないこと、自分にはできないことをやってくれるし。さっきコーイチが言いかけたように、ダンサーとしてのこだわりが強くて、極めようとしたら本当にそれしか見えないくらい集中する、AB型の変人タイプなので。メインダンサーと打ち出している超特急としても、必要不可欠な存在だと思います。で、コーイチは、同じひとりっ子として、自由というか、わがままというか、そういったところが響き合えるなって勝手に思っていて。例えば、遠征先で街に出ずに自室にこもっているのは僕とコーイチだけだったりして。別に一緒にいるわけじゃないけど、ああ、きっとコーイチも同じなんだろうなぁっていう」

コーイチ「方向性は少し違うねんけど、協調性というものがお互いないんです」

ユーキ「僕にとってのコーイチは飯バディ。ご飯を食べに行った回数は、間違いなくメンバーの中で一番多いよね」

コーイチ「家が近いんですよ」

ユーキ「そう、それも大きいよねー。なので大切な飯バディです」

Book Share ZIP
http://bszip.com

ユースケ×タクヤ Buddy Talk

■バディとして、目の前にいるタクヤくん、ユースケくんはお互いにとってどういう存在でしょう?

タクヤ「ユースケは超特急の入り口っていうのは僕発信で言ってきましたし、常に思っていることでもあって。それはこう、僕もステージに立つ身なのでわかるんだけど、ライヴで思いきった変顔なんてなかなかできないですよ。周りの目も気になるし、いろいろな葛藤があって。けどその役割を率先して請け負って、超特急らしさを表現してくれているので。自分が持っていないものを本当にたくさん持ってる、素敵なバディです」

ユースケ「そうやって自分がライヴやイベントの入り口だとするならば、超特急じゃない活動もいっぱいしているタクヤは、メディアに向けての入り口になるのかなって思いますね。実際、草川拓弥として出演したドラマや映画から入る8号車の方もたくさんいらっしゃいますし。すべてが超特急につながるようにひとりで頑張る姿を見てると、タクヤも超特急の大切な入り口だなぁと思うんです」

■ちなみに2人でどんな話をするんですか?

タクヤ「意外と話さないかもね」

ユースケ「2人だけってことがまずないし」

タクヤ「すごい勝手なんですけど、僕はユースケのことをすごくわかっているような気がしてて。まぁそれはユースケに限らず、今この人は何を思ってるんだろう?って考えるのが好きっていうか、感じ取りやすいので。だからユースケのことも話さなくてもわかるんだよなぁと、僕は勝手に思ってますね」

ユースケ「(照)。でも自分もそうかも。お仕事をやるときはやる、遊ぶときは遊ぶ雰囲気をタクヤはちゃんと作ってくれるから、話さなくてもわかるっていうのは、うん、通じるものがあります。ただわからないときは自分から話をしますし、“なんで?”ってその場で聞きますし、逆にタクヤに対してはそういう疑問がないんだと思う。実は昔、一緒にやってたグループがあって、なので付き合い的にはかなり長いんですよ」

タクヤ「そうだね。当時はそこまで話さなかったとはいえ、一番昔から知ってるメンバーは間違いなくユースケだから」

■それはいくつくらいの話?

ユースケ「事務所に入りたての頃なので、僕が中学1年生の13歳だったかな。だから不思議ですよ、今、こうして超特急としてずっと一緒にいるのが。タクちゃんはEBiDANに参加してなくて」

タクヤ「そう。最初はやってなかったから」

ユースケ「なのに超特急に入ってきたから、あれれ?みたいな。けど昔からの仲間ともう一度!ってなったときは嬉しかったですね」

■2人が一番長い付き合いだったのはほんとに意外だったし、しかも今作はこの2人がセンターを務めるわけですから。

ユースケ「はい。ダブルのセンターになって」

タクヤ「だからこれまで以上にとっても楽しみなんですよね、今年の夏は」

カイ×タカシ Buddy Talk

■この2人はあまりない組み合わせな気がするのですが。

カイ「確かに。キャンペーンとか、テレビとか、表立って2人ですることはないかも。普段は普通に一緒に遊んでますけどね。基本、俺が勝手にちょっかいを出してる」

タカシ「(笑)。まぁそんな感じですね」

■ではバディとして、目の前にいるカイくん、タカシくんはどういう存在でしょう?

カイ「タカシは俺のアロマなんで、癒されてます。真面目なのか不真面目なのか、頭いいのかバカなのかわかんない。というか、その両方を持っているから面白いんですよね」

タカシ「遡ると、超特急を結成するもっと前、まだ話にも出てない頃に、一番最初に僕に喋りかけてくれたのはカイなんですよ」

カイ「懐かしい。レッスンのときだよね。タカシが東京慣れゼロで、挙動不審だった」

タカシ「うん。カイの社交的なところはまったく変わらないですね。だから超特急のメンバーの初顔合わせのときも、“カイくんがおる。よかったぁ”って安心した思い出がある」

■その安心している画、目に浮かびます。

カイ「(笑)。わかるでしょ? だってメールが来たもん。“一緒のグループやな、よろしく”って、キラキラな絵文字と一緒に」

■対照的な相手だからこそ尊敬すること、羨ましいなぁと思うことはありますか?

カイ「良くも悪くも真面目なところ、かな。何事も真正面でとらえて、真っ直ぐに向き合って、自分の力で解決していこうとする姿は、本当にかっこいいと思いますね。まぁ“タカシやで”の挨拶は毎回スベってますけど」

タカシ「ちょいちょい!」

カイ「僕はもう、あれは自己紹介じゃなくて一発ギャグだと思ってるんで」

タカシ「ちょいちょいちょーい!(笑) 僕はその、頭がキレるところも素敵だと思うけど、一番尊敬してるのは、ホジティブ精神で多少のネガティブはすべてポジティブに変えていけることですね。自分はどうしてもネガティブから始めてしまうから」

■最初に意外な組み合わせって言ったけど、実はすごくバランスのいい2人なんですね。

タカシ「全部を言わなくても大丈夫、わかってるし、わかってくれてるっていうか」

カイ「そうね。なんとなく落ち込んでるなぁと思ったら、肩ポンポンくらいはしますし」

タカシ「うん。される(照)」

カイ「タカシは自力で這い上がってくるってわかってるから。例えば、5m落ちてるとしたら、僕は30cmのはしごだけ差し出せばいいのかなって思ってます、感覚ですけど」

タカシ「ちゃんと信頼されてるってわかってるから、頑張れますよね」

カイ「そう考えたらさ、全然違うからこそ面白いことができそうだよね。んー、あっ、2人でトークショーとかしてみたいですね」

タカシ「迷惑をかける気しかしないけど、一緒にキャンペーンを廻っても楽しそう」

カイ「青と純白だったら色合いも夏っぽいし、爽やかな曲のときに一緒に廻れたら!」

Book Share ZIP
http://bszip.com

L i S A

Bookstore ZIP
http://bszip.com

LiVE is Smile Always
～LiTTLE DEViL PARADE～
2017.06.25 さいたまスーパーアリーナ

4thアルバム『LiTTLE DEViL PARADE』を
引っ提げて廻った初のアリーナツアー。
LiSAの声、言葉、表情、
パフォーマンス――そのすべてから放たれる
ポジティブなパワーが
会場の隅々まで満ちわたる。
心に牙を、唇には歌を!
等身大のLiSAの剥き出しのハートが
歌に乗ってまっすぐにぶつかってくる。
さいたまスーパーアリーナ2daysの
2日目をレポート!

Text ⇒ 大西智之
Photo ⇒ 上飯坂 一

Book Share ZIP
http://bszip.com

※写真は6/24のものです。

ライヴ中盤。LiSAが場内を埋め尽くす1万6000人のオーディエンスに向けて晴れやかな張りのある声で言葉を放った。

「みんな牙が心に生えているから〝LiTTLE DEViL〟なんだよね？（自分には）牙がある、でも……」

その問いかけに、観客席にいる彼ら、彼女らは心からの声を返す。

「愛されたい！」

〝牙がある自分。でも愛されたいと思っている自分〟。それは人と違うところ、普段から嫌なことや誰にも言えないこと抱えていること。それらを含めた等身大のままこれからも生きていくという宣言であり、その自分を愛してほしいという願いがあった。そして、これだけの人に囲まれ支持され、笑顔でいるLiSAの姿は〝牙を生やしたまま生きてきた先に幸せがあったよ〟という、同じ想いを抱える人たちの未来を照らす光でもあった。

6月25日。アルバム『LiTTLE DEViL PARADE』を引っ提げ、全3会場4公演のアリーナツアー『LiVE is Smile Always～LiTTLE DEViL PARADE～』の3日目にして、さいたまスーパーアリーナ2daysの2日目のことだ。

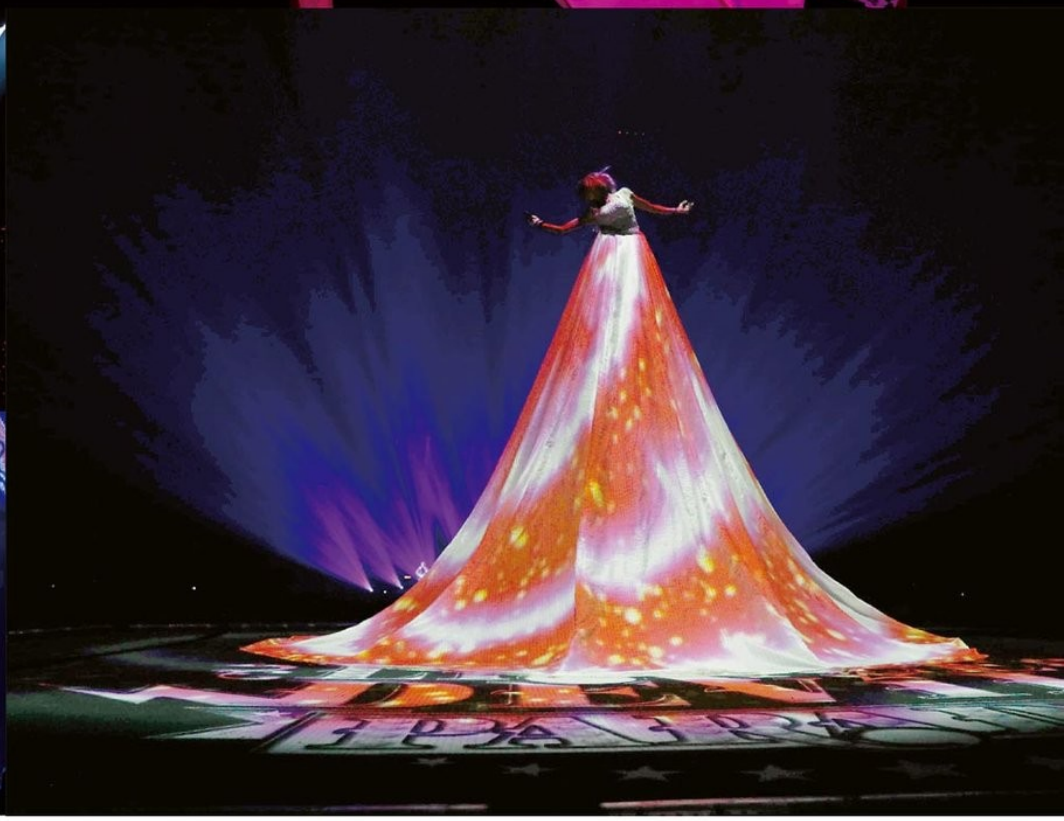
＊

開演前の場内にはこれから始まる時間への高揚感が漂っていた。設置されたステージからはアリーナ中央くらいまで花道が伸び、その先端は上手、下手へと広がっている。

ほぼオンタイムで電気が消え、スクリーンにオリジナルのアニメが流れ始めた。映像の中で、女の子が集団で遊ぶ子供たちに言う。

「わたしも一緒に遊んでいい？」

BookShare ZIP
http://bszip.com



「もちろん」と受け入れてくれたことに女の子が笑顔を見せると、口元に八重歯が覗く。

それを見た子供たちが「牙だ」「怖い！」と逃げて行ってしまい、残された女の子は内から溢れた〝黒い感情〟に包まれてしまう。そこで照明がステージを浮かび上がらせた。

そのセンターには、ギターを抱えたLiSAが立っている。

「さいたま――！」。LiSAの叫びを合図に〝黒い感情〟をそのまま音に転化したような、重く剥き出しのサウンドが響き渡る。オープニングナンバーは「LOSER ～希望と未来に無縁のカタルシス～」、オルタナティヴロックから直で繋がる衝動的な音楽だ。ギターを掻き鳴らし歌うLiSAの声は深く歪み、そのヒリついた歌は〝自分を〟LOSER〟としながら、例え小石でも牙となれ、血の味がしても生き残れ、と訴えかけてくる。お人好しが命取りになるような現実を闘い抜く、そんな力が宿る。続く「Brave Freak Out」、スピーディで強いサウンドと歌が押し寄せる。LiSAが花道へ進み出て歌い、観客はピンク、グリーンのライトを頭上に掲げ、〝Oi Oi〟と声を上げる。メインステージでは炎が吹き上がっている。

一人ひとり違う個性の集まりであるさいたまスーパーアリーナいっぱいの〝LiSAッ子〟たち。ここにあるのは、傷の舐め合いでも馴れ合いでも、日常に馴染めない人間が集まる閉じた世界でもなく、オープンで、独りで立つそれぞれが、ありのまま存在できる空間だ。その先頭をLiSAが走ってアジテイトし、背中を押し、等身大のまま自由にいることで、これでいいんだよとメッセージしていく。オーディエン

Book Share ZIP
http://bszip.com

LiSA

スもそんな彼女に憧れ、声を合わせる。ステージにも、客席にも、笑顔が広がっている。

ダンサーチーム〝メガビーナッツ〟を呼び込んで、1.5（イチゴ）ダンスの振りを伝授してから、「Merry Hurry Berry」へ雪崩込む。スウィングするピアノと弾むリズムと歌。そこに全員の振りが加わり、ポップでカラフルでピースな空気が生まれていく。そして、「Peace Beat Beast」ではピコピコハンマーを振り回しながら、LiSAが花道を歩く。先にあるのは、小さいドラムセットだ。そこに仕込まれたドラムパッドを彼女が叩くと〝ピース〟〝イエイ〟〝ピコ〟とサンプリングされたLiSAの声やポップな音が鳴る。そのリズムワークで楽曲に色を加えつつ、コール&レスポンスでも大活躍させる。

そんな楽しみの余韻が残るアリーナに、ヒグラシの鳴き声が響き、ピアノの音色がそっと鳴り始める。バンドサウンドが重なり、観客がオレンジのペンライトを灯してアリーナを染める。浴衣をアレンジした衣装を着て登場したLiSAが歌い、鍵盤ハーモニカを演奏して届けたのは「オレンジサイダー」だった。キュートな恋心が胸に飛来する。さらにチョッパーベースのエッジーな演奏でピリッと引き締まった世界にLiSAが尖った歌を轟かせた「the end of my world」では浴衣衣装のままスリリングなパフォーマンスを披露する。

その熱と勢いを渦巻かせたまま、「Psychedelic Drive」まで駆け抜けたLiSAとメンバーは一度ステージを後にした。

暗転したステージに、オープニングのアニメーションの続きが流れる。

あの女の子は悲しんでいた。

「私、みんなと違うから仲良くなれないの」

そう話す女の子に、デビルコウモリのバットンが訊く。

「ふーん、違うことの何がいけないのかわかんないけどさ、で、何が違うって？」

「牙……私、牙があるんだもん」

その答えに笑い出したバットンが告げる。

「なに言ってんの？　牙なんて誰にでもあるじゃん！　なあ、みんな？」

そこで登場したのは、牙を持つたくさんのリトルデビルたちだ。彼らは女の子に答えをくれる。愛されるためにどうするのか？

答えは、〝人と違う自分を愛すること〟だ。

＊

花道の先に現われたバットンが大きなレバーを操作すると、「キモチファクトリー」のカラフルな音とリズムが弾け出す。

頭にデビルホーンをつけてステージに登場したLiSAが叫ぶ。

「デビルをいっぱい連れてきたよ――！」

現われたのは、ホーンや牙、タコのようにたくさんの足がついた衣装を身につけた、様々な外見のメンバー&ダンサーたち。彼らを率いて、LiSAが花道をパレードしてくる。

あの女の子が気にしていた牙は、バンドメンバー&ダンサーたち全員にあるわけではない。でも、そこは問題ではない。

「みんな牙が心に生えているから〝LiTTLE DEViL〟なんですよね？」

そして、八重歯、眼鏡、黒髪、茶髪、今日ちょっと嫌なことがあった人……たくさんの〝違い〟をLiSAは観客に投げ、それにオーディエンスが声を上げて応える。

そんな場内に、ホーンのゴキゲンな音色が

Book Share ZIP
http://bszip.com

01. LOSER　～希望と未来に無縁のカタルシス～
02. Brave Freak Out
03. oath sign
04. Merry Hurry Berry
05. JUMP!!
06. Rally Go Round
07. Peace Beat Beast
08. オレンジサイダー
09. the end of my world
10. Empty MERMAiD
11. Psychedelic Drive
12. キモチファクトリー
13. そしてパレードは続く
14. リングアベル
15. シルシ
16. LiTTLE DEViL PARADE
17. コズミックジェットコースター
18. ROCK-mode
19. Rising Hope
20. Catch the Moment
21. TODAY
〈ENCORE〉
22. だってアタシのヒーロー。
23. Hi FiVE!

LiSA ⇒
リサ。岐阜県出身。6月24日生まれ。B型。'10年、TVアニメ『Angel Beats!』の劇中バンド"Girls Dead Monster"の2代目ヴォーカル・ユイ役に抜擢される。'11年4月、ミニアルバム『Letters to U』でデビュー。

軽やかに響く。曲は「そしてパレードは続く」。LiSAとバンドメンバー、ダンサーがステップを踏みパレードする、オーディエンスは飛び跳ねストンプを踏み、腕を振り上げ、声を上げることでこのパレードに参加する。

オーディエンスがペンライトを消し、シャンデリアがひとつ灯るだけという薄暗い空間がさいたまスーパーアリーナに現われる。そのただ中でひとり、LiSAがアカペラで「リングアベル」をワンフレーズ歌う。そして「みんなの寂しい夜が幸せの魔法で包まれますように」という言葉を挟む。アコースティックギターとオルガンの優しい音色の中、LiSAの澄んだ歌声が水を打ったように静まった会場に鳴る。寂しさと祝福が混ざった歌だ。その最後、観客の歌声が重なる。幸せを祈る想いが広がっていった。さらにピアノの音色が導いた曲は「シルシ」。花道の先端にいるLiSAの歌だけが広大な空間に響き渡る。数メートルのロングドレスを身に纏い歌われる歌は、強さと大きさを増し、会場の空気を震わせてすべてを包み込んでいった。

「大人になるにつれてたくさんの人に出会って。言っちゃいけないことのような気がしたり、心に芽生えている感情が悪いことのような気がして閉じ込めてしまう気がします。だけどその分、人と生きていきたいな、と望んだりします。そのどっちが正しいんだろうなって想いながら生きていくのは大変。だけど今日はそんな感情を持ったLiTTLE DEViLばかりです。君が思っていることは何も間違ってないよ、ここにいる時間はちょっとだけ我が儘な自分になってもいいよ。そんな自分を愛してあげられますように」

LiSAのMCから入った、「LiTTLE DEViL PARADE」。LiSAが纏っていたロングスカートが外れ、彼女がリフターの小さな円形の板の上に乗っていることが露わになる。そしてさらに上昇するリフターの上で彼女はストロングな声を響かせオーディエンスを引っ張っていく。ビルの10階に達しそうな高さで歌うLiSAの姿は1万6000人が掲げるシンボル、そのものだ。

ライヴはこのあと、ラストに向かって怒濤のごとく、抵抗不可能な力で押し寄せてくる。

そんな本編が行き着いたのは、「TODAY」だった。それは、素直な歌だ。飾らず、虚勢も張らない歌。相変わらずもがきながら、でも牙を剝きだしにして生きてきた先に幸せがあったよ、自分を前より少し愛せるようになったよと報告する、現在のLiSAから届く手紙のような歌だった。

アンコール。ここで新曲「だってアタシのヒーロー。」が披露される。しっかりとしたリズムと共に、エールが届く。一緒に未来へ走りたい、と想わされるような曲だと感じた。

＊

〝人と違う自分を愛すること〟ってやっぱり難しい。

でも、その違いを抱え続けて、人とうまくやるために葛藤しながら、そんな自分や、違った個性を持った相手を少しでも愛せるようになれば、それは幸せなことだ。

そうやって生きてきたLiSAがライヴという場所で照らした道は、簡単なことではないけれど、この音楽が好きな自分や、同じ音楽で心を震わせる隣りの人はきっと受け入れられる。そう思えた。

BookShare ZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

百火撩乱

4月からの全国ツアー『Kalafina “9+ONE”』を
終えたばかりのKalafinaから
21枚目のシングル「百火撩乱（ひゃっかりょうらん）」が届いた。
勇ましさや凛々しさの中に感じる、
かすかだけれど確かな希望、
そして儚さ——単一色ではない、
様々な心の機微を感じさせるハーモニーと
詞世界、深みのあるサウンドに
どっぷりと浸れるナンバーに仕上がっている。
TVアニメ『活撃 刀剣乱舞（とうけんらんぶ）』の
エンディングテーマでもある本作に込めた想い、
歌声での表現についてじっくり語ってもらった。

Text ⇒ 大西智之

Book Share ZIP
http://bszip.com

Kalafina

■ニュー・シングル「百火撩乱」が完成しました。表題曲はTVアニメ『活撃 刀剣乱舞』のエンディングテーマでもありますが、届いた時、どういう楽曲だと感じましたか？

Keiko「アニメ作品のシーンを想像させたり、ファンタジックで、色合いや質感が先行して見えてくる楽曲なんですよ」

■『刀剣乱舞』、もとはゲームですね。

Wakana「そこからミュージカルや舞台にもなっていますよね。そういう作品に携われるんだな、っていうドキドキはありました。初めて聴いた時は本当に格好いいなって。特に、曲の最初の歌い出しにドキッとしましたね。楽器の方々のレコーディングを経て、ドラムのどっしり感だったり、胸に響く部分が変わったんですよ。そこで歌も変化しましたし、3人でレコーディングして、さらに格好良さが引き立ちました」

■テンポ的にはさほど速くないんですけど、リズムの力強さが印象的ですね。

Keiko「仮歌を歌った時と本番のレコーディングでバンドのサウンドが全然違ったんです。仮歌では、静かに始まっていくイメージで歌っていたんですけど、そんな優しい曲ではなかった(笑)。常にしっかり、凛とした声を残しておく。そういう勇ましさ、凛々しさがある曲になりました。イントロに入るフルートが〝和〟を感じるように、日本の筋が通った美しさ、というか。ジャケットワークもそうですよね。それを声でも出したくて、ひたすらブレずに凛々しくいたい、と思って歌いましたし、そういう曲だと思います」

■ウインドチャイムの音色から始まって、和を感じるフルート、壮大な弦のアンサンブル。

常にしっかり、凛とした声を残しておく。
そういう勇ましさ、凛々しさがある曲になりました。
イントロに入るフルートが〝和〟を感じるように、
日本の筋が通った美しさ、というか。
ジャケットワークもそうですよね。
それを声でも出したくて、ひたすらブレずに
凛々しくいたい、と思って歌いました

そしてハープは美しくて。イントロからいろんな表情がありますね。

Keiko「イントロはどんどん派手になっていったんです(笑)。どこまでもいきたくなる世界観を持ったアニメーションですし、梶浦(由記：プロデューサー。Kalafinaの全曲の作詞、作曲も手がける)さんの中で変化していったんでしょうね。だから歌う時もつい感情的にしたくなるけど」

Hikaru「激しく歌いたくなるけど、それをしないのがこの曲ですね」

Keiko「そう。我慢、って感じ(笑)」

■感情を抑えているから、ギターリフやドラムの重いリズムに歌がからんだ時、力強さの中にまず凛とした空気が出るんですね。

Hikaru「歌は全編でレガートに歌っていて」

□緩のリズムを感じるサウンドに対して、歌は言葉で切らずに、滑らかに繋がってます。

Hikaru「私はリズムをガシガシ歌う部分を担当することが多いですし、全編、流れに身を任せながら歌う歌い方は、この曲ならではだな、と感じているんです。そんな曲をいただいた時の感想ですが、もともとゲームの『刀剣乱舞』をプレイしてたこともあり思い入れが強くて。歌詞を読んで、意味を想像して泣きそうになるところが結構あったんですよ。でも歌う時は感情の起伏をグッと抑えて、強さと美しさがある曲にしたかったんです。ただ、途中のメロディが変わる箇所だけ違うんですけどね」

■〝花のように〟から始まるDメロですね。

Hikaru「あの部分は、梶浦さんからディレクションいただいて、ガシガシ歌っております(笑)。ここは〝男士〟ですね。〝刀剣男士〟の戦闘シーンのイメージです(笑)」

■歌詞ではどこに惹かれましたか？

Hikaru「始まりの〝夢を見て僕らは泣いた〟からもう深読みしたくなります！(微笑)熱いものと冷たいものが同居している感じが言葉の端々に見えるし、それが曲のいたるところから感じられたんです」

■思いを残したまま心が散っていく、という儚さ。いつか焔は天に届く、という希望や願い。いろんな感情が出てきますよね。

Hikaru「それが過去のことなのか、今のことなのか、という考察も出てくるんです」

■そうか、時間を超える物語だから。

Hikaru「そういう曲だから、自分ひとりの解釈——もちろん歌には、ひとつの解釈として込めたんですけど、聴いてくれた方が捕らわれないものにしたくて。余白を残しておく、ということを心がけました」

■Kei koさん、Wakanaさんが言葉で感じたことは？

Keiko「全体的に悲しくなるんですよね、滅びへと駆け抜ける、散っていく……。ただ、それを主人公は淡々と受け入れて歩んでいて。悲しみを前面に出しながらも確かに進んで、闘いに行こうという、その生き様がものすごく儚くて格好いい、と」

Wakana「ホント、悲しい部分が多いですよね。だから私はあえて笑顔で、言葉をハッキリと柔らかく歌いたかったんです。後半に出てくる、〝思いを残したまま　心は散って行くけれど〟は特に、結果として深みが出たんですけど、悲しみではない方向をイメージたんです。〝終わるはずじゃなかったけれども〟というイメージでした。〝泣くはずでもなかったけれども涙が出る〟とか。歌詞の一つひとつに、そういう逆説的な感情を感じたからそれを表現するのが難しかったですし。だからこそMVでも歌う時に笑顔で想いを残してもいて。希望だけは残したいという気持ちで歌いました」

■最後の2行にある〝夢が今も空を焦がす〟のラインは希望が含まれるのかな、と。

Wakana「うん、〝天に届く〟と言ってますからね」

BookShare ZIP
http://bszip.com

Keiko「その希望も絶対的なものではなくて、ギリギリかなと思う。でも男の子が主役だし、このギリギリな感じが男っぽくていいですよね」

Wakana「潔い感じがね」

■さらに歌について掘り下げてみたいんですが。Keikoさんのリードヴォーカルから入っていきますね。そこでのポイントは感情を抑えるところだったと。

Keiko「全体的に、熱い気持ちはあっても表に出さない色合いを感じたし、歌に、凛としたブレない筋があるどっしりとした声がいいな、と思ったんですね。それは、仮歌の時の印象で静かに始まるイメージで作っていったんですけど、楽器を録り終えたサウンドに当てた時に〝負けますね、梶浦さん〟というお話をして、想定していた以上に強くスタートさせた結果でもあるんです。こういうレガートな歌で力強い曲調って、ビートはきちんと刻まれているのに、そこに当てないというさじ加減が難しくて。感情の表現はアクセントより、常にしっかりとした凛とした声を残しておくっていう部分でして。それが勇ましさ、凛々しさになりました」

■歌い出しにあたる1番のAメロはどっしりしていますが、2番のAメロは表現が違って。

Keiko「実は2番のAメロって、梶浦さんが〝落ちサビ〟に入れるような内容を綴っているんです。2番のAメロで主人公の心情がリアルに描かれている。だから、感情的になってほしいというリクエストもあったんです。しかも、歌詞とミュージシャンの演奏の一個一個が構築されていて。それを感じたからオケを聴き込みました。オケはここで落ちるんだ、ここでシンバルが入るんだとか理解して、音に合わせて歌も梶浦さんと綿密に作っていきました。結果、1番のAメロは意志を伝えながらスタートを切っていくような歌唱法になったし、2番のAメロは内に秘めた想いを表現する歌になりました」

■HikaruさんはDメロの凛々しい歌に加えて、2番Bメロの〝守りたいと思うのは〟のブロックはまた違った温度感ですね。

Hikaru「そこは、守ってあげなきゃいけないな、という何かに対して持つ感情が表現されているので。熱さというより、温かみを出したいな、という気持ちもありました。ここで少し柔らかさを出しておくことで、次の強さも際立つな、と。だからクレッシェンドしていって、勢いも声量も上げていきました」

■そして、1番AメロのKeikoさんを支えるコーラスも聴きどころです。

Hikaru「ここまでKeikoさんのヴォーカルにベタづきでハモをするシングル曲はなかったですしね。ただ私の場合、支えるというより一緒にいるというか……太刀の隣りの〝脇差〟。〝堀川国広〟みたいな感じですね（笑）。Keikoさんの隣りに控えております、というイメージ」

Keiko「心強い（笑）」

Wakana「その関係でいくと、1番Aメロの私はフタ？　あれ？……鞘です、鞘！（笑）この歌い出しって大好きなところで。その中で私は、一緒にいるようでいて、寄り添い過ぎているわけではない、というのが面白いんです。で、光で包む感じ。キラキラさせたかったんです」

■1番AメロのWakanaさんのコーラスアプローチも新鮮に感じましたよ。

Wakana「技術的には息が多めってことなんですけど、それよりも気持ち的な部分で。私がここで表現する存在は人間ではない何か、でありたかったんです。いろんな出来事がある中、それでも前に進む主人公に、人間ではない何かがそっと大丈夫、って耳元でささやいている感じ。そんな気持ちをキラキラと伝えるというコーラスをイメージしていて。だから実体感をあまり出したくなかったんです」

■サビの歌も格好いいです。Dメロの最後でWakanaさんが歌う〝砕けた夢の後〟という高音の歌も強いアプローチではなくて。

Wakana「サビでは世界が速く動いている中で自分だけゆっくりと振りかざすイメージでいたから、重たく歌いたかったんです。Dメロに関しては〝夢の後〟という、すべてが終わった後という悲しい叫びをイメージして。そしてこのフレーズの切り際は、2Aから入ってくるKeikoの歌への繋ぎも考えました。被せるわけでもなく、早めに切るのでもなく。それこそ刀をシュッと鞘に収めるような繋ぎでありたかったんです」

Keiko「全体的にWakanaちゃんは、『Alafina with Strings』スタイルのアコースティックコンサートが活きているね。ハイハモもあのコンサートで、強くもなく弱くもなくっていうところの中間を詰めていった結果なのかなって（微笑）」

Wakana「そうなの！」

■という「百火撩乱」のカップリングには2曲用意されていて。まず「カンタンカタン」は、擬音語を含む不思議なタイトルの1曲。

Keiko「タイトルの響きが可愛い（笑）」

Wakana「静かでゆったりとして、言葉数も多い楽曲ですね。景色がイメージできるというか。いろんなことが日々起きる中で、少し休んでみることも必要だよ、って言ってくれているし」

Keiko「梶浦さんが列車の旅を想像しながら作ったっておしゃってましたよね」

Wakana「だから景色をただ見ているだけでも自分の心が洗われて、明日頑張れるという活力もあって。少し悲しいメロディなんですけど、歌詞は温かい。私は出だしの〝晴れ渡る九月の眩しさ〟という景色を感じて、優しさより笑顔で明るい気持ちを歌に出したいと思ったんです」

■九月の景色の後に描かれるのは、ココロは空っぽ、という心情です。

Wakana「でも、曲の最後はとても綺麗な1日だった、と感じているから！（微笑）　それに私は、ココロが空っぽであることって悪くないと思うんです。いいものをいっぱい詰められるし。重たいカラダを手放したい、ってこの主人公は思っているわけですしね」

Keiko「この曲は歌うのと、聴くのとではあまりにも違って。聴いていると、リラックスできる楽曲。電車に揺られている心地良さの中、何もしなくても運んでいってくれて、景色がどんどん変わっていく。そんなリラックス感が、テンポとかコードにあって。例えばサビに行く直前の、〝向こう〟とか〝行くよ〟という私とWakanaの4度のハモリが絶妙だったり。でも、いざ歌うとなるとリラックスしてレガート感で歌ったら駄目で（笑）。リラックスして曲を楽しんでもらうためには、滑舌だったり、サウンドのグルーヴに当てていくポイントだっ

BookShareZIP
http://bszip.com

たりを注意して。特に私が担当する下のハモは、ブレずに。ずっとシェイカーを振っている感覚で歌っていく。摑んだら早いんだけど、それまでキチンと積んでいきたいと思わされた、難易度の高い、すごく好きな曲です」

■ゆったり走る列車のリズム感のようなものが曲に漂っているから、リズムに対する角度は大事なんですね。そして〝重たく抱え込む〟から始まる2番Aメロは Keikoさんがメインヴォーカルですが、表情が変わります。

Keiko「ここは梶浦さんとどっちの方向で攻めるか本当に悩みました。〝やさしいうた〟や〝春を待つ〟のようにソフトな感じで言葉を乗せて、リラックス効果を高める歌い方をするのか。歌詞で抱えているものを今日は置いてきたとハッキリ言ってるからその心情をダイレクトに抑揚を付けて歌うのか。これは好みだね、って言いながら時間をかけて。ここまで2人で考え抜いてレコーディングしたのは、100曲を超えて初です」

Hikaru「2番Aメロの〝燦々と〟の歌い方がすごく好き！」

Wakana「うん、このメロディラインいいよね！」

Keiko「そこ悩んだ！ で、今のベストな形になったし、忘れられない曲になりました」

■ここはリバーブをかけていたり、そういった部分も細かく詰められてますね。Hikaruさんはどういう曲だと感じましたか？

Hikaru「気怠げな感じの曲だな、というのが私の感想なんです。私のオフの日はほとんどこういう気怠さで。家で、何もせず、とりあえずリセットする時間みたいな。そういう自分を1回別の場所に置こうという感じを歌の中に入れたら、予想以上に私のパートが（テンポに対して）後ろにいっていて。OKを出して下さったから、それで良かったんだ、と（笑）」

■Wakanaさんは笑顔で明るく、Hikaruさんはオフの時間……。メロディに漂うもの悲しさに反して、休暇の時間を感じさせられるのは、そういうところからでしょうか。でもこの曲、落ち込んだ時に聞いたらどう感じるんでしょうね。

Hikaru「寄り添ってくれると思います。その時その時の聴く人の気持ちに」

Keiko「ねっ、優しい曲だよね」

■確かに、優しい音楽。歌詞に擬音語が出てくるけれど、そこにどんな感情が乗るかも聴き手の感情次第だったりするんでしょうね。

Hikaru「〝カタンカタン〟とか〝カラカラ〟とかね。擬音語では〝ふわふわ〟のところのハモを歌う時、とてもふわふわさせていて、ほとんど息でした（笑）。主旋律のWakanaさんがちゃんと〝ふわふわ〟と歌ってくれてたから、私はふわふわ感を増幅できればいい、と思って」

■そのおかげで風にゆられて漂っているような感じが出ています！

Wakana「そう言えば私、最後だけ悲しく歌ったんです。〝とても綺麗ないちにちだったね〟という希望が溢れている言葉だし。とても静かに終わるので、寂しく」

Keiko「私、最後悲しくなったもん」

Wakana「ギャップなんですよね。歌詞が悲しければ明るく歌いたいし、とても明るければ寂しく歌ってみたいっていう。それがハマった曲でした」

■そして3曲目が「とんぼ」。シンプルでス

Book Share ZIP
http://bszip.com

ローな1曲で……悲しくなりました。

Keiko「〝百火撩乱〟も悲しさを纏っているから」

Hikaru「図らずも、悲しい時に聴くと寄り添ってくれる曲が集まったシングルになってますね」

Wakana「そうだね。私はまず、メロディの雰囲気でイメージを受け取るんですけど、〝とんぼ〟は、静かで、それぞれの息づかいが感じられる曲だな、と思ったんですね。その時のイメージは寂しさというよりゆったりソファーの中に沈んでいくような感じ。その後、歌詞を見て本当に悲しくなりました。で、レコーディングはピアノの櫻田（泰啓）さんと私たちの4人で同時に〝せーの〟でさせてもらったんです。その時、櫻田さんのピアノの指が語っているようなあの音にグッときて。一人ひとりの歌い出しでの、ためらい感だったり潔さだったりが感じられて。張り詰めた空気の中、みんなでメロディを繋いでいくっていう。それが本当にいいなと思える、楽しいレコーディングだったんです」

■そういう音の会話によるレコーディング。だから1番のサビが終わって、次の歌い出しなんて休符の長さも表現というか。

Hikaru「あそこは好きなタイミングで入っていいよ、って梶浦さんがおっしゃって。録った時の自分の気持ちの長さです」

Keiko「自分たちの活動の歩みをレコーディングをしていて感じましたね。一発録りの張り詰めた緊張感の中で、どこまで曲の世界に入り込めるかが大切なんですよ。入り込めなくなるといろんなことを考えてしまうし、言葉や歌唱に迷いがダイレクトに出て、それが連鎖もするんですね。少し固いな、と誰かが感じて歌っていたら、それが伝わっていく。そういうシンプルな曲の難しさをもう1回思い出しました。〝とんぼ〟という楽曲に対しては、8月のリリースということで季節を感じられるワードを入れてくださっていて。その中での主人公2人の世界。それは小さな世界なんだけど、とても大切で守りたいんだろうな、っていう。そんな想いを丁寧に歌いたかったんですね。だから、小さな世界をどれくらい豊かに響かせられるかに集中しました。言葉選びもわかりやすいですし、その人の感情を繊細に綴っている歌詞ですよね」

Hikaru「8mmとか16mmとか、フィルムの無声映画のような。カタカタカタカタって映写機が鳴っていて、映し出されるノイズの入った画面には2人がいて。そういうイメージを抱いたんです。この2人の気持ちを歌うというより情景を歌う。こういうことが起きている、っていう〝語り〟のような歌を思っていました」

■で、この2人って……〝

Wakana「最後に、塞ぎ込むことにするんです」

■寂しさに追いつかれないなら、その閉じた世界も2人には優しいのかもしれないですね。

Keiko「そうなんですよね、いろんな世界があるんだな、と」

Wakana「3曲並べると、よりいろんな世界があると思うよね」

Hikaru「質の違う悲しみがある3曲。そして、時々の気持ちに寄り添ってくれる曲が詰まったシングルになりました」

初回生産盤A

初回生産限定盤B

通常盤

期間生産限定盤

完全生産限定アナログ盤

New Single
百火撩乱
初回生産盤A CD+DVD ¥1,389（tax out）
初回生産限定盤B CD+BD ¥1,575（tax out）
通常盤 CD ¥1,204（tax out）
期間生産限定盤（アニメ盤） CD+DVD ¥1,575（tax out）
完全生産限定 アナログ盤 ¥1,389（tax out）

［CD］
01. 百火撩乱
02. カンタンカタン
03. とんぼ
04. 百火撩乱 -instrumental-
05. カンタンカタン -instrumental-
06. とんぼ -instrumental-（アナログ盤のみ）
07. 百火撩乱 -TV Size-（期間生産限定盤／アナログ盤のみ）

Kalafina ⇒
カラフィナ。Wakana、Keiko、Hikaru。梶浦由記プロデュースによる、劇場版『空の境界』主題歌プロジェクトとしてスタートしたヴォーカル・グループ。'08年、シングル「oblivious」でデビュー。'17年9月と10月に世界遺産である、日光東照宮の陽明門竣工、興福寺の中金堂再建を記念しての御奉納公演が決定した。

Book ShareZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

天月 ―あまつき―

Mr.Fake／ツナゲル

動画共有サイトで「歌い手」としてのキャリアをスタートさせ、少年っぽさを残すハイトーンヴォイスとファンタジックな世界観で人気を集めている天月-あまつき-。今やインターネット上のみならず、舞台や声優などマルチな活躍を見せている彼がメジャー3rdシングルをリリース。実写シリーズ『トモダチゲーム』の主題歌である「Mr.Fake」、復興支援プロジェクトのテーマソング「ツナゲル」という異なる色合いの楽曲を収めた両A面シングルについて、そして彼の音楽活動のスタンスや信念にも触れたロング・インタビューをお届けします。

Text ⇒ 山口哲生
Photo ⇒ 青木早霞(PROGRESS-M)
Hair&Make Up ⇒ まわたりゆう
Styling ⇒ 石山貴文

Book Share ZIP
http://bszip.com

■メジャー3rdシングル「Mr.Fake／ツナゲル」のお話を伺っていこうと思うんですが、まず「Mr.Fake」が、ドラマ・映画『トモダチゲーム』の主題歌になっていて。こちらには天月-あまつき-（以下、天月）さんも〝マナブくん〟役で出演されていますが、これまでリリースしてきた楽曲とは違い、闇を感じさせるものになっていますね。

「この曲は『トモダチゲーム』のお話をいただいてから作り始めたんですが、今回は普通のテレビ尺とは違って、89秒ではなく60秒で映像が流れるということだったんですよ。ただ、J-POPって、だいたいAメロ、Bメロ、サビの流れになっていますけど、それだと普通に1分を超えてしまうんですよね。そこにイントロも含まれるわけですし。だから、普段よりも短い時間の中で、どれだけの衝撃をしっかり与えられるか？というのを考えていました」

■歌詞は天月さんも共作されていて。

「『トモダチゲーム』という作品は、友情がテーマにありつつも、嘘とか隠し事とか人間の汚い部分を練りこんだ作品なので、そこに対して自分が過去に感じてきたものをリンクさせたいなと思っていて。それまではそういった楽曲を作る機会もなかったんですが、また新しいものをやらせていただけたなと思っています」

■人間の汚い部分を描きつつも、ただそれだけでは終わらないものになっていますね。

「そこは自分の活動に繋がってくるところでもあるんですが、人間って、過去に受けた悪口や傷は、時間が経てば忘れていくし、治ってはいくんですけど、それがあった事実は一切変わることはなくて。覚えている人にとっては、それが一生つきまとってくる可能性もあります。そういうものを僕自身も抱えているんですよ。じゃあ、その変えられない過去に対してどうするのかというと、今ある未来を変えていくしかないわけで。最悪の場合はリセットしてしまえばいいと思うんです」

■リセット、ですか。

「まあ、当たり前ですが、天月という活動名義は本名ではないですし（笑）、僕は元々人前に出るのが苦手で、学生時代も表立って何かをしてきた人間でもないんですよ。それがこうやって音楽に出会って、表に出るようになったことは、まさに人生をリセットしたような感覚に近いんです。新たな自分というか。そういうところから歌詞を書かせていただきました」

■歌詞の最後に「リセットでニューゲーム」というワードも出てきますけど、あくまでも「リセット」なんですね。「リスタート」というよりは。

「そこの捉え方は人それぞれだと思うんですけどね。なんか、あまりこういうことを言うのもどうかと思うんですけど、若者の自殺率が高いじゃないですか。それってどういうものなのかなって考えたりもしていて。実際、自分自身が中高生だった当時は、死んでしまいたいなと思うことも当たり前のようにあったんですよ。ずっとイジメられていたので」

■そうでしたか……。

「別にこれは隠していないことなので大丈夫なんですけど、そういうことがあっての今の活動なんですよ。だから、〝リスタート〟というと、ちょっとキレイすぎるなと自分で思ってしまうんですよね。だから〝ニューゲーム〟と言っているのも、わりと皮肉というか」

■なるほど。ただ、この歌詞は皮肉的やネガティブな印象にも捉えられるけど、聴く人によってはポジティブな印象を持つ場合もありますよね。

「そうですね。僕、ストーリー性のある歌詞が好きで、そこは今も変わっていないんですけど、ただ、この曲で何が一番したかったのかというと、さっき言ったような、短い時間の中で衝撃を与えることだったんですよ。この曲を聴いたときに、あの歌詞がどうだったかというよりは、〝かっこいいな〟とか〝なんかわからないけどスカっとするな〟ぐらいの気持ちで聴いてもらって、そこで終わってしまっても全然いいぐらいの気持ちでいるんです」

■そういう心境に至ったのは今回が珍しかったりするんですか？

「いや、僕はどちらかというと、音楽ってそういうものでいいと思っているんですよ。聴いてみて、〝かっこいいな〟だけで通り過ぎてってしまってもいいし、気になって歌詞を読み込むこともいいと思うし。今の時代って、インターネットというものを介して、音楽の価値がいろんなところで揺れ動いているみたいな話がありますけど、結局昔と何も変わっていないというか。音楽の価値って受け手の人が受け取った瞬間に決まると思うんですよ。〝これは私にとってはいいものだ〟とか、〝僕はあまりこういうのは聴かないな〟とか、そこで決めていいものだと思うんです」

■そうですね。

「だからこそ、僕は聴いたときに一番最初に出てくる感情がすごく大事だと思っていて。イントロから始まるのであれば、そこから一気に引き込まれるサウンドであったり、冒頭からサビがくるのであれば、そこに惹かれる一言を入れたり。そういうところは考えますけど、聴く人それぞれの楽しみ方で楽しんでくれればいいんじゃないかなと思います」

■今回は両A面シングルということで、もう一曲が「ツナゲル」。「Mr.Fake」が闇であれば、こちらは光を感じさせるものになっていますね。

「この曲は、docomoの東北復興・新生支援『笑顔の架け橋 Rainbowプロジェクト』のテーマソングなんですが、昨年から継続してやらせていただいていて、今年で2年目なんですよ。去年は〝LIFE!!〟という曲を発表させてもらったんですけど、その曲とわりと同時に作っていた曲で」

■かなり前からあったんですね。

「ただ、去年お話をいただいたときは、これは本当に僕がやるべきものなのか、すごく悩んだところもあって」

■なぜですか？

「僕は被災していない人間なんですけど、世の中には実際に被災地に行かれたり、音楽で被災した人達を勇気づけようとか、助けようとする方もいたりして、（復興支援には）いろんな手段があると思うんです。募金をすることもそうですし。でも、そのなかで、僕は過去の自分のこともあって、自分にそういうことを言える自信がないというのもあったし、僕が〝一緒に頑張ろう〟と言ったところで何かが変わるものでもないし、いろんな人達が散々それを言っているのに、〝またコイツも同じこと言うのかよ〟とか、卑屈に考えてしまう自分もいたんですよ。だからすごく悩んだんです。もちろん、僕自身としては何か力になりたいと

BookShare ZIP
http://bszp.com

僕は元々人前に出るのが苦手で、学生時代も表立って何かをしてきた人間でもないんですよ。
それがこうやって音楽に出会って、表に出るようになったことは、まさに人生をリセットしたような感覚に近いんです。新たな自分というか

天月 あまつき－

Book Share ZIP
http://bszip.com

思ってはいるんですけど」

■たしかにいろいろと考えてしまうところはあると思います。

「でも、僕もそれを言うべきなのかもなという気持ちもあって。それで、僕なりに言えるものを考えたときに、決して軽いものではなく、人間って生きていく中で、強い風が吹くことも、雨が降ることもあるじゃないですか。でも、君は前を向いて歩いていてほしいということを歌ったのが〝LIFE!!〟だったんです。そこから僕自身、東北やいろんな場所に行かせてもらって、そこで繋がった絆や得たものを過去から未来へ、僕と君を繋げて歩んでいこうという」

■「LIFE!!」を踏まえての「ツナゲル」だったんですね。

「最初は〝Mr.Fake〟と同じく、僕も歌詞を書こうと思っていたんですが、作ってくださったハヤシケイさんは、ご自身で被災地に行かれていたりもしていて。その経験から書いていただいたものなので、僕としても歌詞とメロディに感銘をうけましたし、これで行かせてくださいという話をさせてもらって。だからといって、それを代弁しているというわけではなく、この曲に共感したひとりとして歌わせていただきました」

■ライヴですでに歌われているそうですね。

「形としてこうやってCDに収録されてはいますけど、この曲は誰かの前で、誰かと一緒に演奏することによって成立するなとも思っていたんですよ。ライヴで歌ったときに、それを改めて強く感じましたし、前回の〝LIFE!!〟もそうだったんですが、被災した人とか、東北の方々だけに向けた曲ではやはりないなと思いました。やっぱり生きていく中で、つらい思いをしている人達はたくさんいるので。悲観的なものではなく、今ある未来へ向けた歌になったなと思います」

■お客さんのリアクションはいかがでした？

「〝暖かいサウンドが好きです〟とか〝メロディが好きです〟とか、たくさん言っていただけました。僕自身も歌っていて暖かい気持ちになるんですよ。歌っている最中は無我夢中ではあるんですけど、言葉になかなかしづらい高揚感というか、嬉しさみたいなものは、やっぱりすごく出てきます。気持ちがいいというか、幸せだなって。ぽかぽかするというか」

■まさにそういう温度を持った曲ですよね。初回限定盤TYPE-Bに収録されている「ユメノツヅキ」は、天月さんが作詞作曲されていて。ポップで軽やかな曲ですね。

「以前から歌詞は書かせていただいていたんですが、最近は曲を作る機会も増えてきて、いろんな曲を作りたいなと思っているんですけど。この曲は、ライヴでみんなと一緒に歌える曲にしたいなと思って作り始めました」

■そういう曲調でありながら、サビにくる歌詞のメッセージはかなり強いですね。

「ネットの利点として、本来であれば知り合う可能性もなかった人と知り合えるという部分がありますけど、僕の周りって、ヴォーカリストでしかも同い年っていう友達がめちゃくちゃいっぱいいるんですよ。他の方からすると珍しいことだと思うんですけど」

■たしかにあまり聞かないですね。

「そうですよね。で、みんながみんな悩んでいて、悩みを話し合ったりやる気をもらったりして切磋琢磨しているんですけど。その中で、これは僕自身にも、悩んでる友人にも言いたいことなんですが、思っているよりも、世界って自分のことを気にしていないんですよね」

■というと？

「今、こうやってたくさんの人に聴いてもらえるのはありがたいことなんですけど、でも、何か波を起こすことってすごく難しいじゃないですか。もし起こせたとしても、そのひとつのコミュニティの中だけのものであって、自分が何かをしたとしても、世界は勝手に回り続けている。でも、それに揺れてはいけなくて。何が起きようとも、どんなときも、決めるのは自分だということを、勇気を持ってほしい言葉として残したというか。明日世界が終わったとしても、続いたとしても、やっぱり自分を続けるのは自分だけであり、君を続けるのは君だけだっていう。とにかくそのことをひたすら書きたいと思っていました」

■励ましつつも、自分を奮い立たせるために書いたものでもあると。ちなみに、作曲というところについて、元々楽器とかをやられていたんですか？

「いや、一切やってないです。僕は音楽活動を始

Book Share ZIP
http://bszip.com

めるまで、もちろん音楽を聴いてはいたんですけど、プレイヤー側ではなくて。歌も歌ってなかったんですよ」

■そうだったんですね。どんな曲をよく聴いてたんですか？

「ジャンルとか関係なく何でも聴いてましたね。初めて買ったCDはポルノグラフィティさんの〝メリッサ〟でしたけど、じゃあそのあとにポルノさんみたいな路線の人達を買ったかというと、そうでもなくて。ORANGE RANGEさんに行ったり、aikoさんとか奥華子さんに行ったり、男性女性関係なくいろんなものを聴くようになって。あと、洋楽のオムニバスCDもよく買っていたから、アーティスト単体で詳しく知っているというよりは、いろんないい曲をいっぱい聴いていた感じでした」

■それこそ、聴いたときに衝撃を受けて、いいなと思ったものをいろいろ聴くっていう。もしかしたら、そういったリスニングスタイルが天月さんの活動に影響を与えているのかもしれないですね。

「そうかもしれないです。今回のシングルも全部曲調違いますし（笑）」

■かなり振り幅ありますからね（笑）。最終的というか、完成するものではないんでしょうけど、こういう風になっていたい理想像みたいなものはありますか？

「〝アイツ、またおもしろいことやってるな〟とか〝こんなこともやるんだ？〟って言われるようなことを、いつまでも続けていられたらいいなと思ってますね」

■叶えてみたい夢とかあります？　現実的な問題は全部置いておくとして。

「いつかディズニーシーのど真ん中でライヴしたいです（笑）。あの湖のところで」

■ディズニーとか、ファンタジックなものが好きなんですか？

「そうですね。マンガ、ゲーム、アニメがすごい好きで。ディズニーも好きですし、ファンタジー映画もめちゃくちゃ好きです。『ハリーポッター』とか」

■ファンタジーって、ちょっとダークな部分が見え隠れしたりするじゃないですか。

「そういうものもありますよね。たとえば、僕、仮面ライダーが好きなんですけど、仮面ライダーって戦隊モノと比べると、闇の部分がめっちゃ多くて。ひとりで戦っているぶん、本人に返ってくる反動とか、悩みみたいなものもピックアップされるじゃないですか。そういうところも好きだったりしますね」

■そういう、ややダークなものが好みだったりします？

「どうだろう……でも、やっぱり行き着くところは、自分がやっている曲もそうなんですけど、王道からはあまり外れないというか。そこは大切にしたいんですよ。自分がよくわからなかったり、嫌だなって思ったりするものは、本当にかなりワガママなんですけど、やらないようにしています。音楽に関しては特に。どれも自分が好きだと思って、この曲がいいなと思ったものを発表していますね。自分にとってはよくわからないけど、とりあえずこれをやっておけばいいっしょ？みたいなことはしていないです」

■お話ししていて、すごく芯が強い方なのかもと思ったんですが、天月さんは、自分の過去をリセットするために活動をスタートされたわけじゃないですか。そういう理由もあって、天月という存在は、強い存在であってほしかったりもします？

「どうだろうなぁ……なんか、いろんなアーティストがいらっしゃいますけど、その方々それぞれに信念があって。そういう人達に憧れたり、かっこいいなとか、かわいいなって思ったりして音楽を聴く人も多いと思うんですけど。なんか、僕の場合は、悩んでいる僕も僕らしいなと思っていて。ちょっと自信がないとか、そういう迷いが見えるところも天月なんだろうなと思っているんですよ」

■人によっては、悩んでいる自分を表に出したくない人もいますけど、そこも出してしまおうと？

「悩んでいることが弱さなのかどうかも、人によって違うところもあると思っていて。なんか、結局は口にしないと伝わらないじゃないですか。〝察しろよ〟っていうことも世の中にはたくさんあると思うんですけど」

■空気読め的な。

「そうです。でも、やっぱり僕は口にしないと、言葉にしないとダメだなと思っていて。悩んでいることを周りに察してもらうのもまた難しい話だと思うし、そもそも僕がそんなに強い人間ではやっぱりないんですよ。今もいろんな人に力をお借りして曲を作ったり、ライヴもいろんな人と一緒に作り上げていたりしていて。なかなか自分ひとりで完結できるものでもないし、そうやって誰かと一緒にやることもすごく好きなので、そのなかで悩んだり、迷ったり、力を借りている自分というのも、天月というところに行き着くのかなと思います」

■これからもいろいろ悩みながら、みんなと一緒に進んでいきたいと。

「そうですね。〝どこに行きたいの？〟とか〝何がしたいの？〟ってたまに言われるんですけど、僕もわからないんです（笑）。楽しそうだなとか、やりたいなと思った感情に素直にやっていきたいと思っているので。でも、それでいいんじゃないかなとも思っています」

初回限定盤TYPE-A

初回限定盤TYPE-B

通常盤

3rd Single
Mr.Fake／ツナゲル
2017.07.19 Release
初回限定盤TYPE-A CD+DVD ¥1,667（tax out）
初回限定盤TYPE-B CD+DVD ¥1,667（tax out）
通常盤 CD ¥ 1,111（tax out）

[CD]
01. Mr.Fake
02. ツナゲル
03. 未来の星命
04. ハートフルエッジ -Acoustic Arrange-（初回限定盤TYPE-A）
04. ユメノツヅキ（初回限定盤TYPE-B）
[初回限定盤TYPE-A DVD]
「Mr.Fake」MUSIC VIDEO／「Mr.Fake/ツナゲル」Photo & Music Video 撮影 密着スペシャル
[初回限定盤TYPE-B DVD]
「箱庭ドラマチックTOUR 2016 ～今夜、君が待つあの丘へ～」ライヴ映像
流れ星／1/6 -out of the gravity-／愛鍵／LIFE!!

天月-あまつき- ⇒
あまつき。'15年7月に1stシングル「虹の向こうへ／星月夜」にメジャー・デビュー。動画共有サイトにて'10年より動画の投稿を開始。また、自身が企画した全国ライヴツアー、演劇、朗読劇と活動の幅も広げ、日本のみならず海外でも人気を集める。現在、全国ツアー『天月のやりたい放題2017』開催中。

BookShareZIP
http://bszip.com

I'm

昨年7月のメジャー・デビューから約1年、1stアルバム『I'm』を8月23日についにドロップ！　前号では制作中であった今作の手応えを予告してくれたが、完成した作品はTHE BEAT GARDENの掲げるエレクトロ・ダンス・ロックを十二分に味わうことができる全12曲。リスナーをフィーヴへ呼び込むこと間違いなしのラインナップでもある。これまでのシングルはもちろん、原点回帰曲あり、新たな試みもあり……と、初めましての方もおなじみの方もたっぷり楽しめる本作について、新録曲を中心に制作エピソードを語ってもらった。相変わらずの仲の良さはそのままに、彼らのアーティストとしての関係性のレベルアップも感じられたインタビューとなった。

Book Share 2.0
http://bs2p.com

Text ⇒ 赤木まみ　Photo ⇒ 青木早霞(PROGRESS-M)

Book Share ZIP
http://bszip.com

REI_Vo.

MASATO_Vo.

■待望のメジャー1stアルバム『I'm』が完成しました！　まずは作り終えた感想からそれぞれ聞かせてもらえますか？

REI「今までガムシャラに曲を作って、ガムシャラにライヴをやってきたんですけど、メジャーの第一線で活躍してる人と一緒にやらせていただくことも多くなった今、もっともっと音楽性の中身を追求していきたいなって。そう思い始めてからの今回のアルバム制作だったんですよ。なので、これは音楽の内面を見直しつつ、いろんなことにチャレンジできたアルバムになったなと思っています」

MASATO「新曲はもちろん、メジャー・デビューしてからのシングルも全部入っているので、これまでの軌跡とこれからの大きな可能性を表現できた、自分でもこれからが楽しみになった1枚！という感覚がありますね」

SATORU「当たり前ですけど、1stアルバムっていうのはその時しかないものじゃないですか？　だから、自分の中ではやっぱり特別感がありますし、ライヴでの新たな景色が見える曲もいっぱい入っているので、今後に繋がる1枚になったなっていうのをすごく感じています」

U「起承転結をもっと細かく刻みたいってずっと思っていて、それがここでできたっていうのと、エレクトリック・ダンス・ロックっていうものを自分達の中でより理解できて、ライヴでのお客さんの反応とかもより鮮明に見える中で制作していったので、とにかくライヴが楽しみな1枚になりましたね。早くライヴをやりたいです」

■まさに早くライヴが観たくなる、そしてTHE BEAT GARDENの無限の可能性を感じさせる、すごく振り幅の広いアルバムになりましたよね。何度聴いても飽きない。

一同「ありがとうございます！」

■作る前は4人でコンセプトを話し合ったりしたんですか？

U「いや、コンセプトは特に決めずに。話は常にしてますけど。メシ行ったりした時も」

■そこで熱く語り合ったり？

U「そんな常に暑苦しく語り合ってるわけじゃないですけどね（笑）。でもアルバムに関して言うなら、今年の頭ぐらいかな？　まだリリースとか具体的なことが決まる前から4人で〝今年、アルバムを出したいね〟みたいな話をして、そこから曲をどんどん作り溜めていったんですよ。で、ストックも何十曲とできた中で、なるべく色が重ならないようにってことと、ライヴでもいろんなTHE BEAT GARDENを表現したいっていうことを考えて、最終的にこの12曲になったという感じですね」

SATORU「どの曲も自分の子供というか、1曲1曲思い入れがあるので、12曲を曲順通りにマスタリングしていく時は〝この曲はUさんとこうやって作ったな〟とか色々思い出して、ちょっとウルッと来ましたね（笑）」

■いい話です（笑）。では新曲について聞かせてもらいたいと思うんですけど。「Alive」は4つ打ちのダンスチューンですね。

REI「これは結構前からあって、3rdシングルのカップリング候補にもなった曲なんですけど。トラックはロックなエッセンスを取り入れたビートの置き方をテーマにしてて、ドロップも頭に残りやすいメロディを何度もループさせるっていう作り方をしましたね」

■ちょっと細かい話になっちゃうんだけど、この曲では声が加工されてる箇所もあって、そういうのも面白いなと思いました。

U「僕ら、『WILL』っていうインディーズ時代のアルバムでは、ああいう声の加工も結構やってたんですよ。当時は遊ぶように曲を作っていて。でも最近はそういうことをやらなくなっていたので、原点回帰じゃないですけど、また自由な感じでやってみようと」

REI「そう。そういう話をUさんとしたんですよね。前みたいにもっと自由にラフに音楽を作っていきたいよねって。たまたま僕がそう思ってる時に、オンタイムでUさんから電話がかかってきて」

U「夜中の3時頃にね、それこそ電話で熱く語って（笑）。『WILL』の頃は僕ら、面白いなと思ったことはそのままやってたのに、メ

BookShare ZIP
http://bszip.com

ジャー・デビューして、聴いてくださる人のことを意識するようになったら、考えすぎてしまう部分も増えてきたんです。で、一回それを解除してみよう、と。それがこの曲にも表われてるのかなと思います」

■「Heart Beat」はミドルテンポのナンバーで。他の曲とはちょっとテイストが違う感じもありますね？

U「これは、僕の地元の友達で、メンバーも知ってる女の子がいて。その子が僕の親友に恋してて、8年間ぐらいずっと〝好き〟って言い続けてるんですよ。親友は〝お前は妹みたいな存在だから恋愛対象としては見れない〟って言ってるのに、その子は〝あの人がいなかったら、私は生きてないわ〟みたいなことを言ってて。彼女の鼓動は好きな人のために動いてるんだなと思ったのが、この歌詞を書いたきっかけなんです。それと並行して、REIが女性ヴォーカルを入れたいって言ったんですよ。で、その子はシンガーなので、この曲に彼女のコーラスを入れたっていう」

REI「そう。だから今回のアルバムで、この曲が一番チャレンジだったというか。元々、THE BEAT GARDEN以外のヴォーカルを使って楽曲を作ってみたらどうかなっていうアイデアが漠然と浮かんで。そこから女性ヴォーカルの上に僕ら男性ヴォーカルの声が乗ったら面白いんじゃないかなっていう発想に至って、この曲が生まれたんですけど。挑戦という感じだったから、正直でき上がった時も〝これってどうなんだろう？〟と思ってたんです。そしたらMASATOが〝メッチャいい！〟って言ってくれたので、それがすごい安心材料になりました」

MASATO「この曲って音数が少ないじゃないですか？　でも音数が少ない中でも自由に揺らせる感じがいいなと思ったし、声の成分だったりコーラスワークもすごくバランス良く聴こえたので、いいじゃん！って」

SATORU「僕らにとっては初の試みだったのでドキドキする部分もあったんですけど、できたのを聴いた時は感動しましたね。すごいマッチしてるなと思って」

U「SATORUも感動してたんだ？」

SATORU「してるから！（笑）」

■「サイドデッシュ」は、超ゴキゲンなナンバーです。70～80年代のソウルフルなブラックミュージックとEDMが融合して、今っぽいオシャレ感もあるし。

U「これは〝Alive〟のレコーディング後にREIと僕で〝ちょっとグルーヴィな曲を作ろうぜ〟って、遊びみたいな感じでREIが適当にピアノを弾いて、僕が鼻歌を歌って録音してたら、目の前に座ってたMASATOが〝今のいいんじゃないですか〟って」

■さっきの「Heart Beat」といい、この曲といい、MASATOくんが結構、曲を決めるキーマンになってますね？

MASATO「そうですか？　ありがとうございます」

SATORU「すごいドヤ顔（笑）」

U「で、MASATOに〝今のいいんじゃないですか？〟って言われて、え、マジで？〟みたいな。それで、エンジニアさんに〝もう1曲録っていいですか？〟って聞いて、超ラフな感じで、録りながら作るっていうのを初めてやった曲なんですよ」

REI「エンジニアさんもすごいノリノリになってくれてね（笑）」

U「そう、〝いいじゃん！〟みたいな。で、歌詞もこれは（フェス出演のために行った）宮古島で書いたので、すごくラフに書けて。だから、さっき話した遊ぶみたいな感覚で曲を作るっていう、まさにそういう曲が最後にできたので、嬉しかったです」

REI「音は昔のシンセサイザーの音色を今のシンセで出すことによって、昔っぽい懐かしい感じはあるんだけど今っぽい、みたいな。そういう狭間のものを提示できたかなと思います」

MASATO「僕、個人的にはこの曲、ライヴでサックスとかそういう楽器を使ったら面白いんじゃないかなと思ったんですけど、今のREIのコメントを聴いて、あ、それじゃ古いんだ？と思いました（笑）」

Book Share ZIP
http://bszip.com

聴いてくれた人がどれかの曲に共感して、その曲がその人にとっての〝I'm〟にもなったら嬉しいなっていうダブルミーニングの意味も込めてあります

REI「あ、いや、それも全然あり！　どっちに振っても楽しいと思います（笑）」

■そしてアルバムの最後を締め括るのは「Just Before Dawn」で。これはジャンルを超越した、純粋にいい曲！

U「あんまりエレクトリック・ダンス・ロックという感じではないんですけど、そういうのがあってもいいんじゃないかなと。エレクトロが強すぎて僕らの楽曲が響かない人とか、ロックが激しすぎて響かない人もいるかもしれないし。そういう中で、ライヴでこういう緩やかな曲調を聴いてTHE BEAT GARDENを好きになってくれる人がいたらいいなと思って。で、歌詞は僕ら、〝SOMEDAY〟っていうインディーズの頃からの曲があって、昔から応援してくださってるファンの人達はその〝SOMEDAY〟をすごく大切にしてくれてるんですよね。これはその続きみたいな感覚で書いたというか、この曲がこれから出会う人達にとっての〝SOMEDAY〟みたいな曲にいつかなったらいいなという気持ちで書きました」

■1曲1曲が強い光を放っている12曲。そんな曲達がギュギュッと詰まったこのアルバムのタイトルを〝I'm〟にしたのは？

MASATO「このタイトルは僕が考えたんですけど、12曲並べた時に、各々の曲がEDRを基本に〝私はこういうものです〟って、THE BEAT GARDENを表現していたので、〝私は〟っていう一人称の〝I'm〟がいいんじゃないかなと」

U「それと、そういった名刺的な意味だけじゃなくて、聴いてくれた人がどれかの曲に共感して、その曲がその人にとっての〝I'm〟にもなったら嬉しいなっていう、ダブルミーニングの意味も込めてあります」

■なるほど。9月には今作を携えてのワンマンライヴもあり、それもすごく楽しみです！

MASATO「僕らにとってはメジャー・デビュー後初のワンマンになるんですけど、お客さんも初めて来てくださるっていう方がたくさんいると思うんですよ。なので、そこから一緒に大きくなっていければなと思います」

REI「今回アルバムの新曲も揃ったことで、お客さんとよりいろんな感情を共有しながら、最後には〝楽しかった！〟って言ってもらえるような1つのパッケージが作れそうな気がしてるんですよね、今。なので、今からリハーサルを始めて、試行錯誤しながらみんなで組み立てていきたいなと思っています」

U「そう、今までのライヴはみんなで一緒に体を揺らそうぜっていう感じだったんですけど、今度のワンマンは今REIが言ったみたいに、1つのショーとしての魅せ方もできるかなと思っているんです。で、ツアー・タイトルになっている〝Sprout〟は〝芽吹く〟とか〝芽を出す〟っていう意味なんですけど、そういう意味でも、THE BEAT GARDENが新しい芽を出すライヴ、そして来てくれた人の心にも新しい何かが芽吹くライヴになったらいいなと思っています」

SATORU「とにかく来てくれた人全員が楽しめるライヴになるように、頑張ります」B

初回生産限定盤

初回フラッシュプライス盤

Major 1st Album
I'm
2017.08.23
初回限定盤 CD+DVD ¥4,444（tax out）
初回フラッシュプライス盤 CD ¥1,991（tax out）

[CD]
01.Don't think, feel.
02.Promise You
03.Alive
04.Sky's The Limit
05.Heart Beat
06.FLOWER
07.Answer
08.君がいるから
09.サイドディッシュ
10.Never End
11.Walk This Way
12.Just Before Dawn

[DVD]
Live History 2015-2017
Special Trip in MIYAKO ISLAND

THE BEAT GARDEN ⇒
ビートガーデン。3VOCAL+1DJ。エレクトリック・ダンス・ロックという独自のジャンルを築く。'12年U、MASATO、REIが大阪で結成。'15年にSATORUが加入し現在の編成となる。'16年7月27日に1stシングル「Never End」でメジャー・デビュー。THE BEAT GARDEN One man Live "Sprout Tour"を9月に大阪、東京で開催する。

Book Share ZIP
http://bszip.com

I'm...

夏と言えば旅行。もしもメンバーで旅行するなら?というテーマで、それぞれの担当を聞いてみました

■この4人で旅行するとしたら、それぞれどんな役割分担が向いていると思う?

MASATO「計画を立てるのは、SATORUさんじゃないですかね?」

SATORU「僕は運転係じゃない?」

MASATO「それは大前提で(笑)」

■その前に、行き先はどこにしましょう。

MASATO「あ、そうだ! まずそれを決めないと!」

SATORU「この時期だったら、軽井沢とかいいかも」

REI「あ、いいっすね!」

MASATO「じゃあ料理は僕がやります(挙手)」

U「宮古島に行った時もREIとMASATOが料理してくれて。すごいうまいんですよ、この2人は。MASATOは魚もさばけるんです」

■へぇー? すごい!

MASATO「いや、父親が調理師免許を持ってて、釣りも好きで、釣った魚をさばいてみんなに振る舞う、みたいな人で。それを見て手伝ったりしてたので、それでちょっとできるだけです」

U「めちゃくちゃ上手だよね。魚を綺麗に刺身にして出してくれたり、パイナップルを切って、焼きパイナップルも出してくれたり。なんか、いちいちオシャレなんですよ(笑)。家で作った料理の写真を撮ってグループLINEで送ってくるんだけど、ハンバーグとかロールキャベツとか、そういうのもメッチャ上手で」

SATORU「じゃあ今年のMASATOの誕生日プレゼントは、もう包丁でいいんじゃない?(笑)」

■REIくんとUくんは何係?

SATORU「REIちゃんはそこにいるだけで人を癒す、癒し系係とか(笑)」

U「僕は何も考えないで、ただついていって一番喜ぶ係、みたいな(笑)」

MASATO「Uさんはトラブル対応係とか向いてるかも」

U「やだそれ!(笑) あ、でも何か失くした、みたいな時は、確かに僕が人に話しかけるかもしれないですね」

■人に話しかけるキャンペーン真っ最中だしね(笑)。

U「REIは既存のプラン以外のプランを考える人、みたいな」

■アイデアマンだからねREIくんは。音楽的にアイデアをどんどん出すし。

U「アイデアマン兼、変な人(笑)」

REI「何それ(笑)」

SATORU「全然意味が変わってくるじゃん(笑)」

U「じゃあまとめに入ると、SATORUは運転手とコーディネーターね」

SATORU「I'mコーディネーター」

U「で、MASATOは料理人」

MASATO「I'mシェフ」

U「なんかカッコイイな(笑)。で、REIがアイデアマンで」

■Uくんは?

REI「トラブルを解決する人だから……」

U「I'mトラブルメーカー」

SATORU「自分でトラブル起こしちゃダメじゃん!(笑)」

Book Share ZIP
http://bszip.com

New Era®の[59FIFTY®]¥5,500(税別／ニューエラ tel.03-5773-6733)、その他すべて本人私物

Maki (go!go!vanillas) talk about New Era®

■初めて被ったNew Era®がNBAのシリーズだったとか?

「はい。確かロサンゼルス・レイカーズだったと思います。その頃はコービー・ブライアントっていう選手がいて、めっちゃ強かったんですよ。あのパープルとイエローの派手なキャップをジャージとかに合わせて被ってましたね(笑)」

■エントリーモデルがNBAというのは結構レアですね。

「中学・高校とバスケ部でNBAが大好きだったんです。初めて被ったのは中学3年生の時なんですが、小学校から中学校に上がった時に地元の先輩が被っているのを見て、めっちゃカッコ良い!みたいになって。今度は自分が先輩になってそれを被る、みたいな感じでした(笑)。ニューエラのキャップって左側にブランドロゴが入っていて、フロントにチームロゴがあるじゃないですか。そのデザインも含めて、凄く憧れのアイテムでした」

■今回はシカゴ・ブルズの[59FIFTY®]でご登場いただきました。

「マイケル・ジョーダンがいたシカゴ・ブルズの黄金期は僕らよりちょっと上の世代なんですが、親戚が凄く好きだったので、かなり親しみがあるんです。それに加えて、当時夢中になっていた漫画の影響も大きいですね」

■被られた感想はいかがですか?

「なんか強くなった気がします(笑)。普段はストリートな格好に合わせて[59FIFTY®]を被っているのですが、ロゴマークにパンチがあるからシンプルなスタイルのアクセント役としても活躍してくれそうです。今日はシャツに合わせましたが、大きめのロンTとか、オーバーサイズの服にも絶対合うと思います」

■ちなみに、2017-2018シーズンから、ファイナルや各カンファレンスの決勝など、NBAの主要なイベントでNew Era®のヘッドウェアが着用されることになるのですが、ご存知でしたか?

「マジっすか!? ファンからしたら超嬉しい情報ですね。それは凄い!」

■最近はバイザーがカーブした[9TWENTY™]や[9FORTY™]も人気ですが、牧さんはフラットバイザー派?

「いろいろな服に合わせやすいので、普段使いは[9TWENTY™]のほうが多いんですが、唯一無二の魅力という意味ではやっぱり[59FIFTY®]ですね。なのでこのモデルを被る時は、帽子に服を合わせる、くらいの気持ちで選んだりしています(笑)」

Fall & Winter 2017 **Maki's Recommend Item**

9THIRTY™
¥3,800(税別／ニューエラ)

「コーデュロイの素材感と色合いがめっちゃ良いですよね。フロントのNYCロゴも絶妙なタッチで、モダンな雰囲気が好きですね。バーン!って主張してない分、今っぽくて凄くお洒落だなと。男はもちろん、女の子が被っても超かわいいし、どんな服にも合わせやすいと思います」

牧 達弥 ⇒
まきたつや。'89年12月10日生まれ。大分県出身。4人組ロックンロール・バンドgo!go!vanillas(ゴー!ゴー!バニラズ)のヴォーカル&ギター。'14年11月、アルバム『Magic Number』でメジャー・デビュー。

INFORMATION
Major 3rd Album「FOOLs」
2017.07.26 Release
go!go!vanillas「FOOLs」Tour 2017
9月9日(土)横浜Bay Hallより12月2日(土)Zepp Tokyoまで、全25公演の全国ツアーを開催
http://gogovanillas.com/

Book Share ZIP
http://bszip.com

B-PASS Presents

#07

Text ⇒ B-PASS
Photo ⇒ 木村心保

New Era® meets 牧 達弥 (go!go!vanillas)

今夏を代表する渾身の3rdアルバム『FOOLs』の興奮も覚めやらぬ中、
go!go!vanillasのキーマン、牧 達弥が前号に続いての登場!
エントリーモデルのエピソードを含め、New Era®の魅力を語ってくれた!

Book Share ZIP
http://bszip.com

レジェンドPの楽曲の作り方
発表&権利の管理のしかた
そしてプロモーションと
モチベーションUP秘術を徹底追跡

レジェンドなボカロP達がどうやって楽曲を作り、発表し、権利を管理し、展開し、メンタルを保ってきたかを徹底的に紐解き、次世代のボカロPを目指すクリエイター達へ分かりやすく成功への道を指南する本。投稿動画「ハッピーシンセサイザ」が450万再生を誇るEasyPop、「ダンシングサムライ」のかにみそP、「【鏡音リン】メランコリック」のJunky、「独りんぼエンヴィー」の電ポルPへの超ロング・インタビューを実施。

ネット時代のボカロP秘伝の書

8月4日発売

仁平淳宏
一般社団法人
日本ネットクリエイター
協会理事

A5判／176頁
本体価格
1,667円+税

女性声優アーティストディスクガイド

好評発売中

A5判／160頁／本体価格1,500円+税

独自の音楽性を持った女性声優アーティスト珠玉の名盤たちをピックアップ!

アニメやゲームのキャラクターを演じる一方、自分自身の音楽を発信している女性声優アーティストたち。元は企画もの扱いされていたが、90年代の声優ブームを機にクオリティもポジションも向上。昨今はチャートを賑わし、ドームクラスを含むライヴも活発に行ない、ひとつのジャンルとして確立された。そんな中、この四半世紀にリリースされた数多の作品から「名盤」101枚をピックアップ。音楽的にはあまり語られてこなかった女性声優アーティストのアルバムを見つめ直していく。各時代を彩った声優や彼女たちを支えたスタッフのインタビュー、各種コラムも充実。

◎作品掲載の主な声優アーティスト：林原めぐみ、國府田マリ子、椎名へきる、桜井智、TWO-MIX、堀江由衣、田村ゆかり、水樹奈々、坂本真綾、スフィア、他多数
◎インタビュー：椎名へきる、山本麻里安、竹達彩奈、植村俊一（コロンビア・プロデューサー）、斎藤滋（ランティス・プロデューサー）

Book Share ZIP
http://bszip.com

全国の書店、楽譜・書籍お取扱の楽器店・CDショップなどでお買い求めいただけます。店頭に無い場合は小売店にお取寄せをお申し出ください。
株式会社シンコーミュージック・エンタテイメント 営業部 TEL:03-3295-4191（電話でのご注文はできません） http://www.shinko-music.co.jp

四六判／360頁
本体価格2,037円+税

C階段で行こう!

クジヒロコ著

祝！ 結成30周年。
スピッツで鍵盤弾いて19年
はじめてのクージー本

好評発売中

1998年から現在まで19年、600本以上にわたり
スピッツのサポート・キーボーディストをつとめている
クージーことクジヒロコ。
彼女が鍵盤弾きとして体験してきた数々の場面、
スピッツのレコーディングやライブ環境の変化等を語りつつ、
スピッツの有料会員限定SNS「トンガリヴィレッジ」での公開分に、
本書用の書き下ろし編も加えた60編におよぶツアー日記や、
草野マサムネ×タブレット純×クジヒロコによる空想ラヂオ企画、
ミスチルのサポート・キーボーディストSUNNYとの鍵盤談義、
スピッツのアルバム『隼』プロデューサーである
石田ショーキチとのレコーディング・メモリーなど、
超濃密なフル・ボリュームでお届けします。

増補改訂版

3.11からの手紙／音の声

写真・ことば 石井麻木　好評発売中
A5変型判／176頁／本体価格2,200円+税

震災から6年以上が経ち、復興の「ふ」の字もみえない場所がまだまだあるにも関わらず、世間では関心が薄れつつあるのも事実である今。東北の様子の3年間をおさめた『3.11からの手紙／音の声』にその後を追加し、少しでも風化を妨ぐため、写真とことばで再び放ちます。東日本大震災直後から毎月写し続けてきた東北の様子を、ことばと共に時系列で掲載。そしてこの6年の間に東北の地で鳴らされてきた音楽を写真で届けます。

【主な掲載アーティスト】浅井健一 / ACIDMAN / ATSUSHI / 内郷げんこつ会 / エセタイマーズ / 片平里菜 / 後藤正文 / 斉藤和義 / サンボマスター / the HIATUS / THE BACK HORN / The Birthday / the LOW-ATUS(細美武士、TOSHI-LOW) / ストレイテナー / SLANG / 高橋優 / タテタカコ / 東京スカパラダイスオーケストラ / TOSHI-LOW / 怒髪天 / 中村達也 / 難波章浩 / NAMBA69 / BRAHMAN / 降谷建志 / 細美武士 / ホリエアツシ / 武藤昭平 with ウエノコウジ / 百々和宏 / 箭内道彦 / Romeo's blood / 渡辺俊美（五十音順・敬称略）

全国の書店、楽譜・書籍お取扱の楽器店・CDショップなどでお買い求めいただけます。店頭に無い場合は小売店にお取寄せをお申し出ください。
株式会社シンコーミュージック・エンタテイメント 営業部 TEL:03-3295-4191（電話でのご注文はできません） http://www.shinko-music.co.jp

4月にアルバム『anly one』をリリースし、1stツアーも無事に終えたばかりのAnlyから、早くもニュー・シングルが届く。彼女の原点とも言える、大事に温めてきた1曲「北斗七星」。パーソナルな想いから作られ、優しく歌われるこの曲は、まさに夜空の星のように誰もに普遍的に輝く。ツアーのこと、ニュー・シングルのこと、じっくりと聞いた。

Text ⇒花倉有紀子

■4月末のアルバムリリース後はツアーやフリーライヴを重ねていたけど、どうでした?

「東京から名古屋まではみんなで機材を積んだロケバスぐらいのバスに乗って、ロードトリップみたいに移動したのが楽しかったです。いろんなサービスエリアで停まるんですけど、ツバメがたくさんいたり(笑)、周りがやたら山に囲まれた土地があったりして景色を観るだけでも新鮮でした。バンドメンバーはツアーに慣れているのでバスのなかでは寝たりしていたんですけど、私はすごい緊張していたので移動中ずっとライヴのイメージトレーニングをしていました。それで手を動かしているところをベースの山崎(英明)さんに見られたのが、ちょっと恥ずかしかったです(笑)」

■移動中も緊張をしていたってこと?

「ずっと緊張してました(苦笑)。名古屋の初日に〝FIRE〟を歌ってみんながコブシを挙げるのを見た瞬間、みんな楽しむためにライヴに来てくれていることがわかってからは異常な緊張はなかったんですけど、それでも移動中は1人でイメトレをして〝どんな言葉をかけたほうがみんな楽しいのかな?〟とか、〝この曲では手を挙げよう〟といったことを考えていました。緊張と言っても土地ごとに種類が違っていて、名古屋は初日ならではの緊張でしたし、大阪は気温の暑さとか人のアツさもあって、緊張はありつつも楽しめました。で、東京は何度もライヴをやっている場所なんですけど、毎回初めてやるぐらいの緊張感があるんです。いろんなことの中心になっている都市で、自分のように夢や目標を持っている人が集まっているので〝そんな人たちにどれだけエールを送れるかな?〟とか、〝耳が肥

BookShare ZIP
http://bzip.com

Anly 北斗七星

えている人たちがたくさん来るんじゃないかな？〟って思うと余計に緊張したりして。それでも歌いだして盛り上がると楽しければいいか〟ってスイッチが切り替わるんですけどね。それから地元の沖縄はまた全然違った緊張というか、沖縄の人はアコギ1本でやる私しか観たことがないので、バンドを披露するのは、親戚に普段とは違う姿を見られている気がしてちょっと恥ずかしいなっていう（笑）。でも沖縄の人って恥ずかしがり屋なんですけど、ステージに出る前から〝本当に沖縄の人たちかな？〟っていうぐらいすごい盛り上がってくれて、手も挙げてくれたし、他の場所より〝Ａｎｙ！〟って呼ぶ声も多かったので、ふるさと～って感じがしました」

■知っている顔もステージから見えたり？

「ほぼほぼ、知っている顔でした（笑）。高校の先生も、伊江島の村長も来てくれましたし。嬉しかったのは、私を最初に〝いいね〟って言ってくれた、私が初めて飛び入りライヴをしたライヴ喫茶アルテ崎山のオーナーさん2人が観に来てくれて〝バンドも良かった〟って言ってくれたことでした。2人ともバンドの私を観たことがなかったので、〝アコースティックのほうが好き〟って言われるかなと思っていたので。アルテ崎山には今も沖縄に帰る度に行っていて女性のオーナーさんはいつも褒めてくれるんですけど、男性のオーナーさんはいつも〝もっとＡｎｙらしく歌えよ！〟とか言ってなかなか褒めてくれない人なので、それもあって嬉しかったです」

■そして、そのツアーでも歌われていた「北斗七星」がリリースされます。私もライヴで聴いて慌ててハンカチを探したぐらい心に沁

BookShareZIP
http://bsizip.com

みる名曲で。これを作ったきっかけは？

「この曲を作ったのは高校生になってからですけど、書こうと思ったのはそれよりずっと前の小学校生の頃です。私の家族はずっと毎年6月になるとケーキを焼いて誰のかわからない誕生日をしていて。〝これ誰のだろうな？でもケーキ食べられるからいいか〟って子供心に思いながら過ごしていたんです（笑）。でも小学校5年生のときにふと聞いたら、母が〝Anyにはお兄ちゃんがいるんだよ〟って教えてくれて。子供にとって人が亡くなるって想像もできないことだからショックを受けて私が泣くんじゃないかと思って、悲しいことだから母もそれまで言い出せなかったらしくて。でもそれを聞いたとき〝私ってお兄ちゃんいるんだ！〟って嬉しくなって。1人っ子だからそのぶん親からの愛情はすごく受けるけど、学校から1人で帰るときに前を歩く兄弟の後ろ姿を見て寂しくなったり、家で1人でいるときに〝遊び相手がいたらいいのに〟って思ったりしていたので、お兄ちゃんがいるって聞いたことで帰り道も寂しくなくなったし、〝今もきっと隣りにいるだろう〟とか、〝見守られているから頑張れる〟って思えるようになったんです。私がそうやって受け止めたことで両親も良かったって思ったみたいでした。それでその頃にはギターもちょっと弾けたし歌を歌う人になりたかったので、〝歌うには曲が必要だから、なんの歌を書こうかな〟って考えたときに最初に浮かんだのが〝お兄ちゃんの曲を書こう〟ってことで、当時も一生懸命歌詞やメロディを考えたけど上手くいかなくて、しばらく置いておいたんです。その間も他の曲は作っていたんですけどね。それで16歳になった高校2年のときに、さっき話に出たアルテ崎山でよく歌うようになっていて、お兄ちゃんの誕生日が近づいてきたので〝お兄ちゃんにプレゼントする曲を作ってライヴハウスで披露できたらいいな〟って思って、また作りはじめたら今度は30分ぐらいでパッとできました」

■温めていた思いが溢れたんですね。できた曲はお母さんにもすぐ聴かせたんですか？

「〝お兄ちゃんの曲を書いたよ。聴いて～〟って言ったとき、悲しい曲なのかな？って心配そうな顔だったんですけど、私が歌う歌詞やメロディを聴いて〝とっても温かいいい曲だね〟って言ってくれました。そのときはまだタイトルも決まってなかったんですけど、なんとなく〝北斗七星〟ってタイトルにしようかと思っているんだよね〟って言ったら〝私もそう思った〟って母も言ってくれたので、〝じゃあもう決まりだね！　すごいね、親子って〟って話しながら、その場でタイトルも決めて」

■私はこの曲を初めて聴いたときに、沖縄民謡の「てぃんさぐぬ花」とリンクする気がしたんです。

「嬉しいです。最近、沖縄関係のイベントとかで〝てぃんさぐぬ花〟を歌う機会が多くてループペダルで歌ったりアコースティックで歌ったりしているんですけど、私も最近それを感じていました。〝てぃんさぐぬ花〟は北極星が出てくるし、3番で〝夜走る船は北極星を目当てにしているけど　私を生んだ親は私が目当て〟っていう意味の歌詞もあって、〝北斗七星〟を思い出す星とか親の話だなって」

■確かに。だけど10代で作った曲をたくさん入れた1stアルバムではなく、このタイミングでのリリースになったのはどうして？

「デビューのときも、これまでのリリースタイミングでも、必ず〝北斗七星〟の話は出ていたんです。でもタイアップだとドラマの雰囲気に合わせて歌詞や曲が変わることもあるので、〝この曲だけはひとつも変えません。大事な曲なんです〟ってことは伝えていて。みんなも温めてくれていたので、毎回〝次かな？　今じゃないね〟を繰り返していたんです。そのうちに『any one』でいったん区切りが付いたんですけど、そこには入れずにシングルとして出したいと思っていて。だからここだと自然に思えたのが〝今〟なんです」

■弾き語りだった曲が今作ではドラマティックなアレンジに大きく変わったわけだけど、レコーディングで悩んだことはなかった？

「実は17歳のときにすでにこの曲のデモを作ってあったんですけど、そのときからほぼアレンジは変わってません。当時、東京で曲をレコーディングする機会をもらったので、今回のツアーの追加公演でギタリストをしてくれた松ヶ下（宏之）さんと一緒に〝北斗七星〟もアレンジをしました。そのときからイントロの〝きらきら星〟も入っていたし、ドラムが入るタイミングやストリングスの動きやフレーズも変わってなくて。ただ今回悩んだのはアコースティックギターを抜くかどうかでした。この曲は私のなかですごいバラードだったのでギターの居場所が難しくて。だからAメロでは入れてないんですけど、アコギの音がないと私らしくないかなと思ったので、最後の最後で〝入れます！〟って（笑）」

■そんな試行錯誤も（笑）。曲にちなんでの質問だけど、伊江島の夜空ってどんな感じ？

「きれいですよ。星がいっぱい見えます」

■やっぱり東京の星空とは違うのかな？

「あ～、もう全然（笑）。東京は星が1個あると〝あ、見つけた！　今日は見えた～〟って嬉しいんですよね（笑）。その特別感も面白いんですけど、伊江島は星がたくさん見えるし北斗七星もすごく大きくて、空を近くに感じます。私の家には庭があるので流星群がある日とかはよく庭で家族と空を見上げてました。夕涼みしながら横になったままギターを弾いて遊んで〝腕疲れたぁ〟とか言って（笑）。東京でも夕涼みしたいときは空を見ながら歌を聴いたりしますけど、やっぱり星は少なくて、星かと思ったら〝あれ？　動いている。ヘリコプターだ〟とか（笑）。だけどCDジャケットを撮影した長野の阿智村はすごかったですよ。よく〝合成？〟って聞かれるけど本物なんですよ。山の上で撮影したんですけど、阿智村は星がきれいな村と言われているので、夜8～9時になると町が電気を消してくれるからどれが北斗七星かわからないぐらいの星の数で（笑）。今では〝北斗七星〟を歌っていても1番は伊江島の空を思い浮かべるんだけど、ストリングスが入ってくる2番からは、見える景色が阿智村に変わってぐるぐる星が回る感じがするぐらい、影響を受けた星空です」

■では続いて「-e」についても。これはジブリ

Book Share ZIP
http://bszip.com

の主題歌になりそうな、カントリー調のかわいい曲。バンジョーも入ってるのかな？

「はい、この曲は『anly one』ツアーを一緒に廻ったバンドメンバーと一緒に録ったんですけど、佐々木（〝ゴジロー〟貴之：ギター）さんがマンドリンやバンジョーを入れてくれました。私がカントリー好きって知っているので、最初から〝カントリーっぽい感じでいいんだよね？〟って言ってくれて〝はい、もちろんです！〟って（笑）。レコーディングも普段バンドでリハをしているようなテンションでやりました。一発録りだし、使うテイクを選ぶときの基準も〝この声のほうがいいね〟ぐらいのラフな感じで（笑）。私はタンバリンも叩いたので〝意外と難しい！〟とか言いながら、ルンルンでやっていました」

■この曲のテーマは「結婚」なのかな？

「両親の曲です（笑）。お兄ちゃんの曲と並んで家族団欒なCDになっちゃいましたけど（笑）。これは高校生のときに作って、最初はギターでフレーズだけを弾いていたんですけど、〝風が吹くと〟って歌い出しが出たときにカントリーっぽい曲ができそうな気がして、2行ぐらい書いたときに〝お父さんとお母さんの曲になるかも〟と閃いてバッと書き上げました。最初は両親に伝えてなかったんですけど〝カントリーでいい曲だねぇ〟って言ってくれたので、父に2人の曲だって伝えたら恥ずかしそうに笑ってました（笑）。うちは家族3人なので両親からすごい影響を受けていて、父も母も人間として面白くて不思議な人なので（笑）、2人の曲はよくできるんです」

■Anlyちゃんにとって理想の夫婦なの？

「ああいう仲良い夫婦ってステキだなって思います。小さい島でずっと2人で暮らして、いつも同じ道をドライブして。たまに私も一緒にドライブに行くと、ZZトップやエリック・クラプトンが流れていたりするんです。自分もいつか結婚するなら父みたいな人がいいな。すごい真面目な人で仕事も休まないし、私がいつラジオとかテレビに出るかを真剣に調べてカレンダーに書いてくれるし。そう言えば、私が歌っているときの真面目な顔が父に似ているって母からよく言われます（笑）」

■お母さんはどういう人なんですか？

「楽観的でなんくるないさ～（なんとかなるさ）な人（笑）。でも私の性格は父似かな。なんくるないさってよりは、なんくるします！（なんとかする）っていう真面目さが（笑）」

■（笑）。そして「この闇を照らす光のむこうに」は、潔くアコギ1本で歌うことで、見える光がより鮮明になった感じがしました。

「嬉しいです。しかも潔くテイク1です（笑）。7回ぐらい歌ったけどライヴ感が一番出ていたので。この曲は1人で歌うときも頭のなかで大橋（スキマスイッチ）さんのハモリが聴こえてきて、大橋さんパートでは歌い方も自然に大橋さんが憑依します（笑）。いつかまた一緒に歌いたいなぁ」

■以上の3曲が揃ったシングルでAnlyの新章が始まるということで、10月からツアーも控える今、今後の北斗七星（＝目印）は？

「次のツアーでも新たなことにチャレンジしていきたいですし、〝北斗七星〟っていう曲がここ（歌手としての道）に私を連れてきてくれた気がするので、どんなときも見守ってくれている人たちが目の前にいるし、見えなくても見守ってくれる存在がいることを感じながら、これからも大切に歌っていきたいです」 B

6th Single
北斗七星
2017.08.09 Release
初回盤 CD+DVD ¥1,389（tax out）
通常盤 CD ¥1,111（tax out）

初回盤

通常盤

01 北斗七星
02 ie
03 この闇を照らす光のむこうに-anly only version-
04 北斗七星-instrumental-
05 ie-instrumental-

Anly ⇒
アンリィ。'97年1月、沖縄・伊江島生まれ。'15年11月25日に1stシングル「太陽に笑え」でメジャー・デビュー。'17年4月に1stアルバム『anly one』をリリースした。10月に2ndワンマンツアーを開催する。

BookShareZIP
http://bszip.com

lol lolol

初の全国ライヴツアー「lol live tour 2017 -lolz-」を、
現在全国16ヵ所16公演で開催中のlol(エルオーエル)が、
待望の1stアルバム『lolol』を8月2日にリリース!
グループ名の由来にもなったという言葉の意味、
"laugh out loud(声を出して笑う)"をテーマに構成され、
色とりどりの楽曲達が詰め込まれた今作について、
5人にたっぷりと語ってもらった。

Text ⇒ 武市尚子

Book Share ZIP
http://bszip.com

■待望の1stアルバムだね。それぞれ思い出深い曲は？

小見山直人「僕は〝fire！〟かな。やっぱりデビュー曲なんで、すごく思い出深いですね。その頃のリリースイベントとかを思い出して。何回パフォーマンスしたか分からないくらい歌ってきてるんですけど、毎回当時を思い出すんです。歌う度に初心に返れる1曲です」

佐藤友祐「俺は〝girlfriend〟がいちばん好きですね。男メインの初めての楽曲だったし、ダンスもすごく好きなんです。歌詞的には、あんなストレートな気持ちはないけど、ああいう気持ちでいられたらいいなとは思いますね」

honoka「好きな曲は、〝girlfriend〟で、思い出深い曲は〝hanauta〟です。〝hanauta〟のデモ音源をもらったとき、どうしても自分が歌いたい！と思って、デモ曲を夜中の3時くらいまでずっと聴き込んでたなぁって。上京したてだった自分の心境と重なったから、余計に思い入れが強くなったと思うんですよね」

■なるほどね。CD盤では「hanauta」の前に「catch the wave」っていうインスト曲が入ってるけど、そこは「hanauta」の導入部分になってるみたいで、より深く入り込めるよね。

honoka「そう！　そこも大好きです！」

moca「〝brand new story〟が1番思い入れがあるかな。歌詞も、夢を目指して上京してきた私たちを表わしているみたいだし。レコーディングしたのが一昨年の春くらいだったんですけど、まだ上京してなくて、テスト期間とかと重なってる中で、東京と大阪を頻繁に行き来してるときだったこともあって、いつもそんなときのことを思い出して、ライヴ中にこの曲を歌っていると泣きそうになるんです！」

honoka「ioiって前向きで幸せな恋愛ソングが多いけど、〝brand new story〟は失恋ソングだよね」

佐藤友祐「この曲の歌詞と心情が重なってることは、mocaはこの時期に失恋したってことか」

moca「失恋はしてないし（笑）。大阪の友達と離れるのが辛かったっていうところと重なったの」

hibiki「〝brand new story〟から〝hanauta〟に物語が繋がってる感じがするのもいいよね！　hibikiが好きなのは〝party up!!〟なんですけど、思い出深いのは〝bye bye〟かな。〝party up!!〟の歌詞はすごく元気が出るから好きなんですけど、〝bye bye〟は、その時期のことをすごく思い出すんです。こんなこと考えてたな、こんなこと悩んでたなって、いろいろと。曲って不思議だなって思うんです」

佐藤友祐「本当にデビューから2年間の足跡がしっかりと詰め込まれた1枚になったと思うな」

■ちなみに、アルバムタイトル『ioio』の意味は？

小見山直人「みなさんに、笑顔や感動を与えたいという願いと、僕たち自身も楽しんでいきたいという気持ちがあるので、ioiに、さらにoiを追加することによって、よりみんなと楽しめる時間を増幅させる意味を込めてあるんです！」

Book Share ZIP
http://bszip.com

lol

みなさんに、笑顔や感動を与えたいという願いと、僕たち自身も楽しんでいきたいという気持ちがあるので、lolに、さらにolを追加することによって、よりみんなと楽しめる時間を増幅させる意味を込めてあるんです！

moca「lolって、絵文字でワーイってやってるみたいに見えるんですけど、そこにolを足す事によって、2人でワーイってやってるみたいに見えるなっていう意味も込めてあるんです！」

■なるほど。リード曲の「perfect summer」は、夏全開の眩しい1曲になったよね。

佐藤友祐「夏にリリースされるし、おもいっきり夏っぽい曲がいいね！ということで、この曲をリード曲にすることになったんです！」

honoka「〝lol〟といえば夏！〟っていう印象をつけたいなっていう狙いもあって」

hibiki「最初にデモ曲を貰って聴いたときは、全然イメージが湧かなかったんですよ。でも、後々、トロピカルな音色や波の音や砂浜をイメージした音も入って夏らしくなったんです！」

■honokaのラップ部分がフックだよね。破裂音がすごく印象的。

小見山直人「今回レゲエ調のラップなんですよ」

honoka「あの破裂音がすごく難しかったんですよ！　こんがらがっちゃって、なかなかハッキリと発音できなくて苦戦したんですけど、印象に残ってくれたんだったら嬉しいです！　ファンのみんなもライヴでは一緒に歌ってくれてるので、それもすごく嬉しいです！　カラオケでもそこをみんなで歌ってくれたら嬉しいな」

■歌詞的には、〝何もかもがタイプで困るよ〟ってとこが眩し過ぎたなぁ（笑）

hibiki「そうなんですよ！（笑）」

honoka「想像するとウキウキしちゃうよね！」

小見山直人「でも、やっぱりそこはファンのみんなからもリプでいっぱい来ますね。そこの歌詞がめっちゃいい！って（笑）」

佐藤友祐「100％タイプで困るなんてことは、実際ないよね～（笑）そんなのは、まだまだ相手のことが見えてないんだと思いますよ～」

honoka「1人だけ大人な意見！（笑）　そんなことないよ、ファンのみんなは、私たちにそういう気持ちを抱いてくれてるんやと思うよ！」

小見山直人「そうそう！　俺、ファンの子から言われたもん、そうやって！」

honoka「honokaも言われる～！」

hibiki「hibikiも言われるっ！」

moca「でも、そんなこと言われたら疑っちゃう～！　ホントに!?って（笑）」

小見山直人「あははは。そこは素直に〝ありがとう〟でいいんちゃうの？（笑）」

moca「なんか自信ないけどなぁ～（笑）。でも、そんなこと言われたら嬉しいけど！」

honoka「でも、よくよく考えたら〝タイプすぎて困る〟って、すごい幸せすぎるよね！」

hibiki「好きだったら、全部タイプに

BookShare ZIP
http://bszip.com

なっちゃうんだよ、きっと」

佐藤友祐「まぁたしかにね。特にアーティストとか芸能人は、本当の内面を知らないからってのもあるんじゃない？」

honoka「いやいや、普通の恋でもあるって！　なんか今日、友祐大人やなぁ～。っていうか、これについては、一週間くらい語れそうです！（笑）」

moca「なんか喧嘩になりそうだよ（笑）」

佐藤友祐「たしかに（笑）。でも、そこまで好きになれるって幸せなことだなって思ったよ。この歌詞は、〝夏と恋〟をすごく上手く表現してていいなって思った」

moca「ね。いい歌詞だよね」

honoka「うん。私的にはね、〝一人じゃ輝く空も灰色になってく〟ってとこもめっちゃ好き！」

moca「ということは、2人で居たら、全部が輝いて見えるんやろな～。素敵やなぁ～」

honoka「そんなの経験してみたい！」

hibiki「分かる分かる！　今は1人でもめっちゃ空輝いてるもんね～！　2人で一緒に居るときの輝きが分からないから、逆に1人で居るときの灰色を知らないもん！」

小見山直人「ミュージックビデオはグアムで撮影したんですけど、天気もすごく良かったし、素の部分がいっぱい使われてるんですよ！　浜辺でみんなでトランプしてるところとかも、そのまんまだし、そこすごく好きですね」

moca「〝え!?　ここ使われてる！〟っていう、素のところとかもいっぱい使われてるから、本当に自然だと思います！」

hibiki「波打ち際でのダンスはちょっと大変だったけどね！　下が砂浜で安定してないから、サンダル履いて踊ってると足がグギッてなっちゃいそうで怖かったです」

小見山直人「たしかに！　靴の中に水がいっぱい入ってきたから大変だった！」

honoka「水が満ちてきたりしたから、結構大変だったよね。でも、すごく楽しかった！」

■新曲「blue ocean」は、イントロが静かな幕開けになってるから、最初バラードなのかと。

honoka「そうなんですよね！　そのギャップが、この曲の押しポイントなのかなと思いますね。最初聴くと、ちょっと切ない曲かと思いますもんね。でも、サビに来ると、〝え!?　こんなに激しいの!?〟って感じですもん。私はそのギャップにハマっちゃって、何度も繰り返し聴きたくなっちゃうんです！」

hibiki「〝lolの夏曲！〟っていうイメージだよね。あんまりなかったイメージの曲だし、〝perfect summer〟とはまた違う夏のイメージだしね。hibikiは〝blue ocean〟のサビまでのテンションと、サビでテンションが切り替わるところのメリハリがすごく好きなんです！　ダンスしてるときその切り替わるところがすごく楽しくて」

小見山直人「分かる分かる。そこは楽しいよね。情景がすごく浮かぶ曲でもあるから、夏にピッタリだなと思うんですよね。サビはみんなで手放しで楽しみたいですね」

佐藤友祐「みんなが言うように、この曲の魅力はメリハリだと思う。静かな部分があるから、サビが余計に盛り上がれるって感じがするな」

moca「私も個人的にすごく好きな1曲です。私は、ちょうどサビに切り替わるところを歌わせてもらってるのですごくテンションが上がるんです！　最初は切り替えが難しかったんですけど、ライヴでは気持ち良く歌えてます！」

honoka「〝to the blue ocean〟っていうフレーズを歌ってると、すごくテンションが上がるんです！　そこが好き過ぎて、そこを歌いたいためにウズウズしながら待ってる！みたいな感じなんです、この曲（笑）。本当に歌ってて楽しい曲なので、そんな感じがみんなに伝わってくれたらいいなと思います！」

CD+DVD［MV盤］

CD+DVD［LIVE盤］

CD

1st Album
lolol
2017.08. 02 Release
CD+DVD［MV盤］¥3,800（tax out）
CD+DVD［LIVE盤］¥3,800（tax out）
CD ￥2,778（tax out）

［CD］※CD+DVD盤は別構成&01、05、06、09、12、15は未収録
01 the wave (intro)
02 perfect summer
03 boyfriend
04 party up!!
05 shhh...
06 girl is mine
07 fire!
08 ladi dadi
09 catch the wave (interlude)
10 hanauta
11 girlfriend
12 blue ocean
13 spank!!
14 hikari
15 brand new story
16 bye bye

［DVD／MV盤］
01 fire!（music video）
02 ladi dadi（music video）
03 spank!!（music video）
04 bye bye（music video）
05 boyfriend（music video）
06 girlfriend（music video）
07 perfect summer（music video）
08 shake shake（music video）
09 off shot-2017 summer-
10 off shot-2017 summer-

［DVD／LIVE盤］
01 ladi dadi(live tour 2016［101］ver)
02 fire!(live tour 2016［101］ver)
03 pop that!!(live tour 2016［101］ver)
04 bye bye(live tour 2016［101］ver)
05 sweet pain(live tour 2016［101］ver)
06 gimme gimme(live tour 2016［101］ver)
07 brand new story(live tour 2016［101］ver)
08 hanauta(live tour 2016［101］ver)
09 starlight(live tour 2016［101］ver)
10 wooooh!!(live tour 2016［101］ver)
11 off shot-live tour-

lol ⇒
エルオーエル。人を笑顔に、感動させるグループになりたい!という想いを込めたダンス&ヴォーカルグループ。'15年8月に、シングル「fire!」でメジャー・デビュー。初の全国ツアーのファイナル公演を、7月29日（土）東京・duo MUSIC EXCHANGEにて開催する。

Book Shake ZIP
http://bszip.com

須田アンナ
武部柚那

E-girls兼Happinessのパフォーマーとして活動するYURINOと須田アンナ、
同じくE-girlsでヴォーカルを務める武部柚那によるヒップホップユニット「スダンナユズユリー」が、
2ndシングル「CALL ME NOW」を8月9日にリリース。前シングルに続き、
自ら作詞を手掛けたという今作について、表題曲のMV撮影秘話も含めて3人に語ってもらった。

スダンナユズユリー

CALL ME NOW

Text ⇒ 斉藤 碧

■新曲「CALL ME NOW」には電話を待つ女の子の様子が描かれていますが、そういった歌詞のテーマはいつ頃からあったんですか？

武部柚那「〝電話をモチーフ〟にしたら可愛いよね〟っていう話は、「OH BOY」（今年3月発売のデビュー・シングル）を作っている頃から出ていたんですけど、正式に決まったのは〝次のシングルどうしよう？〟って話し合った時、再び話題に挙がったのがキッカケでした。で、そこから〝好きな男の子からの電話を待つ女の子の気持ちをテーマにしよう〟っていうふうに3人で膨らませて。3人で分担して作詞していきました」

■歌詞の分担はどうやって決めたんですか？

武部柚那「トラックをいただいた時点で、ラップと歌っていう区別はついたんですけど……」

須田アンナ「ラップ部分も、私とYURINOちゃんが2人で考えて割り振って、歌詞も〝OH BOY〟の時以上に2人で考えましたね。家で一緒に考えていたんですが、〝よーし、歌詞考えるぞ！〟みたいな感じでいきなりスイッチが入るので面白かったです（笑）」

YURINO「あったねー（笑）」

須田アンナ「今回はテーマ自体わかりやすかったし、トラックも〝OH BOY〟と同じくSKY BEATZさんにお願いしたのですが、最初からどっちがどのパートを歌うのかがわかりやすい感じになっていたんですよ。ちゃんと私達のことをわかってくれているというか」

武部柚那「トラックを依頼する前に、自分達でも〝トラックにも♪ピポパって電話の音が入ってたら可愛いよね〟って話していたんです

BookShareZIP
http://bszip.com

けど、それも取り入れてくれていました」

須田アンナ「そうそう。だから、私達も〝この歌詞可愛いんじゃん？〟って言いながら、楽しみながらできましたし、結構スラスラ書けたなと思います」

YURINO「私も、電話がテーマの曲だからこそ使えるようなワードをいっぱい入れました」

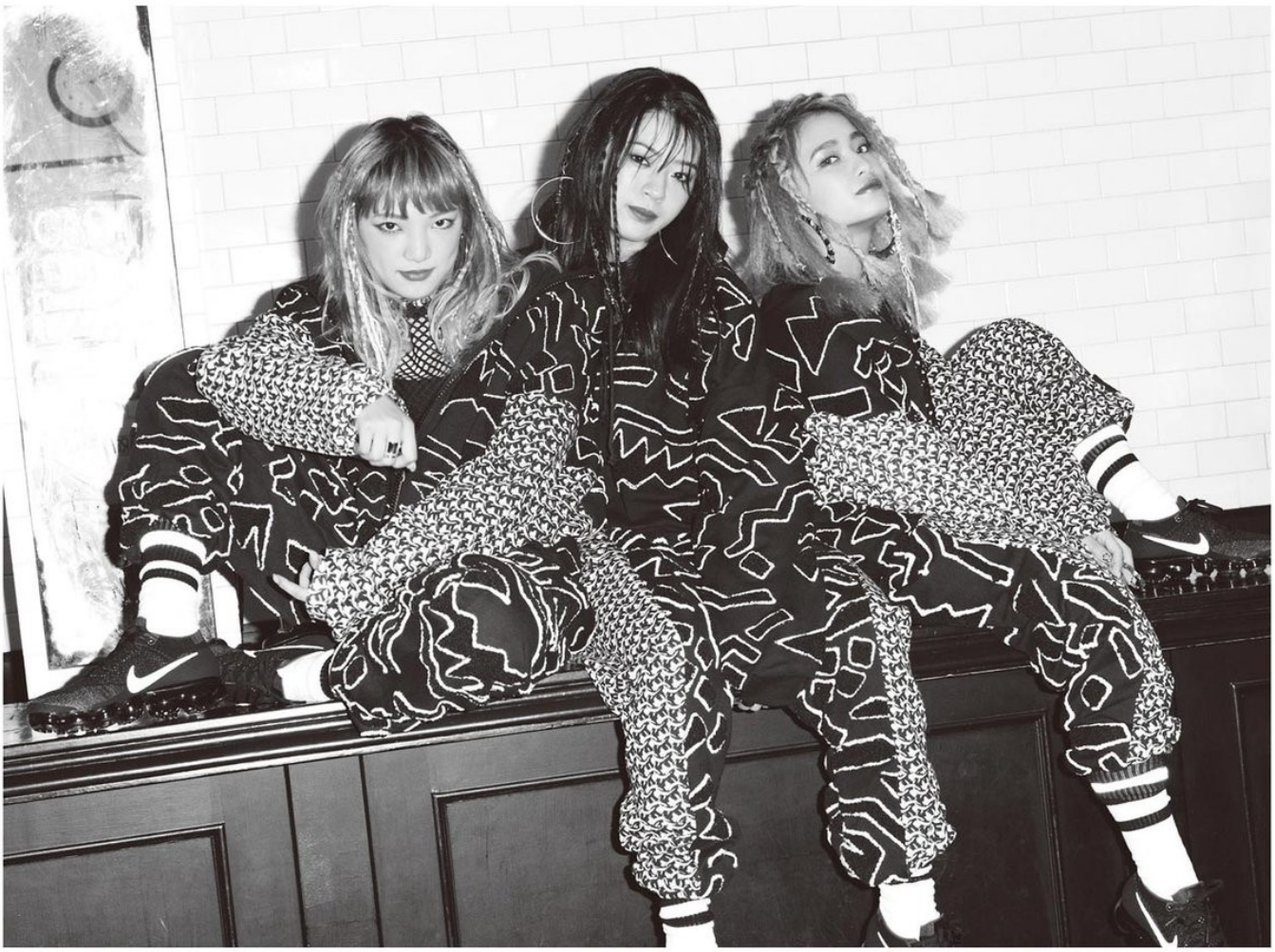
■それぞれ、とくに〝この歌詞は私らしい！〟と思う部分を挙げるとどこでしょうか。

YURINO「私はやっぱり〝Hello Hello ☎080＊＊＊＊〟っていう部分ですね。こういう曲じゃないと使えない言葉ですし、みんなも馴染みある番号だと思って使いました。あと、何言っているのかわからない感じを敢えて狙って歌っていたりもするので、曲だけを聴くと何を言っているのかわからないんだけど、歌詞を見て〝こう言ってたんだ！〟って気づいて、楽しんでもらえたらいいなって。そこは自分の武器かなと思っています」

須田アンナ「私は〝キュンとさせてHOLD ME NOW Call だけじゃNo! Face to face〟っていうヴァース部分ですね。恋はキュンとするものだと思うし、好きな人には、電話もいいんですけどやっぱり会いたいじゃないですか？　そういうところが私っぽいなって思います」

■でも、言葉選びは可愛いらしいんですけど、歌声は格好いいんですよね～。

須田アンナ「あははは！　そう、私、声が結構低いんですよ。だからこそ、歌詞まで格好いい感じだと強くなりすぎちゃうかな？と思って。でも、私って意外と乙女心らしくて……（一同笑）。そのギャップが出せていたらいいなと思います」



武部柚那「私は〝いつの間にかMy best friendなClock〟……〝時計は友達〟っていうところですね。歌詞を書く時にここのフレーズだけなぜか出てきて、しばらく時計を見ながらボーッとしていた時間があったんです。そしたら、ふとこの歌詞が出てきて。後から考えてみると、シチュエーションは違いますけど、この歌詞が曲の世界観を広げてくれた感じがして。この曲にピッタリの歌詞だなと思いましたね」

■ちなみに、さっきYURINOさんとアンナさんは急に歌詞を書くスイッチが入るって言っていましたけど、柚那さんはどういうタイプですか？

武部柚那「私は追い込まないとできないタイプなので、考えて考えて……実際に歌詞を書き始めるのはギリギリっていうことが多いです（笑）。いざ歌詞を書くっていう時も〝何時～何時まで〟って決めて、その中で書くようにしてますね」

■そうやって生み出した歌詞を、実際に歌った手応えはいかがでしょう？

武部柚那「歌う前は〝これ、どういう聞こえ方になるんだろう？〟って思っていたんですけど、できあがってみるとすごくしっくりきました。カップリング曲もそうなんですけど、〝CALL ME NOW〟も何度も歌詞を書き替えて、レコーディングも何度も繰り返したので、その中で徐々にできあがっていって。私自身も、曲に対する自信がついたような気がしています」

須田アンナ「個人的には、今回のレコーディングも結構難しかったですね。始まりの〝I'm

BookShare ZIP
http://bszp.com

ot just a girl〟っていう歌詞とかも、〝何が一番いいんだろうね？〟って3人ですごく悩んだし、歌い方も何度もいろんな歌い方を試して一番いいものを選んだので。楽しかったんですけど、その過程を改めて振り返ってみると大変だったなって思います」

YURINO「〝I'm not just a girl〟は呪文みたいなフレーズなんですけど（笑）、いきなりここから始まるので、すごくキャッチーにみなさんの耳を掴まなきゃいけないとも思ったし、すごくこだわりましたね。でも、何をするにも初めてのことばかりだった前回のレコーディングと違って、今回は前回のレコーディングでわかったことを自分なりに解釈しながらやれたのでよかったです」

■YURINOさんとアンナさん（Happiness／E-girlsだとパフォーマー）は、歌いながらのパフォーマンスにはもう慣れました？

須田アンナ「慣れた……かな？」

YURINO「かな？（一同笑）」

須田アンナ「『GIRLZN, EFFECT』ツアー（Happinessの公演）で初めて〝スダンナユズユリー〟としてパフォーマンスしたんですけど、3人共そこでかなり鍛えられた感じがありますね。ステージを重ねていくごとに自分達の反省点も見えて、ツアーの合間にスタジオを借りて3人で練習したりもしましたし、見せ方はだいぶわかってきたかなと思います」

■その努力は、MVからも伝わりました。

武部柚那「ありがとうございます。でも、今回のMVはパフォーマンス以外にも見どころがたくさんあって。〝OH BOY〟の時と比べると演技をするシーンが多いので、昔から私達を知ってる方は〝MVでそんな表情しちゃうの!?〟って思うかもしれないです（笑）」

須田アンナ「漫画の世界観に入るシーンは見どころだよね？　次から次へとコマが切り替わるんですけど、みんな何パターンも撮影したので、よく観るとすごく面白くて！　とくに〝夢のなかでCall me now〟のところは、柚（武部柚那）が電話のコードでグルグル巻きにされながら〝いやぁあああ〟ってなっているので、一時停止してじっくり観てほしいです（一同笑）」

武部柚那「撮影秘話を話すと、このシーンの撮影前、ちょっと現場で寝てたんですよ。そしたら〝起きて〟って言われていきなりグルグル巻きにされたので、じつはリアルな叫びだったりします（笑）」

私達はライヴでこそ活きるグループだと思うんですけど、ようやくライヴで強みになるような曲が揃ったと思います。〝これが今の私達です〟と自信を持った1枚ができたと思うので、ぜひ聴いてみてください。

YURINO「あの顔はなかなか見られない顔だよね（笑）。それに、そういう演技シーンだけじゃなくて、今回はセットやメイクも女の子が好きそうな世界観を表現しているシーンが多いので、いろんな面でまた新たなスダンナユズユリーを観てもらえると思いますし。MVの最後には次回作のヒントも隠れているので、最後まで忘れずに観てもらえたらと思います」

■なお、カップリングには、ライヴを連想させるダンスチューン「#SYYB」と初々しいデートの模様を描いた「Lover」が収録されます。

武部柚那「〝#SYYB〟は〝ライヴで盛り上がれる曲を作りたいよね！〟っていうところから作り始めた楽曲で。このタイトルは後からつけたんですけど、スダンナユズユリーベース（スダンナユズユリーの場所）……私達の音楽で盛り上がってほしいという想いを込めた1曲になっています」

須田アンナ「私も言葉では踊りな！〟とか強い言い方をしてるんですけど、たとえば、踊るのが恥ずかしいとかイヤフォンの中だけで音楽を楽しんでいる人がいるとしたら、その人に向けて優しく〝大丈夫だよ〟っていう気持ちを込めました。でも逆に、〝Lover〟は〝OH BOY〟の世界観の続きで、初デートを描いた曲になっているんですけど、〝OH BOY〟が強気な感じだとしたら、〝Lover〟は恋人になったらなったで〝緊張してヤバイ！〟みたいな（笑）。そういう曲になっています」

武部柚那「この曲は、他の曲と比べても、1人1人のキャラクターがわかりやすく出てるなって思いますね。最初はスダンナ（須田アンナ）、次はYURINOさん、サビは完全に私の気持ちがそのまま出てますから（笑）。そう思って聴いてもらえると、さらに面白いんじゃないかなと思います」

YURINO「ただ、1曲として見ると、不思議と、1人の主人公のデートドキュメンタリーを見ているような仕上がりにもなっていて。私もニヤニヤしながらレコーディングしました（笑）。今後ライヴで披露する時にも今と変わらない気持ちで歌えるのかなと、今から楽しみにしています」

武部柚那「そうですね。私達はライヴでこそ活きるグループだと思うんですけど、ようやくライヴで強みになるような曲が揃ったと思います。〝これが今の私達です〟と自信を持った1枚ができたと思うので、ぜひ聴いてみてください」

CD+DVD

CD

2nd Single
CALL ME NOW
2017.08.09 Release
CD+DVD ¥1,800（tax out）
CD ¥1,200（tax out）

［CD］
01 CALL ME NOW
02 #SYYB
03 Lover

［DVD］
CALL ME NOW（Music Video）

スダンナユズユリー ⇒
YURINO（MC）、須田アンナ（MC）、武部柚那（たけべゆずな／Vo.）によるヒップホップユニット。'17年3月1日に、1stシングル「OH BOY」でメジャー・デビューを果たした。

BookShareZIP
http://bszip.com

一樹_G.

燕_B.

Boon Share ZIP
http://bs.zip.com

将海_Dr.

一聖_Vo.

優_G.

BugLug 新人生

5月7日に行なわれた初の武道館後から制作を始めた新曲「新人生」は、
九死に一生を得たヴォーカル一聖だからこそ書くことのできた“生”の言葉が並んでいる。
いろんな要素を盛り込み、ここまでのBugLugの集大成とも言えそうな本曲は、
他の誰でもない応援してきてくれた“君”へ向けて。
カップリングには、ロッカバラードとポップでキュートな曲を揃え、彼ららしい振り幅を見せた。
改めてスタートを切った彼らの名刺代わりになるだろう今作について、話を聞く。

Book Share ZIP
http://bszip.com

Text ⇒ 赤木まみ

■前回のインタビューで、「ニュー・シングルの曲はこれから作る」と話してくれましたけど。今回収録されている3曲は、全部、初の武道館公演の後に作ったものなのでしょうか？

一聖「そうです、完全に。武道館まで常にそのことしか考えていない状態で、みんなの臨む姿勢も並々ならぬものがあったので、そういう機会が持てたのは良かったなと思います」

■表題曲の「新人生」は、文字通り〝新しい人生〟のリスタートを宣言した曲ですね。

一聖「はい。生きてると〝新〟が付くことっていっぱいあると思うんですよ。新学期、新生活、新入社員とか。だとしたら、人生においても〝新人生〟があってもいいというか、それも絶対あるなと思ったので、まずタイトルを〝新人生〟にしました」

■タイトルから先に考えたんですか？

一聖「そうですね。まぁ武道館をやる前から色々考えてはいたんですけど、結局のところ、武道館をやってみないと詞も曲も書けないと思ってたし、武道館が終わった時に〝今、新しい人生が幕を開けたんだ〟って実感したので、〝新人生〟にしようと。そこから制作に取り掛かっていきました」

■この曲は独白から始まり、韻を踏んでたり、パワーコーラスが入っていたり、いろんな要素が盛り盛りで。でも基本、すごくBugLugらしい曲ですよね。

一聖「そうですね。BugLugの集大成じゃないですけど、そんなニュアンスも感じ取れるようにしました。スタッフサイドからは〝今回は新しいスタートだから明るくポップな曲にしてみたら？〟っていう意見もあったんですけど、それは絶対違うなと思って」

優「そう。今回は世の中一般に向けてというより、BugLugに携わってくれている人達……武道館のタイトルじゃないですけど、〝5人＋君〟みたいなところに焦点を当てて作る曲なのかなっていう気がしてて。だから、この曲で売れようなんて気はさらさらなかったし、売れ線の曲を作って今俺達のことを好きでいてくれるファンを裏切るほうがダサいなと思ったんです。もちろん、だからと言って明るい曲を否定してるわけじゃないですけどね。今回3曲目に入っている〝コトナ〟とか、超ハッピーでいい曲だし。まぁ、俺達はこうだよっていうのを自信を持って伝える、声明のような曲になったと思います」

■歌詞もリアルで説得力がありますよね。

優「やっぱ一回ね、ほんとに人生やり直したような体験をしてる人がメッセージを書いているわけだから」

燕「だから俺、歌詞を見せてもらった時、ほんとにまた新しいBugLugが始まるんだなと思って、すごい希望に満ちた気持ちになりました」

一樹「俺、今回出すシングルは聴いた人にとって絶対〝光〟であるべきだと思ってたんですよ。〝新人生〟は、今、一聖が歌わなくてはいけない曲なんです。入り口は絶望というか低いところから始まるんですけど、聴き終えた時には街の景色が少し綺麗に見えたり、自分の人生を一歩踏み出そうかなって思える曲になってると思うんです。なので、〝光〟が溢れる曲になって良かったと思うし、BugLugの新人生の第一歩にふさわしい曲になったなと思っています」

将海「この曲ってテーマが明確じゃないですか。〝再出発〟っていう。しかも、さっき言ってもらったように言葉もリアルだから、BugLugのことをあんまり知らない人でも理解しやすいと思うし、すごく伝わりやすい曲になってるんじゃないかなと思いますね」

■リアルと言えば2曲目の「命」も。これはスケール感のあるロッカバラードですけど、言葉の1つ1つが〝魂の叫び〟という感じで、強く心を揺さぶられました。

一聖「この曲って、歌詞はもちろん最近書いたものなんですけど、楽曲は実は高校生の時に作ったものなんですよ。高校の時、友達が死にかけたことがあって、すごい心配で、でも自分は涙を流すことしかできなくて、この気持ちをどう伝えればいいんだろう、じゃあ曲にしてみようか……って、それで書いたものだったんです。その曲が今回、今の自分に合ってる気がしたので、改めて書き換えて、歌詞も新たに付けたという感じですね」

一樹「表題曲の〝新人生〟も一聖のリアルな気持ちだけど、これはもっとディープな内容だと俺は思っていて。この歌詞を見るたびに、一聖の入院してた頃を思い出しちゃうんですよね、俺自身」

■実際、これは一聖さんが入院してる時の想いをベースに書いたんですか？

一聖「そう……なんですけど、正直、入院中の記憶ってほぼないんですよ。メンバーがいつも来てくれたなとかはわかるんだけど、何喋ったっけ？とか。みんな来るたびに雑誌とかヨーグルトとか色々買ってきてくれたんですけど、そのことすら思い出せなくて。ただ、その時に自分が感じたことは覚えているので、このような歌詞の展開になりました」

■歌詞には〝目が覚めた直後、断末魔を感じた〟という言葉もあります。

一聖「そう。自分が火葬されてる夢を見ちゃって、〝あぁ、俺はもう終わったんだ……〟と思ってる時に目が覚めて、〝あ、いや生きてる！〟って。それもよく覚えてます」

将海「だからこの歌詞って、ファンの人が一番知りたいことが書いてある気がする。あの時、一聖はこう思ってたのかみたいな」

燕「俺がこの歌詞を見て印象的だったのは、〝命、在る限り…一笑懸命〟っていうところ。一生懸命の〝生〟が〝笑〟になってて、それが一聖らしいなって」

一聖「やっぱりね、笑うってことが人生において一番素敵なことなんじゃないかなと思ったから。笑って懸命に生きたいなと思って」

優「あとやっぱり、最後のフレーズだよね。この曲は何かをメッセージするというより、一聖の個人レベルの想いがそのまま素直に書いてあって。それ自体、今までになかったスタイルだと思うんですけど、最後のフレーズで、ファンの人達や周りの人に対しての感謝を曲にできたっていうのは、一聖の人間的な成長でもあるなぁと」

■うん。その最後の一節は本当に感動しました。ファンの人が聴いたら泣いちゃうんじゃないかなぁって。

一聖「最後のフレーズは、入院中から本当に思ってたことなんですよね。まず俺を手術してくれた先生に対しても〝あなたがいたから救われた〟っていうのがありますし、家族、親友、もちろんバンドのメンバー、スタッフ、そしてファンの人達……みんながいるから俺が生

Book Share ZIP
http://bszip.com

きてるんだっていうのを強く感じて。だから、最後の言葉はこれにしたんです」

優「しかもこの曲は、曲自体、すごいスケール感があるじゃないですか？　だから、メチャメチャ大きくていい曲ができたなって。俺達にとってすごく大事な1曲になりました」

一樹「そうだね。ただ、ほんとにスケールが大きくて、おまけに前半は（バックの演奏が）ピアノだけだから、ライヴはこれ、どうすんの？っていう（笑）」

優「いや、ライヴではやらねー」

■えぇ!?

優「一聖がグランドピアノで弾き語りしてくれるなら、やってもいいけど（笑）」

一聖「じゃあ、10年後かな（一同笑）」

■3曲目の「コトナ」は一転、超ポップで可愛い曲ですね。

優「〝新人生〟〝命〟ときたら、その後はこんぐらいライトな曲を入れないと絶対キツイと思ったんですよ。〝重かった？　ごめんね〟みたいな（笑）。もちろん〝新人生〟とか〝命〟はBugLugの核になる部分ではあるんだけど、それだけがBugLugじゃないよ、ポップで可愛い部分もあるんだよっていうのをちゃんと見せてあげないと、ちょっと不親切だなと思って」

■このポップさも間違いなくBugLugの一面だからね。そもそも〝コトナ〟っていう造語自体、BugLugらしいし。

一聖「確かに。これは前の2曲とはまったく違った形で、日常で感じてることをそのまま書いたんです。大人になっても自分の中に子供もいるから、俺達コトナじゃね？っていう」

優「今作は曲だけ聴くと、3曲バラバラな気もするじゃないですか？　だけど人間って、いろんな人格を持ち合わせていると思うんですよ。例えが悪いけど、ヤ○ザだって子犬が好き、みたいな（笑）」

燕「その例え、わかりやすいかも（笑）」

優「なんかそういう、BugLugの両極が出たというか、幅を見せたシングルになったなとは思いますね」

■すごく濃い1枚だと思います。そして、このシングルが8月9日に出て。8月9日と言えば89（バグ）の日！　その日は代々木公園野外ステージでフリーライヴ「自由～ASOVIVA～区域 Revenge」もありますね。

優「89の日っていうのは俺達がとても大事にしてきた1日で。でも去年は89の日を本来の空気にはできなかったので、その分、今年はタイトルにも〝リベンジ〟って付いている通り、とにかく楽しい、お祭りな1日にしたいなと思っています」

■9月からは、47都道府県ツアーも始まります。どんなふうにしたいとかはありますか？

優「ツアーで何をみんなに持ち帰ってもらうかっていうのはいつも色々考えるんですけど、今回の47（ヨンナナ）に関しては、俺らが思ってる大きなものが1つあって、それを一聖の口から伝えられたらなと思っています。なので、ここでは言いません（笑）。ぜひライヴ会場で直接感じてください」

■さて、一聖さん。体力は大丈夫そうですか？

一聖「全然大丈夫。というか、まだ未知ですけど、今まで通り本気でやっていきます！」 B

コトナ　カップリング曲「コトナ」にかけて、子供な部分をトーク

■自分で思う自分の子供なところを教えてください!

将海「おっぱいが好きなところ（笑）」

優「将海、わりと好きだよね？」

将海「いや"わりと"じゃなくて、結構好き（笑）」

一樹「俺は昨日、小枝っていうチョコレートを買って食べて。昔は小枝って滅多に食べられなかったんですよ」

優「ちょっと高いしね？」

一樹「そうそう。でも昨日それを食べて、俺も大人になったなぁと思ってる自分が子供っぽいなと思った（笑）」

優「一樹はお菓子に関してほんと子供だよね。だって前に"食べ物で何が一番好き？"って聞いたら"ビスコ!"って」

一樹「言わない約束じゃんそれ!（笑）」

燕「俺は大人の味が苦手ですね。シソとか三つ葉とか。お寿司にシソが入ってたら速攻シュッと抜きます（笑）」

■優くんは？

優「我慢ができないとこかな。"あ～二日酔いだ、もう酒はやめよう"って思った1時間後には飲んでたりとか（笑）」

一聖「俺は……なんだろう？　スヌーピーに出てくるライナスじゃないけど、昔から使ってるブランケットは未だに手放せないですね。あれは俺の財産（笑）」

一樹「たまに機材車でもブランケットかぶってるもんね？」

燕「あるある。俺も見た（笑）」

一聖「あのブランケットはね、すっげー大事。だから47（都道府県ツアー）の時も持っていくつもり」

■なくしたら大変だね？

一聖「ブチ切れると思います（笑）。なので、なくさないように気をつけながら（笑）、47、頑張ります!」

BugLug ⇒
バグラグ。'10年始動、5人組ロックバンド。昨年不慮の事故にあったVo.一聖が今年1月7日に奇跡の復活を果たし、5月7日に初の日本武道館ワンマンを行なった。8月9日、代々木公園野外ステージにて、フリーワンマンライヴ「自由～ASOVIVA～区域Revenge」を開催。47都道府県TOUR「RESTART WITH A NEW LIFE」が9月3日よりスタート。

初回生産限定盤

通常盤

完全生産限定豪華盤

17th Single
新人生
2017.08.09
初回生産限定盤 CD+DVD ¥1,800（tax out）
通常盤 CD ¥1,500（tax out）
<通販限定> 完全生産限定豪華盤 CD+DVD ¥5,500（tax out）

［初回生産限定盤-CD］
01. 新人生
02. 命
03. 新人生（Instrumental Ver.）
04. BugLug Radio -Member Talk-

［初回生産限定盤-DVD］
新人生 -Music Clip-

［通常盤-CD］
01. 新人生
02. 命
03. コトナ
04. SHOW 2 GLOW（2017.5.7 日本武道館）

［完全生産限定豪華盤-CD］
01. 新人生
02. 命
03. コトナ
04. 迷子CH（2017.5.7 日本武道館）
05. -7-（2017.5.7 日本武道館）
06. 新人生（Instrumental Ver.）

［完全生産限定豪華盤-DVD］
新人生 -Music Clip-［Director's Cut］
新人生 -メイキングオフショット-
スペシャル座談会

Book Share ZIP
http://bszip.com

TVアニメ『時間の支配者』のオープニング・テーマとして書き下ろした
新曲「RULER GAME」を7月26日にリリースしたFo'xTails(フォックステイルズ)。
作品の世界観に寄り添いつつ、自らの考える“アニソンの王道”を
サウンドに落とし込んだというフォックス流メタル×ジャズのハイブリッドチューン!
彼らならではのテクニックとセンスが詰まった制作エピソードをたっぷり語ってもらった。

Text ⇒ 早川洋介

Book Share ZIP
http://bszip.com

鳴風(なるかぜ)／Guitar

坂本尭之(たかゆき)／Bass

Fo'xTails

R U L E R G A M E

テラ／Guitar&Programming

takao／Vocal

Book Share ZIP
https://bszip.com

アニメのテーマともつながりますけど、後悔して過去に戻りたいっていう気持ちは誰しもあると思うんですね。だけど、迷いは捨てて前を見つめなきゃいけないっていう、歌詞ではそういった部分を描いてます

ピュアでハードなロックを聴かせる4人組、Fo'xTa-iSがニュー・シングル「RULER GAME」を完成させた。TVアニメ『時間の支配者』のオープニングテーマでもある表題曲は、彼らが思うアニソンの王道を貫きつつ、しっかりと高度なテクニックが炸裂するさすがの一曲だ。新たなキラーチューン誕生の背景をメンバー全員に語ってもらおう。

■アニメ『時間の支配者』は〝クロノスルーラー〟なる存在が軸となって話が展開しますが、「RULER GAME」というタイトルはどういったところから生まれたんでしょう?

takao「最初、デモを聴いたとき、ジャジーな部分からギャンブルのイメージが湧いてきて、アニメではトランプを使って戦うシーンもあるので、そこから〝ゲーム〟というワードを元にして歌詞を書き始めたんです。それで、(共作者である)松井洋平さんの歌詞のなかに〝ルーラー〟というフレーズがあって、アニメにも〝クロノスルーラー〟が出てきますけど、その響きがすごくいいなと思ったんですね。そうやって松井さんに協力してもらいながら歌詞を作っていって、結果このタイトルになりました。アニメのテーマともつながりますけど、後悔して過去に戻りたいっていう気持ちは誰しもあると思うんですね。だけど、迷いは捨てて前を見つめなきゃいけないっていう、歌詞ではそういった部分を描いてます」

■アニメのタイアップ曲というところで、作品に寄り添って作る難しさは毎回あると思うんですが、その辺りはいかがです?

takao「何かに縛られている感覚はないですね。原作を読んだり、見たりして、自分の中で今、伝えたい事と作品とリンクする部分を見つけ出して書いてます」

鳴風「今回はアニメの監督さんとの打ち合わせから入って、疾走感のあるアニソンの王道感と、ジャズの要素が入ると嬉しいと言っていたので、そういった楽曲を目指したんです」

takao「作品のBGMもジャズのイメージが強いというところからの話ですね」

■そういったリクエストにすぐ対応できるのが、このバンドのすごさでしょうね。

鳴風「いえいえ(笑)。ジャズにもいろんな形があるじゃないですか。しかも、それをFo'xTa-iSがやるならというところで、いろいろアプローチは考えましたね。あとはアニメタイトルにある〝時間〟というキーワードが自分の中で引っ掛かっていて、時間をイメージできるアレンジにしたいなと思っていたんです。最初の段階では逆再生ばかり使っていたんですが(笑)、最終的にはピアノ始まりにして、時計の針が進むようなイメージになりましたね」

■ちなみに『時間の支配者』は登場人物ごとに得意技があったりとキャラクターが立っていて、まさに『少年ジャンプ』らしい作風ですが(同作は『少年ジャンプ+』にて連載)、皆さんも〝ジャンプ〟は読んでました?

坂本「まさにド真ん中世代ですね。『ドラゴンボール』に『SLAM DUNK』……」

鳴風「あとは『るろうに剣心』や『幽☆遊☆白書』」

坂本「それと『ラッキーマン』と『ジャングルの王者ターちゃん♡』とかの時代ですね」

テラ「僕ら3人は、一緒の世代なんです」

takao「俺はちょっとあとで、『ONE PIECE』が始まったあとの『NARUTO-ナルト-』とかの時代ですね。で、まさに今回の監督さんから、楽曲にも〝ジャンプ〟の王道さが欲しいって言われて。原作者は台湾の方なんですが、日本の漫画が大好きで日本のアニソンの曲でイメージがあったみたいなのですが、監督さんは以前からアルバムを買って聴いてくれている方だったので、Fo'xTa-iSの良さを出して欲しいと言ってくれて、俺たちの思うアニソンの王道というところに着地したんです」

坂本「余談ですけど、『SLAM DUNK』が連載されている時代に、僕の好きな桂正和さんの『SHADOW LADY』という漫画があったんですね。『時間の支配者』の原作を読んだときに、街の風景とかの画風に通じるものを感じられて、同じ時代の〝ジャンプ〟を読んできたんだなぁって。作者の方に親近感がすごく湧いたし、王道のボケとかもあって、そういう部分でも好きな作品なんです」

■そうでしたか。では、話を楽曲に戻して。アニソンの王道という点で、ギターが16分のリフを刻む疾走感もFo'xTa-iSでは新鮮ですよね。よりストレートなメタル感があって。

鳴風「ええ。このテンポ感自体も新鮮です」

takao「鳴風の思うアニソンの王道はこれだ!ってことですよね(笑)」

■一方では、最初にも話していたようにジャズの要素も入っていて、ピアノの緻密なアンサンブルも秀逸ですね。

鳴風「だからセクションごとに性格がガラッと違うので、曲中にメンバーが何人もいますよね(笑)」

■たしかに(笑)。ピアノと絡むジャジーなベースラインも、1番と2番でフレーズが違っていたりと随所で聴きどころがあります。

坂本「それは作曲者の要望ですね(笑)。当初、デモではコードを無視したすごく斬新なウォーキングベースが入っていたので、完コピしてレコーディングで弾いたら、〝そんなに考えて弾いたわけじゃない、ごめん〟と言われ(笑)」

鳴風「ははは! ごめん(笑)」

坂本「(笑)だから自分の引き出しの中から、ウォーキングベースのフレーズを出していって……表情的には2番のほうが(ジェームス・)ジェマーソン(※60~70年代に活躍し、多大な影響を与えたアメリカの名ベーシスト)っぽい感じですかね。ギタリストからざっくり出たイメージを自分の中で消化して弾いたもので、そんなに考えて作り込んだフレーズではないんですね。僕の場合、ジャズ要素よりも疾走感のあるグルーブを合わせることのほうが大変でしたね。いざ弾くと、結構な体力を消耗するんですよ(笑)。さらっと弾くだけならできるけど、しっかり重みもあって、鳴くん(鳴風)のグルーヴにもひっついて……だけど完全に一緒だとつまらないし、っていうところ

BookShare ZIP
http://bszip.com

での試行錯誤がありました」

■そういったなかで、テラさんはどういったアプローチで臨みました？

テラ「僕はジャズにそれほど傾倒していたわけではないんですけど、上京したての頃にジャズの生演奏があるバーで働いていたことがあったんですね。そこでセッションに参加してたりしたので、アイデアを提供できるんじゃないかなと思って、鳴くんのレコーディングのときに、よりジャズ寄りのギターのアプローチを提案したりしたんです。そうしたら、〝うん……ちょっとやりすぎかな〟って言われたりして（笑）」

■ああ、そのさじ加減の難しさがあるってことですよね。

テラ「そうなんです。そういったことも、いい勉強になりましたね」

鳴風「もちろんプレイ的にはなんの問題もないんですけど、本物っぽすぎたというか」

takao「本格的なジャズの要素が強すぎてしまうと、俺らが聴かせたい部分が届きにくくなってしまうんじゃないかなというところで。1stアルバム（『INCEPTION』）をリリースしたあとの最初の音源だったので、みんなアイデアが豊富にあったんですよね。いろんなアイデアをもっと出そうと、1曲に賭ける想いが強かったですね」

■そしてタイアップのシングルにして、長尺のギターソロが意外でもあったんです。個人的には、もちろん大歓迎ですが（笑）。

鳴風「そこに関しては、自由でいいのかなと思ったんです（笑）。自分にとって2サビ終わりは一番楽しめるポイントなんですよね。そのままストレートにギターソロに持っていくのか、それともラップを入れたり、シャウトのセクションにするのか……今回は、それよりもピアノをもっと活かしたいし、ギターも弾きたいっていう欲があったので」

takao「ダメなギターフレーズだったら半分の長さにしてもらいますけど（笑）、もちろんそんなことはなく。特にギターソロが始まったときのフレーズに王道感を感じたんですよね。それに歌えるようなギターソロなので、すごくカッコいいですよね」

■まさに。このギターソロは最高でしたね。テクニカルな要素もちりばめながら、メロディパートを多く設けてドラマを展開していくところがグッとくるんですよ。

鳴風「ああ、嬉しいですね。イメージ的には〝GLITTER DAYS〟を作ったときに通じるのかな。あれも歌えるようなギターソロを目指していたので。他のセクションが結構詰め込んだ形にしていたので、サビは大きいメロディで広げて、ギターソロも大きく行きたかったんでしょうね」

■アニメ主題歌としての役割もまっとうしつつ、楽器隊のプレイも前面に出ているところに、Fo'xTailsらしい魂を感じますよね。

takao「俺もそう思います。こういう形でやれているのって、貴重ですよね」

テラ「プレイヤー的な視点で形容するなら、難しいというよりも忙しい曲かな」

坂本「糖分を必要とする曲と言える（笑）」

takao「そう（笑）。速いから歌も難しい。リズム自体が難しいというのもあるし。でも実際に歌うと、スッと入ってくるメロディだったんですよね。あとは歌詞にも好きなフレーズはいっぱいあって、今の自分ともリンクする部分があるんです。特に、〝止まっていた明日さえも、踏み出していく意志は奪えない〟という部分が大好きなんですよね。今の自分とリンクするところがあって。これは松井さんが生み出してくれたフレーズですけど、出てきた瞬間に惚れましたね」

■では、カップリングの2曲についても。まずはFo'xTailsの王道とも感じられる、ドライブ感のあるハードな「最低で最愛なヒカリ」。

takao「タイトルはこのままの意味ですね。誰しも大切な夢があって、そこに向かって走っていても壁にぶつかることはある。そのときに、なんでこんな夢を見ちゃったんだろうとか、こんな夢なら見なきゃよかったとか……そう思わない人はいないと思うんです。でも結果、自分の中の最愛なものはこれだから、って感じるはずで。だから最低とは言いつつも、決して本心ではないんですよね。不安とか焦りとかのマイナスな感情は全部ぶち壊していっていう想いが込められてます」

■ラスト曲「curtain」は、哀愁とスケール感のあるナンバー。青春時代を回想するような歌詞が印象的ですね。

takao「鳴風から曲をもらったときにすでに歌詞が付いていて、1番のサビの歌詞もほぼ鳴風が書いたものがそのまま使われてるんです。俺のなかからは出てこないフレーズばかりで、ロマンティックな感じがするというのかな。〝あの星をプレゼントしようとか、〝胸の扉をノックして君の心を……」

鳴風「やめて！」

一同「ははは！」

takao「いや（笑）、それがすごくいいなと思ったんですよ。曲を聴いたときに青春っぽさを感じて、そういうものを書きたいって鳴風に伝えて一緒に書いたんです。俺もあの頃の感覚が甦るし、そのキュンとくる感じを聴いてくれる人にも味わって欲しくて。だから青春まっただなかの人から、卒業して大人になった人まで聴いて欲しいですね」 B

6th single
RULER GAME
2017.07.26 Release
¥1,300（tax out）

01. RULER GAME
02. 最低で最愛なヒカリ
03. curtain

Fo'xTails ⇒
フォックステイルズ。'13年11月15日結成。'15年2月、シングル「GLITTER DAYS」にてメジャー・デビュー。'16年12月に1stフルアルバム『INCEPTION』を発表。'17年11月3日に大阪・梅田Zeela、18日に東京・青山RizMにて結成4周年記念ワンマンライヴを開催する。

Book ShareZIP
http://bszip.com

昨年10月に発表した1stフルアルバム『フレデリズム』、それに伴う全国ツアーで、彼らの音楽＝フレデリズムを育んできた。そしてドラム高橋武を正式メンバーに迎え入れ、約10ヵ月ぶりの新作、2ndシングル「かなしいうれしい」を8月16日にリリース。今届けたいメッセージを乗せ、アニメタイアップとして放つ新たな一手。初の4人インタビューを。

Text ⇒ 山口哲生　Live Photo ⇒ 後藤壮太郎、渡邉一生

Book Store ZIP

フレデリック
かなしいうれしい

Book Shelf ZIP
https://bszip.com

誰にでも二面性はあると思うし、そうやって生きていると思うから、そう感じたときに寄り添えて、気持ちに入っていくような曲を書きたいなと

■2ndシングル「かなしいうれしい」は、ドラムに高橋武さんが正式加入してからの初作品であり、表題曲はアニメ『恋と嘘』のオープニング曲になっていまして。とはいえ、高橋さんはこれまでサポートとして参加していましたし、タイアップ曲ではありつつも、フレデリックらしさはかなり炸裂してますね。

三原康司（以下 康司）「そこはもう相変わらずで（笑）」

■ははは（笑）。この曲はアニメのお話があってから作り始めたんですか？

康司「そうです。でも、曲の断片みたいなものはけっこう前からあったんですよ。歌詞もあったんですけど、改めて作るにあたって、今の自分の気持ちを込めたくて全部変えました」

■健司さんは当時の断片をおぼえてます？

三原健司（以下 健司）「断片というか、もうほぼ曲みたいな感じであったんですよ。でも、スタジオで録ったボイスメモがあったぐらいで、ライヴでやる機会もなかったんですけど。そのときに一番よかった部分をちゃんと受け継ぎつつ、今のフレデリックの形にちゃんと落とし込めたと思いますね」

■最初の形のときからあって、印象的だった部分というと？

健司「やっぱB（メロ）ですかね」

■クラップが入ってますけど、あそこは？

健司「そこはあとから入れました」

康司「あそこ気持ちいいんですよ」

■途中でリズムパターンが変わるのもいいですよね。

康司「あれがちょっと難しくてね（笑）」

■秋にはワンマンツアーも決まっていますけど、そこでバシっと決まるとすごいことになりそうだなと思いました。

康司「フレデリックの〝ゆらゆらエモーショナル〟な部分がバッチリ出せると思います」

■いい言葉ですね、〝ゆらゆらエモーショナル〟。隆児さんが印象的だった部分は？

赤頭隆児（以下 赤頭）「サビが一番歌謡っぽくて好きです。あと、イントロもノリやすい感じになったと思います」

■イントロは軽やかですけど、アウトロはメロウで、けっこう差がありますよね。

赤頭「あのアウトロは雰囲気が出るし、一回しか出てこないから、アクセントになるしいいなと思って」

康司「僕としては、アウトロのところが、かなしいとうれしいが混じったときの感情なんですよ。それをコード感だけで出したくて。僕の中での、かなしいうれしいのイメージがあそこに一番出ています」

■あそこがあることで曲の印象が変わるし、深くなりますよね。高橋さんは、これまでもレコーディングに参加されていましたけど、正式メンバーになってからは初ということもあって、今までとは気分がちょっと違ったりしました？

高橋武（以下 高橋）「最初はあまり変わらないんじゃないかと思っていたんですけど、実際にやってみたらかなり違いました。サポートのときからアレンジの提案もさせてもらっていたんですけど、隆児くんが〝メンバーになったら自分の意見を提示するだけじゃなくて、自分の意見のほうがいいと思ったら折れないことも大切だよ〟って言ってくれて。その言葉もあってか、元々フレデリックの音楽に対して真摯に向き合っていたつもりだったんですけど、より向き合い方が深くなった感じがします」

■隆児さん、そういう話をされてたんですね。

赤頭「あ、いや、なんかすみません」

康司「ははははは（笑）」

赤頭「調子に乗ったことを言って（笑）」

高橋「いや（笑）、その通りだと思ったから」

赤頭「なんか武くんは優しいから、けっこう気を遣ってくれるんですよ。だから、もしかしたら言いづらくなることもあるかもしれんなと思って」

健司「今はかなりフラットになりましたね」

康司「うん。やっぱね、バンドって楽しいっすよ（笑）。ほんまに楽しい」

高橋「そこはすごく音に出てるよね」

健司「3人だったときって、ひとつの意見に対して2人と1人になったときに、ちょっと難しかったりしたんですよ。意見の内容だけの話じゃなくて、ミーティングのときにプレゼン的な部分が必要になったりするんで。そこが難しいなと思ってたときに、タケちゃん（高橋）が間を取り持ってくれていて」

■高橋さんとしては、間に入ってバランスを取り持とうと思っていたところもあったんですか？

高橋「そこまで深く考えてなかったです（笑）。話を聞いていると、意見を言っている側と聞いている側で解釈が違う気がしたから、それがもったいないなと思って、つい口を挟んじゃうっていう（笑）。それぐらいの感じでした。これってこういうことだよね？って」

健司「それでバランスがだんだんよくなっていって。そこからメンバーとして加入したときに、ひとつの意見に対しての案も増えたし、この人はこういうことを言っているというのをすごく明確に、的確に言ってくれるので、4人の意見の柱がきれいに立つようになって。その間のちょうどいいところを取れるようになったから、今すごくいいんですよ。だから結果的に言いたいのはバンド楽しい（笑）」

高橋「すごいわかる」

康司「それが一番。マジで」

■またフレデリックの新しい、いいリズムが生まれそうですね。〝かなしいうれしい〟の歌詞は、今の自分の気持ちを込めたかったとのことでしたが。

康司「たとえば、人って、楽しい人を見ると、この人ってずっと楽しいんだろうなって感じるじゃないですか。でも、その人としては、実はそこに悔しい思いがあって、それがあるからこそそうしているというか。その気持ちを思い出すことで頑張れたり、つらいことがあったけどまだ次があると思って笑っていたりするけど、それをわかってもらえないことが多いと思うんですよ。表面だけを見る世の中なので。でも、誰にでも二面性はあると思うし、そうやって生きていると思うから、そう感じたときに寄り添えて、気持ちに入っていくような曲を書きたいなと思っていて」

Book Share ZIP
http://bszip.com

■そういう思いから歌詞を書き始めたと。

康司「あと、『恋と嘘』を実際に観て思ったのが、〝嘘〟という言葉って、悪いイメージがあるじゃないですか。でも、この作品の中では悪い表現として使われていないんですよ。その人を守るためとか、その人が好きだから嘘をつくシーンが多くて。なんか、言葉だって簡単ではないじゃないですか。そのひとつの言葉を言うことも、それまで生きていた時間や経験があることで深まっていくし、それが深まるほどおもしろくなるし、強くなってくる。そういうことを改めて気付かされた部分もあったりして。アニメを作っている方とも、そういろんなことを話していたんですけど、同じ年ぐらいで、志も同じだったんですよ。上を目指してやっていきたいっていう」

■そうだったんですね。

康司「もしかしたら、こういうアニメのイメージとフレデリックって、合わないと思う人もいると思うんです。それこそ表面だけ見ると。でも、僕にとっては、それを観て、感じて、話して、志が同じだなって思った時点で、合うと思ったんですよ。だから、この作品に思い入れもありますし、曲としてもそういう人達に寄り添えるものになったなって、自信を持って思える曲になったと思いますね」

■康司さんとしては、フレデリックのことを〝楽しい〟とだけ判断される歯がゆさみたいなものを感じていたりします？

康司「その一点だけで見られるというのは、よくないことだなとは思いますね。僕らも、表面上で受け止められることが多いし、ライヴをしていて、まだ伝わっていないなって思うこともあるんですよ。まだまだ知られてないからこそ、ちゃんと繋がれないところがあるというか、本質がまだ伝わっていない感覚があって。僕らはやっぱりライヴをするうえで、もっと深く引きずり込んでいきたいんですよ。その一曲一曲への楽しみ方とか、その曲の表情の感じ方とか。でも、やっぱりまだひとつの表情だけを見られているような気がしているし、それを伝えるには正直30～40分のステージじゃ足りないと思うときもあって。もちろんそこで自分達のベストは常に尽くしていますけど、曲もけっこう多いので、それをしっかり聴いてもらえる場所、それが素直に出る場所はやっぱりワンマンライヴだと思っていて」

■そこで自分達の本質を見てほしいと。実際に曲も多いし、曲の幅もそうだし、その曲から受ける感情もさまざまですからね。それこそ短い時間じゃ伝わらない部分も。

康司「それだけやりたいこととか、好きな音楽が多いバンドだとは思うんです。それをどううまくやっていくかというのは、この前のツアーで実行できたことではあるんですけど、またそれをより強くしていかなきゃいけないなって感じています」

■健司さんとしても、自分たちの一側面だけを見られてしまう歯がゆさはあります？

健司「まあ、やっぱありますね。そういう世代というわけではないですけど、今って僕らの音楽を知ってもらう機会はYouTubeが最初に出てくるわけで。そこで知ってくれるのは嬉しいことではあるんですけど、それのみの印象で判断されて〝フレデリックってこうだよね？〟って言われることが多くて。でも、そこに関しては、嫌だなと思うよりは、そう思っている人自身が音楽を楽しむ幅を狭め

フレデリック ⇒
健司&康司の双子の兄弟を中心に神戸にて結成。'14年9月にミニアルバム『oddloop』でメジャー・デビュー。'16年10月に1stフルアルバム『フレデリズム』を発売。'17年5月に、サポートドラムとして活動してきた高橋の正式加入を発表。11月から全国ツアーがスタート。

BookShareZIP
http://bszip.com

てしまっていて、なんかなぁって思うから、そこはライヴで変えていきたいなって。やっぱり自分達のことを一番印象付けられるのはライヴだと思うし、そこに本当の自分達がいるし。それに、〝実際に観てみたら違った〟って言われるライヴをしているということを、自分達で掴み取っていきたいんですよね」

■なるほど。

健司「さっき康司が本質の話をしてましたけど、フレデリックにはいろんな本質があると思っていて。僕としては、何かを掴み取ることを大事にしてほしいというか、それを感じてほしいんですよ。僕、ツアーのときに、自分の声の話をさせてもらったんですけど」

■はい。コンプレックスがあったっていう。

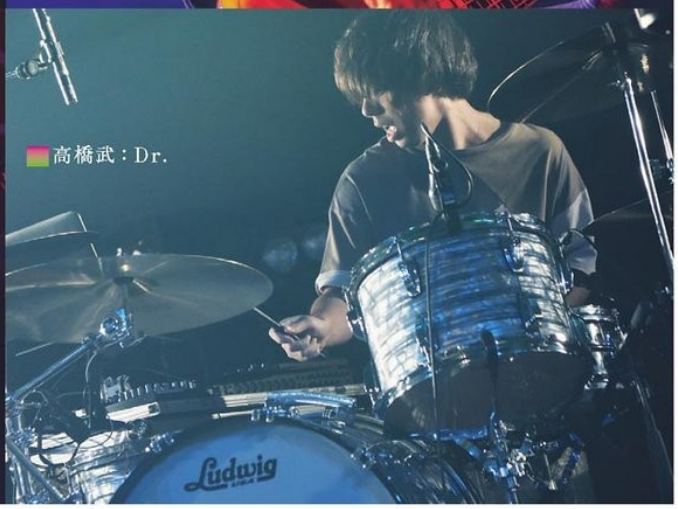
健司「でも、それを認めてくれるメンバーがいて、絶対に大きいステージに行けるって康司が言ってくれたこともあって、自分は歌うことを決意してやってきたんですよね。その覚悟のことを、ステージでちゃんと言いたいなと思って、あのときはその話をしたんですけど。僕としては、こういう人間だっているんだから、自分も何かできるんじゃないかなって感じてもらえるステージに絶対にしたいんです。次のツアーも来てくれた人にそれを感じてもらいたいなと思うし、最近はそう思いながら歌っているときもありますね」

■今回のカップリングにもそういった様々な面が詰まった楽曲が収録されていますけど、2曲目の「シンクロック」は、夏の夜に野外で聴きたい曲だなと思いました。レゲエな感じで始まりつつも、途中でビートが変わったりして、それこそゆらゆらエモーショナルな感じと言いますか。

三原健司：Vo. & G.

三原康司：B. & Cho.

赤頭隆児：G.



高橋武：Dr.

康司「僕ら、普段であればビートの速い曲をメインに持ってくるんですけど、〝シンクロック〟はそれぐらいのパンチ力があるにも関わらず2曲目に持ってきたという試みは、僕的に初めての感覚があるんですよ。それぐらい〝かなしいうれしい〟が僕らの中で強かったということもあるし、あとは、今の時代ってシングルの2曲目を聴くキッカケがあまりないと思うんです」

■それこそ先ほどのお話で言えば、MVのある曲は広まりやすいという。

康司「なので、そういう2曲目の大切さを思いながら作ってました」

健司「この曲って、人並みな言葉で言うと、愛を感じるというか。等身大の自分達やから、気持ちを一番込めやすいんですよ。あと、音楽をやっている人間的に、かなり刺さる歌詞だと思っていて。周りの人間からも〝すごく刺さる〟っていう話をけっこう聞くし、この歌が音楽シーンのみんなのうたとして広まって欲しいぐらいで。そういう曲をカップリングに持ってきたっていう意味も含めて伝わるといいなと思います」

■もう一曲の「まちがいさがしの国」は、ブラックミュージック色が強くて、これもライヴで聴きたいです。

康司「ライヴでやるとめっちゃ気持ちいいんですよ（笑）。この曲はフレデリックの深い部分ではあると思うんですけど、怒りの感情をすごく込めていて。そういうのってすごく出やすいから、これまであまり歌詞にはしなかった部分もあったんですけど、これは言っておかないとダメだなっていう時期だったんですよね。そういう世の中の流れになってきているか

BookShare ZIP
http://bszip.com

フレデリックとマンガ

今回は初のアニメタイアップ。フレデリックのアニメ・マンガ通は？

■4人の中でマンガとかアニメが一番好きな人って誰ですか？

健司「康司ちゃう？」

赤頭「いや、俺もけっこう読んでるで？」

高橋「俺もマンガはけっこう読んでるよ」

康司「いや、多分俺のほうが詳しいでしょ？」

高橋「誰も譲らない（笑）。でも、アニメもマンガもとなると康司くんかも」

健司「康司は“これが好き！”っていろんなものを薦めてくるというよりは、“これ知ってる？”って聞くと、ほぼ知ってるんですよ。それで一番読んでるイメージが強いです」

■康司さんはどういう系が好きなんですか？ジャンルとかでいうと。

康司「泣ける系がけっこう好きですね。あとは伏線を張っていくやつも好きです。ベタなところだと『ONE PIECE』とか。あとは『うしおととら』とか『AKIRA』とか、濃いやつが好きですね。僕、漫画って絵柄じゃなくて、ストーリー派なんですよ。ストーリーがすごく深かったら、これはいい作品だなって思うから、どんな絵でも全然読みます。そこは音楽も一緒なんですよね。偏見があったら、おもしろいと思えないじゃないですか。だから、漫画もそういう偏見なしに読んでます」

■ちなみに、健司さんと康司さんって、子供との時は「俺はこの新刊買うから、あれ買って」とか話したりしてました？

康司「そういうのありましたね。でも、“俺が買ってくる”って言ってなかったら、同じマンガを同じ日に買ってきたりとか（笑）」

健司「そういうのはあったな。あと、姉もマンガが好きだったんで、『ゴリラーマン』とか『Y氏の隣人』とか買ってて。三原家はシュールな感じが好きなところはありますね」

■隆児さんは「俺もけっこう読んでる」とのことでしたけど。

赤頭「俺、王道なやつばっかりです（苦笑）」

高橋「ノリで言っちゃっただけでしょ？（笑）」

赤頭「でも、あれはよく観ます。海外ドラマ」

康司「全然別やん（笑）」

健司「でも、けっこう細かいところまでちゃんと覚えてるよな？」

赤頭「そう。好きなものは何回も読むから。好みでいうと、ストーリーに隠して言いたいことを言ってるやつが好きです。それこそ『ONE PIECE』とかそうだし、あとは『寄生獣』とか『鋼の錬金術師』とか。上っ面のバトルをしてるだけじゃなくて、言いたいことを言ってるじゃないですか」

■テーマやメッセージがありますよね。

赤頭「そういうのがちゃんと見えてこないと、飽きて読むのやめちゃう。まあ、自分がわかってないときもあるかもしれないですけど」

高橋「僕も『寄生獣』好きですね。あとは『SLAM DUNK』とか『ギャグマンガ日和』とかも好きだし、わりとなんでも好きです」

■だいぶ幅が広いすね（笑）。好きになるものの傾向とかはあります？

高橋「僕も、アクションがおもしろいというよりかは、感動する要素がほしいですね。だから『SLAM DUNK』が好きなのもそうだと思うし、『寄生獣』が好きなのも……『ギャグマンガ日和』はちょっと違いますけど（笑）」

康司「あれは癒しを求めてやな（笑）」

赤頭「まあ、俺も『浦安（鉄筋家族）』とか読んでたから」

健司「俺はそういう系のほうが好き。内容があんまなくて、たまに娯楽として読む感じのやつがいいです」

ら。だから、今の世の中をそのまま話すように出した曲だなと感じてます」

赤頭「今回の3曲を選ぶのにめっちゃ時間がかかったんですけど、〝まちがいさがしの国〟は絶対に入れたいって僕は言い続けてたんですよ。次にアルバムを出すとしたら、そこに入れるかっていう話もあったけど」

康司「ずっと言ってたもんな？」

赤頭「やっぱり歌詞の意味が今言いたい内容やったから、今がいいって」

■まさに今、だったんですね。

健司「〝まちがいさがしの国〟は、なんか康司らしいんですよ。書いていることはすごく皮肉的なんやけど、自分のこともちゃんと言っているんですよね。一方的に提案するわけじゃなくて、自分も一緒に考えていきたいっていうところが康司らしいなって。自分もそういう心境でこの曲を歌うことが大事やなって思いながら、レコーディングは臨みました」

高橋「選んでいたときに意識していたわけではなかったんですけど、〝シンクロック〟も〝まちがいさがしの国〟も、〝かなしいうれしい〟に通じるところがあると思っていて。〝シンクロック〟は、ど頭のレゲエっぽい感じから、そのあとに来るビート感であったり、〝まちがいさがしの国〟は、歌詞はかなりパンチがあるけど、アレンジはしっかりノれるものであったり。そういう二面性みたいなものがあるし、そこはフレデリックの曲すべてに言えることというか。なんか、話がちょっと戻っちゃうんですけど」

■全然大丈夫ですよ。

高橋「楽しいだけって見られるのは……という話をしてましたけど、そこはすごくわかるんですよ。〝楽しい〟っていう言葉にされてしまう要因としてあるのは、フレデリックの曲って、喜怒哀楽の隙間にある感情を表現していることが多いんですよね。それが魅力だと思っているんですけど。その隙間というのは、裏を返せば言葉にするのがすごく難しくて。お客さんにもその隙間の感覚は伝わっていると思うんですけど、それをSNSでいざ言葉にしようと思ったときに、言葉が見つからなくて〝楽しい〟になってしまうと思っていて」

■なるほど、たしかに。

高橋「その隙間に対しての言葉というのも、ちょっとずつ作れたらいいなって思いますけど、今回の曲も、言葉にできる／できないより手前のところで、ちゃんとお客さんに伝わると思うので、そういう意味でも自信を持って届けられる3曲だなと思います」

■先ほどライヴのお話も出ていましたが、11月には『フレデリズムツアー2017〜ぼくらのTOGENKYO〜』が行なわれます。それこそどんな桃源郷を見せてくれるのかと思っているんですが。

康司「なんか、超フレデリックっぽいですよね（笑）。連れ去るかもしれん」

■そのまま桃源郷へ（笑）。

健司「まだ予定としてはちょっと先なので、今は言えないことがいっぱいあるんですよ」

■その部分の妄想を膨らませて楽しみにしておきます。

康司「僕らもタケちゃんが入ったことで、これからどうなるかわからない部分がたくさん増えたんですよ。今はそこがすごい楽しみですね」

Book Share ZIP
http://bsizip.com

[L to R] 純市：B　コヤマヒデカズ：Vo.＆G　有田清幸：Dr

よ。だから、この曲を入れることによっていろんなバランスがとれるなって」

■なるほど。リズム隊の見せ場が多い曲です。

有田「デモの完成度が毎度高いんですよ。こういう感じでお願いします!みたいな」

純市「方向性がすぐにわかるんです。見せ場のランニングみたいなフレーズも最初から入っていたんですけど、普段、ああいうプレイをしないんで、試練みたいな（笑）。そこに自分なりのアプローチを入れたんですけど、なんかこう、悪い奴みたいなプレイがしたかったんですよ」

有田「あぁ。ハードボイルドみたいな」

純市「すみません、伝わりづらくて（苦笑）」

■いや、その雰囲気はすごくあるなと思いましたよ。歌詞としては、本来であれば隠しておきたい人間の本性をものすごくえぐってくるものになっていますね。

コヤマ「元々、僕が初めてエレキギターやバンドに興味を持った頃って、聴いていると自分が暴かれていくようなバンドが好きだったんですよ。NIRVANAとかRadioheadとか、あとは日本のバンドもたくさんいたんですけど。それに影響を受けているから、自分も人間の一側面だけを歌うのは、嘘をついている気がするんです。だから、曲作るときは、自分も殴られる覚悟で人を殴りに行くというか」

■殴られる覚悟ってかなり勇気が必要ですよね。

コヤマ「でも、それでおあいこというか。僕が10代の頃に作っていた暗い曲というのは、恐怖心から相手を殴っていて、殴り返されることを想定していなかった曲がすごく多かったんです。でも、今は自分だけ殴るのはフェアじゃない感じがするし、その覚悟を持っていないと、好きなように歌詞を書けないんですよね」

有田「昔に比べると、許容範囲が広がった感じはしますね。昔は言葉を言い放っていたけど、今は決して相手を言い負かそうとしているわけではなく、聞く耳を持っているというか。その感じはすごくありますね」

■そして、「ハロ／ハワユ」はコヤマさんがナノウ名義で発表した曲のカバーシリーズ。アレンジはみなさんで詰めていったんですか?

純市「そうです。いろんなアレンジを考えたり、試したりもしたんですけど、最終的には3ピースのかっこよさを出すアレンジでやりました」

■曲自体の完成度が高いから、それをそのまま3人でやればいいんじゃないかと。

有田「そうです。一周回って、何もしないのがイチバンだなって。何もしないハイクオリティなものって、すごいシンプルなショートケーキじゃないけど、やっぱこれだよなっていう感じがあるじゃないですか。それを自分達が許容できるようになったのもいいことだと思いますね」

■「顔」のお話でもありましたけど、そういった普遍的なものというのは、バンドとして目指していきたいものでもあるんですか?

コヤマ「そうですね。あいかわらず曲を作るときは、自分の気持ちが元にはなっていますけど、それがどうすれば届くのかということは、やっぱり考えていきたい部分としてあります。ただ、“顔”のようなすごくピュアなものを作った反動で、おもいっきりマニアックなものをやるかもしれないし、いろんな曲があっていいと思っていて。そのうえで、普遍的で、誰もが聴けるいい歌を歌っていきたいですね」 B

Book Share ZIP
http://bszip.com

CIVILIAN
シビリアン。3ピース・ロックバンド。「Lyu:Lyu」として活動を始め、'16年にバンド名を改名し、11月にシングル「愛 / 憎」でメジャー・デビュー。Vo.&G.コヤマは「ナノウ」というボカロPとしても活動。11月18日・北海道から、CIVILIANとして初となる全国ワンマンツアーをスタートさせる。

CIVILIAN

昨年11月、メジャー・デビューを果たした3ピースロックバンド、CIVILIAN（シビリアン）。
メロディ、歌声、綴られた言葉が沁み渡る名バラード「顔」を3rdシングルとして発売!

Text ⇒山口哲生

■昨年、バンド名をCIVILIANに改めてから3枚目のシングル「顔」をリリースされますが、この曲は改名当時に作られていたそうですね。

コヤマ「ここからまた新しく始まっていくんだという気持ちで、より自由に、今までやっていなかった曲にもチャレンジしていきたいなと思いながら、たくさんの曲を作っていたんですけど、そのときにできた中の一曲でしたね」

■アコギやコーラスが綺麗なスロウナンバーで、心に沁み渡っていく感じがあります。

コヤマ「僕らの過去の曲って、BPMがゆっくりだとしても、サビになると激しくなったり、結局、激情であることが多かったんですよ。それとは違う、優しくてゆったりとしたものを作りたいと思ってました。あと、このバンドの曲作りとして、まず僕が簡単なデモを作って持っていくことが最近の主流になっていたんですけど、この曲は久々にアコギ一本で弾き語った状態で持っていったんですよ」

純市「昔はデモというよりも、スタジオに集まって、コード進行を決めて“せーの!”で作っていたんですけど、またそういうことをしたいねっていう話をしていたので、それをシングルとして出せたのは嬉しいですね」

有田「手法としては昔と同じですけど、当時と比べてやれることも増えたし、昔はただ自分の好きなようにやっていたけど、ディスカッションが増えたんですよ。こういうイメージなんだけど、どう思う?とか。で、歌詞とメロディに導かれるままに3人であわせつつ、好きなものをぶち込むタイミングを狙うっていう(笑)」

■ぶち込む気概は変わってないぞと(笑)。

有田「2人には言ってなかったんですけど、俺の中では『プロジェクトX』のエンディングで流れるイメージで音作りをしてたんですよ。なんか、エンドロールが流れているところに、土木の土台を作った人が出てくるみたいな(笑)」

コヤマ「僕もメンバーに言ってなかったことがあって。“顔”は弾き語りで持っていきましたけど、僕、石橋を叩いてるタイプなんで、万が一バンドでまとまらなかったときのために、先にアレンジを考えていたんですよ」

有田「プランBがあったんだ?(笑)」

コヤマ「デモは作らなかったけど、頭の中では、もっとギミックを凝らして、壮大な感じにしようと思っていて。でも、これは最初から弾き語りで持っていくと決めていたので、それは頭の隅に追いやった状態でやっていました」

■いろんな事実が判明しましたね(笑)。

純市「まあ、彼(コヤマ)は完璧マンなんで」

有田「だから今、“言ってなかった”って聞いても、“らしいな”って(笑)」

■そうなんですね(笑)。でも、コヤマさんはなぜ“顔”を題材にしようと思ったんですか?

コヤマ「僕、昔から歌を作るときは、自分のことが必ず元になっていて。過去の話や、毎日過ごしている中での喜怒哀楽をひとつ切り取って曲にするのが根本的なスタイルになっているんですけど、それはこの曲もそうで。僕は、小さい頃から自分の顔や姿にずっとコンプレックスを持っていたんですよ。そのせいで、10代の頃とか、20歳を過ぎてからも、自分に自信がまったくなくて。その当時は、そういう反動から曲を作っていたのもあって、今よりも輪を掛けて暗い曲ばかりだったんです。ただ、この曲は、自分のコンプレックスが出発点ではあるけど、それをどうすれば普遍的な良い歌として昇華できるのかと思いながら書いていたら、ここにたどり着いた感じがあって」

■ただ、コンプレックスが元にはありつつも、それに思い悩んで沈んでいく歌詞ではなくて。

コヤマ「そうですね。過去の僕の曲はまさにそうで、出口のない気持ちばかり歌っていたんですよ。この曲も、完全なるハッピーエンドとは言えないというか。この歌詞の主人公は、結局それを克服したわけではないと思うんです」

■ですよね。でも、そこが優しいと思いました。

コヤマ「自分もそうだからよくわかるんですけど、コンプレックスや劣等感を克服するのって難しいと思うんです。乗り越えたと思っても、何かで急にフラッシュバックして気になりだしたりして。自分もそうで、たぶん、この先一生悩むと思うし、もしかしたら別人のように生まれ変わることはできないのかもしれないけど、この曲の主人公であれば、曲が終わる頃には、周りの存在や、何かを認められるようになっていて。それは、今は自分の歌を聴いて、好きだと言ってくれる人がたくさんいるということが、この曲にすごく影響しているなと思います」

■この曲が、そのフラッシュバックしたときのいい処方箋になってくれそうですね。

コヤマ「(笑)。そうかもしれないです。フラッシュバックして、水底に沈んだような気持ちになっていても、水面ギリギリまで顔が出せて、なんとか息ができるぐらいにはなるかも」

■まさにですね(笑)。カップリングの「デッドマンズメランコリア」は、まずコヤマさんがデモを作ったんですか?

コヤマ「そうです。今回のシングルを、“顔”を表題にした3曲入りに決めたときに、いつもシングルでやっているボーカロイド曲のカバーを今回もやろうということになって。先に3曲目の“ハロ／ハワユ”をやることが決まったんですよ。この2曲に対して、まだ作りかけだったけど、これが合うなと思ったものを完成させたのが“デッドマンズメランコリア”です」

■「デッドマンズメランコリア」は、他の2曲とかなりギャップがありますけど、“合うな”と感じたのは全体的なバランスを見てですか?

コヤマ「1枚のCDのなかでのメリハリという意味でもそうですし、歌詞を書いている僕自身が、物事の一面だけを言うことがあまり好きではなくて。“顔”みたいな希望のある物語を書いた後って、どうしても対にあるものを書きたくなるんです

初回盤

通常盤

Major 3rd Single
顔
2017.08.02 Release
初回盤 CD+DVD ¥1,667(tax out)
通常盤 CD ¥1,111(tax out)

01. 顔
02. デッドマンズメランコリア
03. ハロ／ハワユ

Book Share ZIP
http://bszip.com

#07

Text ⇒ B-PASS
Photo ⇒ 藤巻祐介(TAKIBI)

New Era®の[9TWENTY™]¥4,200(税別/ニューエラ tel.03-5773-6733)

田口良一 ⇒
たぐちりょういち。WBA世界ライトフライ級王者。高校卒業後に名門ワタナベジムに入門、2006年のプロデビューから連勝を続け、2013年に日本ライトフライ級王座を獲得。その翌年にWBA界ライトフライ級王座を獲得し、世界王者として君臨している。
オフィシャルブログ:ameblo.jp/ryouiti-taguti

Hit The Street w/New Era®
田口良一

世界のトップアスリートを魅了するNew Era®。その言葉に相応しい特別なゲストが降臨! この号が出る頃には6度目の防衛を果しているであろうWBA世界王者が、New Era®の魅力について語ってくれた!

■New Era®のトラッカーキャップがお気に入りだそうですね。
「ニューヨーク・ヤンキースのロゴが斜めに大きく入ったBattalionデザインのキャップが凄く好きで、最近はそればっかり被っていますね(笑)」
■New Era®のことはご存知でしたか?
「はい。結構前から知ってはいたんですが、ハマり出したのはホントに最近なんです」
■現在New Era®の帽子はいくつお持ちですか?
「たぶん10個以上はあると思います。特にお気に入りはツバがカーブしたキャップで、半分くらいがそのタイプですね」
■今日はその中でも特に定番的な人気を誇る[9TWENTY™]を選ばれてますね。
「シンプルなデザインが凄く良いですよね。昔から洋服もシンプルな方が好きなので、今日みたいに白いTシャツに合わせたり、もっと暑くなってきたらTシャツに短パンで被りたいなと思っています」
■トレーニング中に帽子を被ることは?
「走る時は常にキャップを被っていますね。最近は陽射しも強いし、汗止め効果もあるので。あと、朝起きると寝癖が凄いので、それを隠す意味でも使っています(笑)」
■高機能素材を採用したNew Era®のヘッドウェアはご存知ですか?
「GORE-TEX®を使ったモデルとかもあるんですよね? 自分的にはスペーサーメッシュの[39THIRTY™]がカッコ良いなと思っているんです。あのネイビーを被って毎朝走りたいですね」
■凄くお似合いだと思います。
「あと、NBAも大好きなので、今注目しているゴールデンステート・ウォリアーズのモデルも併せてチェックしようと思っています(笑)」

Spring & Summer 2017
Taguchi's
Recommend Item

9THIRTY™
¥4,200(税別/ニューエラ)

「もともとストライプが好きだというのもありますが、この[9THIRTY™]は黒と白と赤の配色もカッコ良いなと思ったので選びました。デザインがベーシックなので、シンプルな洋服と合わせて被りたいですね」

Book Share ZIP
http://bszip.com

注目アーティストのインタビュー&フォトマガジン OUT of MUSIC

表紙 34P
2万9千字
特集！

GENERATIONS
from EXILE TRIBE

34ページ・2万9,000字インタビュー

別れ、孤独、届かぬ想い、明日、夢…
曲たちが紡ぎ出す大きな物語
『涙を流せないピエロは
太陽も月もない空を見上げた』
インタビュー
34ページ
2万9,000字特集

lol -エルオーエル

16ページ特集

今年の夏は lol と一緒に！
1stAlbum『lolol』インタビュー

林部智史

9ページ特集

『あいたい』と『だきしめたい』は
隣り合う感情…
Single『だきしめたい』インタビュー

LIVE REPORT

EXO-CBX

『EXO-CBX Free Showcase
"Colorful BoX"』ライヴレポート

BREAKERZ

デビュー10周年YEAR、感謝と未来への想い…
Single『夢物語』インタビュー

THE BEAT GARDEN

激しいギターリフに切ない歌詞…Single『FLOWER』インタビュー

20ページ・1万3,000字インタビュー

THE RAMPAGE
from EXILE TRIBE

グルーヴィーなサマーチューン
Single『Dirty Disco』インタビュー

20P
1万3千字
特集！

好評発売中
税込910円
http://
outofmusic.net/

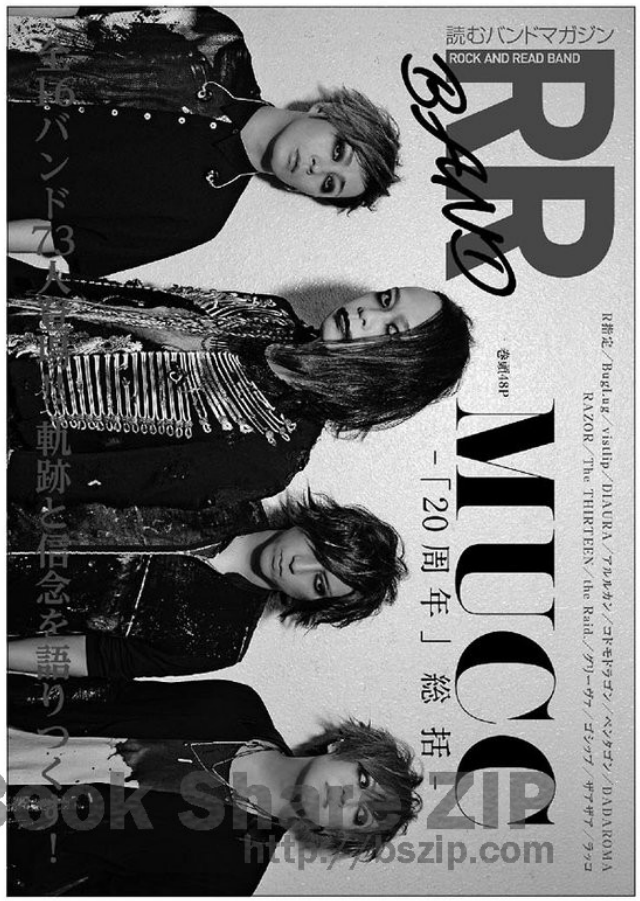
OUT of MUSIC vol.52

発売：株式会社シンコーミュージック・エンタテイメント　発行：株式会社アウト・オブ・ミュージック

表紙
巻頭

MUCC

R指定
BugLug
vistlip
DIAURA
アルルカン
コドモドラゴン
ペンタゴン
DADAROMA
RAZOR
The THIRTEEN
the Raid.
グリーヴァ
ゴシップ
ザアザア
ラッコ



読むバンドマガジン
ROCK AND READ BAND
RR BAND

全16バンド73人登場!!
軌跡と信念を語りつくす!

A5判／304頁／本体価格1,500円＋税
7月31日発売

Book Shop ZIP
http://bszip.com

全国の書店、楽譜・書籍お取扱の楽器店・CDショップなどでお買い求めいただけます。店頭に無い場合は小売店にお取寄せをお申し出ください。
株式会社シンコーミュージック・エンタテイメント　営業部 TEL：03-3295-4191（電話でのご注文はできません）http://www.shinko-music.co.jp

吟遊詩人“高橋 優”が、独自の切り口で世の中を考察するコーナー

高橋 優 連載

その校則を蹴っ飛ばせ。

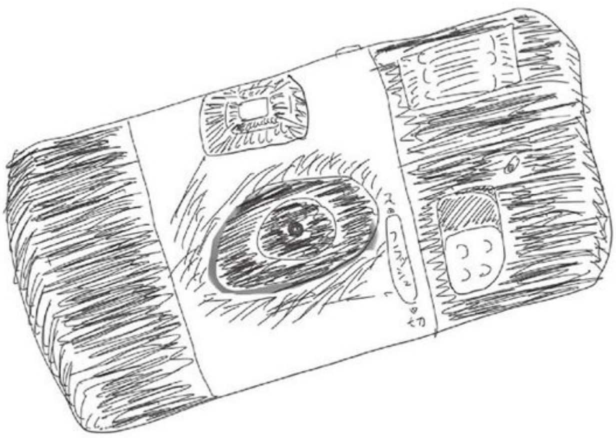
高橋 優 >>>

たかはしゆう。'83 年 12 月 26 日秋田県生まれ。O 型。'10 年 7 月 21 日にシングル「素晴らしき日常」でメジャー・デビュー。ニッポン放送「オールナイトニッポンサタデースペシャル 大倉くんと高橋くん」が、毎週土 23 時 30 分～O.A. 中!! 公式サイト【http://www.takahashiyu.com/】

ニュー・シングル「虹／シンプル」のグラビア&インタビューは、p056 へ！

第百九回

カメラ



カメラを始めました。

風景を撮りたくて。

まずインスタントカメラを買いました。

最初から一眼レフとかのいいカメラ買って形から入る感じにしたくなくて、まずはインスタントカメラにしました。…こういう性分を我ながら少し変と思っています。とりあえず近所の公園や緑を撮影しています。

「写真家ソール・ライター 急がない人生で見つけた13のこと」というドキュメント映画を観たのですが、その影響を鮮烈に受けてます。映画の内容は、写真家ソール・ライターさんがつらつらと色んなお話をするというもの。ずっとソール・ライターさんのお話。ご興味の方は是非観てみてください。

僕はその映画に何故だかやたら感銘を受けて、写真を撮りたくなったのです。

最近は、なにかとゆっくり出来る時間を見つけるのがどうにも下手で。せっかくの休日も睡眠から目覚めたらもう一日のほとんどが終わってしまっていることが多いです。きっと必要な睡眠なのだと言い聞かせて残りの休日を満喫しようと試みますが、なかなか起用にもいかず、すぐ一日が終わっちゃいます。

どちらかといえばお仕事による地方への移動時間や滞在時間の方が映画を観たり本を読んだり自分の時間にあてられています。ソールライターさんも移動中に見ました。あと最近移動中に観たのだと「滝を見にいく」「セントオブウーマン」「シーモアさんと、大人のための人生入門」「太陽の下で　真実の北朝鮮」。映画を選ぶ基準は、なんとなくの気分。ドキュメント映画がマイブーム。どれも興味深かったけれど観た後すぐ行動に掻き立てられたのはソールライターさんでした。

まったくもって何をどうしていいか分からないながら、カメラのために少し早起きして外に出て、あんまり何も考えず景色を見ながらテクテク歩いている時間が好きです。現像するまでどう撮れてるか全く分からないスリルと楽しみ。インスタントならでは。

撮る方に興味を持つようになった自分だけど、有難いことに撮ってもらう機会もしばしばで。両A面シングル「虹／シンプル」の発売に伴い、またB・PASSさんからも取材をしていただきました。今回のシングルに込めた想いはまたひときわでございまして、是非とも皆さんに聴いていただきたい想いをライターのナチさんにぶつけましたので、記事を読んでいただき、楽曲も聴いていただけたらめちゃ嬉しいのです。

自分の手で彩る一日。誰かの手で彩られる一日。今日は今までの人生で一番新しい日。虹を待たず、虹になりにいく。

2017年7月15日
高橋 優

Book Share ZIP
http://bszip.com

三色井と紅しょうが

題字 岡田翔太朗

MAGIC OF LiFE 連載

【第九十八回】

MAGIC OF LiFE、ヨーロッパへ行く

4月にアメリカ・ピッツバーグのコンベンションに参加してきたMAGIC OF LiFE。今度はベルリン、パリのイベントにお呼ばれ。もぉー、うらやましすぎるぞっ。

Anime Messe Berlin 2017

6.23 fri

ドイツと言えば、ビールです。いただきまくり?

早速ライヴ。2時間近いステージだったそう。熱演

ウェルカムディナーにて、ドイツ料理。山下さんの表情はなんなんだろう?

6.24 sat

この日もステージ。全身で音楽を伝えるメンバーたち。現地スタッフと作り上げるライヴはとても勉強になったそう

ケータリングに美味しそうなフルーツ。そのまま置いてあるのが外国っぽい

6.25 sun

この日も大きなビアハウスでドイツ料理だって。素材押し!!って感じ

ベルリンの壁へ。オシャレなアートと化してるんですね

ベルリンの壁と渡辺さん、と思いきや、壁に同化してる高津戸さんも

どこまで続くグラフィティ? ベルリンの壁ともお別れ

6.26 mon

イベント終了のお疲れさま会。ずらっとビールが並んでおります

どうもヤマシタです! 今回はドイツはベルリンに行ってきました! ライヴはトラブル続きでしたが、みんなとてもいい人ばっかりで温かく迎えてくれて本当に嬉しかったです! ベルリンの壁も行きましたよ! なんか歴史を感じちゃいました! 本当に素敵なライヴでした! また行きたいです!(山下拓実)

ドイツにて、アニメメッセベルリンという日本のカルチャーに重点を置いた素敵なビッグイベントに出演させていただきました! ドイツ語を少しだけ覚えて、ステージでMCができたこと、自分の誕生日をサプライズで、現地のコーディネーターの方や通訳の方、メンバー、スタッフに祝っていただいたことがとてもいい思い出です。(岡田翔太朗)

Japan Expo Paris 2017

7.6 thu

「イベントロゴがマドレーヌに見える」by 岡田

出演者専用のレストランですって。上品ですな。チーズを食す

7.7 fri

栃木のとち介くんも渡仏してたとは!

フランスはパリへ。「JAPAN EXPO」というイベントに出演してきました。来場者が3日間で25万人にもなるビックイベントです。日本の文化がこんなに愛されているということを体感して、自分自身も誇りに思いましたし、日本の音楽として参加できて光栄でした。僕らのことを好きで待っててくれた方もたくさんいて、音楽には国境も言葉の壁も本当にないんだなって感動しました。パリの街並も360度芸術で、幻の中にいるような、刺激的な時間でした。僕らの音楽は通用できるという自信にも繋がったので、いつかヨーロッパツアーできるように頑張ります!!!(高津戸信幸)

7.8 sat

高津戸さんはフランス語、英語でMCを頑張ったとか

フランスで2ステージ。大いに盛り上がったそうです

7.9 sun

お世話になったスタッフと記念撮影

どーもー、いやー、我々日本のツアー中に海外公演にもいってまいりました。フランスはパリ。ボンジュール。ライヴはみんな本当に楽しんでもらえたみたいで、すこぶる楽しかったです(＾ω＾) いいライヴをすれば素直にその反応をもらえる。個人的にもバンド的にもすごく成長できたかなと。貴重な経験でした。凱旋門とかも行ってきたけど、ホンマにめちゃ綺麗な街並みでもはや映画みたいな感じでしたわ。パリほすごくいいところなのでみなさんもぜひ(＾ω＾)スリには気を付けて!!(渡辺雄司)

Book Scan
http://bszip.com

MAGIC OF LiFE ⇒ マジックオブライフ。高津戸信幸(Vo.&G.)、山下拓実(G.)、渡辺雄司(B.)、岡田翔太朗(Dr.)による4人組ロックバンド。'03年8月、DIRTY OLD MEN結成。'12年4月、現メンバー構成に。'14年10月、バンド名を改名。'17年9月6日に、ニュー・アルバムのリリースが決定。9月末からアルバムツアーを開催。

〈タイトルの由来〉高2の時、バンド結成にあわせ、「DIRTY OLD MEN」と最後まで争ったバンド名が「三色井」。4ピースになったゆえに"紅しょうが"がトッピング? バンド名が一新されて、ある意味シーズン3か!?

※当連載のカラー写真をB-PASSホームページ< http://www.shinko-music.co.jp/ >にちょこちょこ掲載中。アクセスしてみてね!

だけではなく、プラスで求められることも多くて。例えば、歌を録って送ってくださいという場合もあります。オーディションを受けたあと、連絡がくるまでは受かったつもりで、準備万端の状態でいます。もし受かったら、ここ重要なんですけど(笑)、めちゃくちゃ喜んで、切り替えて当日を迎えます。もらった台本は読み込み、アニメならセリフをほぼ覚えて、いろんなパターンを想定して当日焦らないよう保険を作っておきます。ゲームのキャラクターに声をあてるときは、イラストだけ見て声を吹き込むことも多いので、キャラクターの性格を想像して書き出していき、頭の中で描くのですが、何通りか自分の中で作っていって、ディレクターさんや監督さんの意見を聞きつつ収録しています。今も新人なのですが、始めたての頃、キャラクターに対してこの子はきっとこういう感じだと作っていって、録るときに、もう少し違うものをと求められて焦ってしまい収録時間が延びてしまったことがあったんです。今は一度失敗したことで、柔軟に考えられるようになりました。実際はよくないことだけど、自分の成長のためにはいい失敗だったなと思います。アニメーションは、コンテに合わせて声をあてたりするのですが、その場は自分一人だけではないので、周りを見て、活躍されている先輩達のワザを盗みつつ自分なりに活かすようにしています。キャラクターに声をあてた一番最初は、アプリゲームです。ガチガチに緊張していたのを覚えています。キャラクターにCV船戸ゆり絵って書いてあることがめちゃくちゃ嬉しくて、たくさんスクショして保存しました(笑)。名前が出ることで実感しますね。所属している声優ユニット・ピュアリーモンスターだと、初めて地上派でオープニングテーマが流れて、自分たちのユニット名が出たことが嬉しかったです。ほかには、今も配信されているアプリゲームの収録で、監督さんが自然な演技でよかったと誉めてくださって、「ずっと舞台とかやってたんだっけ?」と、やってきたことが声を通して伝わるというのがすごく嬉しかったです。SNSのコメントで演技を誉めていただいたり、声がいいとか言っていただけるとすごく嬉しいです。昔あんなにコンプレックスだったのになあと思い返すと、それを好きって言ってもらえるなんて本当にハッピーです(笑)。

Q:目指す人にアドバイスを!

アドバイスなんておこがましいですけど、私がやってきたことはすべて基礎からだったので、何事も基本的なことが大事。演技に近道はないと思うので、コツコツやる日々の積み重ねが大事だなと思います。少しでも気になることはやってみる。あとは健康管理ですね!　演技の素敵な人を真似ること。何かを習いに行くことが必ずしも必要とは思わないんですけど、いろんな経験は糧になってると思います。声優ユニットで楽曲を歌わせていただくときに、ダンスも歌もMCも必要で。もちろん声優として演技が必要なんですけど、これまでの経験で無駄になっていることが何もないんだなと思いました。夢はいつか、アニメにレギュラーで出たいです。キャラクターとしてキャラソンも歌いたいし。あとは、ユニット活動しているので、アニメのイベントにいっぱい出られるようになりたいです。

DREAM-PASS

声優になるには

・基礎からコツコツやる
・健康管理ができる
・いろんな経験をする

MUST ITEM

のどケアグッズ
プロポリスと緊急事態に響声破笛丸、お守りみたいに持ち歩いてます

マスク&水
乾燥しやすいときは水筒で持ち歩いて中にはちみつを入れたりも

スマホ&ブルートゥースイヤホン
移動はこれで、ボイスレコーダーのアプリを入れてます

ノート&スケジュール帳
ノートは思いつきメモ、ダンスの振りの位置や、歌詞について思ったこととか。スケジュールはケータイにも入れてるんですが、データが飛んだことがあるので二重確認にしています

ペンポーチ
自分の役の部分に引く為にラインマーカーはマストです。

化粧ポーチ
人前に立つことも多いので

Book Share ZIP
http://bszip.com

憧れの音楽業界への近道教えます！

DREAM PASS ドリパス! vol.51

船戸ゆり絵さん
有限会社ホーリーピーク所属　声優

ワタナベエンターテイメントカレッジ
全日2年制　声優タレントコース　卒

音楽業界に興味はあってもどんな仕事があるの？　どうやってなればいいの？　そんな疑問にお答えする連載第51回目！　声優として活動する、船戸さんにお話を聞きました。

Q：この仕事を始めるきっかけは？

家族が全員アニメやゲームが好きで、物心つく頃から身近にありました。母がナレーターであったこともあり、小学校では音読が好きで、宿題のときに母に厳しく見てもらうこともありましたね。好きなことはどんどんやりなさいという両親だったので、2歳の頃から音楽教室に通い、エレクトーンやピアノ、小学校からジャズダンス……いろんな教養を身につけさせてもらって。やりたいことがたくさんあるなと思っていました。中学で入った吹奏楽部で、自分の声のことで先輩にいじめられたことがあって、当時は自分の声がコンプレックスだったんです。結局、負けず嫌いなところがあるので、コンクールでその先輩がとった賞よりもより良い賞をとってみせたのですが（笑）。そんななか、学校の先生や同級生に「ゆり絵はアニメも好きだし、声があってるから声優になれば？」と言ってもらうことがあって。嬉しかったのですが、その時点では声優を目指す決心はできず。ただ、興味はあったので高校に入ってからワークショップや養成所、専門学校を見てまわっていました。進路の話になったときに、他のクラスで声優学校に通っている子を知って身近に感じたことで、気持ちがザワザワして。やっぱり好きなことをやりたいと強く思って、声優を目指そうと、いろいろ見た中からワタナベエンターテイメントカレッジを選んで通うことにしました。コースは年齢がバラバラで、18歳から30歳くらいまで幅広いんです。舞台を一緒に作りあげたり、みんなで切磋琢磨していました。舞台に立つことを初めて経験して、声だけじゃない部分で演技の動きをつけることが難しくて悩んだりもしましたが、同じ"演技"だと死にものぐるいで取り組みました。週5でみっちり2年間声の演技を学びつつ、舞台で経験を積ませていただき、デビューオーディションでは60社以上声をかけていただいたなか、今のホーリーピークに入ることに決めました。現在は毎週事務所のボイスアクターズスクールで、レッスンを受けながら、オーディションを受けてお仕事をさせていただいています。

JOB PHOTO

◀アフレコ中

Q：詳しいお仕事内容を教えてください。

マネージャーさんからオーディションの台本をもらったら、テープオーディションの場合は事務所で声録りをして、先方に送り、そこで通るとスタジオオーディションがあって、そこでも通れば役をいただけます。最近は声の芝居

Book Share ZIP
http://bszip.com

Disc Rush!!

この夏は例年以上にリリースラッシュ?
7月末〜8月のシングル、アルバム
とくとご堪能あれ

07.26 on sale | album | illion
P.Y.L [Deluxe Edition]

WARNER MUSIC JAPAN／¥2,500

2ndアルバム『P.Y.L』に映画『東京喰種 トーキョーグール』主題歌「BANKA」を収録したDeluxe Edition盤。「BANKA」とは"挽歌"つまり、死にゆく人に向けた哀悼の歌。過酷すぎる現実を突きつけられた人々を受け入れながら、わずかな光の在り処を見つけようとする意志を描いたこの曲は、illionの圧倒的なヴォーカル力によって支えられている。先鋭的なエレクトロニカと抒情的なメロディのバランスも素晴らしい。（森）

01.BANKA 02.Miracle 03.Told U So 04.Hilight feat.5lack 05.Water lily 06.85 07.P.Y.L 08.Dream Play Sick 09.Wander Lust 10.Strobo 11.Ace 12.BRAIN DRAIN [Linn Mori Remix] (bonus track)

07.26 on sale | album | アルカラ
KAGEKI

SPEEDSTAR RECORDS／完全限定盤グッズ付 ¥4,167／通常盤 ¥3,000

ロック界の奇行師を名乗るアルカラの、15周年を記念したフルアルバム。80'sニューウェイブ感覚に溢れたリード曲「如月に彼女」をはじめ、1000年後の世界に思いを馳せる「3017」、ハードコア精神全開の「さ・あ・な」、古いコンピュータの末路を描いた「コンピュータおじさん」など、ジャンルを軽々と乗り越えるサウンドと奇想天外な発想から生まれた歌が濃密に押し寄せる、マジで"過激"な作品に仕上がっている。（森）

01.3017 02.HERO 03.キリギリスのてんまつ 04.如月に彼女 05.さ・あ・な 06.コンピュータおじさん 07.ひそひそ話 08.LET・IT・DIE(Album ver.) 09.箱 10.ピーターパンと夢の中 11.銀河と斜塔 12.さすらい

08.02 on sale | album
宮野真守
THE LOVE

KING RECORDS／初回盤BD付 ¥3,700／初回盤DVD付 ¥3,700／通常盤 ¥3,000

声優アーティスト宮野真守の6枚目のアルバムのテーマは"愛"。男女の恋愛はもちろん、様々な世代の友愛や、新たな命に捧ぐ無償の愛を取り上げる一方で、自分勝手な（でも憎めない）愛を描いたりと、ストイックさとユーモラスな視点が共存しているのがおもしろい。サウンドも得意のR&Bだけでなく、組曲形式のロックやアコースティックバラード、ピースフルなゴスペルなど多彩なアプローチで挑み、千差万別の愛を表現。様々な役を演じてきた宮野だから生み出せた作品だ。（飯島）

[CD]01.EVER LOVE 02.SHOUT! 03.恋されガール 04.Now and Forever 05.Uhh 06.HOW CLOSE YOU ARE 07.Space Travellers 08.テンペスト 09.僕のマニュアル 10.愛溢れる 11.The Birth 12.POWER OF LOVE [BD・DVD]Music Video 他

08.02 on sale | album | UVERworld
TYCOON

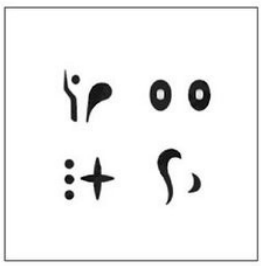
gr8! records／初回盤 特典CD+フォトブック付 ¥3,700／通常盤 ¥3,000

約3年ぶりの今作は"研ぎ澄まされた"1枚だ。ドラムの1音の質感まで吟味したかのような音によるアンサンブル。相変わらずフォーマットや音楽マナーに縛られない曲展開も効果的に機能し、聴く者を刺激し惹き付ける。そして歌は、人へのLOVEで満ちている。04.の異性に対してであったり、06.の個として立つ者同士の友人に対してであったり。中でも11.に漂う愛からは"死生感"に対するTAKUYA∞の考えの変化、深まりを感じた。（大西）

[CD]01.TYCOON 04.SHOUT LOVE 05.IDEAL REALITY 06.LONE WOLF 07.DECIDED (Album ver.) 11.ほんの少し 12.僕の言葉ではない これは僕達の言葉(Album.ver) 13.WE ARE GO(Album ver.) 16.I LOVE THE WORLD 他 全18曲 [特典CD]ライヴ音源11曲

07.26 on sale | mini album | 神様、僕は気づいてしまった
神様、僕は気づいてしまった

WARNER MUSIC JAPAN／初回盤DVD付 ¥2,500／通常盤 ¥2,000



03.のドラマ主題歌抜擢で、一躍注目を集めた素性不明の4人組による1stミニ。性急かつエモーショナルに絡み合うバンドサウンドや、ヴォーカル・どこのだれかの少年性を帯びたハイトーンボイスと耳に残るメロディはかなり高性能。また、どん詰まり感のある現代社会と、そこで生きる人間の心の闇や虚無を描いた歌詞は、ここからさらに多くの支持を集めそう。06.は、10〜20代前半の人は今絶対聴いておいたほうがいいと思う。（山口）

[CD]01. わたしの命を抉ってみせて 02.宣戦布告 03.CQCQ 04.僕の手に触れるな 05.天罰有れかしと願う 06.大人になってゆくんだね 07.だから僕は不幸に縋っていました [DVD]Music Video 他

08.02 on sale | album | PKCZ®
360° ChamberZ

LDH MUSIC／CD+DVD ¥4,000

クリエイティブユニットの初アルバムは、LDHファミリー総出演の超大作。EDM、R&B、ヒップホップをミクスチャーした踊れる曲の上で、EXILE THE SECOND、三代目J Soul Brothers、GENERATIONS、EXILE SHOKICHIらが華麗なマイクリレーを聴かせ、ゲストのCrystal KayやMIGHTY CROWN、Afrojackやウータン・クランのMETHOD MANなど、洋楽リスナーの耳も惹きつける。豪華絢爛な仕上がりだ。（宮本）

[CD]01.PLAY THAT feat. 登坂広臣, Crystal Kay, CRAZYBOY 02.Cult of Personality feat. EXILE SHOKICHI 04. X-RAY feat. 三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE 06.Beauty Mark feat. 登坂広臣, SWAY 他 全11曲 [DVD]Opening CG、Music Video

08.02 on sale | album | OKAMOTO'S
NO MORE MUSIC

Ariola Japan／初回盤DVD付 ¥3,500／通常盤 ¥3,056／アナログ盤 ¥4,000

音楽に希望を抱くやつなんていないけど、それでもみんな聴き続けている。使い捨ての時代でも、みんな聴き続けている。なんやかんやいっても必要なのかも、音楽ってやつは。孤独を感じてる時も、ひとりじゃないとわかった時も、いつもそばにいる存在。この新作は、そんな曲が詰まった作品だ。テンションの曲もハッピーな曲も、いろんなタイプの曲を聴きながら、やっぱ音楽っていいなと思う。NO MORE MUSIC,but need it!（伊藤）

[CD]01.90'S TOKYO BOYS 02.BEDROOM 03.BROTHER 04.NEKO 05.Cold Summer 06.NO MORE MUSIC 07.WENDY 08.時差 09.SAVE ME 10.Star Ligh [DVD]OKAMOTO'S MOVIE⑫「NO MORE MUSIC」RECORDING DOCUMENTARY

Book Share 2U
http://bs2u.com

08.09 on sale | album | 中島美嘉
ROOTS～Piano & Voice～

Sony Music Associated Records／初回盤DVD付 ¥3,000／通常盤 ¥2,100

まさにタイトルがすべてを表わしている中島のニュー・アルバム。初めて音楽に触れてから、彼女に歌うことの歓びと未来をみせてくれたルーツミュージックを、ピアノをメインにしたアコースティックアレンジと歌声でカバーした新作だ。手数の少ないピアノ伴奏だからこそ、彼女の歌が立っている。声の質感までも感じられる。心に直接訴えかけてくる。スピッツや桑田佳祐、中島みゆきやCHAGE&ASKAの楽曲など、全8曲。（伊藤）

[CD]01.メロディー（玉置浩二） 02.命の別名（中島みゆき） 04.SAY YES（CHAGE and ASKA） 05.あなたのキスを数えましょう～You were mine～（小柳ゆき） 06.ひろ（amazarashi） 07.空も飛べるはず（スピッツ） 08.祭りのあと（桑田佳祐） 他全8曲 [DVD]ライヴ&ライヴドキュメント映像

08.02 on sale | album | lol
lolol

avex trax／CD+MV DVD ¥3,800／CD+LIVE DVD ¥3,800／CD ¥2,778

男女混合ユニットという強みを最大に生かした、男女両方の気持ちを描いた曲や、キャッチーなダンスナンバーはもちろん、クラブライクな05.や高速BPMのEDMなど、テンション上がりっぱなしの1枚。とはいえ、現役高校生がいるグループらしく、甘酸っぱい恋心を歌ったものや、夢に向かって一生懸命に走り続ける決意を歌った曲など、等身大のメッセージを感じられる所が◎。最大の魅力であるダンスが見れるMVは必見。（吉田）

[CD]01.fire! 02.ladi dadi 03.perfect summer 04.spank!! 05.hanauta 06.girlfriend 07.boyfriend 08.party up!! 09.hikari 10.bye bye [CD盤]全16曲 [DVD]Music Video [DVD]ライヴ映像

08.09 on sale | album | 氣志團
万謡集

影別苦須 虎津苦須／CD+DVD ¥3,704／CD ¥2,778

リスペクトするクリエイターに楽曲を依頼、スタジオやスタッフも拝借して制作した結成20周年記念作品。BUCK-TICK、横山剣（クレージーケンバンド）、TAKUMA（10-FEET）、TAKURO（GLAY）など、錚々たるアーティストが提供した曲は、どれも氣志團を多角的に描いた曲になった。懐かしくもあり新鮮でもある。互いにデビュー前の無垢でやんちゃな時代の関係性をそのまま歌にした森山直太朗作の05.が微笑ましい。（伊藤）

[CD]01.R"N"R P@RTY 02.スポットライト 03.東京湾大飯店 04.恋するクリスチーネ 05.バームクーヘン 06.羅武尊寓 07.BANG ON! 10.逃げろ!逃げろ! 11.フォーサイクル 12.蒼き独裁者に告ぐ 13.きかせて!アンコール 14.リーゼント魂 他 全14曲 [DVD]「万謡集」全曲紹介 他

08.09 on sale | album | チャン・グンソク
Voyage

EMI Records／初回盤A DVD付 ¥5,000／初回盤B スペシャルブックレット付 ¥6,000／通常盤 ¥3,000

移籍後、より精力的に日本での音楽活動を続けてきたチャン・グンソク。待望のアルバムは、これまでの作品よりもより歌謡性の強いポップな楽曲が多く収録されている。アルバムタイトルになっている12.は、彼が作詞を担当。"僕を選んだことを後悔させないから"と、ファンへの想いを綴った、ファン感涙の1曲。ライヴでのアンセムになりそうな、夏らしい爽やかな楽曲に仕上がっている。より様々な楽曲を聴かせてくれる。（吉田）

[初回盤CD]01.DarlingDarling 02.Parade 03.For you ～僕が頑張れる理由～ 04.会いたくて（初回盤A） 04.PRIDE（初回盤B） 05.遠いたKiss 06.GoingCrazy 07.EndlessSummer 08.君ならどんなふうに 12 Voyage 他 全12曲 [通常盤CD]全13曲 [DVD]Music Video 他

08.23 on sale | album | 赤い公園
熱唱サマー

UNIVERSAL J／初回盤DVD付 ¥3,500／通常盤 ¥2,800

変幻自在かつトリッキーな楽曲を泳ぐように歌い上げてきたヴォーカル佐藤千明。彼女がこのアルバムを最後に脱退。この4人だったからこそ鳴らすことができた曲の集大成ともいうべき今作は、激しい中毒性のあるロックチューンから、極上ポップスまでぎっしり詰め込んだ赤い公園史上最高傑作。もがき、苦しみながら出した決断だったろうが、歌からは爽快感と突き抜ける力強さを感じる。エネルギーとパワーに満ちた1枚をぜひ。（吉田）

[CD]01.カメレオン 02.闇夜に提灯 03.AUN 04.最後の花 05.ジョーカー 06.プラチナ 07.恋と嘘 08.セミロング 09.BEAR 10.ほら 11.journey 12.勇敢なこども [DVD]Music Video

08.23 on sale | album | Awesome City Club
Awesome City Club BEST

CONNECTONE／初回盤DVD付 ¥3,800／通常盤 ¥2,800

2010年代後半のネオ・シティポップの中心的バンドのひとつAwesome City Clubのベスト盤。80'sポップス、海外のインディーロック、ダンスミュージックなどをセンス良く取り込んだ楽曲は、一時の流行などではなく、普遍的な魅力を放っている。その中心にあるのは質の高いソングライティングと都市生活者の恋愛を描いたリリック。幅広いリスナーに"いい曲"と感じさせることがポップスの本質だと改めて実感させられる。（森）

[CD]01.ASAYAKE 02.青春の胸騒ぎ 03.今夜だけ間違いじゃないことにしてあげる 04.Vampire 05.Don't Think, Feel 06.pray 07.アウトサイダー 08.GOLD 09.Lullaby for TOKYO CITY 10.涙の上海ナイト 11.4月のマーチ 12.Lesson 13. Children [DVD]MV

08.23 on sale | album | THE BEAT GARDEN
I'm

UNIVERSAL SIGMA／初回盤DVD付 ¥4,444／初回フラッシュプライス盤 ¥1,991（終了後、通常盤 ¥2,963）

待望のメジャー1stアルバム。シングル曲と新曲全12曲が詰まった本作はEDR（エレクトリック・ダンス・ロック）を基軸にファンク、R&B、ソウルetc.と広い振り幅を見せつつ、最先端でスタイリッシュ且つ聴きやすさもあり、総てを兼ね備えた最強の1枚に。12.はEDRさえ超越した普遍的いい曲。才能溢れる彼らにリミッターはないのだ。THE BEAT GARDENの無限の可能性を示した超エキサイティングな渾身作。激お勧め!!（赤木）

[CD]01.Don't think, feel 02.Promise you 03.Alive 04.Sky's The Limit 05.HeartBeat 06.FLOWER 07.Answer 08.君がいるから 09.サイドディッシュ 10.Never End 11.Walk This Way 12.just before down [DVD]Live History 2015-2017 他

08.23 on sale | album | LACCO TOWER
遥

TRIAD/NIPPON COLUMBIA／¥3,000

メジャー3rdアルバムは、二度目のタイアップとなるアニメ『ドラゴンボール超』エンディング主題歌で幕を開ける。バンド史上初の外部プロデューサー・亀田誠治を迎えた01.は、柔らかな弦の音色が力強いバンドサウンドと溶け合う美しいミドル・バラードで、ファン層を広げるであろう新境地。全体では、ラウドなギターと抒情的なピアノを生かす骨太ロック、私小説を読むような味わい深い歌詞をさらに深化させ、後味はずしりと重い。（宮本）

01.遥（はるか） 02.喝采（かっさい） 03.純情狂騒曲（じゅんじょうきょうそうきょく） 04.葉桜（はざくら） 05.夜鷹之星（よだかのほし） 06.火花（ひばな） 07.擬態（ぎたい） 08.夕顔（ゆうがお） 09.葵（あおい） 10.夕立（ゆうだち）

Book Shelf
https://bookshelf.com

07.26 on sale | single | エレファントカシマシ 風と共に

UNIVERSAL SIGMA／初回盤2CD＋DVD ¥2,200／通常盤 ¥1,100

傷つくことを恐れて先に進めない。それが気持ちの弱さだとはわかっていても、一歩が踏み出せない。そんなもどかしい思いを強い風で吹き飛ばして、"私の未来に 幸多かれ"と希望の光をみせてくれるデビュー30周年記念シングルの第1弾。本作はNHK「みんなのうた」のために書き下ろした新曲。ちなみに宮本はNHK東京児童合唱団出身。「みんなのうた」の曲をソロで歌って以来、40年ぶり。宮本の優しい歌声が印象に残る。（伊藤）

[CD1]01.風と共に 02.ベイベー明日は俺の夢 03.風と共に(Instrumental) 04.ベイベー明日は俺の夢(Instrumental) [CD2]新春ライブ2017セレクション 日本武道館 全12曲 [DVD]Music Video

07.26 on sale | single | Mr.Children himawari

TOY'S FACTORY／初回盤DVD付 ¥1,648／通常盤 ¥1,389

奇跡のような出逢いも、想いをひきずりながらの別れも、人生の中でそんなに多くはないのかもしれない。だからそんな別れには深い痛みと傷が伴い、ふとした瞬間に疼く。君との想い出を角砂糖に例えて、"涙が溶かしちゃわぬように 僕の命と共に尽きるように ちょっとずつ舐めて生きるから"というフレーズに、君の存在の大きさを感じる胸を打つバラードである。同曲を含む新曲2曲にライヴ音源3曲を加えた6曲を収録。（伊藤）

[CD]01.himawari 03.PIANO MAN(Hall Tour 2017ヒカリノアトリエ) 04.跳べ(Hall Tour 2017ヒカリノアトリエ) 05.終わりなき旅(2017.4.23 YOKOHAMA) 06.忙しい僕ら 他 全6曲 [DVD]Documentary Of himawari、君がいた夏(25 th Anniversary Day - 2017.5.10 NAGOYA -)

07.26 on sale | single | 高橋 優 虹 / シンプル

WARNER MUSIC JAPAN／限定盤DVD付 ¥4,150／CARAVAN MUSIC FES 2017盤 ¥2,500／通常盤 ¥1,200

01.は、彼が実際に高校野球を見にいき、夢を追いかける率直な姿を目の当たりにして描いたという、真っ直ぐな応援歌。今を必死に生きて、今だからこそ手にいれられる夢を追いかけろというこの曲は、多くの人の心にグサリと刺さるはずだ。"奇跡を待ちはしないよ それを起こしに行くんだろう"というフレーズにグッとくる名曲。02.は、シンプルに笑顔で、素顔でいようと歌う、普段は忘れがちだけど大切なことを教えてくれる。（吉田）

[CD]01.虹 02.シンプル 03.白米の味 04.Fitting／メガネツインズ(高橋 優&亀田誠治) [DVD]ライヴ映像

07.26 on sale | single | 西野カナ Girls

SME Records／初回盤DVD付 ¥1,481／通常盤 ¥1,165

女の子は、甘い夢を見たり、辛いことがあると、たまに泣いたりもするけど、悲しいことは忘れて、やる時はやる! 自分で決めた道は決して諦めない、という女の子の秘めたる強さを綴ったリアルソング。それは、何に対しても、後悔はしたくないという思いが生きていく上の根っこにあるからこその強さなのだと思う。ライヴの時、歌詞に合わせて、高く手を挙げて"oh oh～"と一緒に歌う声が聴こえてきそうな力強い曲である。（伊藤）

[CD]01.Girls 02.Go Fight Win! 03.YOKUBARI 04.Girls (Instrumental)※初回盤のみ [DVD]Behind the scenes of"Girls"Photo Session

07.26 on sale | single | 超特急 My Buddy

SDR／Loppi･HMV限定盤 ¥1,111／通常盤 ¥926

なんだかもうメロディも歌詞もサウンドも、曲を構成するすべてが必殺フレーズで構成されていて、問答無用の名曲オーラ。主題歌を担当するドラマのために書き下ろされたに違いないけれど、歌声から伝わってくるのはダンサーの鮮やかなパフォーマンス、8号車(ファン)との絆、そして超特急の無限の可能性。タオル回し必至の02.も、挑戦が詰まったクールなダンスナンバー03.も振り幅として響かせる説得力が今の超特急にはある。（山本）

01.My Buddy 02.浮つきWAVES 03.UNKNOWN...(限定盤のみ)

07.26 on sale | single | 家入レオ ずっと、ふたりで

Colourful Records／初回盤DVD付 ¥1,700／完全限定盤GOODS付 ¥2,200／通常盤 ¥1,200

"自我を置き、歌で表現することに集中したかった"と話す新曲は、彼女が憧れていたアーティスト、杉山勝彦氏から楽曲提供を受けたミディアムチューン。ドラマ『愛してたって、秘密はある。』の物語に沿った、ドキュメントのような歌詞を切々と、語るような歌声からは、より強い表現力と、"優しさ""強さ"を感じることができる。02.は、彼女が作詞作曲をした、肩の力が抜けた1曲。ラフに、音楽をより楽しもうとしている姿を感じる。（吉田）

[CD]01.ずっと、ふたりで 02.だってネコだから 03.ヒーロー 04.ずっと、ふたりで<Instrumental> 05.だってネコだから<Instrumental> 06.ヒーロー<Instrumental> [DVD]「ずっと、ふたりで」Music Video、Making 他

08.02 on sale | single | FLOWER FLOWER マネキン

gr8! records／初回盤2CD ¥1,500／通常盤 ¥1,000

スタートは夏のアッパーな曲だったと聞いて驚いたけど、yui発、4人4様の才能溢れるメンバー経由、最新型FLOWER FLOWERの着地点は、90年代ロックに乗せて〈弱くてもいい/それが自分で/それで生きてる〉と歌う、生身のメッセージソングだ。さらに芳醇な鍵盤の音を軸に繰り広げられるスリリングなアンサンブルと、喋りかけるみたいな歌声のコントラストが心地よい02.。初回盤にはライヴ音源が3曲。本気のやる気です! （山本）

[CD1]01.マネキン 02.ドラマ [CD2]Live at SHIBUYA CLUB QUATTRO 2013.10.07 01.神様 02.素晴らしい世界 03.バイバイ

07.26 on sale | single | 銀杏BOYS エンジェルベイビー

初恋妄℃学園／¥1,200

前作から約1年3ヵ月。新たな三部作を3ヵ月連続でリリースする銀杏BOYZ、その第1作目が到着。01.はなんとも峯田らしいメロディをまっすぐにぶつけてくるポップソングで、これが聴きたかったと思うリスナーも多そう。柔らかなディレイピアノが印象的な02.は、アンニュイでメランコリックなサウンドのなかで愛を叫ぶスロウナンバー。また、両曲共に散りばめられているノイズがこれまた美しい。次作はどう来る!? （山口）

01.エンジェルベイビー 02.二回戦

Book Share ZIP http://bszip.com

08.02 on sale | single | LiSA
だってアタシのヒーロー。

SACRA MUSIC／初回盤DVD付 ¥1,600／通常盤 ¥1,200／期間限定盤 ¥1,300

"フレーって"というサビのリフレインフレーズが中毒度高い応援歌。歯切れよくリズミカルで瑞々しく元気なLiSAのヴォーカルが、勇気をもらっているよという受動の視点と、背中を押すという能動の視点の2方向からパワーを届けてくる。努力したり立ち向かう人の姿を見て自分の走る力へとし、時にずっと走るために立ち止まってもいい、と歩調を合わせて併走する。失敗談を愛せなかった自分を愛せたら最強だ、この考えが胸に響いた。（大西）

[CD]01.だってアタシのヒーロー。 02.sweet friendship 03.Sailor Spark Operation! 04.だってアタシのヒーロー。-Instrumental- [期間限定盤CD]03.だってアタシのヒーロー。-TV ver.- 04.だってアタシのヒーロー。-Instrumental- 他 全4曲[DVD]「だってアタシのヒーロー。」Music Clip

08.02 on sale | single | GRANRODEO
move on! イバラミチ

Lantis／初回盤DVD付 ¥1,800／通常盤 ¥1,300／アニメ盤 ¥1,300

GRANRODEOの最新シングルは、TVアニメ『最遊記RELOAD BLAST』のオープニング主題歌。ペンタトニックを用いた中華風イントロ、暴れるという言葉が似合うギターリフ、ドラマ性のある構成が、「西遊記」をモチーフにバトル要素も取り入れたアニメにピッタリ。"イバラミチ""断捨離"といったアニメ寄りのキーワードを用いつつ、己の道を突き進む的にまとめた歌詞に、ロックバンドならではの力強い姿勢が感じられる。（飯島）

[CD]01.move on! イバラミチ 02.恋は mirage 03.エンドレスサマー 04.move on! イバラミチ（OFF VOCAL） 05.恋は mirage（OFF VOCAL） 06.エンドレスサマー（OFF VOCAL）
[DVD]Music Video

08.02 on sale | single | SHISHAMO
BYE BYE

GOOD CREATORS RECORDS / UNIVERSAL SIGMA／¥926

今年の夏もやっぱり脳内ひとり押し問答を繰り返し、全然抜け出せないんだけど、その鬱々とした想いを届けるサウンドはジャジーで、ファンクで、超ブラックで、サビに入った瞬間、スーパーポップチューンに変身しちゃって。この裏腹さ加減が女の子の怖さなのよねーと、ほくそ笑んだ次第。自分たちの信じる"好き"とか"かっこいい"を貫いて新しい扉を開いた挙句、エバーグリーンな音楽として成立されるバンド力、カッチョイイ！ （山本）

01.BYE BYE 02.笑顔のおまじない

08.02 on sale | single | 三浦大知
U

SONIC GROOVE／Music Video盤 DVD付 ¥1,800／Choreo Video盤 DVD付 ¥1,800／CD ¥1,200

チャート1位を獲得した「EXICTE」以来となる新曲「U」は、キレのいいギターサウンドと心地よいエレクトロサウンドのなかで、"君"に対する真っ直ぐなエールを届けるミディアムチューン。緻密に組み立てられたビートを正確に捉えながら、洋楽的なメロディとメッセージ性の強い歌詞を自然に共存させるヴォーカルに強く惹きつけられる。この夏、30歳を迎える三浦はヴォーカリストとしてもさらに充実の時期を迎えているようだ。 （森）

[CD]01.U 02. Complex 03.Life is Beautiful [DVD]「U」Music Video、Making
[DVD]「Complex」Choreo Video、Making

08.02 on sale | single | CILIVIAN
顔

SONY RECORDS／初回盤DVD付 ¥1,667／通常盤 ¥1,111

01.は、顔にコンプレックスを持った主人公の誕生日を描いたロックバラード。ゆっくりと主人公の心が解けていくように、最初は切なく儚げに聴こえていたバンドアンサンブルが、最後には心温まるものに聞こえが変わってくるところはかなりドラマティック。まごうことなき名曲です。一転、02.では、人間の醜い虚栄心をシャッフルビートと荒ぶったサウンドで、耳も心も痛くなるほどに暴いていくというギャップも最高。 （山口）

[CD]01.顔 02.デッドマンズメランコリア 03.ハロ／ハワユ [DVD]Music Video（予定）

08.02 on sale | single | BOYS AND MEN
帆を上げろ!

Virgin Music／初回盤A·B DVD付 ¥1,667／初回盤ピクチャーレーベル ¥1,100／通常盤 ¥1,250

ヒャダイン作曲、いしわたり淳治作詞という超売れっ子プロデューサー達が楽曲を作り上げた勝負曲。変則的なメロディに乗る、意思の強い"前に進め!"というメッセージが、背中を押してくれる。何度も挫折を経験しながら、諦めることをせずに、武道館公演、そして名古屋から全国進出を果たした彼らだからこそ説得力を持つ楽曲だ。コロコロと表情を変える、船のデッキを舞台に歌い、踊るMVも必見。見るだけで元気をもらえるはず。（吉田）

[初回盤CD]01.帆を上げろ! 02.がむしゃらロケンロー 03.NAGOOOOOYA（A·Bのみ） [通常盤CD]01.帆を上げろ! 02.がむしゃらロケンロー 03.NAGOOOOOYA 04.帆を上げろ!（カラオケVer.） 05.がむしゃらロケンロー（カラオケVer.） 06.NAGOOOOOYA（カラオケVer.） [DVD A]MV 他 [DVD B]ロードムービー 他

08.09 on sale | single | 大原櫻子
マイ フェイバリット ジュエル

Victor Entertainment／初回盤A·B DVD付 ¥1,500／通常盤 ¥1,200

秦 基博を作詞作曲プロデュースに迎えた新曲。日常感あるポジティブな歌詞&ほのかに切ないメロディという微妙なヴォーカルのバランスが求められる曲を細やかにチャーミングに歌う01。かと思えば02.はライヴ御用達のアップ曲をハイテンションでガッツリ歌い、舞台の経験が丸ごと活かされたとも思われる説得力で歌唱する03。本当にこの人のヴォーカルセンスは曲を選ばず素晴らしい。ということがわかりやすく並んだ。 （前原）

[CD]01.マイ フェイバリット ジュエル 02.Jet Set Music! 03.ALIVE 04.マイ フェイバリット ジュエル（instrumental） 05.Jet Set Music!（instrumental） 他 全6曲 [DVD A]「マイ フェイバリット ジュエル」MV [DVD B]「CONCERT TOUR 2016 ～CARVIVAL～ 番外編」ドキュメント映像

08.09 on sale | single | UNISON SQUARE GARDEN
10% roll, 10% romance

TOY'S FACTORY／初回盤2CD ¥1,800／通常盤 ¥1,200

思いきりラウドで高速、超絶テクニカルなのに、耳に飛び込む印象はあくまで楽しくポップ。アニメ「ボールルームへようこそ」OP曲01.は、彼らが追求する"ロックバンドが鳴らす究極のポップ"に一番近い曲じゃないか。鈴木の叩くフュージョン系の複雑なビート、斉藤の切れ味鋭い高速カッティングなど、音の楽しみがぎっしり。田淵が愛してやまないthe pillowsへリスペクトを捧げた02.も、現在のバンドの好調と余裕の象徴だ。 （宮本）

[CD]01.10% roll, 10% romance 02.RUNNERS HIGH REPRISE 03.flat song
[DVD]UNISON SQUARE GARDEN presents "fun time HOLIDAY 6" at Zepp Tokyo 2017.06.07 全12曲

Bandmovie
http://bandmovie.com

08.09 on sale | single | 植田真梨恵 REVOLVER

GIZA studio／初回盤 絵本+DVD付 ¥2,222／通常盤 ¥1,200

恋の衝動と本能を“リボルバー（銃）”に例え、伸びやかな巻き舌ヴォーカルと激情型ギターロックサウンドで軽快にぶっ放す表題曲。もともとは男子バンドに提供するイメージで描かれた1曲なだけに、植田真梨恵の真髄であるドラマティックな歌声がキャッチーかつ力強く炸裂するのが痛快だ。虚無と希望が入り混じる傑作ロックチューン02.と、切ないバラード03.からこぼれ落ちる、繊細な歌とメロディの美しさも彼女の魅力。（早川）

［CD］01.REVOLVER 02.砂漠の果てに咲く花 03.最果てへ -demo- 04.REVOLVER -off vo.- 05.砂漠の果てに咲く花 -off vo.- ［DVD］making of MV「REVOLVER」

08.09 on sale | single | Kalafina 百花繚乱

SACRA MUSIC／初回盤A DVD付 ¥1,389／初回盤B BD付 ¥1,574／通常盤 ¥1,204 他 全5形態

アニメ『活激 刀剣乱舞』EDである01.は美しく凛々しい1曲。“和”の香りを漂わすフルートとヒリついた空気感を演出する弦楽器、どっしりと轟くリズム。そんなサウンドの中で、流れるような3声が描くのは、意志を持つ者の感情。守りたいという願い、思いを残したまま散る儚さ、夢を託すわずかな希望だ。重たい想いを溶かす旅の風景を連れてくる02。僕と君2人だけの小さな世界をピアノと3人の歌で紡ぐ03。心を振るわせる曲が揃う。（大西）

［CD］01.百火撩乱 02.カンタンカタン 03.とんぼ 04.百火撩乱-instrumental- 05.カンタンカタン -instrumental- ［DVD・BD］「百火撩乱」Music Video

08.09 on sale | single | Anly 北斗七星

SONY RECORDS／初回盤DVD付 ¥1,389／通常盤 ¥1,111

高校生の頃から沖縄の路上やライヴハウスで必ず歌っていた思い入れの強い曲を音源化した新曲。星座の中で唯一1年中、夜空に輝く北斗七星を、いつも心の中にいる大切な人に重ねて描かれたこの曲は、今も歌っている時に、そばで見守ってくれているように感じるという亡きお兄さんを歌った曲。故郷“伊江島”と“家”をかけたカントリーソング02.と、スキマスイッチとのコラボ曲をアコギの弾き語りで再録した03.も収録。（伊藤）

［CD］01.北斗七星 02.ie 03.この闇を照らす光のむこうに-anly only version- 04.北斗七星 -instrumental- 05.ie-instrumental- ［DVD］「北斗七星」Music Video 他

08.09 on sale | single | BugLug 新人生

Resistar Records／通販限定豪華盤 DVD付 ¥5,500／初回盤DVD付 ¥1,800／通常盤 ¥1,500

シングルとしては1年5ヵ月ぶり。その間に死の淵を彷徨い、這い上がり、武道館で復活を遂げたVo.一聖と、彼を必死で支えたメンバー。表題曲はそんな彼らの新たに幕開けした人生のリスタート宣言だ。らしさ全開のロックチューンにリアルな言葉。想いが説得力を持って刺さる。02.は壮大なロッカバラッドに乗った魂の叫び。一転03.はキュートなポップチューンでこれも“らしい”。BugLugの新代表作がここに堂々誕生!（赤木）

［豪華盤CD］01.新人生 02.命 03.コトナ 04.迷子CH（2017.5.7 日本武道館） 他 全6曲 ［初回盤CD］03.新人生（Instrumental Ver.） 04. BugLug Radio -Member Talk- 他 全4曲 ［通常盤CD］04. SHOW 2 GLOW（2017.5.7 日本武道館） ［DVD］「新人生」Music Clip 他

08.16 on sale | single | 星野源 Familiy Song

SPEEDSTAR RECORDS／初回盤DVD付 ¥1,800／通常盤 ¥1,200

「恋」の大ヒットによりスーパースターとなった星野源の新曲「Family Song」は、アルバム『YELLOW DANCER』のテーマだった“ブラックミュージック×歌謡”をさらに前進させたミディアムバラード。70年代R&B直系のサウンド、ソウルフルなメロディと共に“あなたは 何処でも行ける／あなたは 何にでもなれる”という祈りに似た歌が響くこの曲は、シンガーソングライターとしての才能を改めて証明するだろう。今年を代表する名曲。（森）

［CD］01.Family Song 02.肌 03.プリン 04.KIDS（House ver.）
［DVD］『Home Video』ライヴ映像 他

08.09 on sale | single | 夜の本気ダンス TAKE MY HAND

Getting Better Records／¥1,200

3rdは、ドラマ『セシルのもくろみ』主題歌。バンドにとって大チャンスだが、媚びず日和らず、逆にこれまで以上に攻撃的なダンス・チューンで勝負するのが夜ダンの流儀だ。パンクロックの疾走感と四つ打ちを組み合わせた高速ビート、キレキレのギターリフ、突き抜けるサビのカタルシス、ブレイクダウンのスローな展開も含め完璧な3分半。03.の長尺ライヴ・メドレーも聴きご応えたっぷり、絶対の自信を持つライヴへの招待状だ。（宮本）

01.TAKE MY HAND 02.This is pop（new mix） 03.HONKI DANCE TIME（Japanese Style ～ fucki' so tired ～ Only Nineteen ～ B!tch ～ You gotta move ～ Logical heart）

08.16 on sale | single | DISH// 僕たちがやりました

SONY RECORDS／初回盤A DVD付 ¥2,778／初回盤B DVD付 ¥1,481／初回盤C ¥1,481／通常盤 ¥1,111

同タイトルのドラマ主題歌としてOA中の新曲は、オカモトショウが書き下ろし、OKAMOTO'S+DISH//全員参加で音を作り、DISH//の5人が膝を突き合わせて一発録りした意欲作。共通カップリングとしてあいみょんが手がけた名ミディアムバラード「猫」を収録。さらに松隈ケンタと共作したライヴ感迸るロックナンバーに、定番コント“万年皿組”のテーマ曲まで?! DISH//というバンドの決意が詰まった新たな一歩と言える作品だ。（山本）

［初回盤A CD］01.僕たちがやりました 02.猫 03.万年皿組～皿組に夏がキタ～ 他 全4曲 ［初回盤B CD］01.僕たちがやりました 02.Newフェイス 03.猫 他 全4曲 ［初回盤C CD］全4曲 ［通常盤CD］全4曲 ［DVD A］ライヴ映像 ［DVD B］「僕たちがやりました」Music Video&Making

08.16 on sale | single | フレデリック かなしいうれしい

A-Sketch／初回盤DVD付 ¥2,037／通常盤 ¥1,200

新体制初作品のシングル01.は、アニメ「恋と嘘」のOP曲としてオンエア中。メロディラインやコードワークがセンチメンタルさを、耳に残るメインリフや自然と身体が動くグルーヴ感がポップさを感じさせつつ、それらが見事なまでに溶け合ってひとつとなった音像は、まさにそのタイトルの如し。レゲエな幕開けの02.では自分達とオーディエンスの関係を、黒人音楽色の強い03.では世相を切ったりと、歌詞もかなりエモいです。（山口）

Book Share ZIP
http://bszip.com

［初回盤CD］01.かなしいうれしい 02.シンクロック 03.まちがいさがしの国 04.～08. Live at 新木場STUDIO COAST ライヴ音源 ［通常盤CD］01.かなしいうれしい 02.シンクロック 03.まちがいさがしの国 他 全5曲 ［DVD］フレデリズムツアー 2016-17 TOUR FINAL @新木場STUDIO COAST LIVE

Text ⇒ 赤木まみ、飯島健一、伊藤博伸、大西智之、早川加奈子、宮本英夫、森朋之、山口哲生、山本祥子、吉田可奈

News Rush!!

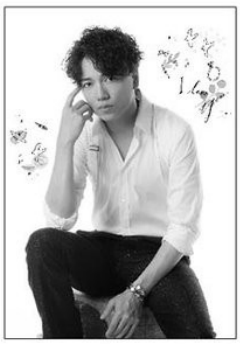
今月も人気アーティストの
リリース予定や熱いライヴレポートなど
内容満載でお届けします!

news Nissy(西島隆弘)

自身作詞の3曲をリリース!
初監督の映像上映イベントも開催!!

卓越した歌唱力と表現力で、楽曲はもちろん、ミュージックビデオやライヴパフォーマンスなど、トータルでファンの心を揺さぶる"エンタテイメント"を届けてきたNissy(西島隆弘)から、待望の新作が発表される。8月24日にmu-moショップ限定でリリースされるシングル「OK?(オーケー?)」には、自身が作詞を手がけた「17th Kiss」「恋す肌」「愛tears」の3曲を収録。さらにDVDに収録される、3曲で構成された1つの物語(Music Short Film)は、Nissy初の監督作品。この先行映像上映や写真&衣装展示も含めたスペシャルなイベント"Nissy Entertainment Short Film「OK?」〜THEATER&EXHIBITION〜"が、8月10日〜24日まで、東京・福岡・大阪にて開催されるので、そちらも是非チェックしてほしい。

news 山崎育三郎
初のオリジナル曲をリリース!



テレビ朝日系にて7月28日からスタートの初主演ドラマ『あいの結婚相談所』(毎週金曜23:15〜)で、元動物学者の准教授で"成婚率100%"の結婚相談所所長・藍野真伍を演じる山崎育三郎。このドラマのテーマソングでもあり、自身初のオリジナル楽曲となる2曲を収めた1stシングル「Congratulations / あいのデータ」が、8月16日にリリースされる。ドラマの内容にもふさわしい、新定番のウエディングソングとも言えるこの2曲に加えて、DVD盤に収録される「あいのデータ〜Congratulations」メドレーMusic Videoも必見。次号では、シングルの最新インタビューをお届け予定!!

news H△G
次世代J-POPアーティストがメジャー・デビュー!

ヴォーカルのChihoを中心に、サウンドコンポーザーチーム、ミュージシャンチーム、レコーディングエンジニアチーム、デザイナーチームによって構成されるクリエイター集団/H△G(ハグ)。'14年5月14日にアルバム『f分の1ゆらぎ』でインディーズ・デビューして以来、"永遠の17歳"をコンセプトに、青春期の「葛藤」「胸の痛み」「蒼さ」を言葉やサウンド、デザインで表現してきた彼らが、7月26日にメジャー移籍第一弾シングルとなる「夏の在りか」をリリース。"17才の夏の日"を切り取った表題曲を始め、名曲「secret base 〜君がくれたもの〜」のカバーなど、聴きどころ満載の1枚だ。

news BIGMAMA
音楽と文学の見事なコラボレーション

今年3月に発表した7thアルバム『Fabula Fibura』のラスト曲「愛はハリネズミのように」。そのテーマでもあった「幻覚の島<ドープランド>」に焦点をあてたスピンオフ作品が、ニュー・シングル「DOPELAND」として7月19日にリリースされた。本作には「愛はハリネズミのように」と、「君の膵臓を食べたい」で知られる小説家・住野よる氏がこの楽曲からインスパイアされ書き下ろした掌編小説、新曲2曲を収録。音楽と文学で、想像を掻き立てるコラボ作品となっている。そして、9月6日にはベストアルバムの発売も決定。10月15日には日本武道館公演。2017年、BIGMAMAからの贈り物が続きます。

live LAMP IN TERREN
6.30 恵比寿リキッドルーム

アルバム『fantasia』を掲げたツアー最終日。バンドの求心力がとにかく力強くなっていることに驚かされた。ディープな音像で魅せた「at(liberty)」や、観客のクラップと足踏みを促した「オフコース」、松本がステージを降りてフロアのど真ん中で飛び跳ねた「地球儀」など、すべてがこれまでと比較にならないぐらい胸を打つ。その理由は明白だった。松本が「今までは言えなかったけど」と前置きして叫んだ「俺がどこまでもみんなの手を引っ張っていくから、ついてきてください」という言葉。その覚悟が、彼を、彼らを明らかに変えた。4人の未来に期待しかしていない。 (写真■浜野カズシ/文■山口哲生)

news HKT48
初々しさにキュンキュンするニュー・シングル

HKT48、10枚目のニュー・シングル「キスは待つしかないのでしょうか?」が8月2日にリリースされる。キスに憧れる女の子のピュアな想いを歌っている王道ソングだ。今作のミュージックビデオの監督は、現役女子大生の松本花奈。テーマは「"疾走感"と"絆"。夏の始まり。」で、届きそうで届かない君への想いに悩むメンバーの松岡はなと、それを影から応援する宮脇咲良。メンバーの日常をカメラで切り取っていく指原莉乃。そして、選抜メンバー16人の気持ちがひとつになったとき、一歩前へと踏み出そうとする女の子たちを描いたストーリーとなっている。MVと共にぜひチェックを!

news 井上苑子
10代最後の夏うたをリリース

女子中高校生を中心に、10代から圧倒的支持を受ける、シンガーソングライター井上苑子が、7月26日にリリースするシングル「なみだ」。今回もおなじみSUPER BEAVER・柳沢とのタッグで、相手が夢を追うための別れを受け入れる女の子の切ない心情を、語りかける様に歌う失恋バラードとなっている。これまで「線香花火」や「ナツコイ」などアッパーやキュートな夏曲をリリースしてきた井上の、新たな夏うた定番曲になりそう。今後は、初の主催イベント「いのうえ夏祭り2017」を、8月6日新木場スタジオコーストで開催する。

BookShare24
http://bs24.com

info<inu-para.com/>

ナ

ナノ
8月11日（金）豊洲ピット
13日（日）福岡ドラムBe-1
19日（土）北海道キューブガーデン
26日（土）梅田トラッド
27日（日）名古屋クラブクアトロ
31日（木）香港・E-MAX
9月 2日（土）台湾・Legacy Taipei
9日（土）ジャカルタ・Upperroom
info<nanonano.me/>

西野カナ
8月26日（土）京セラドーム大阪
27日（日）京セラドーム大阪
9月23日（土）東京ドーム
24日（日）東京ドーム
info<www.nishinokana.com/>

ハ

HOWL BE QUIET
7月28日（金）梅田トラッド
8月 1日（火）高松ダイム
3日（木）福岡ドラムBe-1
4日（金）広島セカンドクラッチ
16日（水）赤坂ブリッツ
info<www.howlbequiet.com/>

BugLug
9月 3日（日）クラブチッタ川崎
15日（金）ヘブンズロック宇都宮VJ-2
17日（日）秋田クラブスウィンドル
18日（月）仙台ダーウィン
22日（金）大阪バナナホール
24日（日）高知X-pt.
26日（火）奈良ネバーランド
27日（水）松坂マクサ
29日（金）福井チョップ
10月 1日（日）富山ソウルパワー
8日（日）新潟スタジオネックス
9日（月）長野クラブジャンクボックス
14日（土）山形ミュージック昭和セッション
15日（日）青森クォーター
17日（火）函館クラブココア
20日（金）盛岡クラブチェンジウェイブ
22日（日）郡山ヒップショットジャパン
26日（木）京都ファンJ
28日（土）熊本B.9 V1
29日（日）宮崎SRボックス
31日（火）鹿児島キャパルボホール
11月 2日（木）広島セコンドクラッチ
4日（土）松山サロンキティ
5日（日）徳島クラブグラインドハウス
7日（火）甲府コンビクション
11日（土）金沢AZ
12日（日）岐阜クラブG
21日（火）和歌山シェルター
23日（木）岡山クレイジーママキングダム
25日（土）大分ドラムBe-0
26日（日）佐賀ガイルス
28日（火）長崎ドラムBe-7
30日（木）ライブライズ周南
12月 2日（土）松江AZTiC canova
3日（日）米子AZTiC laughs
5日（火）神戸バリット
7日（木）高崎クラブフリーズ
9日（土）水戸ライトハウス
10日（日）柏パロッツァ
16日（土）沖縄・宜野湾ヒューマンステージ
17日（日）沖縄・宜野湾ヒューマンステージ
1月12日（金）浜松窓枠
13日（土）名古屋レニーリミテッド
20日（土）ヘブンズロック熊谷VJ-1
24日（水）滋賀ビーフラット
26日（金）高松ダイム
28日（日）福岡ドラムロゴス
2月17日（土）新木場スタジオコースト
info<buglug.jp/>

BUMP OF CHICKEN
9月16日（土）幕張メッセ国際展示場1～3ホール
17日（日）幕張メッセ国際展示場1～3ホール
23日（土）北海道立総合体育センター 北海きたえーる
24日（日）北海道立総合体育センター 北海きたえーる
10月 3日（火）朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター
8日（日）静岡エコパアリーナ
31日（火）大阪城ホール
11月 1日（水）大阪城ホール
18日（土）広島グリーンアリーナ
12月 9日（土）宮城・セキスイハイムスーパーアリーナ
16日（土）石川産業展示館4号館
info<www.bumpofchicken.com/>

VAMPS
8月 5日（土）沖縄・ぎのわん海浜公園屋外劇場
6日（日）沖縄・ぎのわん海浜公園屋外劇場
9月 2日（土）ゼップ札幌
3日（日）ゼップ札幌
17日（日）仙台ピット
18日（月）仙台ピット
info<www.vampsxxx.com/>

THE BEAT GARDEN
9月 9日（土）梅田クラブクアトロ
23日（土）渋谷ツタヤO-WEST
info<thebeatgarden.com/>

BIGMAMA
10月15日（日）日本武道館
info<bigmama-web.com/>

BREAKERZ
11月12日（日）広島セカンドクラッチ
15日（水）札幌キューブガーデン
18日（土）高松モンスター
26日（日）静岡サウンドシャワーアーク
29日（水）仙台ダーウィン
12月 1日（金）新横浜ニューサイドビーチ
3日（日）熊本Be-9
4日（月）福岡Be-1
9日（土）梅田バナナホール
10日（日）名古屋レニーリミテッド
15日（金）渋谷ツタヤO-EAST
info<breakerz-web.net/>

flumpool
9月16日（土）仙台サンプラザホール
18日（月）秋田県民会館
23日（土）岐阜市民会館
24日（日）富山県民会館 ホール
29日（日）札幌わくわくホリデーホール
10月 1日（日）函館市民会館
6日（金）高知県民文化ホール オレンジホール
7日（土）岡山市民会館
9日（月）名古屋国際会議場センチュリーホール
10日（火）大阪フェスティバルホール
13日（金）新潟県民会館 大ホール
15日（日）大宮ソニックシティ 大ホール
21日（土）和歌山県民文化会館 大ホール
22日（日）なら100年会館
11月 1日（水）神戸国際会館こくさいホール
3日（金）徳島・鳴門市文化会館
4日（土）滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 大ホール
12日（日）富士市文化会館 ロゼシアター大ホール
19日（日）伊勢崎市文化会館
22日（水）宮崎市民文化ホール 大ホール
23日（木）熊本・荒尾総合文化センター 大ホール
25日（土）福岡・アルモニーサンク 北九州ルイユホール
30日（木）市川市文化会館 大ホール
12月 2日（土）パシフィコ横浜 国立大ホール
3日（日）パシフィコ横浜 国立大ホール
9日（土）福井市文化会館ホール
10日（日）三重・NTNシティホール(桑名市民会館)
15日（金）広島上野学園ホール
16日（土）米子市公会堂
info<www.flumpool.jp/>

Fo'xTails
11月 3日（金）梅田ジーラ
18日（土）青山リズム
info<hxfoxtailsx.com/>

04 Limited Sazabys
7月28日（金）米子AZTiC laughs※
8月 2日（水）大阪ビッグキャット※
7日（月）渋谷ツタヤO-EAST※
9日（水）名古屋ダイアモンドホール※
11月16日（木）クラブチッタ川崎
23日（木）ブルーライブ広島
24日（金）福岡ドラムロゴス
26日（日）高松フェストハレ
30日（木）松本キッセイ文化ホール・中ホール
12月 7日（木）新潟ロッツ
9日（土）仙台ピット
1月 6日（土）ゼップ札幌
13日（土）ゼップ大阪ベイサイド
14日（日）ゼップ大阪ベイサイド
18日（木）ゼップ東京
19日（金）ゼップ東京
25日（木）ゼップ名古屋
26日（金）ゼップ名古屋
info<www.04limitedsazabys.com/>
※対バンあり

フレデリック
11月11日（土）岡山クレイジーママキングダム
12日（日）高松フェストハレ
19日（日）札幌ファクトリーホール
25日（土）金沢エイトホール
26日（日）松本アレックス
12月 2日（土）福岡ドラムロゴス
3日（日）広島クラブクアトロ
8日（金）仙台レンサ
9日（土）ネックス新潟
16日（土）ゼップ大阪ベイサイド
17日（日）ゼップ名古屋
21日（木）ゼップ東京
info<frederic-official.com/>

星野源
8月 5日（土）横浜アリーナ
6日（日）横浜アリーナ
25日（金）名古屋・日本ガイシホール
26日（土）名古屋・日本ガイシホール
9月 9日（土）さいたまスーパーアリーナ
10日（日）さいたまスーパーアリーナ
info<www.hoshinogen.com/>

マ

宮野真守
9月 2日（土）岡山市民会館
9日（土）石川・本多の森ホール
15日（金）大阪オリックス劇場
16日（土）大阪オリックス劇場
18日（月）わくわくホリデーホール(札幌市民ホール)
23日（土）静岡市民文化会館 大ホール
10月 1日（日）ベイシア文化ホール(群馬県民会館)
7日（土）名古屋国際会議場センチュリーホール
15日（日）横浜アリーナ
28日（土）ゼビオアリーナ仙台
29日（日）ゼビオアリーナ仙台
info<miyanomamoru.com/>

ヤ

遊助
7月28日（金）東京国際フォーラムホールA
30日（日）アクトシティ浜松大ホール
8月 6日（日）パシフィコ横浜 国立大ホール
11日（金）福岡サンパレス
12日（土）福岡サンパレス
19日（土）石川・本多の森ホール
26日（土）大阪オリックス劇場
27日（日）大阪オリックス劇場
9月 3日（日）仙台サンプラザホール
5日（火）よこすか芸術劇場
6日（水）よこすか芸術劇場
9日（土）広島文化学園HBGホール
16日（土）大宮ソニックシティ大ホール
17日（日）大宮ソニックシティ大ホール
23日（土）大阪オリックス劇場
24日（日）大阪オリックス劇場
info<www.yuusuke.jp/>

ゆず
9月21日（木）熊本県立劇場 演劇ホール
23日（土）長崎ブリックホール
27日（水）金沢歌劇座
30日（土）函館市民会館
10月 2日（月）リンクステーションホール青森
10日（火）松山市民会館
12日（木）米子コンベンションセンター BiG SHiP
16日（月）大阪フェスティバルホール
17日（火）大阪フェスティバルホール
24日（火）名古屋センチュリーホール
25日（水）名古屋センチュリーホール
11月 7日（火）パシフィコ横浜 国立大ホール
8日（水）パシフィコ横浜 国立大ホール
10日（金）パシフィコ横浜 国立大ホール
info<yuzunowa.com/>

UNISON SQUARE GARDEN
10月 8日（日）高知X-pt.
9日（月）高知X-pt.
11日（水）出雲アポロ
17日（火）高崎クラブフリーズ
19日（木）新潟ロッツ
20日（金）新潟ロッツ
22日（日）盛岡クラブチェンジウェイブ
27日（金）熊本 B.9 V1
29日（日）周南ライジングホール
11月15日（水）ゼップ東京
16日（木）ゼップ東京
18日（土）仙台ピット
22日（水）クラブチッタ川崎
24日（金）高松フェストハレ
26日（日）ブルーライブ広島
27日（月）なんばハッチ大阪
12月 4日（月）福岡ドラムロゴス
5日（火）福岡ドラムロゴス
8日（金）ゼップ大阪ベイサイド
9日（土）ゼップ大阪ベイサイド
13日（水）ゼップ名古屋
14日（木）ゼップ名古屋
23日（土）ゼップ名古屋
info<unison-s-g.com/>

吉田山田
8月26日（土）上野水上野外音楽堂
info<yoshidayamada.com/>

ラ

LACCO TOWER
9月17日（日）仙台マカナ
24日（日）新潟クラブリバースト
10月 1日（日）梅田クラブクアトロ
8日（日）福岡キューブリック
15日（日）名古屋クラブクアトロ
21日（土）高崎クラブフリーズ
28日（土）ゼップダイバーシティ東京
info<laccotower.com/>

LiSA
9月24日（日）東京エレクトロンホール宮城
30日（土）長野ホクト文化ホール 大ホール
10月 1日（日）石川・本多の森ホール
7日（土）長良川国際会議場
9日（月）静岡市民文化会館
15日（日）川崎市スポーツ・文化総合センター
21日（土）滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール・大ホール
28日（土）栃木県総合文化センター
11月 3日（金）サンポートホール高松
9日（木）中野サンプラザホール
18日（土）広島文化学園HBGホール
19日（日）福岡サンパレス
24日（金）わくわくホリデーホール(札幌市民ホール)
info<www.lxixsxa.com/live/>

Little Glee Monster
9月 2日（土）市原市市民会館
3日（日）茨城県立県民文化センター
7日（木）大宮ソニックシティ
10日（日）新潟県民会館
15日（金）北海道・道新ホール
16日（土）北海道・道新ホール
18日（月）パシフィコ横浜 国立大ホール
21日（木）大阪フェスティバルホール
23日（土）岡山市民会館
24日（日）香川レクザムホール
30日（土）静岡・富士ロゼシアター
10月 1日（日）狭山市市民会館 大ホール
7日（土）愛知・幸田町民会館
9日（月）山梨河口湖ステラシアター
14日（土）滋賀・びわ湖ホール 大ホール
15日（日）なら100年会館 大ホール
20日（金）石川・本多の森ホール
21日（土）富山・高岡文化ホール
11月 3日（金）三重・四日市市文化会館
5日（日）宮城・東京エレクトロンホール宮城
12日（日）群馬・桐生市市民文化会館
17日（金）名古屋国際会議場センチュリーホール
19日（日）東京国際フォーラム ホールA
info<www.littlegleemonster.com/>

BookShare.jp http://bszip.com

Live Rush!!

ア

Anly
10月10日（火） 仙台ライブハウスenn 2nd
11日（水） ヘブンズロック宇都宮 VJ-2
14日（土） 福岡キューブリック
15日（日） 広島バックビート
19日（木） 名古屋クラブクアトロ
20日（金） 梅田クラブクアトロ
24日（火） 渋谷クラブクアトロ
info<www.anly-singer.com/>

家入レオ
9月 6日（水） ゼップダイバーシティ東京
7日（木） ゼップダイバーシティ東京
12日（火） ゼップ名古屋
13日（水） ゼップ名古屋
20日（水） ゼップなんば大阪
21日（木） ゼップなんば大阪
info<www.jvcmusic.co.jp/leo-ieiri/>

植田真梨恵
9月 6日（水） 大阪サンケイホールブリーゼ
10日（日） 日本青年館ホール
info<uedamarie.com/>

UVERworld
7月31日（月） 恵比寿リキッドルーム
8月 4日（金） 山形シェルターなんようホール 大ホール
6日（日） 福島・いわき芸術文化交流館アリオス
9日（水） 青森・弘前市民会館
14日（月） 北海道・北見市民会館
16日（水） 北海道・旭川市民文化会館 大ホール
23日（水） 徳島・鳴門市文化会館
24日（木） 徳島・鳴門市文化会館
26日（土） 愛媛・ひめぎんホール メインホール
27日（日） 愛媛・ひめぎんホール メインホール
29日（火） 岡山市民会館
30日（水） 岡山市民会館
9月 1日（金） 島根県民会館 大ホール
3日（日） 山口・周南市文化会館
4日（月） 山口・周南市文化会館
6日（水） なら100年会館 大ホール
7日（木） なら100年会館 大ホール
12日（火） 和歌山県民文化会館 大ホール
13日（水） 和歌山県民文化会館 大ホール
19日（火） 鹿児島市民文化ホール第一ホール
20日（水） 鹿児島市民文化ホール第一ホール
25日（月） 沖縄ミュージックタウン音市場
10月 3日（火） 日本武道館
4日（水） 日本武道館
11月 2日（木） 神戸ワールド記念ホール
3日（金） 神戸ワールド記念ホール
11日（土） 静岡エコパアリーナ
12日（日） 静岡エコパアリーナ
22日（水） 大阪城ホール
23日（木） 大阪城ホール
12月 5日（火） 朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター
6日（水） 朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター
13日（水） 名古屋・日本ガイシホール
14日（木） 名古屋・日本ガイシホール
16日（土） 宮城セキスイハイムスーパーアリーナ
17日（日） 宮城セキスイハイムスーパーアリーナ
20日（水） 横浜アリーナ
21日（木） 横浜アリーナ
25日（月） 日本武道館
30日（土） マリンメッセ福岡
31日（日） マリンメッセ福岡
info<www.uverworld.com/>

urata naoya（AAA）
11月 6日（月） 大阪NHKホール
10日（金） 舞浜アンフィシアター
info<uratanaoya.com/>

SF9
8月 2日（水） ゼップ大阪ベイサイド
4日（金） 豊洲ピット
info<sf9-official.jp/>

Aimer
8月29日（火） 日本武道館
info<www.aimer-web.jp/>

大原櫻子
10月11日（水） ゼップ札幌
18日（水） ゼップなんば大阪
19日（木） ゼップなんば大阪
25日（水） ゼップ東京
26日（木） ゼップ東京
11月 2日（木） ゼップ名古屋
info<www.sakurako-web.com/>

OLDCODEX
9月 3日（日） ゼップ大阪ベイサイド
9日（土） ゼップ札幌
12日（火） ゼップ東京
13日（水） ゼップ東京
10月 7日（土） 戸田市文化会館
15日（日） アルモニーサンク北九州ソレイユホール
21日（土） 大阪オリックス劇場
11月 5日（日） 石川・本多の森ホール
10日（金） 仙台サンプラザホール
25日（土） 広島・JMS アステールプラザ 大ホール
26日（日） 広島・JMS アステールプラザ 大ホール
12月 2日（土） 神戸国際会館こくさいホール
20日（水） 名古屋国際会議場センチュリーホール
23日（土） 静岡市民文化会館 大ホール
info<www.oldcodex.com/>

ORANGE RANGE
7月29日（土） 大阪なんばハッチ
30日（日） 大阪なんばハッチ
8月 5日（土） 福岡ドラムロゴス
6日（日） 熊本ドラム Be-9 V1
11日（金） ゼップ名古屋
12日（土） 金沢エイトホール
18日（金） 新潟ロッツ
20日（日） ゼップ札幌
25日（金） ゼップ東京
26日（土） ゼップ東京
10月14日（土） 沖縄市野外ステージ ※
11月22日（水） かつしかシンフォニーヒルズ モーツァルトホール
24日（金） ロームシアター京都
26日（日） 群馬・みかぼみらい館
12月 1日（金） 岩手・二戸市民文化会館
3日（日） 秋田・由利本荘市文化交流館 カダーレ
9日（土） 長崎ブリックホール
10日（日） 佐賀・島栖市民文化会館
12日（火） 鹿児島・宝山ホール
15日（金） 中野サンプラザホール
16日（土） 中野サンプラザホール
22日（金） 富山・クロスランドおやべ
23日（土） 滋賀・守山市民ホール
1月 7日（日） 大阪オリックス劇場
8日（月） 兵庫・三田市総合文化センター 郷の音ホール
13日（土） 愛知・サンプラザ豊橋
20日（土） 静岡・裾野市民文化センター
21日（日） 東松山市民文化センター
27日（土） 山口・スターピアくだまつ 大ホール
28日（日） 岡山・ロマン高原かよう総合会館
2月 3日（土） 栃木・小山市立文化センター
4日（日） 厚木市文化会館
11日（日） 高知・県立県民文化ホール オレンジホール
12日（月） 愛媛・松前総合文化センター
info<orangerange.com/>
※は主催イベント

カ

GLAY
9月23日（土） 朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター
24日（日） 朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター
30日（土） 大阪城ホール
10月 1日（日） 大阪城ホール
7日（土） 宮城・セキスイハイムスーパーアリーナ
8日（日） 宮城・セキスイハイムスーパーアリーナ
21日（土） 広島グリーンアリーナ
22日（日） 広島グリーンアリーナ
25日（水） 日本武道館
27日（金） 日本武道館
28日（土） 日本武道館
11月 3日（金） 北海道立総合体育センター 北海きたえーる
4日（土） 北海道立総合体育センター 北海きたえーる
11日（土） 横浜アリーナ
12日（日） 横浜アリーナ
15日（水） 大阪城ホール
16日（木） 大阪城ホール
25日（土） マリンメッセ福岡
26日（日） マリンメッセ福岡
12月 9日（土） さいたまスーパーアリーナ
10日（日） さいたまスーパーアリーナ
16日（土） 名古屋・日本ガイシホール
17日（日） 名古屋・日本ガイシホール
info<www.glay.co.jp/>

go!go!vanillas
9月 9日（土） 横浜ベイホール
10日（日） 水戸ライトハウス
16日（土） ヘブンズロック熊谷 VJ-1
17日（日） 高崎クラブフリーズ
23日（土） 神戸チキンジョージ
24日（日） 滋賀U-STONE
28日（木） 浜松窓枠
30日（土） 長野クラブジャンクボックス
10月 1日（日） 金沢エイトホール
6日（金） 仙台レンサ
8日（日） 秋田クラブスウィンドル
9日（月） 盛岡クラブチェンジウェイブ
21日（土） 高松モンスター
22日（日） 高知 X-pt.
26日（木） 米子AZTiCIaughs
28日（土） 広島クラブクアトロ
29日（日） 岡山クレイジーママキンングダム
11月 9日（木） 宮崎SRボックス
11日（土） 熊本B.9 V1
12日（日） 福岡ドラムロゴス
18日（土） 札幌ペニレーン24
19日（日） 札幌ペニレーン24
info<gogovanillas.com/>

サ

THE YELLOW MONKEY
12月 9日（土） 東京ドーム
10日（日） 東京ドーム
info<theyellowmonkeysuper.jp/>

SILENT SIREN
7月 2日（日） EXシアター六本木
4日（火） 金沢エイトホール
8日（土） 栃木市総合文化センター
13日（木） 新潟ロッツ
14日（金） 新潟ロッツ
17日（月） 仙台イズミティ21 大ホール
25日（火） 静岡サウンドシャワーアーク
26日（水） 静岡サウンドシャワーアーク
29日（土） 旭川カジノドライブ
30日（日） 札幌わくわくホリデーホール
9月18日（月） 名古屋国際会議場センチュリーホール
10月 8日（日） 福岡国際会議場メインホール
9日（月） 福岡国際会議場メインホール
28日（土） グランキューブ大阪メインホール
29日（日） グランキューブ大阪メインホール
11月 3日（金） 郡山市民文化センター大ホール
13日（月） 日本武道館
14日（火） 日本武道館
info<silent-siren.com/>

THE ORAL CIGARETTES
11月 1日（水） ゼップ大阪ベイサイド
8日（水） ゼップ名古屋
9日（木） ゼップ北海道
24日（金） ライブプルー広島
12月 5日（火） 新木場スタジオコースト
6日（水） 新木場スタジオコースト
2月15日（木） 大阪城ホール
info<theoralcigarettes.com/>

SHE'S
9月29日（金） 東京・草月ホール
30日（土） 東京・草月ホール
10月13日（金） 名古屋市芸術創造センター
14日（土） 大阪・立命館いばらきフューチャープラザ グランドホール
info<she-s.info/>

GENERATIONS from EXILE TRIBE
8月 2日（水） さいたまスーパーアリーナ
3日（木） さいたまスーパーアリーナ
5日（土） さいたまスーパーアリーナ
6日（日） さいたまスーパーアリーナ
11日（金） マリンメッセ福岡
12日（土） マリンメッセ福岡
13日（日） マリンメッセ福岡
30日（水） 名古屋・日本ガイシホール
31日（木） 名古屋・日本ガイシホール
9月 2日（土） 名古屋・日本ガイシホール
3日（日） 名古屋・日本ガイシホール
16日（土） 真駒内セキスイハイムアイスアリーナ
17日（日） 真駒内セキスイハイムアイスアリーナ
23日（土） 青森盛運輸アリーナ
24日（日） 青森盛運輸アリーナ
10月28日（土） マリンメッセ福岡
29日（日） マリンメッセ福岡
11月 8日（水） 大阪城ホール
9日（木） 大阪城ホール
25日（土） 三重県営サンアリーナ
26日（日） 三重県営サンアリーナ
12月 2日（土） 朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター
3日（日） 朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンター
16日（土） 静岡エコパアリーナ
17日（日） 静岡エコパアリーナ
info<generations-ldh.jp/>

SPYAIR
7月29日（土） 富士急ハイランド・コニファーフォレスト
info<www.spyair.net/>

Sonar Pocket
7月29日（土） 狭山市市民会館
30日（日） 狭山市市民会館
8月 5日（土） 岐阜バロー文化ホール
6日（日） 岐阜バロー文化ホール
12日（土） 福岡市民会館
13日（日） 福岡市民会館
19日（土） 鹿児島宝山ホール
20日（日） 鹿児島宝山ホール
26日（土） ロームシアター京都メインホール
27日（日） ロームシアター京都メインホール
9月 2日（土） 新潟テルサ
3日（日） 新潟テルサ
9日（土） 札幌市教育文化会館 大ホール
10日（日） 札幌市教育文化会館 大ホール
16日（土） 東京エレクトロンホール宮城
17日（日） 東京エレクトロンホール宮城
23日（土） 広島文化学園HBGホール
24日（日） 広島文化学園HBGホール
30日（土） 名古屋国際会議場センチュリーホール
10月 1日（日） 名古屋国際会議場センチュリーホール
7日（土） サンポートホール高松
8日（日） サンポートホール高松
14日（土） グランキューブ大阪メインホール
15日（日） グランキューブ大阪メインホール
21日（土） 静岡市民文化会館大ホール
22日（日） 静岡市民文化会館大ホール
11月10日（金） 日本武道館
11日（土） 日本武道館
info<www.sonapoke.jp/>

タ

Da-iCE
7月29日（土） サンシティ越谷 大ホール
9月 2日（土） リンクステーション青森
9日（土） 厚木市文化会館 大ホール
10日（日） 郡山市民文化センター 大ホール
15日（金） 仙台イズミティ21 大ホール
16日（土） 仙台イズミティ21 大ホール
23日（土） 広島アステールプラザ 大ホール
24日（日） 広島アステールプラザ 大ホール
30日（土） 浦安市文化会館
10月 7日（土） 群馬県ベイシア文化ホール 大ホール
9日（月） サンポートホール高松 大ホール
11月18日（土） 神戸ワールド記念ホール
19日（日） 神戸ワールド記念ホール
info<da-ice.jp/>

超特急
8月 8日（火） 東京国際フォーラム ホールA
28日（月） 豊洲ピット※
29日（火） 豊洲ピット※
30日（水） 豊洲ピット※
31日（木） 豊洲ピット※
9月 1日（金） 豊洲ピット※
info<bullettrain.jp/>
※対バンあり

DISH//
9月17日（日） 日比谷野外大音楽堂
info<dish-web.com/>

DOG inTheパラレルワールドオーケストラ
9月 9日（土） ゼップダイバーシティ東京

Book Share ZIP
http://bookzip.com

THE 取材

今年は梅雨で外ロケが全滅……
という惨事が少なかった気がします。
気がついたら夏が来てた〜!

宮野真守

インタビュー&撮影／ライター飯島さま。カメラマン大川さま。ヘアメイクIKUYOさま、スタイリング横田さま。スタッフの皆様。いつもありがとうございます!

←振りかぶる直前の凛々しいフォーム

新作『THE LOVE』を聴いた時、救われたような、赦されたような、あたたかくて優しい気持ちになりました。このタイミングで表紙巻頭特集ができるなら、ページを見てくれた方にちょっとでもアルバムの温度感を伝えたい!というわけで、今回はユルめの空気感の中でリラックスしたマモさんの優しい表情を切り撮らせていただきました。衣装も2パターン用意していただいて。1着目は、自分家だけど、ちょっとおめかしして、大切な人を迎え入れるようなイメージで。2着目のカーキのプルオーバーはよりいっそうカジュアルダウンした部屋着のイメージで。どちらのマモさんも素敵でした●撮影は庭からスタートしたのですが、直前まで降っていた雨も上がり、代わりというわけではないけれど、蚊が! 大変だ、と担当が棚から巨大な虫除けスプレーのような缶を持って駆けつけたのですが、マモさんが「それ、どう見ても人に吹きかける様子をしてないよ(笑)」と。よく見たら、庭そのものに散布しまくる害虫バリヤスプレーでした……あやうくマモさんをバリヤするところだった……すみませんっっ●道路でのラストカット時、突然カメラマンさんに向かってリンゴを振りかぶって投げる構えを見せ始めるマモさん。突然のことに全員焦りまくり(笑)。もちろん振りだけでしたけど。 (よ)

ひと言取材日記

★FLOWER FLOWER→またいろんなところでライヴができたら、という話で、yuiがぽつりと「にほんはツラいなぁ」と。みんなが「え? 日本が?」とざわつくと、「ちがうちがう、2本(笑)」と。今回の1日2ステージのライヴは緊張感ハンパなかったようです。(は)★大原櫻子→取材時、レコード会社には笹に七夕の飾り付けや短冊も。「私もあとで書こうかな。"レオちゃんとさくらと飲みに行けますように"って」と櫻子ちゃん。「それ、七夕に願いを込めなくてもすぐ叶うでしょ」と言うと、「すぐ叶う(笑)。飲みに行こって言えば」とのことでした。(は)★SF9→本誌初登場となった9人。インタビュー冒頭での、自己紹介ならぬ他己紹介のくだりでは、自分のことを紹介してくれる隣りのメンバーに興味津々。誉められると本気で照れたりしている姿が、みなさん可愛らしかったですよ♪(す)★Kalafina→体調があまりよくなかった担当を心配して、Keikoちゃんが「お味噌汁飲んで。ファーストフードばかり食べてちゃダメ! エナジードリンクなんてもっとダメなんだから!」と。その言葉と優しさ、めっちゃ沁みました(涙)。(よ)★Fo'xTails→見本誌として出した先月号の巻頭特集を見て、「あっ、YORKE.さんがサングラスしてない! レア!」と嬉しそうな4人。(よ)

※このページの写真は〈http://www.shinko-music.co.jp/〉にアクセスするとカラーで見ることができます

BOYS AND MEN

6月21日(水)都内スタジオにて。カメラマン大川さん、ライター武市さん、レコード会社、事務所スタッフの皆様。ありがとうございました!

朝イチでもこのテンションでの撮影でした

全員集合でお会いするのは久々で、その間に初武道館、47都道府県ツアー、バラエティ番組でもよく姿をお見かけしておりました。大忙しのボイメンさん。しかし、スタジオに現われたときから笑顔キラキラ&にぎやかで、さすがです! まずはソロカットからスタート。ドラマ「マジで航海してます。」の主題歌ということで、青い布で波を表現。しかし、風を起こしてなびかせるのではなく、メンバーにお願いしての自家発電方式。布を天井に放ってポーズ→シャッターを切る、の流れでした。みなさんは察しよく、各々楽しんで波を作ってくださいましたよ。その際「シャー!」や「わー!」など掛け声がついつい出てしまうようでした。待っているメンバーは撮影中のメンバーを見守りながら「カッコいいよ!」などの掛け声も。納得のいく波が作れると、みなさん喜んでいてほっこり。続いてユニットごとの集合カットを。こちらは夏を意識してボーダーを背景に選んでみました。カメラマンさんの「もっと笑顔で! もっと!」の煽りに応えてくれるメンバー達……ありがとう。良い表情がたくさんでした。最後は集合カット。立ち位置が決まるまでは、「オレここがいい!」などの小競り合い(?)。取材が終わり、次の現場へ向かうときも「ありがとうございました〜!」と元気いっぱい。感謝。 (さ)

超特急

6月27日(火)撮影&インタビュー。カメラ山本さん。ライター山本さん。ヘア&メイク間篠さん、杉野さん。マネイジメント&レーベルスタッフのみなさま。

また違う組み合わせでも考えてみます

今回はちょっと夜めの時間帯。糖分もきっと必要でしょうと、ケータリングにチョコクロワッサンを持ってスタジオへ。インタビューをしている間に、撮影セッティングをして、という段取りで、まずはインタビューから。武道館のリフターの話から、タクヤくんは高所が苦手と発覚。同じく高所がダメな担当が「でもすごい。あそこ立てって言われたら絶対無理」と話すと、すかさずみんなに「勝手にあの高さまで上げられるから!」「大丈夫!」とよくわからない説得をされる。いや、あそこに立たないし(笑)。タクヤくんは下は見ないように、高さを忘れるようにしてたらしいです。新曲の話も一通り聞いて、海話はひねり出してもらって、バディに分かれての撮影とインタビューを並行して。写真とトークのことを考え、けっこう悩んで決めた今回の組み合わせ。タクヤくんユースケくんがWセンターというのはインタビューで知ったので、偶然というか奇跡で。結果、すべて狙いだったんじゃないかっていうぐらい(笑)、写真もトークも新鮮だったし、色味も良かったな、と。撮影待ちの時は、チョコクロワッサンを食べたり(限定のレモンチーズ味に反応してたのはリョウガくん)、各々まったりしたり。バディのあとは、集合写真→ソロを撮ってと、なんだかんだやることいっぱいでしたが、やや巻きで終了〜。(は)

Book Share ZIP
http://bszip.com

BACKSTAGE B-PASS BACK NUMBER

表示は8%税込価格です。

好きなアーティストを完全チェック!!

最近ファンになったというキミ、"見逃した"というアナタ、バックナンバーもよろしく。

B-PASS '15.6 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：flumpool
●BUMP OF CHICKEN／東方神起／SUPER JUNIOR-D&E／『新宿スワン』SPECIAL LIVE／DISH//／超特急／AAA／西内まりや／藤巻亮太／SCANDAL／Kalafina／FTISLAND／CNBLUE／坂本真綾／WEAVER／THE ORAL CIGARETTES／フレデリック／TRUSTRICK／heidi.／「連載：SCREW／BUMP OF CHICKEN／高橋 優／MAGIC OF LiFE／D☆DATE／千葉雄大」他

B-PASS '15.7 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：UVERworld
●巻末特集：[Alexandros]
●AAA／ナオト・インティライミ／BBQ in つま恋 Photo Shooting Report／OLDCODEX／CNBLUE／超特急／家入レオ／藍井エイル／清木場俊介／アルスマグナ／ソナーポケット／高橋優／back number／UNISON SQUARE GARDEN／LEGO BIG MORL／黒木渚／新山詩織／東京カランコロン／あいみょん／BREAKERZ／GRANRODEO／Galileo Galilei／グッドモーニングアメリカ／他

B-PASS '15.8 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：遊助
●巻末特集：SKY-HI
●GLAY／miwa／AAA／VAMPS／GACKT／DISH//／板野友美／UNISON SQUARE GARDEN／DOBERMAN INFINITY／GRANRODEO／GRANRODEO×BREAKERZ／三浦大知／K／Mayday／HY／高橋 優／井上苑子／SUPER JUNIOR-K.R.Y.／LILI LIMIT／LAMP IN TERREN／Mrs. GREEN APPLE／SPYAIR／SCREEN mode／カスタマイZ／他

B-PASS '15.9 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：ポルノグラフィティ
●巻末特集：BREAKERZ
●LUNATIC FEST.／SCANDAL／SPYAIR／GENERATIONS from EXILE TRIBE／flumpool／AAA／Dream Ami／OLDCODEX／家入レオ／ファンキー加藤／ソナーポケット／Aqua Timez／LIFriends／Blu-BiLLioN／androp／ORANGE RANGE／REVALCY／清木場俊介／古川雄大／アンティック-珈琲店-／桐嶋ノドカ／lol／I Don't Like Mondays.／Kalafina／Aimer／SCREW／Da-iCE／他

B-PASS '15.10 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：AAA
●巻末特集：**宮野真守**
●BUMP OF CHICKEN／Acid Black Cherry／UVERworld／BBQ in つま恋／flumpool／SPYAIR／SCANDAL／清木場俊介／UNISON SQUARE GARDEN／FTISLAND／超特急／剛力彩芽／三浦大知／蒼井翔太／Aqua Timez／仙台貨物／DOG inThePWO／go!go!vanillas／Czecho No Republic／lynch.／J／Suck a Stew Dry／INORAN／アルスマグナ／Kalafina／他

B-PASS '15.11 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：EXILE TAKAHIRO
●福山雅治／VAMPS／UVERworld／GENERATIONS from EXILE TRIBE／AAA／SPYAIR／DOBERMAN INFINITY／坂本真綾／堂珍嘉邦／金子ノブアキ／lynch.／黒木渚／ソナーポケット／CNBLUE／ROOT FIVE／風男塾／Mayday／WEAVER／吉澤嘉代子／X4／「連載：SCREW／BUMP OF CHICKEN／高橋 優／MAGIC OF LiFE／Kalafina／D☆DATE／千葉雄大」他

B-PASS '15.12 ¥860(税込)
●Wカバー巻頭特集1：EXILE SHOKICHI
●Wカバー巻頭特集2：SPYAIR
●バックカバー&巻末特集：DISH//
●AAA／遊助／ファンキー加藤／大原櫻子／家入レオ&大原櫻子／Dream／アルスマグナ／BREAKERZ／小室哲哉／スキマスイッチ／NIGHTMARE／BugLug／Blu-BiLLioN／the GazettE／グッドモーニングアメリカ／THE ORAL CIGARETTES／井上苑子／04 Limited Sazabys／UMI☆KUUN／ダウト／SOLIDEMO／Da-iCE／カスタマイZ／他

B-PASS '16.2 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：miwa
●バックカバー&巻末特集：SKY-HI
●三代目 J Soul Brothers from EXILE TRIBE／ポルノグラフィティ／Acid Black Cherry／CNBLUE／KEITA／ソナーポケット／Little Glee Monster／グッドモーニングアメリカ／THE ORAL CIGARETTES／植田真梨恵／Da-iCE／ダウト／lol／東京カランコロン／山本陽介／X4／「連載：BUMP OF CHICKEN／高橋 優／MAGIC OF LiFE／Kalafina／SCREW／D☆DATE／千葉雄大」他

B-PASS '16.3 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：遊助
●バックカバー&巻末特集：E-girls
●UVERworld／SCANDAL／flumpool／SPAYAIR／**宮野真守**／家入レオ／超特急／DISH//／アルスマグナ／WEAVER／KANA-BOON／Mrs. GREEN APPLE／黒猫チェルシー／Fo'xTails／SCREEN mode／Blu-BiLLioN／荒木宏文／go!go!vanillas／小野賢章／藤原さくら／I Don't Like Mondays.／LIFriends／吉澤嘉代子／iKON／BOYS AND MEN／N.Flying／他

B-PASS '16.4 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：BUMP OF CHICKEN
●flumpool／OLDCODEX／UVERworld／SCANDAL／ソナーポケット／**宮野真守**／Kalafina／ファンキー加藤／高橋優／Galileo Galilei／GENERATIONS from EXILE TRIBE／BIGBANG／超特急／アルスマグナ／UNISON SQUARE GARDEN／BLUE ENCOUNT／AKIHIDE／アンティック-珈琲店-／Thinking Dogs／DOG inTheパラレルワールドオーケストラ／ベリーグッドマン／THE Hitch Lowke／DEEP／他

B-PASS '16.5 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：flumpool
●バックカバー&巻末特集：Da-iCE
●miwa／SPYAIR／GRANRODEO／the GazettE／GACKT／三浦大知／板野友美／風男塾／SOLIDEMO／X4／anderlust／小野賢章／入野自由／藤巻亮太／The BONEZ／NIGHTMARE／黒木 渚／KANIKAPILA／BugLug／SCREW／Leola／Anly／「連載：Kalafina／BUMP OF CHICKEN／高橋 優／MAGIC OF LiFE／D☆DATE／千葉雄大」他

B-PASS '16.6 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：AAA
●SKY-HI／BUMP OF CHICKEN／遊助／**宮野真守**／家入レオ／the GazettE／Aimer／LAMP IN TERREN／EXILE SHOKICHI／Galileo Galilei／ソナーポケット／西内まりや／カスタマイZ／ZYUN.／DAMIJAW／MUSCLE ATTACK／Ivy to Fraudulent Game／ラックライフ／Czecho No Republic／ハッカドロップス／「連載：高橋 優／MAGIC OF LiFE／D☆DATE／千葉雄大」他

B-PASS '16.7 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：OLDCODEX
●バックカバー&巻末特集：LEGO BIG MORL
●BUMP OF CHICKEN／SCANDAL／DISH//／大原櫻子／BOYS AND MEN／ファンキー加藤／Galileo Galilei／**宮野真守**／X4／黒猫チェルシー／04 Limited Sazabys／フレデリック／Suck a Stew Dry／chay／Anly／LACCO TOWER／SHE'S／FAKY／Kalafina／「連載：BUMP OF CHICKEN／高橋 優／MAGIC OF LiFE／D☆DATE／千葉雄大」他

B-PASS '16.8 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：AKIRA&岩田剛典 HiGH&LOW THE MOVIE
●バックカバー&巻末特集：大原櫻子
●miwa／ナオト・インティライミ／UNISON SQUARE GARDEN／SPYAIR／GIRLS SPECIAL／家入レオ／植田真梨恵／新山詩織／井上苑子／塩ノ谷早耶香／家入レオ／高橋 優／ソナーポケット／Da-iCE／Mrs. GREEN APPLE／BLUE ENCOUNT／ORANGE RANGE／THE BAWDIES×go!go!vanillas／HY+BIGMAMA／ZAQ／阪本奨悟／他

B-PASS '16.9 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：UVERworld
●バックカバー&巻末特集：SKY-HI
●THE YELLOW MONKEY／GACKT／OLDCODEX／SCANDAL／AAA／BOYS AND MEN／EXILE THE SECOND／蒼井翔太／浦井健治／BUMP OF CHICKEN／FTISLAND／Crossfaith／flumpool／THE ORAL CIGARETTES／Czecho No Republic／Lenny code fiction／Fo'xTails／HOWL BE QUIET／ラックライフ／THE BEAT GARDEN／吉澤嘉代子／ЯeaL／Kalafina／他

B-PASS '16.10 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：ナオト・インティライミ
●THE YELLOW MONKEY／BUMP OF CHICKEN／GRANRODEO／the GazettE／風男塾／w-inds.／高橋 優／Aimer／Goose house／SOLIDEMO／MAGIC OF LiFE／anderlust／lynch.／中田裕二／Xmas Eileen／Lenny code fiction／アルスマグナ／アンティック-珈琲店-／「連載：BUMP OF CHICKEN／高橋 優／MAGIC OF LiFE／千葉雄大／The Super Ball／阪本奨悟」他

B-PASS '16.11 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：THE YELLOW MONKEY
●バックカバー&巻末特集：**宮野真守**
●ポルノグラフィティ／miwa／SCANDAL／遊助／青柳 翔／フレデリック／ONE OK ROCK／植田真理恵／04 Limited Sazabys／グッドモーニングアメリカ／WEAVER／Blu-BiLLioN／ベリーグッドマン／Happiness／I Don't Like Mondays.／DAOKO／MOSHIMO／Age Factory／ハシグチカナデリヤ hugs The Super Ball／ORANGE POST REASON／他

B-PASS '16.12 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：GACKT
●バックカバー&巻末特集：超特急
●遊助／flumpool／SPYAIR／大原櫻子／Aimer／Dream Ami／板野友美／山本 彩／Galileo Galilei／高橋 優／BLUE ENCOUNT／Da-iCE／Block B／the GazettE／THE ORAL CIGARETTES／NIGHTMARE／浦井健治／DOG inTheパラレルワールドオーケストラ／Lenny code fiction／BABYMETAL／ZYUN.／瀧川ありさ／焚吐／DOBERMAN INFINITY／GRANRODEO／他

B-PASS '17.1 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：DISH//
●GENERATIONS from EXILE TRIBE／OLDCODEX／ORANGE RANGE／アルスマグナ／Mrs. GREEN APPLE／植田真梨恵／Kalafina／Fo'xTails／YURI!!! on ICE feat.w.hatano／B.A.P／RADWIMPS／AAA／SE7EN／新山詩織／HOWL BE QUIET／96猫／THE BEAT GARDEN／三浦大知／Leola／lol／KANIKAPILA／SCREW／THE Hitch Lowke／他

B-PASS '17.2 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：SKI-HY
●バックカバー&巻末特集：BLUE ENCOUNT
●THE YELLOW MONKEY／UVERworld／SPYAIR／E-girls／w-inds.／BOYS AND MEN／BREAKERZ／家入レオ／Little Glee Monster／Anly／入野自由／チャラン・ポ・ランタン／羽多野渉／藤原さくら／The Super Ball／SUPER★DRAGON／グッドモーニングアメリカ／SHE'S／go!go!vanillas／早見沙織／SOLIDEMO／他

B-PASS '17.3 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：miwa
●バックカバー&巻末特集：Da-iCE
●UVERworld／SCANDAL／GRANRODEO／**宮野真守**／阿部真央／家入レオ／超特急／DISH//／BOYS AND MEN／Mrs. GREEN APPLE／黒猫チェルシー／上坂すみれ／DANCE EARTH PARTY／The Super Ball／THE BAWDIES／THE ORAL CIGARETTES／イトヲカシ／Kalafina／Little Glee Monster／塩ノ谷早耶香／コアラモード.／ナノ／他

B-PASS '17.4 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：UVERworld
●バックカバー&巻末特集：LiSA
●OLDCODEX／SPYAIR／flumpool／大原櫻子／遊助／EXILE THE SECOND／w-inds.／lol／Anly+スキマスイッチ=／風男塾／04 Limited Sazabys／RIZE／the GazettE／雨のパレード／ベリーグッドマン／アンティック-珈琲店-／Blu-BiLLioN／Mayday／Ivy to Fraudulent Game／96猫／ЯeaL／瀧川ありさ／吉澤嘉代子／蒼井翔太／他

B-PASS '17.5 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：GRANRODEO
●バックカバー&巻末特集：高橋 優
●遊助／ORANGE RANGE／SPYAIR／the GazettE／GACKT／三浦大知／GENERATIONS from EXILE TRIBE／田口淳之介／ビクターロック祭り 番外編 Ichigolchie Join 6／家入レオ×大原櫻子×藤原さくら／Dream Ami／Acid Black Cherry／Kalafina／Sonar Pocket／LEGO BIG MORL／BIGMAMA／LAMP IN TERREN／BugLug／Lenny code fiction／Xmas Eileen／他

B-PASS '17.6 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：ゆず
●バックカバー&巻末特集：urata naoya(AAA)
●Flower／超特急／BLUE ENCOUNT／Aimer／Mrs. GREEN APPLE／Anly／板野友美／Block B／クリープハイプ／林原めぐみ／ЯeaL／WEAVER／HOWL BE QUIET／DOG in The パラレルワールドオーケストラ／Thinking Dogs／the peggies／魔法少女になり隊／MOSHIMO／THE BEAT GARDEN／吉田山田／SPiCYSOL／小松未可子／他

B-PASS '17.7 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：SILENT SIREN
●バックカバー&巻末特集：菅田将暉
●miwa／**宮野真守**／DISH//／SKY-HI／LiSA／家入レオ／Little Glee Monster／Da-iCE／BugLug／青柳 翔／THE YELLOW MONKEY／ナノ／lynch.／阪本奨悟／吉澤嘉代子／Over The Top／イトヲカシ／PELICAN FAN CLUB／noovy／ASH DA HERO／「連載：高橋 優／MAGIC OF LiFE／千葉雄大／阪本奨悟」他

B-PASS '17.8 ¥860(税込)
●表紙・巻頭：OLDCODEX
●Acid Black Cherry／ゆず／UVERworld／miwa／flumpool／GENERATIONS from EXILE TRIBE／BREAKERZ／E-girls／DOBERMAN INFINITY／超特急／山崎育三郎／THE RAMPAGE from EXILE TRIBE／go!go!vanillas／SUPER★DRAGON／W PRINCE／Blu-BiLLioN／Leola／THE BEAT GARDEN／SHE'S／Age Factory／渡辺翔／Sonar Pocket／「連載：高橋 優／MAGIC OF LiFE／千葉雄大／阪本奨悟」他

全国の書店、楽器・書籍お取扱の楽器店・CDショップなどでお買い求めいただけます。店頭に無い場合は小売店にお取寄せをお申し出ください。

株式会社シンコーミュージック・エンタテイメント 営業部 TEL:03-3295-4191(電話でのご注文はできません) http://www.shinko-music.co.jp

編集部月間ダイアリー (Jun22－Jul23)

暑いけど、まだこんなもんじゃない?
外は暑いし、中は寒いし、
過ごしやすい夏を希望!!

潜入! B-PASS 24時

B-PASS STAFFS >>> (よ)→吉崎 (は)→高橋 (す)→鈴木 (さ)→佐藤

mon	tue	wed	thu	fri	sat	sun
B-PASS ツイッター http://twitter.com/BP_30th			6 22	●は→Anly@原宿アストロホール● 23	●す→高橋優取材● 24	●は→PELICAN FAN CLUB@代官山ユニット ●よ→LiSA@たまアリ● さ→風男塾@O-EAST ～ReaL@O-WEST●
●as21校了その1●は→家入レオ取材● 26	●as21校了その2● B-PASS8月号発売● は→超特急取材● 27	●as21校了その3● ●す→村上虹郎取材(as21)●よ→彩山ヒロノブ取材(AA)～天月取材●さ→映画『銀魂』ジャパンプレミア取材● 28	●は→大原櫻子取材 ●す→小日向文世取材(fs03)●よ→B.A.P取材● 29	●は→フラフラ@恵比寿ガーデンホール～LIT@恵比寿リキッド●す→瀬戸康史取材(fs03)●さ→祭nine.取材● 30	7 1	●よ→魔法少女になり隊@渋谷スターラウンジ ●さ→SILENT SIREN @六本木EXシアター● 2
●す→柄本時生取材(fs03)●よ→USG取材(9.5月号)● 3	●よ→Fo'xTails～GRANRODEO取材● さ→BugLug取材●す→大森靖子取材(9.5月号)● 4	●す→千葉雄大取材(fs03)● 5	●す→成河(fs03)～賀来賢人取材(fs03)●さ→Da-iCE取材(10月号)～Over The Top@渋谷WWW● 6	●は→フレデリック取材 ●す→lol～OOPARTS取材@渋谷●よ→USG取材(9.5月号)～LAZY取材(AA)●さ→仲村トオル取材(fs03)● 7	●す→AAA@たまアリ ●よ→UVERworld撮影(9.5月号)●さ→祭nine.取材● 8	●は→Ivy to Fraudulent Game@恵比寿リキッド●す→染谷俊之取材● 9
●は→植田真梨恵取材(9.5月号)●す&さ→デスノート対談(fs03)● 10	●は→CIVILIAN取材●す→松山ケンイチ(fs03)～安田顕&福田雄一取材(fs04)●よ→Kalafina取材●さ→勝地&笠原取材● 11	●は→フラフラ取材～Anly取材●す→スダンナユスユリー取材●さ→THE BEAT GARDEN取材～古川雄大取材(as22)● 12	●す→福田雄一取材(fs03)●さ→04 Limited Sazabys(9.5月号)～DP取材● 13	●は→グルメ実食●す→KERA×大倉孝二取材(fs04)●よ→宇徳敬子@渋谷マウントレーニア(AA)● 14	●は→ベリグ@ゼップダイバー～BRZ@豊洲ピット●す→映画『亜人』試写●よ→SCANDAL@水戸ライトハウス(10月号)●さ→Mrs.@野音● 15	16
●は→DISH//取材(9.5月号)●よ→OCDツアー本発売記念トークイベント● 17	●す→小栗旬×ムロツヨシ(fs03巻頭)～Flower取材(10月号)● 18	●は→VIXX取材(10月号)●校了その1●す→佐藤健取材～DEP取材●さ→Mrs. GREEN APPLE取材(10月号)● 19	●は→ACC取材(9.5月号)●校了その2● 20	●は→雨パレ取材(9.5月号)●さ&す→林遣都撮影(fs04)● 21	22	23

EDITOR'S COLUMN >>>

先月に引き続き会社在住続行中。タオルケットがほしい今日この頃。B-PASS9.5月号、絶賛制作中!! 祝OCD本発売!! (よ)

もうじき完走。とりあえずはそこまでは。しかし他が滞り、なんとも。時間が無限にあっても、きっと変わらないの知ってるけどね。(は)

awesome! Vol.21発売中です! 銀魂、めっちゃおもしろかった♪ 次号も続々と取材中です!! この時期、実家に帰りたい～ (す)

目まぐるしい1ヵ月でした。早く映画館で観たい作品ばかり、隙間を探しています。美味しい食べ物が食べたいです。 (さ)

〈次号予告〉 B-PASS 10月号は8月26日(土)発売

登場予定アーティスト

SCANDAL SPYAIR Mrs. GREEN APPLE
山崎育三郎 Flower Da-iCE さくらしめじ and more

※こちらは"予定"です。変更になることもありますので、ご了承下さい。

B-PASS BACKSTAGE
2017 SEPTEMBER No.379
定価 860円(本体価格 796円)

発行人／草野夏矢 編集人／吉崎美也子 発行日／2017年7月27日(第33巻第9号通巻472号)
発行／株式会社シンコーミュージック・エンタテイメント
〒101-8475 東京都千代田区神田小川町2-1 HP ●http://www.shinko-music.co.jp
営業部 ☎03(3295)4191
B-PASS 編集部 〒101-8450 東京都千代田区神田錦町1-14 ☎03(3292)2868 FAX 03(3292)3283
●編集長／吉崎美也子 ●副編集長／高橋波奈子 ●編集スタッフ／鈴木明日香 佐藤恵
広告のお問い合わせは (株)シンコーミュージック・エンタテイメント広告部 ☎03(3293)3791
©2017 by Shinko Music Entertainment Co.,Ltd.

Book Share ZIP
http://bkszip.com

■個人情報の取り扱いに関して■本誌内の各コーナーで募集したハガキ及び封書に関しては、そのページに記載された目的以外での使用は致しません。ハガキ及び封書は一定期間厳重に保管の後、適切な方法にて廃棄処分しております。■本書の写真及び記事の無断転載は固くお断りします。本書の無断複製は著作権上での例外を除き禁じられています。また、代行業者等の第三者による本書のデジタル化は、たとえ私的使用の範囲内であっても一切認められておりません。

Book Share ZIP
http://bszip.com

New Era®
Bags & Packs

Direction & Text ⇒ 曽根原興史（KONA）
Photo ⇒ 藪内努（TAKIBI）
Styling ⇒ 黒川憤太郎
Design ⇒ FLAG GRAPHIC DESIGN Inc.

暗闇に映える黒いウッドランドカモ

幅広い層から圧倒的な支持を集めているNew Era®のバッグコレクション。その2017年秋冬シーズンの新色として〈ウッドランドカモブラック〉をフィーチャーしたアイテムが多数展開される。ここでは、その最新作を特に注目度の高い8モデルに厳選してご紹介しよう。

徹底的に追及された収納力と利便性

メイン収納部が3層構造になった［Carrier Pack］は「ニューエラ」が展開するバックパックの中で最大の容量を誇るモデル。ミリタリーテイストが随所に落とし込まれたルックスは、ウッドランドカモブラックとも相性抜群。メイン収納部にはそれぞれ、便利なポケットやフックが多数搭載されている。実用性の高いロングセラーモデルだ。New Era®のバックパック［Carrier Pack］¥11,000、同キャップ［The Golfer］¥5,000、同ジャケット［Track Jacket］¥15,000（税別／すべてニューエラ）、その他・スタッフ私物

Carrier Pack

Size W340×H500×D260mm（35L）
Color Woodland Camo Black / Black
Material Polyester / 900D
Price ¥11,000

Rucksack

Size W320×H670×D240mm（28L）
Color Woodland Camo Black / Black
Material Polyester / 900D
Price ¥9,000

バッグコレクション随一の人気モデル

カバーポケット内に標準装備されたキャッププロテクターにより、型崩れを気にせず［59FIFTY®］を収納できる［Rucksack］。左側についたジップがインナーポケットとメイン収納部の両方へ直結しているため、カバーポケットを開けずとも収納物の出し入れができる便利な構造になっている点も見逃せないポイントだ。New Era®のバックパック［Rucksack］¥9,000、同キャップ［9THIRTY™］¥3,800、New Era®×PLAYBOYのスウェット［Sweat Crew Neck］¥10,500（税別／すべてニューエラ）、その他・スタッフ私物

©2017 Playboy Enterprises International, Inc.

通勤・通学に活躍するボックスタイプ

22Lという中型サイズの［Smart Pack］には、クッション性のあるインナーポケットやクリップループをはじめ、New Era®のバッグコレクションにおける標準的な機能がほぼすべて搭載されている。書類やノート、ラップトップPCなど、平物を持ち運ぶことの多い学生や、カジュアルスタイルを楽しむビジネスマンからの支持率が高いモデルだ。New Era®のバックパック［Smart Pack］¥10,000、同ハット［Adventure］¥5,500、同パーカ［Sweat Pull Over Hoodie］¥9,500（税別／すべてニューエラ）、その他・スタッフ私物

Smart Pack

Size W330×H480×D160mm(22L)
Color Woodland Camo Black / Black
Material Polyester / 900D
Price ¥10,000

ジップつきの上蓋で悪天候にも対応

付属のストラップを使用することでショルダーバッグとしても活用できる、2-Way仕様の［Tote Bag］。ファスナー式の上蓋によって雨の侵入を防げる本作は、ラップトップPCや電子機器を持ち歩くことの多い現代人のライフスタイルをしっかりとサポート。内部に複数のポケットやフックを搭載するなど、収納物の整理整頓にも配慮された機能的な作りはビジネスシーンでも活躍必至だ。New Era®のトートバッグ［Tote Bag］¥10,000、同キャップ［9FORTY™ A-Frame］¥3,600（税別／ともにニューエラ）、その他・スタッフ私物

Tote Bag

Size W380×H350×D170mm (22L)
Color Woodland Camo Black / Black
Material Polyester / 900D
Price ¥10,000

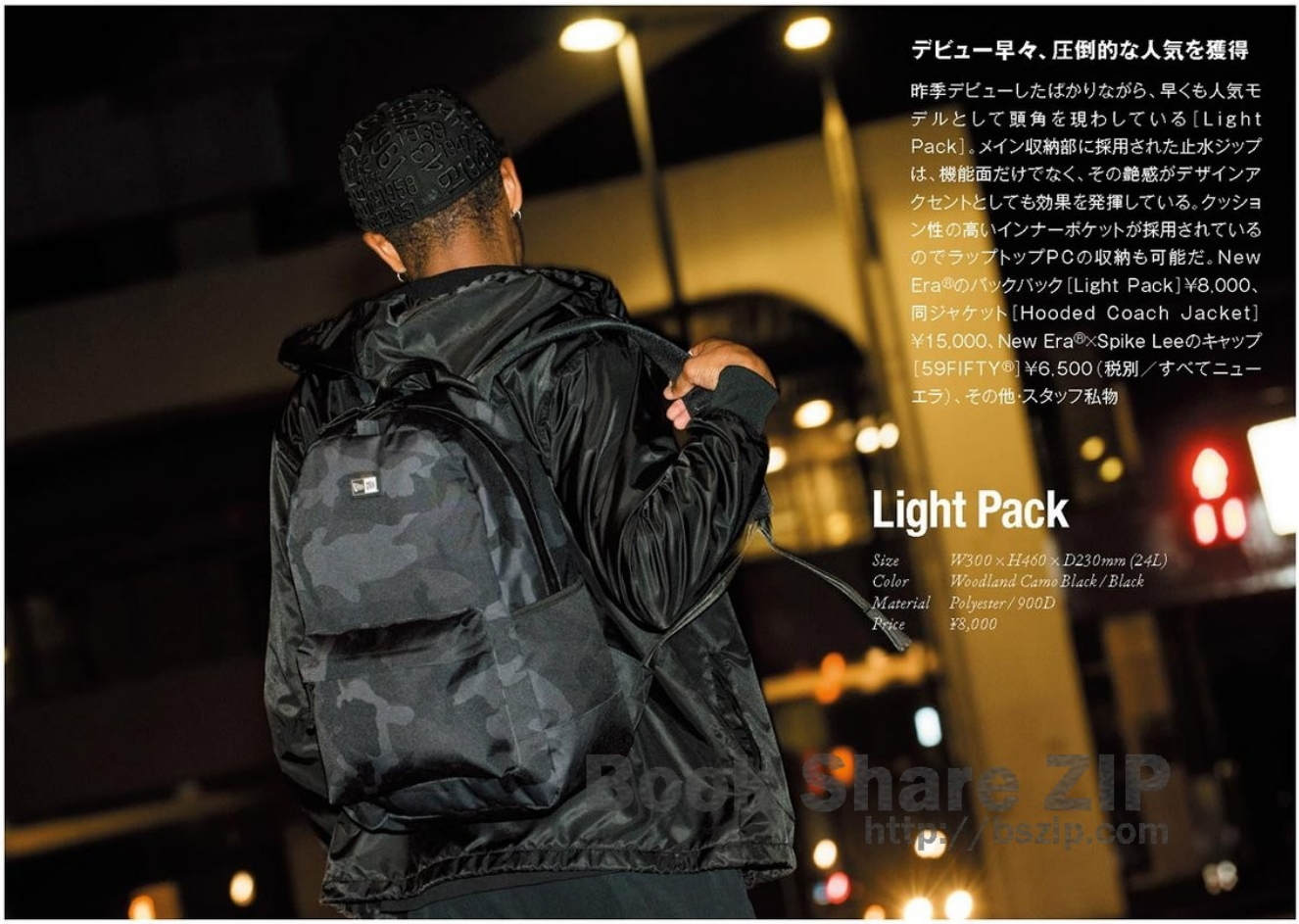
here ZIP
http://hezip.com

スポーツシーンに特化した独特な構造

［Sports Pack］最大の特徴とも言えるバスケットボールが楽に収納できるボトムポケットは、シューズやウェア類を収納する際にも便利。スペースを立体的に区切る独特な構造で、あらゆる収納を可能にしたデザインは唯一無二。頑丈なポリエステルをまとったスポーツモデルは、昨今大きな注目を集めるストリートバスケットボールシーンにも愛用者が多い。New Era®のバックパック［Sports Pack］¥10,000、同キャップ［9THIRTY™］¥3,800、同ポロ・シャツ［Polo Shirt］¥7,400（税別／すべてニューエラ）、その他・スタッフ私物

Sports Pack

Size W330×H500×D180mm (31L)
Color Woodland Camo Black / Black
Material Polyester / 900D
Price ¥10,000



デビュー早々、圧倒的な人気を獲得

昨季デビューしたばかりながら、早くも人気モデルとして頭角を現わしている［Light Pack］。メイン収納部に採用された止水ジップは、機能面だけでなく、その艶感がデザインアクセントとしても効果を発揮している。クッション性の高いインナーポケットが採用されているのでラップトップPCの収納も可能だ。New Era®のバックパック［Light Pack］¥8,000、同ジャケット［Hooded Coach Jacket］¥15,000、New Era®×Spike Leeのキャップ［59FIFTY®］¥6,500（税別／すべてニューエラ）、その他・スタッフ私物

Light Pack

Size W300×H460×D230mm (24L)
Color Woodland Camo Black / Black
Material Polyester / 900D
Price ¥8,000

Boo Share ZIP
http://bszip.com

シーンを選ばない大容量トートバッグ

42Lという大容量に設計された［Large Tote Bag］は、用途に応じて使い方をアレンジ可能な間仕切りの無いシンプルな構造が魅力。旅行やスポーツといった荷物が多くなりがちな場面はもちろんのこと、底部に防水性の高いターポリンを採用しておりアウトドアシーンでも活躍する。悪天候時にも気兼ねなく使えるタフなアイテムだ。New Era®のトートバッグ［Large Tote Bag］¥11,000、同ハット［The Porkpie］¥9,000、同ロング・スリーブTシャツ［L/S Cotton Tee］¥6,300（税別／すべてニューエラ）、その他・スタッフ私物

Large Tote Bag

Size W480×H395×D220mm (42L)
Color Woodland Camo Black / Black
Material Polyester / 900D
Price ¥11,000

Shoulder Bag

Size W270×H245×D140mm (9L)
Color Woodland Camo Black / Black
Material Polyester / 900D
Price ¥6,000

気軽に連れ出せるコンパクトボディ

大柄な人にもフィットするようストラップがやや長めに設計された［Shoulder Bag］は、小ぶりなボディの中に多機能ポケットやフックを配備するなど、New Era®らしい気の利いた作りに仕上げられている。普段使いはもちろん、旅行用のサブバッグとして愛用するユーザーも多い。New Era®のショルダーバッグ［Shoulder Bag］¥6,000、同キャップ［LP 9FIFTY™］¥5,000、同ロング・スリーブTシャツ［L/S Cotton Tee］¥6,300、同スウェット・パンツ［Sweat Pants］¥9,000（税別／すべてニューエラ）、その他・スタッフ私物

Book Share ZIP
http://bszip.com

●問い合わせ　ニューエラ　tel.03-5773-6733　neweracap.jp

前作から1年3ヵ月ぶりとなるJAPAN 2ndアルバム『UNLIMITED』は、タイトルが表わすように、B.A.Pの可能性に“限界がない”ことを証明した1枚となった。日本既発シングル「FEEL SO GOOD」「FLY HIGH」「WAKE ME UP」はもちろん、韓国で人気の「SKYDIVE」「1004」の日本語バージョン、ジョンアプのソロ曲「NOW」、デヒョンが書き下ろしたバラード「YOU」など、バラエティに富んだ全13曲を収録。本誌初となるメンバー全員撮りおろし&インタビューで、彼らの“UNLIMITED”な魅力を感じてほしい。

Text ⇒ 瀧本幸恵　Photo ⇒ キセキミチコ(KISEKI Inok)

Book Share ZIP
http://bszip.com

B.A.P
UNLIMITED

Book Share ZIP
http://bszip.com

■前作から1年3ヵ月ぶりのアルバムとなりますが、『UNLIMITED』というタイトル通り、限界なくさまざまなことに挑戦してきた皆さんのこの1年3ヵ月が詰まった、まさに軌跡を振り返る〝アルバム〟のような作品になっていると思いました。

デヒョン「僕たちも長い間待っていましたし、ファンの皆さんも待っていてくれたアルバムなので、リリースすることができてとても嬉しいです。時間をかけて準備してきたので、中身がぎっしり詰まっていて、自分たちとしても満足のいくものになりました。皆さんにも愛して欲しいな、と思います」

■今作では「SKYDIVE」と「1004」の日本語バージョンが新録となりますね。

ヨンジェ「〝SKYDIVE〟は、韓国でリード曲として活動した曲なので、とても思い入れがあります。曲としての完成度も高いし、僕たちも気に入っていて、いいステージを見せられる曲ですね」

■「SKYDIVE」はダンスのフォーメーションが目まぐるしく変わって、見ているほうはとても楽しいのですが、やっていて混乱しないんですか?

デヒョン「確かに振り付けやフォーメーションが他の曲とは違ってかなり複雑になっているので、何かステージがあるとなると必ずこの曲に関しては事前にみんなで合わせます。ステージに立つ度に改めて練習して、確認する曲ですね。難しいです(苦笑)」

■日本語の歌詞はどうですか?

ヨンジェ「僕が思うに、日本語はすべて母音で終わるじゃなですか(韓国にはパッチムと言って、子音で終わる言葉がある)。だからお

[L to R] DAE HYUN vocal /BANG YONG GUK leader

なじ曲を歌うにしても日本語で歌うと表現しやすい曲と、そうでない曲があるんですね。〝SKYDIVE〟はそういう意味で言うと表現しやすいほうだったと思うので、レコーディングもスムーズにできました」

■バン・ヨングクさんは韓国語バージョンの歌詞を書かれていますが、日本語になったときの印象はどうですか?

バン・ヨングク「ちょっとしたニュアンスは変わったりしてますけど、曲のテーマ自体は大きく変わってないですから、単にそれを韓国語、日本語でそれぞれ表現してるだけだと思います」

■「1004」は韓国語で、〝チョンサ=天使〟という意味で、日本語でも〝10〟と〝4〟にわけると、〝テン、シ=天使〟となって、日本語詞にする運命を感じる曲です。

デヒョン「ホントですよね。これをタイトル曲にするべきだったかな(笑)」

ヨンジェ「この曲は韓国で僕たちが初めて1位を取った曲でもありますし、全世界にいるファンの方たちが好きでいてくれる曲でもあるので、僕たちにとってもありがたくて、大好きな曲です」

■今作にはデヒョンさんとジョンアプさんのソロ曲も収録されます。お二人とも作詞・作曲にも関わられていますが、曲づくりをどんなふうにして行なったか教えてください。

デヒョン「僕はまず最初にどういう曲を作るか、というテーマを決めて、そこから始めるスタイルです。なので、日頃から何か思いついたことを書き留めるようにしています」

■「YOU」は、日本でのツアーで披露された曲ですよね。

BookShare 2nd
http://bszone.com

デヒョン「そうです。できた曲を日本のスタッフの方に聴いていただいたら、〝いい曲だね〟って言っていただけて。もともと僕は日本のバラードが好きで、その独特の感性が好きだったりするので、何も考えずに作っていたんですけど、自然と近いところに行ったのかもしれません。最初は単にコンサートでファンの方に聴いて欲しいな、っていう気持ちで準備をしていたんですけど、実際に披露したらとても喜んでくださったので、アルバムにも入れようということになりました。最初からソロ曲として入れようと思って作った曲ではなかったので、結果としてこうなって嬉しいです」

■ジョンアプさんはどんなふうに曲作りをしているんですか?

ジョンアプ「僕は曲を作るときは友達と一緒に作業をしているので、友達といろんな話をしながらやっています。今回の〝NOW〟は、〝今〟という意味なのですが、まさにそれがテーマとなっています。今、気になっている女性がいて、まだ付き合ってはいないんだけど、これから進展させたいと思っている。だからその彼女に告白をしよう。そのドキドキしている瞬間を込めました」

■お二人はそれぞれ韓国でもソロ活動をされましたよね。

デヒョン「とても貴重な経験ができたと思いますし、いろんなことを学ぶことができた時間になったと思います。普段はグループで活動していますけど、ソロとしてもそれと遜色ない形で活動ができるということを証明したいな、と思っていて、結果として決して悪くないものが得られたので良かったなと思っています」

［L to R］ HIM CHAM vocal ／ JONG UP dance/vocal

ジョンアプ「基本的にファンの皆さんのためのスペシャルステージという感覚だったので、そんなにプレッシャーも感じることなくやろうと思っていたのですが、実際にやってみるとプレッシャーを感じるし、大変ではありました（苦笑）。でも、とても楽しかったです」

■メンバーと一緒にいるときとはやっぱり違いますか?

ジョンアプ「一人でいるとちょっとした休憩時間とかも退屈だし、挨拶とかもみんなと一緒のときは感じてなかったけど、一人でずっとすると緊張してしまったり。そんなときにメンバーの存在を改めて感じました」

■2人とも今回のアルバムの収録曲と、韓国での曲とでタイプが違いますが、他にもやってみたい曲のタイプとかってありますか?

デヒョン「機会さえあればジャンルを問うことなくいろんな曲をやってみたいな、と思います」

ジョンアプ「僕も一緒です。いろんなタイプのものをやってみたいな、と思います」

■今作には全13曲が収録されていますが、すべてがこの1年3ヵ月の活動と関係のある曲たちだと思いますので、メンバーそれぞれ個人的に思い入れのある曲を教えてください。

デヒョン「僕はやっぱりアルバムに初めてソロ曲が入ったということで、〝YOU〟かなと思います。もちろんB.A.Pの曲も自分にとって意味のある曲ではあるのですが、やっぱり初めてなので」

ヒムチャン「僕は〝1004〟ですね。やっぱりこの曲は僕たちを初めて1位にさせてくれた曲なので、とても記憶に残っています」

Book Share ZIP
http://bszip.com

バン・ヨングク「僕はすべての曲に制作から関わっているので、1曲を選ぶのは難しいです。例えるなら、自分の子供はすべて等しくかわいいと思うし、この子がよりかわいいとかって差をつけてはいけないと思うので。どの曲もとても愛着があります」

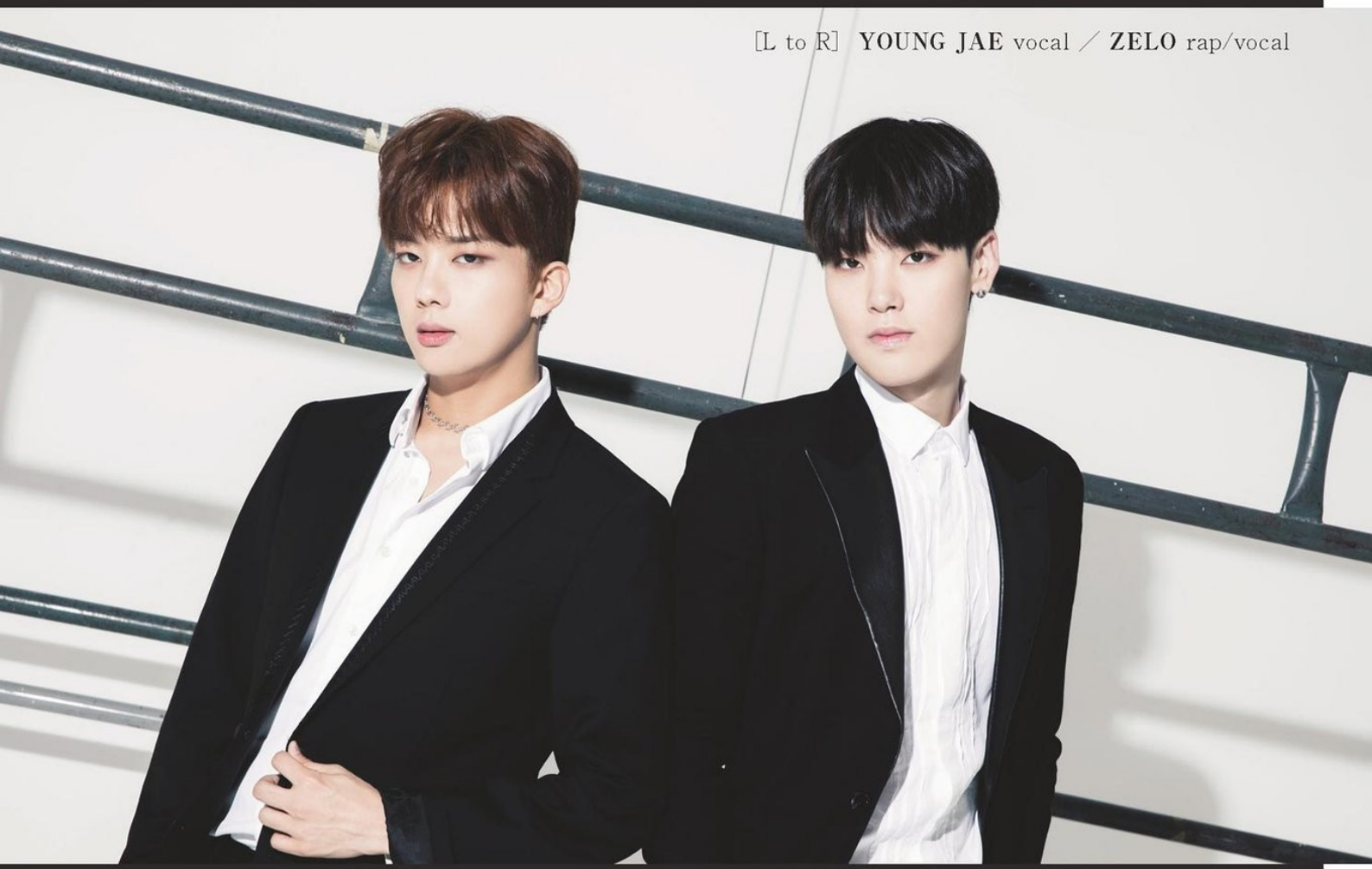
ジョンアプ「先ほどのヒムチャンさんの話を聞きながら思ったことなんですけど、やっぱり僕も〝1004〟だなって思います。そんなに長い時間が経っているわけではないですが、〝1004〟で活動していたときのかつての自分とB.A.P。それから、今の自分とB.A.Pを思い起こさせてくれるので」

ZELO「僕もやっぱり〝1004〟ですね。〝WARRIOR〟でデビューをして、そのときは皆さんにとても強いイメージを刻みつけられたと思うのですが、〝1004〟という曲で初めて1位になることによって、改めてB.A.Pというグループを皆さんに知ってもらえた、そんなきっかけにもなったので」

ヨンジェ「僕は〝SKYDIVE〟です。やっぱり今回のアルバムを通じて初めて日本語バージョンで聴いてもらえることになったので」

■この1年3ヵ月は韓国でも日本でも精力的に活動されていましたが、一方で、メンバーの病気やケガなどもあり、すべてが順調というわけにも行かないときもあったと思います。

デヒョン「確かに、ちょっとした体調不良があったり、ケガとかもありましたけど、僕たちにとってそれは大したことではなかったです。というのも、僕たちはここまでいろんなことを経験しながら来ているので、この1年3ヵ月を考えても、6人一緒に、本当に一生懸命音楽に取り組んで来たな、と思うだけです。そして、みんながチームのことを考えているので、たとえ何かあってもそれをお互いに理解をし合えるというのがあります。ただただファンの皆さんのことを考えつつ、頑張ってきたと思います」



[L to R] YOUNG JAE vocal ／ ZELO rap/vocal

■特にこの人は成長したなって思う人はいますか？

デヒョン「僕たち6人とも成長し、発展してると思います。嘘じゃないです、本心です。強いて言えば、ジョンアプが少しだけお酒が強くなりました（笑）」

■ソロ曲を出したメンバーがいたり、個々の役割について考えたりすることもあったんじゃないかな？と思ったのですが。

ヒムチャン「おっしゃる通りメンバーそれぞれの個人のことも常々考えています。もちろんB.A.Pのことを最初に考えますが、それぞれが自分のしたいこととか、すべきことをこれまでもずっと考えていて、それが今、少しずつ実現できるようになってきたんだと思います。みんなが一歩、一歩努力をしているところです」

■では最後に読者の方へのメッセージをお願いします。

デヒョン「韓国でミュージカル『ナポレオン』に出演するので、観に来てください！」

全員「あははは（笑）」

■初ミュージカルですものね（笑）。

ヒムチャン「じゃあ、僕が最後にちゃんと（笑）。僕たちのアルバムを待っていただいていて本当にありがとうございます。これからもたくさん機会を作って、皆さんに会いに来たいと思います。愛してます！」 B

Book Share ZIP
http://bszip.com

My "UNLIMITED" Things

タイトルにちなんで、"限界なく続けられる"ことを教えてもらいました!

デヒョン「僕は"練習"を限りなくすることができます」

5人「お~(笑)」

■なんの練習が好きですか?

デヒョン「まず練習を好きになるということは、ある意味、不可能だと思います(笑)。しなくてはいけないこと、なので。ただ練習の中でも歌に重点を置いてます」

ヒムチャン「僕はじっとしていることが苦手なので、とにかく"何か"をやり続けることができます。話し続けるとか、動き続けるとか、いろいろです」

■特にこれが楽しいということは?

ヒムチャン「その時々で違います」

デヒョン「食べることじゃないの?(笑)」

ヒムチャン「最近は食べることじゃないよ!」

バン・ヨングク「僕は"音楽"はずっと作っていられるかな。死ぬまで作り続けるだろうな、って思います。メロディラインを作る前に、トラックが完成したときが一番楽しいなって思います。なんというか、絵を描き始めるときの画用紙みたいな状態なので」

ジョンアプ「僕は"自分の人生"を生きていくこと、そしてそれを愛していくことを続けられます。常に夢を持って、常に幸せとは言い切れないものの、常に感謝を忘れずに生きていくことですね」

ZELO「僕は限りなく"悩み"続けることができます。いろんなことに関してあれこれ悩むタイプなんですよね。最近は、僕の身長は188cmだっけな? 187cmだったけな?って悩んでます(笑)」

ヨンジェ「僕は水を飲み続けることができると思います。意識したことはないんですけど、本当にたくさん飲みますよ。水を飲むことが習慣になっています」

数量限定盤

TYPE-A

TYPE-B

WEB限定盤

Japan 2nd Album
UNLIMITED
数量限定盤 CD+オリジナルフォトブック付 ¥4,028(tax out)
TYPE-A CD+DVD ¥3,241(tax out)
TYPE-B CD ¥2,778(tax out)
WEB限定盤 CD+GOODS ¥5,000(tax out)

[CD]
01. FREAKY SOUND
02. SKYDIVE
03. NOW(JONG UP SOLO)
04. WAKE ME UP
05. FIRE FLAME
06. BE HAPPY
07. GOOD TIME
08. FEEL SO GOOD
09. I GUESS I NEED U
10. 1004
11. YOU(DAE HYUN SOLO)
12. WITH YOU
13. FLY HIGH

B.A.P ⇒
ビーエーピー。グループ名は「Best(最高の)Absolute(絶対的な)Perfect(完璧な)価値を追求する」の略。'13年10月に1stシングル「WARRIOR」で日本デビュー。'17年8月に大阪・堂島リバーフォーラム、愛知・Zepp Nagoya、東京・Zepp Tokyoにて「B.A.P 2017 WORLD TOUR "PARTY BABY!"」の日本公演を開催。9月20日には、早くもJAPAN 8thシングルのリリースが決定。

BoooShare.com http://...

Book Share ZIP
http://bszip.com

昨年10月にシングル「Feeling Sensation」で韓国デビューしたばかりの
9人組韓国ダンスボーイズグループ／SF9（エスエフナイン）が本誌に初登場!!
8月2日にリリースされる日本2ndシングル「Easy Love」についてをメインに、
メンバーそれぞれのキャラクターを探るための“他己紹介”や
“日本のカルチャーで好きなもの”など、和気あいあいと語っていただきました!

Text ⇒ 筧 真帆
Photo ⇒ 大川晋児

■初めまして！ B・PASS初登場のSF9について、チーム紹介をお願いします！

ジェユン「わかりました！ 一言で言うなら、〝虹〟ですね！ 虹は7色ですが、僕ら9つの色がお互いに作用して、赤と青と合わせると紫になるように、メンバー同士の明るさが、新しい色を表わすと思います」

■素敵ですね！ ありがとうございました。続いては自己紹介……ではなく、隣りのメンバーの他己紹介をお願いします。

チャニ「じゃあ僕から！ ジェユン兄さんは、本当にカッコいい（日本語）。そして心のあったかいイケメン。スクールマンガに出てくるイケてる先輩とか、教会の兄さんって感じ（笑）。ハニーヴォイスで歌まで最高！」

ジェユン「ロウンは、チームでフィジカルとヴィジュアル担当。歌、演技、ダンス……と、何でもこなす万能エンタテイナーです。そして身長がなんと190cm！ 他では探せない完璧なメンバー。性格もすごく良く、兄さんたちとも上手くやれて、年下にとってはカリスマあふれる兄貴分で、チームの中心となる宝のようなメンバーです」

ロウン「何か食べたいものでも……？」

ジェユン「じゃあ手羽先（笑）」

ロウン「（隣りのインソンを見て）なんだか期待してるみたいだけど（笑）。インソン兄さんは、端正な顔立ちと高い知識、チームで最も高学歴で、ブレイン（頭脳）を担当。しっかりした太ももと甘い声に加えて、兄さんだけのダンス・スタイルを持っています。ダンス、歌、性格、人間性、ルックス、一つも足りない所がない。欠点があるとすれば……食い意地がすごいところ（笑）」

（「Easy Love」は）最初に聴くと、
“うわ～甘いな、いい雰囲気だな”と感じるかもしれませんが、別れの歌なんです。
一般的な別れ歌とは違って、じわっと悲しさを感じる歌。

SF9 Easy Love

インソン「そう、僕すごく食べるから（笑）。じゃあジュホの紹介をしますね。ジュホはチームの声です！ 歌声が素晴らしい上に、作詞作曲も上手。それにかわいくて、生活スタイルも自己管理もきっちりしています」

ジュホ「（小声で）言ってもらってもいい？ 水上スキーの選手だったって」

インソン「そう、水上スキーの選手だった」

ジュホ「実は幼稚園のときまで（笑）。僕の得意なスポーツがそれしかなくて。ボールとの相性はいまいちで、水とはいい感じなんですよ。あれ？ 何で自己紹介してるんだ僕」

インソン「ということで、自分のことにとても熱心です！」

■確かに（笑）そんなジュホくんどうぞ。

ジュホ「フィヨンは、年齢に比べて大人っぽいマインドと、何より歌声が素晴らしいです。ステージ上の素晴らしい姿に対して、僕らといるときは可愛い末っ子で、兄さんたちへの気づかいも忘れません。ラップも踊りも本当に上手！」

フィヨン「テヤン兄さんは、僕たちのチームでパフォーマンス担当です。ファンの皆さんへの対応の良さが、噂がたつくらい。甘い言葉を口にするから、あだ名が〝バター兄さん〟。外見とは違って、少年のような行動が多いんだけれど、男らしい一面もあって、とにかく練習熱心！」

テヤン「ダウォン兄さんはエンタメ感覚がすごくて、チームのメインMCです。トークも上手で、撮影などあるとき本当に面白くしてくれる能力があって、メンバーいじりもうまいんですよ（笑）。歌や踊りも自分が追及する道があって、個性が明確なアーティストになろう

BookShareZIP
http://bszip.com

［L to R］ZU HO／ジュホ　CHA NI／チャニ　DA WON／ダウォン

という夢があるみたい。あと弟たちの心を奪う、素敵な兄さん」

ジェユン「ムードメーカー！」

ダウォン「ヨンビン兄さんは、チームではリーダーですが家では末っ子です。愛嬌もたくさんふるまうんですよ。あとブレイクダンスが本当にうまい。僕らの曲にブレイクダンスのある曲がそんなに多くはないはずだけれど（笑）。しかも誰にも恐れることの無い、独自のファッションセンスを持っています」

■そしてリーダー、ヨンビさん。

ヨンビン「まずチャニは僕ヨンビンと顔が似ていることで有名。そして優しい男。ドラマの子役としても活躍してきた、誇れるメンバーです。時々、どこへ向かうが分からないので、たまには兄さんたちのいう事を聞いてほしいな（笑）」

チャニ「褒めてくれるんじゃないの？」

ヨンビン「チャニの行動ぜんぶが愛らしいからだよ」

■みなさんのパーソナルと、チームのことがよく分かりました。さて8月2日にリリースとなる2ndシングル「Easy Love」は、日本デビュー曲「Fanfare」より少し大人びた曲ですね。この曲を初めて聴く友だちに話すとすれば、どんな感じ？

ジュユン「友達にひとことで伝えるなら、〝少年の悲しみ〟と紹介したいですね」

ジュホ「親友ならば、〝君も一度くらいは、体験したり見たりしたことがあることだよ〟って言うかな」

インソン「ジュホは歌詞をたくさん書いてるから、表現が上手いね」

ヨンビン「本当に悲しいときに聴くとさらに

BookShare ZIP
http://bszip.com

[L to R] JAE YOON／ジェユン　HWI YOUNG／フィヨン　RO WOON／ロウン

悲しくなる歌だから、共感してくれるとうれしいな、と言いたいです」

■ラップメイキングにはジホくん、ヨンビンくん、フィヨンくんが参加していますが、ラップや作詞ってどんなふうに作ります？

ジュホ「僕は、誰もが共感して理解してくれるものが重要だと思うので、分かりやすい単語や、共感できる文章に基づいて、曲の雰囲気に合わせて書きますね」

フィヨン「僕の歌詞の大部分は、実際の経験にすこし面白さを足したり引いたりして仕上げます。今回の〝Easy Love〟は、僕がまだ若くて別れの経験がないから、〝この歌の人ならどんな思いだろう？〟という想像をしながら書きました」

■ヨンビンくんも参加していますね。

ヨンビン「はい、僕は〝Easy Love〟というタイトルを聞いて、僕自身が言いたい言葉をラップに乗せていった感じです。あとチャニくんも参加しましたよ」

チャニ「僕はちょとだけ。まだ初歩段階なので、兄さんたちから習っているところです。今回初めてラップ作りに参加したんですが、ヨンビン兄さんやジュホ兄さん、フィヨンに助けてもらいながら作ったので、本当に楽しかったです。少しでも僕の話が歌に込めることができて、すごく良い経験ができました」

■2曲目の「Still My Lady」は愛らしいメロディですね。

ヨンビン「そうなんです、最初に聴くと、〝うわ〜甘いな、いい雰囲気だな〟と感じるかもしれませんが、別れの歌なんです。一般的な別れ歌とは違って、じわっと悲しさを感じる歌。振り付けも僕たちが参加して、楽しさを盛り込

BookShareZIP
http://bszip.com

[L to R] TAE YANG／テヤン　IN SEONG／インソン　YOUNG BIN／ヨンビン

んでいます。〝Still My Lady〟ずっと可愛い〟という言葉に、悲しさと愛らしさの二つの意味を持たせています」

テヤン「この曲のダンスは、ミュージカルのように、歌を話すような振りも取り込んでいるのがポイント。歌詞を見ながら聴くと、悲しみをこんなふうに表現できるんだなと感じることが出来るでしょう。僕も歌う時は歌詞を考えながら、少し叫ぶような感じで歌うんです。聴く人によりよく伝われればいいなと」

■そして3曲目の「Just the Game」はエレクトロ性の強いかっこいい曲！　思わず踊りたくなります。

ジェユン「ありがとうございます。まさに〝ジャングル〟を例えた歌詞になっています。火花が散るようなこの世の中で、僕ら9人で生きていこう、というファイトがあふれる内容。本当に飢えた獣のようなポイントがあって、強烈な感じがする曲です」

ヨンビン「この曲は、僕たちSF9が本当に時間と努力をつぎ込んだ曲ですね。パフォーマンスも見どころが多くて、僕たちSF9の〝誇り〟とも言えるし、自信曲です。見ていると魅力的な要素がたくさん盛り込まれていますよ。だから、映像で観るよりも実際ライヴで観て欲しいのですが、実際に観ると……僕たち、ちょっとサーカスみたいかも（笑）」

■サーカス!?　確かに、アクロバットのようだもんね。

ヨンビン「そうなんです。あと僕たちで歌詞の解釈もしてみました。この歌がどんな意味なのか、どんな振り付けが似合うか、沢山悩んだので、まるで〝子供〟のような曲です」

■ここからは、みなさんが好きな日本の音楽

BookShare ZIP
http://bszip.com

やカルチャーについて教えてもらえますか？

ロウン「僕、ONE OK ROCKさんが大好きで、ライヴ動画をよく観ています。いつか本当のライヴを観に行きたいです！」

インソン「ストリートファッション！　日本に来たら日本スタイルを受け入れて帰ります。〝先進文物〟を取り入れるために……」

ヨンビン、ロウン「先進文物!?」

インソン「（笑）。発展した知識って感じ。それらを吸収したいんです」

ジュホ「日本はアニメ強国ですよね。僕、アニメが大好きなんです。日本のアニメが無かったら僕の自由時間は、何をして過ごせばいいのかと思うほど。NARUTO、BLEACH、ONE PIECE、家庭教師ヒットマンREBORN！とか、こういうジャンルが大好きですね」

フィヨン「日本のみなさんって服を着こなす個性があって、すごくカッコイイ。僕は挑戦したいファッションがあってもなかなか上手く出来ないので、日本でどう着こなせば良いかを学びたいです。映画も好きで、特に『クローズZERO』！　アニメ映画の実写版とかも大好きです」

テヤン「僕は、日本の方の話し方が可愛いなと思っていて。特にリアクション。〝へぇ～↗〟〝あ～↗〟〝なに～↗〟とかが、好きです。最近、日本語を勉強しながら日本のドラマもよく観るんです。『パパとムスメの7日間』とか、最近は『スマイル』を観ていて、主人公の松本潤さんは演技も上手でカッコイイと感じています」

ダウォン「僕の場合、食文化に興味があります。おじいさんの世代から、お父さん、息子と受け継ぐ、老舗のお店ってありますよね。味の深みが受け継がれて、世代で少しずつ変わったりしながら愛されるのは素敵だなと。あとファッションも好きで、さっきインソン兄さんが言ったように、個性があって、ブランド服もそうでない服も問わず、スタイルが引き立つのが日本の魅力的ですね」

ヨンビン「僕は北海道が好きで、一度行ってみたいんです。雪がけっこう降りますよね、その雰囲気も味わいたくて。温泉もありますよね？　温泉も行きたいなあ」

チャニ「日本の学校に一度通ってみたいな。まだ僕は高校生だから、日本の学校で日本の友達と仲良くなってみたいです。きっと面白いと思うんですよね」

ジェユン「僕は日本の野球を実際に観に行ってみたいです。韓国でも野球は人気ですが、日本の野球も人気スポーツのひとつで、活性化されているじゃないですか？　ぜひ目の前で観てみたいです」

■最後に、8月には初めての日本ワンマンを、東京の豊洲PITとZepp大阪で開催します。ライヴへ向けての意気込みをどうぞ！

ジェユン「僕たちが良いステージを見せるもの大事だけれど、日本の皆さんが喜んでくれる内容も意識したいですね」

インソン「コミュニケーションをしっかりとれるよう、日本語も、体調管理も、ルックス磨きも一生懸命やっているので、ライヴではさらにカッコいい姿で会えるよう頑張ります！」

ヨンビン「これまで皆さんが見たことないような内容が沢山あって、ファンのみなさんとの交流ができる内容も考え中です。きっと満足いく内容になると思うので、楽しみにしていてください！」

B

コミュニケーションをしっかりとれるよう、
日本語も、体調管理も、ルックス磨きも一生懸命やっているので、
ライヴではさらにカッコいい姿で会えるよう頑張ります！

SF9 Easy Love

初回限定盤A

初回限定盤B

通常盤

2nd Single
Easy Love
2017.08.02 Release
初回限定盤A CD+DVD+ブックレット24P ￥1,667（tax out）
初回限定盤B CD+DVD+ブックレット24P ￥1,667（tax out）
通常盤 CD ￥1,111（tax out）

［CD］
01 Easy Love -Japanese Ver.-
02 Still My Lady -Japanese ver.-
03 Jungle Game -Japanese ver.-
［DVD］
01 Easy Love -Japanese ver.- [Music Video] ※A盤に収録
02 Easy Love -Japanese ver.- [Jacket Making & Music Video Making] ※A盤に収録
01 Easy Love [LIVE from CNBLUE SPRING LIVE 2017 ～ Shake! Shake! ～ 日本武道館 2017.5.18] ※B盤に収録
02 Fanfare -Japanese ver.- [LIVE from CNBLUE SPRING LIVE 2017 ～ Shake! Shake! ～ 日本武道館 ※B盤に収録

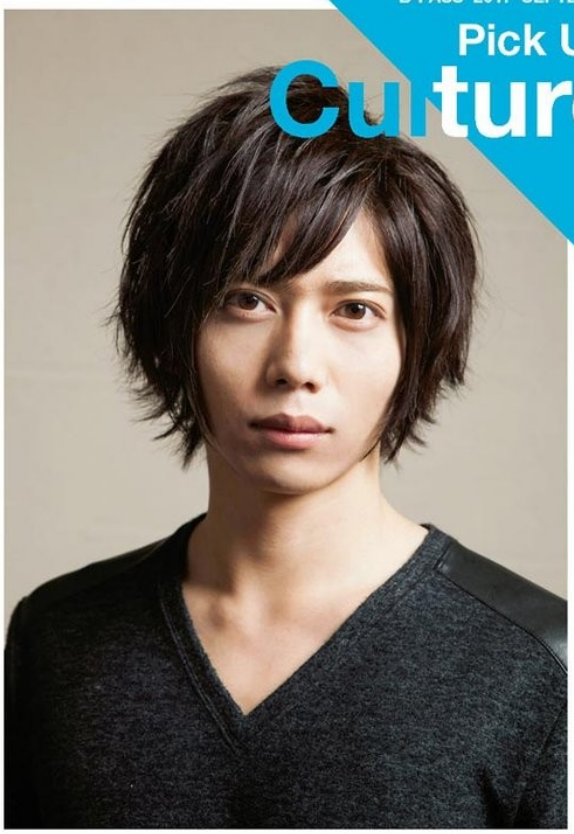
SF9 ⇒
エスエフナイン。9人組韓国ダンスボーイズグループ。グループ名は「Sensational Feeling 9」の頭文字からとったもので「世界を驚かせる少年たち」などを表わす。初の単独公演を、8月2日（水）Zepp Osaka Bayside、8月4日（金）東京／豊洲PITで開催する。

Book Share ZIP
http://bszip.com

今、気になる人や作品の最新情報を紹介するこのコーナー。今月は、話題の舞台のインタビューを!

染谷俊之 >>>

Text ⇒ 三沢千晶



染谷俊之 ⇒
そめやとしゆき。'87年12月17日生まれ。神奈川県出身。最近の出演作は、舞台『剣豪将軍義輝〜星を継ぎし者たちへ〜』(6月／主演 足利義輝役)など多数。

永遠の命を持つ吸血種〝トランプ〟の伝説に翻弄される〝ヴァンプ〟たちを描いた人気舞台『TRUMP』シリーズの最新作『グランギニョル』の主演、ダリ・デリコ役を務めるのは、2.5次元の貴公子・染谷俊之。本作の〝生きる〟というテーマに対して彼自身はどんな考えを持っているのか? また多くの舞台を踏むために日頃から努力をしていることとは……? 興味深い答えが返ってきた。

■台本を読ませていただきましたが、かなり殺陣シーンが多いですよね。

「そうなんですよ。殺陣をやってハケて、すぐ出てきて会話をして殺陣があって……と、アクション面でもかなり楽しんでいただける作品なのではないかな?と思います」

■日本が舞台の作品もよくやられていますが、今回の西洋の殺陣とは違いがあるのではないかと思うんです。

「だいぶ違うので今すごく戸惑っているんですよ。日本刀だと軽く見えてしまうので刀を回してはいけないとかあるんですが、西洋になると逆に華麗な身のこなしが必要だったりするんです。貴族の役でもありますし、悪戦苦闘中です」

■TRUMPシリーズには〝生きる〟という大きなテーマがありますが、その中でも今作には哀しくて壮絶なイメージがありました。

ひとつひとつを全力でがんばることが次につながるんじゃないかな?と思っているんです

「吸血種、貴族(人間)、絶望、この3つのマッチングがすごくキレイな世界だなと僕は思っていて。その絶望は、見方によっては希望とも捉えられるんですよね。それがとても魅力だなと思います」

■永遠の命に憧れる反面、生きていると苦しくつらいことがたくさんあるということを思い知らされるなぁと。

「このシリーズをすべて観て思うのは、永遠の命が欲しい人はそれを追い求め続けていて、逆に要らないと思っている人が手に入れてしまっているんですよ。ないものねだりなのかもしれないですね」

■染谷さんが演じるダリ・デリコというヴァンプは、どんなキャラクターなんですか?

「貴族で高慢。でも貴族っぽくないというか、彼自身はそういうことに囚われていないんですよね。好きで貴族に生まれたワケじゃないというタイプなんですが、心の中では意識しているんです」

■役作りのために何かやっていらっしゃいますか?

「僕はこのシリーズに出演させていただくのが初めてなので、まず稽古に入る前に過去の作品は全部観て世界観を把握しました。あとは僕、下町出身で貴族でもなんでもないので(笑)、参考になるようなモノは観るようにしています。たとえば『ゲームオブスローンズ』という海外ドラマとか。吸血鬼は出てこないのでちょっと違うんですけど、世界観は似ているような気がしているので。あとは映画の『トワイライト』シリーズは観ました」

■ヴァンパイア役は初めてですか?

「初めてなんですよ。ぽいね!とはよく言われますけど(笑)」

■確かにピッタリな気がします(笑)。それで、〝生きる〟というテーマに関してですが、染谷さん自身は生死についてだったり、命の大切さについて考えることは?

「僕、あまり先のことよりも、その日一日を全力で生きるということを意識していて。たとえば仕事が忙しくても〝仕事をこなす〟という意識になってしまうと、こなしただけの結果しか出ないので、ひとつひとつを全力でがんばることが次につながるんじゃないかな?と思っているんです。明日からがんばるというよりは、今日だけがんばるというイメージです(笑)」

■目の前にあることを一生懸命がんばるということですね。それにしても昨年は8本の舞台、今年に入ってからすでに4本目とかなりハードだと思うんですけれど、日頃から常に心掛けていることはありますか?

「作品の中でけっこう動くことが多いので、勝手に体力がついてくるんですよ。なので休むときは全力で休む、ってことかな?」

■全力で休んでいるときには何を?

「寝だめします(笑)。寝るのが好きなので、1日を無駄にした〜とは思わず、やった!こんなに寝れた!って思うタイプです」

■ポジティブですね〜。食事とかは?

「ゼンゼン健康に気を遣っていなくて、身体のためにサラダでお腹を満たすのは勿体ないな。好きなモノ食べたいな!という話を現場でしたら、それじゃダメだよと言われました。青汁とか健康食品をもらって、そんなに気にしてくれる人がいるんだったらがんばろうかな?と思い始めてます」

■最後に、今後の目標を教えてください。

「今まで仕事一本でプライベートが充実していないんですよ。今年は20代最後なのではっちゃけたいですね。音楽のライヴにも行ったことがないので、GLAYさんやL'Arc〜en〜Ciel さん、BUMP OF CHICKENさんなど、好きなアーティストさんのライヴに行きたいです」

BookShare ZIP
http://bszip.com

舞台「グランギニョル」⇒ 7月29日(土)〜8月6日(日) 東京・サンシャイン劇場、8月18日(金)〜20日(日) 大阪・梅田芸術劇場 シアター・ドラマシティ／作・演出:末満健一／出演:染谷俊之・東啓介、松浦司、藤木修、大久保祥太郎、田村芽実、池村匡紀、菊池祐太、吉田邑樹、日南田顕久、田中真琴、愛加あゆ、窪寺昭、陰山泰・三浦涼介 ほか／主催・企画・製作:ワタナベエンターテインメント／公演に関するお問い合わせ:ワタナベエンターテインメント TEL 03-5410-1885(平日11:00〜18:00)

舞台『OOPARTS Vol.3「HAUNTED HOUSE」』DVDリリースイベント

7月7日（金）HMV & BOOKS TOKYO 7F イベントスペース

OOPARTS vol.3「HAUNTED HOUSE」
全国のHMV、ローソンLoppi CUEPROほかで好評発売中／価格：3,800円（税込）／品番：IDC-022／発売元：キュー・プロダクツ

作・演出：鈴井貴之
出演：渡辺いっけい　森崎博之（TEAM NACS）上地春奈　多田直人（キャラメルボックス）清水由紀　田島ゆみか　藤村忠寿（北海道テレビ）鈴井貴之
収録内容：本編＋特典映像＋副音声（鈴井貴之＋藤村忠寿）
特典映像：「HAUNTED LAST NIGHT in SAPPORO ～恐怖!? 最後の晩餐会！～」

L to R　藤村忠寿（北海道テレビ）　鈴井貴之

鈴井貴之主宰の演劇プロジェクトOOPARTS（オーパーツ）が、昨年2月に上演した舞台『OOPARTS Vol.3「HAUNTED HOUSE」』。そのDVD発売を記念して、鈴井貴之＆藤村忠寿（北海道テレビ）によるトークショーが開催された。お酒を片手に現われた2人は、「（舞台終了後の想い出より）どちらかというと『HAUNTED HOUSE』が終わって、犬を飼ったなぁっていうほうがデカいんだよね（笑）」（鈴井）、「ミスターさん家に行った時、誰と喋ってるのかな?って思ったら犬と喋ってたからね!」（藤村）と、冒頭からラフなやり取りで飛ばしつつも、上演当時のことを振り返ってのトークを展開。途中、地元・北海道での千秋楽（道新ホール）で鈴井が号泣したことが藤村より明かされると、普段地元で公演を行なう時はホームだからこそ落ち着いて観ているという観客が、この作品の千秋楽では大盛り上がりを見せたことで「極まったね～。酒飲んでるからかな？　今もウルっと来てる（笑）」と鈴井もコメント。7月19日から始まる同プロジェクトの最新作『OOPARTS Vol.4「天国への階段」』についても、キャストの知名度ありきの作品ではなく、面白いものを目指して作っている最中と語り、『HAUNTED HOUSE』以上に見どころのある楽しい作品になることを予告した。

なお、新作の撮影が発表されている『水曜どうでしょう』（HTB）の気になる今後は、「安心してください！　ロケはやってます!」（藤村）とのこと。会場中から歓喜の声が溢れる中、予定より20分もオーバーする形でこの日のイベントは終了した。

現在、TAKAYUKI SUZUI PROJECT OOPARTS vol.4「天国への階段」が、7月19日（水）～25日（火）東京・サンシャイン劇場公演を経て、各地にて開催中。（文■斉藤 碧）

TAKAYUKI SUZUI PROJECT OOPARTS vol.4「天国への階段」

8月4日（金）～6日（日）大阪府 梅田芸術劇場 シアター ドラマシティ
8月11日（金）～13日（日）北海道 道新ホール
8月16日（水）宮城県 仙台電力ホール
8月19日（土）・20日（日）長野県 まつもと市民芸術館

作・演出：鈴井貴之
出演：永野宗典（ヨーロッパ企画）、畑中智行（キャラメルボックス）、菊地美香、根岸拓哉、平田薫、吉田悟郎、東 李苑、戸澤 亮（NEXTAGE）、藤村忠寿（北海道テレビ）、鈴井貴之
制作協力：ネビュラプロジェクト / ナッボスユナイテッド
企画・製作：クリエイティブオフィスキュー
公式サイト：http://ooparts-hokkaido.net/

Book Share ZIP
http://bszip.com

連載
千葉雄大のドレミファソラシどろん♪
Vol.80 ent編

■プロフィール■
千葉雄大⇒ちばゆうだい。'89年3月9日生まれ。宮城県出身。現在、映画「兄に愛されすぎて困ってます」が公開中。今後は、映画「亜人」(9月30日公開)、平成29年度後期 連続テレビ小説「わろてんか」[10月2日(月)～2018年3月31日(土)《全151回》]など、他作品も多数控えている。

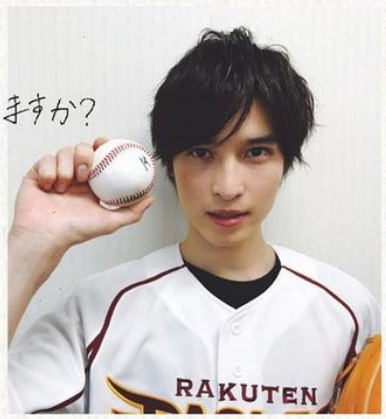
目の前には道が何通りもあって、
どれを選んでも同じゴールにたどり着くなら、
ふらふら漂っていたいとも思うけど、
そういう星の元には生まれてないようで、
目の前にある何通りの道の中から
時には計画的に、時には感覚的に
選んで進んでいます。
それは時に辛いこともあるけれど、
自分で選んだ道だからとケツを持つつもりで
歩いていくのです。
何かの事柄に対して、人はそんなことしたら
こっちの身はどうなるんですか、
ああいう人たちが傷つくじゃないですか、
というけれど、
結局、自分のことしか考えていない人だったり、
その事柄についての本質が
見えていない人だったりするときもあります。
そういう人たちが
最後までケツを持ってくれればいいけど、
みんなはみんなの道があって
人の道には入れないからやっぱり、
ひとりだなあ、と思うこともあります。
でも、たまに寄り道ってのがあって、
甘えさせてくれる人だったり
自分を否定肯定してくれる人だったりがいて、
また歩き出した時に
少し歩きやすくなってたりします。
entホリエ兄さんお誕生日おめでとう。
少なからず兄さんと会って
ぼくは歩きやすくなってまっせ。

ent
3rd Album
『ELEMENT』
2017.01.11 Release

☆連載ポラプレゼント☆
連載で使用したポラを読者1名様にプレゼント。希望の方は、官製ハガキに〒&住所、氏名、年齢、電話番号、連載の感想を明記の上、〈〒101-8450 B-PASS連載 千葉雄大の「ドレミファソラシどろん♪」係〉までご応募ください('17年8月25日当日消印有効)。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

連載
阪本奨悟
SHOGO'S FILTER SEASON 2 No.3

B-PASSをご覧の皆さん! 阪本奨悟です!
7月に入り、ますます暑くなっていますが、元気に過ごせていますか?
僕は7月、かなり久々に神戸にてLIVEをしました!
地元神戸、本当に温かかった。。。
もっともっと神戸でLIVEができるように頑張ります!
ありがとうございました!



そして、人生初の始球式もさせて頂きました!
背番号には、僕のメジャーデビュー日「5.31」をつけて、いざ投球!
ですが、本番の緊張感は練習とは全く違い、圧倒され満足のいく投球はできませんでした(泣)
でも、会場の皆さんの温かい声援に救われました!
本当にありがとうございました!
またいつか始球式をさせて頂けるなら、次こそはストライクを!
来月もよろしくね!

Book Share ZIP
http://bszip.com

阪本奨悟 ⇒ さかもとしょうご。'93年6月13日生まれ。兵庫県出身。'17年5月31日にメジャーデビュー・シングル「鼻声 / しょっぱい涙」をリリース。

awesome! Vol.21

豪華撮り下ろし+超ロングインタビュー満載!

全国書店にて好評発売中!!!

¥1,620（tax in）
B5変型判／256P

表紙

映画『銀魂』64ページ大特集!!

小栗 旬×菅田将暉×橋本環奈

柳楽優弥／吉沢 亮／福田雄一監督／TAKUYA∞(UVERworld)／神木隆之介×吉沢 亮×小関裕太／本郷奏多／山崎育三郎／窪田正孝×新田真剣佑／中村倫也／鈴木伸之／山田裕貴／村上虹郎／間宮祥太朗／北村匠海／松本享恭／小野塚勇人

fabulous stage Vol.03 8月9日発売!!

表紙巻頭特集

ミュージカル『ヤングフランケンシュタイン』

Book Share ZIP
http://bszip.com

全国の書店、楽譜・書籍お取扱の楽器店・CDショップなどでお買い求めいただけます。店頭に無い場合は小売店にお取寄せをお申し出ください。
株式会社 シンコーミュージック・エンタテイメント 営業部 TEL:03-3295-4191（電話でのご注文はできません） http://www.shinko-music.co.jp

生きざまを伝えるロックマガジン

SHINKO MUSIC MOOK

MASSIVE Vol.26

本体1,250円+税
B5変型判／全196頁

全国書店、ネット書店、CDショップにて絶賛発売中!!!!

表紙巻頭特集50P

D'ERLANGER

復活から丸10年の月日を経て、新たなディケイドへと突入したD'ERLANGER。4月22日に東京・豊洲PITにて開催された10周年を祝うアニーバーサリーライヴ『REUNION 10TH ANNIVERSARY ー薔薇色の激情ー』の模様とともに、kyo、CIPHER、SEELA、Tetsuの各パーソナルに迫るロング・インタビューを通して、己の音楽人生を愛し、謳歌する4人の現在に迫る。

バックカバー＆巻末特集32P

cali≠gari

メジャー・デビュー15周年という晴れ晴れとした節目の年に自己史上もっともダークなアルバム『13』を解き放ったcali≠gari。終わりなき実験をそのまま自らの歴史としてきた3人の本音から、この表現集団のメカニズムを改めて解明する。パーソナル・インタビュー3本立てでお届け!

その他の登場アーティスト

sads／lynch.
MUCC／MERRY
BugLug／ZIGGY
HEAD PHONES
PRESIDENT
and more

Book Share ZIP
http://bszip.com

全国の書店、楽譜・書籍お取扱の楽器店・CDショップなどでお買い求めいただけます。店頭に無い場合は小売店にお取寄せをお申し出ください。

株式会社 シンコーミュージック・エンタテイメント 営業部 TEL:03-3295-4191（電話でのご注文はできません） http://www.shinko-music.co.jp

MASSIVE Twitter:https://twitter.com/MASSIVE_BPをチェック!

表紙への道

宮野真守 編

初の表紙巻頭特集で登場してくれたマモさん。天気の神様も喜んでくれたのか、撮影直前までパラついていた雨も最終的には上がっていました♪

1. 閑静な住宅街に囲まれた、庭のあるハウススタジオにて撮影
2. 陽のあるうちに庭から撮影。今回のテーマは「日常のLOVE」
3. 休日をリラックスして過ごしている感じでお願いします!とコーヒーを渡す
4. テーブルの上には、リンゴやバナナやチェリーやパン、お花などを
5. 「リンゴ似合うなぁ」とマモさん(笑)。たしかにしっくりきてます!
6. 位置を変えて別バージョンも撮影。テーブルの上に花を散らしてみた
7. 担当のいち押しカットのひとつ、ソファでごろん。毛布かけたくなる
8. カーキの衣装、とてもお似合いでした。ユルい感じのもいいですよね〜
9. レースのカーテンを人力で揺らしてふわりとした風を演出したり
10. 「LOVE」がテーマなので、手紙で愛を伝えてください、と無茶ぶり
11. ラストシチュエーションは、スタジオ前の道路。路面がちょっと濡れてる
12. 超長いバケットが入っているんですが、マモさんが持つと普通に見える
13. マモとリンゴの図。ぽーんと投げたり、食べるふりをしてくれたり

B PLUS FILE

今号は男女さまざまな方が登場。表紙巻頭を筆頭に撮影風景を一挙公開。プラスかわいいグルメも。気温は高いけど、爽やかにお届け

グルメレコメンド

Anlyの
衝動も満たす
お気に入り
グルメを紹介

今月のおすすめ人

Anly

楽しくて美味しいチーズ

SHIBUYA CEESE STAND
たっぷりトマトとブッラータ オレガノ添え
¥1680

牛が目印です

トマトにオリーブオイルにブッラータ。まるごと美味

思いっきり真ん中をカット

トロっとクリーム状のチーズ

「ブッラータチーズかな。渋谷のチーズスタンドで食べました。巾着みたいな形のチーズで。外側を切ると中からトロトロ〜って。トマトが添えてあるヤツを食べたんですけど、フルーツの上に乗っているのもあるみたいで、次行くときはそれも食べてみたいな。味もいいんですけど、とにかくチーズを切るときが楽しいんですよね。ふぁ〜じゅわぁ〜、みたいな(笑)。動画を撮りました」(とスマホで見せてくれる)

■おぉ〜、すごい。

「ジャジャジャジャーン!って言ってる(笑)」

■味はけっこう濃厚な感じ?

「意外とさっぱりしていて、トマトと周りのモッツァレラチーズと一緒に食べるみたいな感じで、すごく美味しかったです」

■もともとチーズが好きなんですか?

「チーズ好きです。でもまず切りたいっていう衝動?(笑)」

■そういえば、野菜とか切るのが好きって言ってましたね。

「そう、切りたいんですね。切るのが好きなんで(笑)。しかもチーズの中からチーズが出てくるってすごいなって。見た目もかわいいですし」

■何かで見て知ったんですか?

「テレビでブッラータチーズを特集してたんですよ。それで"なんだ、こりゃぁ!?"ってなって、"どこかで食べられないのかな?"って探したら、渋谷にあって。それでよくご飯を食べ行く子と一緒に行きました。そういう面白いものを食べに行くのが好きで、アラブ料理のフムスも食べに行ったり。それも美味しかったですよ」

編集部コメント

チーズの中にトロトロのチーズ? 一体どんな感じなのか、初ブッラータチーズ、食してきました。お皿の真ん中にプリっと盛られ、なかなかの存在感。オリーブオイルとトマト、オレガノも添えられ、色合いもキレイ。早速、ナイフを入れると、おぉ〜、こういうことか。モッツァレラチーズが巾着状になっていて、その中にクリームとチーズが入っていて、まるっといただきます。トマトの酸味とばっちり合って、さっぱりフレッシュ、かつクリーミー。イタリア〜な気分になりましたっ。

BookShare ZIP
http://bszip.com

making check!!

人口密度高めの初夏のメイキング祭り
気付けば、すべて屋内撮影
次号は真夏の外ロケもありかな?

check 1 BOYS AND MEN

6.21 都内スタジオ

3 元気な感じで!のお願いにビシッと決めるボイメンの皆さん。クールもキュートもお手の物

2 カッコイイ波のためにそれぞれ頑張ってくれたのですが、意図せずこんな事故も(笑)

1 布で波を表現するために、メンバー自ら布を投げてもらいました。大波に揉まれる田中くん

5 ユニット別は、とにかくハイテンションで、ギュギュッとなってもらいました。笑いが絶えない

4 ずっとNARUTOごっこしてた田村くん。立ち位置決めでみんなでわいわい

check 2 高橋 優

6.24 レコード会社

1 後ろのガラス越しにライトを当て、カメラ前に特殊なフィルムを使用し、ページ写真の"虹"感を演出!

2 カメラをまっすぐに見つめる優くん、凛々しいです♪ 待ち時間には、スタッフさんと談笑してました

3 正面、横、空を見上げる、など、カメラマンさんからのお願いでポーズを色々変えつつ撮影しました

check 3 GRANRODEO

5.31 都内スタジオ

1 アーティスト写真やジャケット写真を撮影している場所にお邪魔して撮影しました

2 シックにグレーバックで。KISHOWさんが「文豪風! 芥川龍之介みたい?」とポージング

3 e-ZUKAさん、なぜそんなにギターと離れてたんだろう?(笑) そういうオチャメなところ、好きです

4 ギターをテーブルに置いてソロカットを。時折、優しくギターを触って、光らせたりしてました

5 ちょこんと仲良く机の上に乗ってるのは、ジャケット写真で2人がかぶってるアレです。イケゴリラ!

check 4 家入レオ

6.26 レコード会社

1 天気予報では雨だったので、白バックとオーガンジーを準備。こんな感じでセッティング

2 吊るした布を、まずはちょこっと持ってみる。涼しげな色合いに黒のワンピースが映えました

3 徐々にハジけるレオちゃん。布を持って投げてみたり、くるまってみたり、要は布とじゃれる(笑)

4 もう1シチュエーションということで、窓際で。雨の心配をよそに、おもいっきり晴天。外ロケもできた

5 窓際を、ランウェイを颯爽と歩くかのごとく、行ったり来たり。何がいいって、姿勢がいい

Book Share ZIP
http://bszip.com

check 7

B.A.P

6.29　都内スタジオ

1 初の全員集合での登場でした。2ショット1組目は、ヨンジェとZELO。スーツがキマってます!

2 お次はヒムチャンとジョンアプ。ヒムチャンはカメラマンさんにフレンドリーに話しかけてくれていました

3 最後はデヒョンとリーダーのバン・ヨングク。茶目っ気たっぷりのデヒョンと真面目なリーダー(笑)

check 8

THE BEAT GARDEN

7.12 レコード会社

1 MASATOくんの手の位置を微調整したり、良い角度を探します。ピンクバックに驚くメンバーでした

2 「さすがREIさま!」とメンバーから声をかけられていたREIくん。ポーズが次々決まります

3 普段はにぎやかですが、撮影時はかなり静かになるみなさん。真面目にやってくれているらしい

check 9

祭nine.

6.30 レコード会社

1 動きをつけるときは声に出さないと決まらないのか「やー!」とか「わー!」とかみんな言ってました

2 みんなで揃って写真チェックを。やいやい言いながらギュッとなってる後ろ姿がかわいいですね

3 ソロ撮影の待機組はこの距離でした。チャチャいれたり、ほめたり。ポーズがシンクロしてる……

check 5

大原櫻子

6.29　レコード会社

1 今回の取材は夜の時間帯。背景は夜の空だったんです。反射を防ぐため、ブラインドを下ろして↓

2 その隙間に入ってもらってました。体の向きを変えてもらって、数パターンを撮影

3 次はすぐ横の白壁前にて。窓際のほうもこの白バックもちょっと色を乗せた写真にしてみました

4 お馴染みのアコギ登場。アップを狙ってます。カメラマンが左手に何を持ってるかというと↓

5 レンズの前にピンクの小さいプレートをかざして、写真に色づけしていたんですよ

check 6

超特急

6.27　都内スタジオ

1 まずは緑、黄色のバディから。黒の幕を立てて、前後に立ってもらい、さまざまなポーズを

2 さっそくちょっかいをかけるカイくん。バディの組み合わせは、「あんまりなさそうな」がテーマ

3 コーイチくんセンターバージョン。お父さんを取り合う、赤と紫。色合い的にも結果いい組み合わせ

4 バディの次に全員集合。スペースにあんまり幅がないので、かなり密着してもらい、自然と笑顔

5 そして最後にソロカット。箱馬(白い箱)座ってもらってたんです。佇むタクヤくん

6 小さい箱馬を抱えるユーキくん。横顔だったり、人によって、いろんな角度から撮影

BookShelf ZIP
http://bszip.com

関東も梅雨明けとか。夏休み遊び倒す方も、夏期講習やバイトの方も楽しい夏になりますように！　今月もBプレス始まります

アーティストなんでもベスト5 vol.186

もうシーズンはすっかり過ぎてしまいましたが（笑）、結婚式の友人代表のスピーチは、新郎新婦はもちろん、ご家族や友人など参列者を飽きさせないもので印象に残しつつ、笑いがあると尚よし……と結構高度なワザが必要だったり。そんなお題の栄冠は？

今月のお題

結婚式の友人代表のスピーチがうまそうなアーティスト

今月の1位は、Ta_2さん。「ライヴのMCの盛り上げ方が上手いので」「MCで印象的な言葉を残すので」「ラジオやイベントなどで進行されているから」「学生時代のエピソードを熱く語りそう」など、話す場の多い活動での印象と、熱い人柄が票を集めた模様。最後には感動的にお話を締めそうです。2位は、宮野さん。「場を笑いに包んでくれそう」「ラジオ番組で一人語りは慣れていると思うので」巧みな話術で笑顔と感動をくれそうとの意見多数。宮野さんは余興も凝りそう。3位はTAKUYA∞さん。「とにかく熱く語ってくれそう」「ライヴで感動させてくれるから」ライヴの熱いMCそのままに語ってくれそうとのこと。4位のDAIGOさんは「笑いあり涙ありの感動的なスピーチをしそう」DAI語で素敵なまとめをしそうですよね（笑）。以上の結果となりました！

1位 Ta_2（OLDCODEX） —— 337pt

2位 宮野真守 —— 333pt

3位 TAKUYA∞（UVERworld） —— 309pt

4位 DAIGO（BREAKERZ） —— 277pt

5位 北川悠仁（ゆず） —— 264pt

6位 星野源 — 257pt ／ 7位 山崎育三郎 — 240pt ／ 8位 ko-dai（Sonar Pocket） — 230pt ／ 9位 阪井一生（flumpool） — 213pt ／ 10位 福山雅治 — 203pt

少数票　小野武正（KEYTALK）、桐谷健太、岡崎体育、さだまさし

10月号のお題

日傘が似合いそうなアーティスト

これから本格的な夏到来で暑さも本番。直射日光を受けてばかりもいられない。今月は、そんな紫外線から身を守りたい！　日傘が似合いそうなアーティストをランキング。今や貴婦人だけのものじゃなく、男性用もあるらしいですよ。色白なので、絶対焼けたくない、そもそも暑いのムリ、単純に似合いそうでもOK。理由も書いて投票を！

投票方法　P.160にあるプレゼント応募ハガキの記入欄に記入して投票してください。グループ名ではなく、個人名で投票を。8月15日到着分までOK！　あなたがランキングしてみたいお題も大募集中ですっ!!

B・PASS用語解説48時

夏ツアーやフェスでライヴが増えるこの時期にぴったりな、ライヴでの用語を解説！　何気に使っている言葉も意味を知ると納得

1●オーディエンス
英語で書くと「audience」。「聴衆」という意味です。要するに、ライヴやコンサートに来たお客さんのことですね。

2●オーガナイザー
ものすごくザックリ言うと、そのイベントの「主催者」のことです。元々は裏方のお仕事でしたが、最近はバンドやアーティストが主催する＝オーガナイズするイベントも増えてきました。

3●入り
ライヴ会場だけでなく、取材場所や撮影スタジオといった「現場に入る」ことを「入り」と言います。例「今日のライヴ、12時入りでお願いしまーす」など。ちなみに、ミュージシャンが会場入りするのを待つ「入り待ち」という行為があるのですが、いろんな人達に迷惑になるので絶対にやっちゃダメですよ。

4●押す
予定していた時間を過ぎる（遅れる）こと。例「今日の開演、10分押しでいきまーす！」。ちなみに、定刻通りにスタートすることを「オンタイム」と言います。長時間に及ぶフェスやイベントは、一度押してしまうとその後のスケジュールが大変なことになってしまうので、出演者・スタッフが一丸となってオンタイムを目指します。

5●巻く
「押す」のとは逆で、予定していた時間より早く終わる、もしくは終わらせること。イベントやライヴのタイムテーブルは、押してしまうことはあるものの、巻くことはほとんどありません。この時間に合わせて観に来たのにもう始まっちゃってる！ということになったら大変ですからね。

6●対バン
1回のライヴに、2組以上のバンド／ミュージシャンが出演するものを「対バン形式」と言います。あとは、ライヴで共演することを「対バンする」とか、共演相手のことを「対バン相手」と言ったりもしますが、後述のオープニン

BookShare.ZIP
http://bssip.com

◆有名なフードチェーン店で、友人とメニューを頼んだら、なぜか**お子様用**の皿とフォークを私の前に置かれた。「20歳です。いらないです」と言うと、店員さんにすごく謝られた。
（兵庫県／H.A）

B 若く見えると嬉しいものだけど、若く見られすぎると微妙という複雑な乙女心。

◆仕事中に突然同僚に宇宙について熱く語られた。うん、うんって聞いてたけど、とりあえずわかったことは宇宙は奥が深いってことだけ。
（神奈川県／なおたう）

B 話の途中から完全に聞いてるポーズだったと見た。まあ、そのことはみんなわかる。

◆ブラマヨ小杉さんに似てる母が、テレビを観て言ったコメントを、直後に小杉さんも言っていた。
（神奈川県／ひな）

B 見た目が似てると発言も似るのだろうか。それともどこか遠い血縁があったり……？

◆絵馬を書いてつるそうとしたらヒモが切れた。それも同じ日に3ヵ所。そんなに神様に嫌われてるのかな。
（埼玉県／カスミソウ）

B 別の神社でも諦めずに絵馬チャレンジ！それでもヒモが切れたら考えよう。

◆いつも寝ぐせがひどい友達が、珍しく寝ぐせがない日があり、奇妙だということでみんなでその子の頭を触り寝ぐせのようなものをつけた。
（山梨県／ナノ）

B もはや寝ぐせというかチャームポイントとなっていたんだね。友達の心境はいかに。

エキセントリックおたより

夏の解放的な季節が呼ぶだろう、日常のエキセントリックな出来事の報告待ってます

◆高校時代からの友人達と久々に会うことになり、お互いの都合をつめていった結果、動物園集合になりました。
（宮城県／40代です）

B どこをどうすり合わせた結果が動物園だったのか、過程を知りたくなるところ。

◆抜け出して来たゴールデンレトリバーがずっとついてきて困りました（笑）。首輪に電話番号が書いてあったのでお迎えに来てもらいました。
（福岡県／はるか）

B 優しい人間を見分ける能力があるんだろうか。飼い主さんの元へ帰れてよかった。

◆弟の頭は天パがひどいので、兄に「お前の頭で風呂掃除できるね」と言われていた。
（鹿児島県／ガリごぼう）

B 普段から頭を洗うときよく泡立つのかな。スポンジに似た髪型なの？

◆お寿司屋にココナッツウォーターがあり、頼んだら、ヤシの実がレーンを流れてきて、友達と大爆笑。
（静岡県／Poco）

B 絵面にパンチがありすぎるね。まさか、そんなガチの代物がくるとは思いもよらない。

◆アクティブすぎる英語の先生が、婚活フットサルに行って、経験者だからとハメを外したらアキレス腱を切った。でも体を動かさないと気が済まなくて授業中歩き回ったりして、ついに階段から落ちて足のアキレス腱を**もう1回**切った。
（神奈川県／達織）

B 先生のその懲りない感じ嫌いじゃない。だけど、もうちょっと落ち着いたほうがいい。

◆ラフティングで落ちて、ボートに上げてもらうとき、体が上手く動かせず、釣れたマグロの様にピンとなって釣り上げられた。
（徳島県／うめ）

B 思わぬところで、マグロの気持ちがわかるとは。釣り上げられる画がシュールそう。

◆ミントだと思って食べていた葉っぱが「パクチー」だった。
（奈良県／あす）

B それはさすがに気付いてほしかった。パクチーとミントの匂い全然違うよね!?

◆母の服が上から下まで全部水玉だった。
（山形県／こんぶ）

B 草間彌生さんか、こんぶさんのお母さんかという水玉推し。そういうコーデなんだよ。

◆お茶漬けをしようと思って、お茶漬けのもとをかけるつもりがお茶っ葉をかけてました。
（沖縄県／さやぴー）

B それがほんとのお茶漬けってか。生茶漬けとかのネーミングで、そんな食べ方ありそう。

◆いとこ（年少）の保育園の運動会の応援に行きました。ダンスの途中で立ったまま眠りだしびっくり！　先生が支えてました。
（埼玉県／グレープフルーツ太郎）

B 急に電源切れたかな。先生のファインプレーありがたい。どこでも寝る子っているよね。

◆授業中いねむりをしていたら、机と椅子ごとひっくり返った。
（中野区／もえの）

B それだけ壮大なことになるって、どんな寝方をしていたのか気になってしまう。

グアクトだったり、大規模な野外フェスの場合は、「対バン」とはあまり言わないですね。語源的には「対するバンド」だったり「対決」が元になっていたり、いろいろあるみたいです。

7●全通／全ステ
たとえば、某ミュージシャンが全国7ヵ所ツアーをするとなったとき、その全公演を観に行くという熱狂的なファンの方もいらっしゃいますよね。その"すべてのライヴに通う"ということから、その行為を「全通」と呼ぶことがあります。また、"全部のステージに行く"という意味で「全ステ」と言われることもあります。

8●O.A.
イベントでよく見かけるアルファベット2文字ですが、これは「Opening Act」の略。イベントの一番最初に出演する人のことです。開演してから一番手として登場する場合もありますし、開場中、お客さんがホールやフロアに入場してくるときに演奏する場合もあります。

9●トリ
「トリ」とは、イベントライブやフェスの一番最後に出演するミュージシャン／バンドのことです。他にも、最後に出演する人達は、「クロージングアクト」とか「クローザー」などなど、いろいろな呼び方があります。「トリ」は、元々、落語の寄席で使われていた言葉。その界隈では、その日の最後に出る人（真打）が、出演料の全額を受け取り、他の出演者にわけるという風習がありました。なので、演者の最後を「取る」人、また、出演料を受け「取る」人という2つの意味から、最後の人が「トリ」と呼ばれるようになったと言われています。

10●ハケる
撮影やライヴなどで、写真に映り込んでしまう位置や、客席から見えてしまう位置に何か必要ではないものがある場合、それを動かす／片付けることを「ハケる」と言います。例「それ邪魔だからハケといて」。あと、出演者が演奏を終えて、ステージから舞台袖や楽屋に戻ることも同様に「ハケる」と言います。

Book Share ZIP
http://bszip.com

イラスト帝國民志願者へ

★画材・紙質はなんでもOK ★封筒に入れて送るとなお良し! ★サイズも自由!(書記長はハガキサイズを好みます)★イラストの裏面に住所・氏名をお忘れなく! ★採用・不採用に関わらず、ご返却はできません。★毎月10日ごろまでに送ると、その月に出る号へ間に合う確率が高し。★送り先は189ページの応募要項をチェック!

イラスト帝國 PLUS+ 4コマSHOW

今月は、季節もののイラストをメインに。夏休み中に、アーティストへのパッションをぜひイラストと4コマにぶつけてください。お待ちしてます!

VAMPS
兵庫県／イコ
生活に支障が出るほどのムーディーさは不要と(笑)

LIFriends 東京都／関東リフレンジャー
夏の夕涼みに川縁でホタル鑑賞なんて素敵。普段にぎやかなメンバーもちょっと大人しそう。羽村市ではホタルの飼育をされているそう

たまにはこんな過ごし方もいいのかも

BUMP OF CHICKEN
北海道／アルジャ〜ノン
リボンがポイント。ライヴのチャマさんキラキラしてます

SPYAIR
埼玉県／珠里
ぼっこり風。今年のJUST LIKE THISも楽しみですね

家入レオ 東京都／@ ayumiii_so
ドキッとさせる横顔ですね。新曲インタビューもチェック!

VAMPS
福井県／神聖悠
耽美なお洋服に包まれて。とってもお似合いです

MAN WITH A MISSION 福岡県／ S-arrow
南国風なドリンク片手に水着と浮き輪のスペア・リブさん。キュートです。なぜ砂漠のようなところでお立ち台に立ってるんだろ……

早くも夏を満喫中ですね

flumpool
愛知県／MR
淡いタッチのflumpoolのみなさん。ちょっと俯きがち

Nissy
千葉県／まーぺ
黄色いNissyさん。8月のアルバム発売が楽しみです

BookShare ZIP
http://bszip.com

◆知らない人の家の前で立ち話をしているときに、犬に吠えられたので投げキッスをしたら、その犬が嘔吐……。
（埼玉県／さってん）

B おい、わんこ失礼だぞ！　しかし、よそ様のおうちの前での立ち話は控えとこう。

◆職場のおじさんが胸ポケットに歯ブラシを差したまま客先に営業に行ってしまって、誰にも指摘されず帰社した。
（岐阜県／ゆんたす）

B 新しいオシャレだと思われたかしら、それともあえて指摘しないスタイルなのかしら。

◆僕の友達が人を蹴ろうとしたが、自分がコケて腕を折った。
（北海道／ガオー！）

B 悪いことをしようとすると返ってくるんですよ。自業自得ってやつですかね。

◆母が毎年庭にそら豆を食べきれないくらい植えるので、冷凍庫がそら豆でいっぱいだー。3年分入ってる！
（広島県／サランラップ）

B なんでそんなに植えるんだろう。ジャックのマメの木みたいなことを狙っているのかな。

◆妹が寝言で「国家は……」と国を語っていた。
（愛知県／あんみつ）

B 寝言で国のことを考える若者がいるなら、この国の未来は大丈夫だろう。たぶん。

◆授業中に隣りの教室から、英語の先生のすごく大きくて長い「R」の発音が聞こえてきた。
（兵庫県／てやん）

B 想像できちゃうその発音。大事なところだから先生も張り切ったのかな。

◆身内がホテルに泊まったとき、部屋のキーじゃなくチャリンコのキーをさして鍵が抜けなくなった。
（兵庫県／ジャギ様ひでぶっ）

B 明らかに違うことがわかりそうなものなんだけど、結構頑張って鍵をさしたのでは。

◆友達が多機能トイレのことを〝滝のおトイレ〟だと思っていた。
（埼玉県／ひかりん）

B 音だけ聞いての変な思い込みってある。滝のおトイレは、きっと流す度に水びたしだな。

◆ネット恋愛してたら、相手が隣りの席の人でお互いびっくりした。
（愛知県／めだまやき）

B 世間が狭過ぎるでしょ。で、実際会ってどうだったの？　その後の報告お願いします。

◆キョロちゃん（チョコボール）を2つ買ったら。2つとも銀のエンゼルが当たった。
（千葉県／のり丼）

B すごーい、未だ当たったことがないよ。最強の引きがあるうちにどんどん当てて。

◆山村紅葉さんとライヴイベントに一緒に行く夢を見た。
（神奈川県／パンツの日）

B なぜその人選。普通のライヴイベントでも何か事件が起こりそうな予感がしちゃう。

◆仕事終わりにゲームをすることになり、同期が仕事用のバッグは忘れてゲーム機だけ持って出社してきた。
（福岡県／恋するウサギちゃん）

B ランドセル忘れてくる子的な、ハリキリ具合が小学生レベルですね。まず仕事はしよう。

エキセントリックおたより Eccentric letters

◆京都にあるノムラテーラーという布屋さんに行こうとナビアプリを使って歩いていたら、謎の寺にたどり着いた。もしかしたら野村寺？
（大阪府／ぱぱ）

B もしかしなくとも野村寺なのではと。ある意味素晴らしいナビゲーションでした。

◆風呂掃除をしていたら、何か黒い小さな物体が……。よく見ると小さなクワガタ。それ以来大事に飼育しています。
（熊本県／スピカ☆）

B そんな偶然の出会いが。間違いなくGを疑ってしまうけれど、違ってよかった。

◆学校帰り、友達が地下鉄のホームで傘をさしていた。しかもその日は晴れていた。
（北海道／アルパカ）

B ぼーっとしすぎてそのままってこと？　しかし、それは本当に友人だったのだろうか……。

◆同僚を驚かせようと掃除道具箱の中から勢いよく飛び出したら、社長だった……。
（愛知県／しげ）

B これを寛大に受け止めてくれる社長であって欲しいけど、ご武運を祈っております。

◆同じ日に同じ人に3回会った。「今度こそまたね」を何回も言った。
（愛知県／？）

B 2度くらいはあるけど、3回は出会いすぎだから、もう一緒に行動したほうがいいのでは。

◆おにぎりケースの中に入っていたのが、おにぎりではなくおにぎりせんべいが3枚！
（愛知県／うめおにぎり）

B おにぎりを期待して開けたときはがっかりしそう。でも3枚があるから空腹は凌げる。

◆子供達にそら豆のむき方を教えていたら、むいた瞬間そら豆が飛んでしまい、女の子に「そら豆って空飛ぶの？」と言われた。
（埼玉県／HARU）

B ほっこり。さやが空に向かってつくからそら豆説があるようですが、我が家からそら豆でOK。

◆風邪の強い日にフラフラ歩いていたら、隣りでカナブンもフラフラしながら飛んでいた。
（千葉県／かな）

B 人間がフラフラするくらいのレベルなら、カナブンもフラフラしますね。仲間意識が生まれる。

◆最近、気がついたらリュックに「綾鷹」が3本飲みかけの状態で入ってた……。
（千葉県／Y）

B 過去の自分が何をしたかったのか。飲みかけを忘れて、買ってを繰り返したのかな。

◆体育の走り幅跳びの授業で、先生が見せた手本がこれまで一度も成功したことがない。
（大阪府／あーさん）

B 先生、手本の意味をなしてない。先生も一緒に授業を受けて、できるようになろうね！

今月のB-PRESSはいかがでしたでしょうか？　Bプレスは皆さまからのお便り命！　アーティストのイラストは「イラスト帝国」、ストーリーができちゃったり、ライヴレポートは「4コマSHOW」へ。「なんでもベスト5」の投票や、とっておきの小ネタはプレゼント応募ハガキにたっぷり記入してくださいね。その他、要望などもなんなりと〜!!

すべての宛先は
〒101-8450
東京都千代田区神田錦町1-14-2F
B-PASS ⑨『○○○○○』係

BookShare ZIP
http://bszip.com

(iFrogz)

Bluetoothイヤホン
Charisma wireless

カラー:ブラック／レッド、グレー、ホワイト／ローズゴールド
価格:3,980円(税込み)

“女性デザイナーにより、女性のためにデザインされたラグジュアリーなBluetoothイヤホン”とのうたい文句にふさわしい見た目だけでなく、本体もコンパクトで女性の耳にもフィットしやすい設計。本体がマグネット内蔵でイヤホン同士をくっつけることができるのも便利。IPX2の防滴性能を装備し、内蔵バッテリーの充電時間は約60分で、最大約5時間の連続再生が可能となっています。

●問い合わせ先／問い合わせ先／フォーカルポイント(株)
045-264-8841 https:// www.focal.co.jp

(harman/kardon)

Bluetooth対応
ワイヤレスホームスピーカーシステム
AURA STUDIO 2

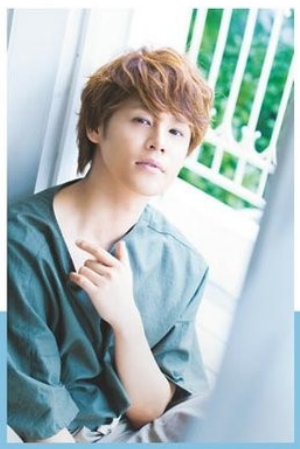
カラー:ブラック
オープン価格(市場実勢価格 30,880円前後／税別)

パッと見ではスピーカーと思えないデザインは美しく、スケルトンボディの中央のスピーカー部分のLEDは、いろいろなパターンで点灯するので、インテリアにもぴったり。コンパクトなサイズながら、クリアな高音と豊かな低音で迫力のあるサウンドが楽しめます。無指向性のシステムなので、部屋のどこにいても同じ高音質を体感できます。このAURA STUDIO 2を2台使用するとワイヤレス接続により同時に音楽再生ができ、大音量かつパワフルなサウンドが楽しめるそうです。

●問い合わせ先／
ハーマンインターナショナル(株)
0570-550-465
http://www.harman-japan.co.jp

(Let's Sing! カラオケで盛り上がろう!)

今号の表紙に初登場! 宮野真守のカラオケ人気曲をランキングで紹介します。あなたの十八番も入ってますか?



JOYSOUNDでよく歌われている宮野真守の曲は?

①カノン
②オルフェ
③シャイン
④テンペスト
⑤HOW CLOSE YOU ARE (GENERATING! Version)
⑥NEW ORDER (WAKENING! Version)
⑦Magic (AMAZING! Version)
⑧BREAK IT! (AMAZING! Version)
⑨蒼ノ翼
⑩覚醒エターニティ (WAKENING! Version)

Book Share ZIP
http://bookzip.com

JOYSOUND調べ
集計期間:2017年6月

Book Share ZIP
http://bszip.com

祭nine. ⇒
まつりないん。名古屋発13人組エンターテイメント集団、"BOYS AND MEN研究生"から選抜された7名で結成。'17年2月19日に開催された単独ライヴで、BOYS AND MEN研究生より選抜メンバーでのメジャー・デビューを発表。8月16日シングル「嗚呼、夢神輿」でメジャー・デビュー。

夏の妄想♥名古屋デート

夏の名古屋のオススメ・デートスポットを祭nine.がご紹介!
個性溢れるセレクト理由にもご注目ください。締めはやっぱり……?

髙崎「名古屋港水族館とかいいんじゃないかな。イルカのショーも見れるし、夏感も味わえるし、ナマコとかも触れるんですよ! それで、"うわっ! 気持ち悪〜い!"とか言って、一緒に楽しんでもらえたら、距離も縮まるのかなと!」

清水「ナマコもたまったもんじゃないけどね、1日に何人もに触られて、あげくに"気持ち悪い"とか言われちゃって」

一同「たしかに(爆笑)!」

横山「僕も大好きな場所なんですけど、大須の商店街を、食べ歩きしながらデートするのはオススメですね! すごくいっぱいお店が並んでるし、美味しそうなお店もいっぱいあるんで、是非行ってみてほしいですね!」

浦上「僕は、京都出身なんで、メジャーな所しか浮かばないんですけど、やっぱり名古屋といえば、東山動物園なんじゃないかなって思いますね。ニシローランドゴリラのシャバーニくんがすごく有名だって聞いたので、一緒にシャバーニくんに会いに行くのがオススメかなと。個人的にはフラミンゴが好きなので、一緒にフラミンゴを見たいですし、夜行性の動物のいる真っ暗な空間の中でデートとか、いいんじゃないかなと思います!」

清水「そうそう。東山動物園は夏になると夜もやってるからね! それもオススメです!」

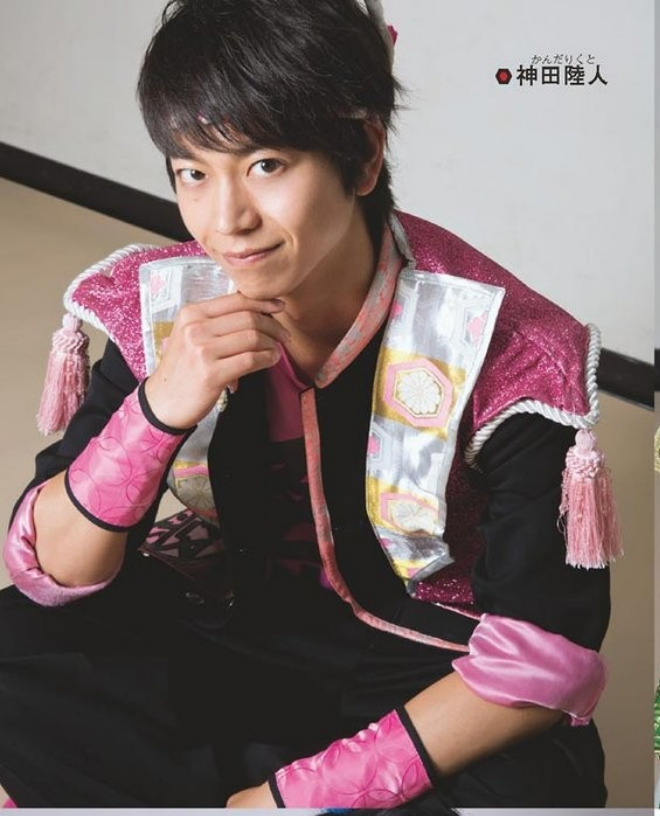
野々田「名古屋といえばきしめん! なので、美味しいきしめんをベンチとかで一緒に食べると楽しいんじゃないかなと思いますね! テイクアウトできるかどうかちょっとわからないですけど……」

寺坂「そこちゃんとリサーチしてから言えって!(笑) 僕は最近新しくオープンしたビルもある名古屋駅! 駅周辺だけで1日楽しめちゃうくらい楽しいので、まずは名古屋駅制覇をオススメしたいですね!」

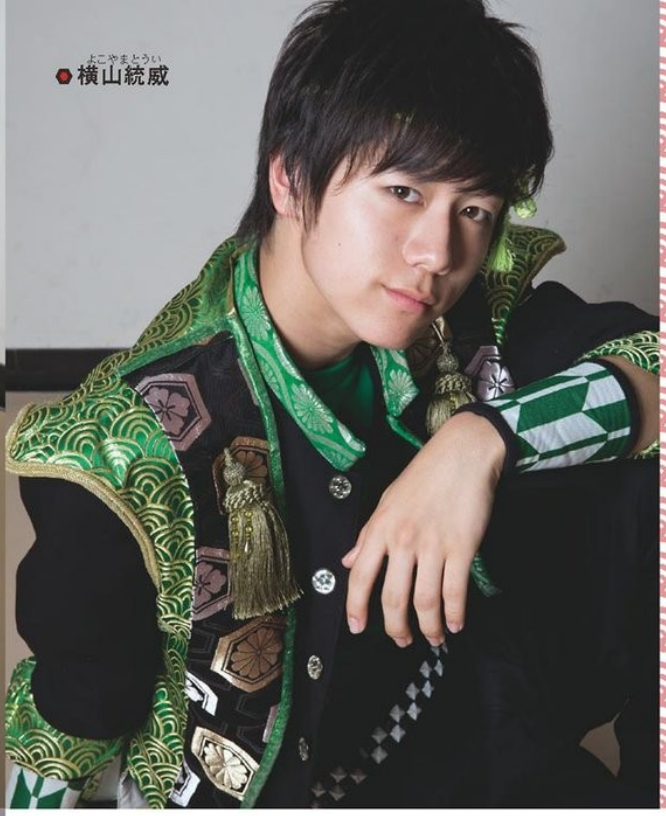
神田「久屋大通公園ですね! 夏になると毎日イベントをやってるくらい、いつも祭な感じなので、名古屋を満喫してもらえるんじゃないかなと思います!」

清水「名古屋って、栄も伏見も矢場町も近いところにいっぱい楽しめる所があるんで、是非、全部行ってみてほしいなと。僕たち、テレビ塔のPRキャラクターでもあるので、テレビ塔に行って、そこから栄の『オアシス21』で祭nine.のライヴを楽しんでもらえたらいいんじゃないかなと思います!」 B

Book Share ZIP
http://bszip.com



神田陸人（かんだりくと）



横山統威（よこやまとうい）

髙崎寿希也（たかさきじゅきや）

Major Debut Single
鳴呼、夢神輿
2017.08.16 Release
パターンA CD+DVD ¥1,500（tax out）
パターンB CD+DVD ¥1,500（tax out）
パターンC CD ¥1,000（tax out）
パターンD CD ¥1,000（tax out）

パターンA
[CD]
01. 鳴呼、夢神輿
02. 太陽ZAN-MAI

[DVD]
「鳴呼、夢神輿」MV+MVメイキング映像

パターンB
[CD]
01. 鳴呼、夢神輿
02. オマエもかっ!?

[DVD]
「オマエもかっ!?」MV+MVメイキング映像

パターンC
[CD]
01. 鳴呼、夢神輿
02. BE☆THE WIND
03. 鳴呼、夢神輿（instrumental）
04. BE☆THE WIND（instrumental）

パターンD
[CD]
01. 鳴呼、夢神輿
02. 太陽ZAN-MAI
03. 鳴呼、夢神輿（instrumental）
04. 太陽ZAN-MAI（instrumental）

パターンA

髙崎「この曲はライヴですでに披露しているんですけど、最初に披露したとき、客席から“カッコイイ!”っていう声が聞こえてきたんですよ! それくらいカッコイイんで、是非、ライヴで見てほしいですね!（笑）」

野々田「振り付けがカッコイイんですよ!」

横山「この曲は、テレビ東京系アニメ『デュエル・マスターズ』（毎週日曜朝8:30～放送）のエンディングテーマでもあるので、カードを持って踊るみたいな振りのところもあるので、そこも注目してもらいたいです!」

清水「朝に聴いてもらうと、“今日1日頑張るぞ!”っていう気持ちになると思います!」

■「太陽ZAN－MAI」も攻め曲だよね。

浦上「攻めてるけど、オシャレですよね! こういう曲も初めて歌うんですよ!」

寺坂「この曲では思いっきりカッコ付けてるんで、そこにも注目してほしいですね!」

横山「僕たちの曲の振りって激しいものが多かったりするんですけど、この曲は一緒に踊れる感じのノリだったりするし、セクシーだったりするので楽しんでほしいです!」

野々田「恋愛の歌詞なので、ちょっとセクシーなんですけど、ぶっちゃけみんなあんまり似合ってないんです（笑）」

髙崎「AメロとBメロは見入ってもらって、サビでは一緒にノってもらう感じで楽しんでもらえるといいんじゃないかなと思います」

神田「全然違う4曲が入っているシングルなのでたくさんの人たちに聴いてほしいです!」

清水「全国の祭りに祭nine.あり!って感じくらいになりたいですね!」

寺坂「全国の祭り巡りしたいよね! 祭りのあるところに祭nine.が絶対にいる!みたいな。祭りといえば、祭nine.!っていうくらいの存在になりたいと思ってます!」 B

Book Share ZIP
http://bszip.com

作って歌ってたくらいだったんです！　もともと氣志團さんが大好きだったんですけど、いろんなオーディションを探している中で、学生服を着たグループを見つけて。それがBOYS AND MENだったんです！　ガッツがあって、イケメンで、その精神がすごくカッコイイなって思ってオーディションを受けました！」

野々田「僕は、ずっとバンドをやっていて、ドラム担当だったんです。それで、バンドがやれる事務所を探していたら、BOYS AND MENを応援してたお姉ちゃんが、“このオーディション受けてみやあ”って言って、今の事務所のオーディションに応募してたんです。それで、行ったのが、研究生のオーディション会場だったんです！　最初はちょっとビックリしたんですけど、今は、本当にこのグループに入れて良かったなって思います！」

髙崎「僕もお姉ちゃんが勝手に応募してたんです。自分が知ったときには、オーディションまで一週間しかなくて。お姉ちゃんに“何か特技用意しときんね”って言われて、何も特技がなかったんで、オーディション会場でずっと立ってただけだったんですけど、合格させてもらいました！　それが中学1年生の時です。その時が、研究生ができる最初のオーディションだったんですよ」

髙崎「僕と神田くんが最初の研究生なんです」

神田「そうなんです。僕は、もともとお姉ちゃんが名古屋でアイドル活動をしていて、“この活動めちゃくちゃ楽しいから、あんたもやってみなよ”って言われてたんですよ。家で練習してるのとか見てもすごく楽しそうだし、やってみたいなってずっと思ってたんです。そしたら、家族がBOYS AND MENの本田さんからチラシを貰って帰ってきて、そこでオーディションを知って、それがきっかけで、この世界に入りました」

寺坂「僕は、もともと役者になりたくて、ミュージカルとか歌って踊れるグループにもすごく興味があったんです。そこで、BOYS AND MENの中にその2つの夢を叶えている豊さん（小林）がいることを知って、オーディションを受けてみようと思ったのがきっかけでした！　今、本当に楽しいです！」

浦上「僕は、中学3年生のときにYouTubeで動画を観ていたら、【あなたへのオススメ】っていうところに、BOYS AND MENが出てきて、なんだろう?と思って観てみたら、すっかり魅了されちゃったんです！　そこでBOYS AND MENの存在を知って、さらに研究生っていうグループがいることも知ることになり、オーディションを受けてみようと思いました！　でも、3〜4回応募してみたんですけどずっと受からなかったんです。僕、実家が京都なんですけど、ある日、オーディションじゃない日に事務所に行っちゃって、それなのにわざわざ担当の人が面接してくださったんです。中学3年の頃に初めて受けたけど、合格したのは4回目の高校2年の時です」

清水「僕は、3歳の頃から子役で活動させてもらっているんですけど、中学に入るときにたまたま名古屋を拠点に活動していくBOYS AND MENができるということを知ったんです。そのタイミングで声をかけていただいて、もともとBOYS AND MENのメンバー候補に入っていたんですけど、そのときまだ中学生だったので、全然自分を出せなくて、それで、自分の中で自分にしかない特技を身に付けたくて、高校3年間、料理の学校に行くことを決意して、3年間活動をお休みさせてもらったんです。それで、学校を卒業して戻ってきて、今に至ります！　ダンスの上手い人はいくらでもいると思ったので、ダンスも歌も頑張りながらも、それ以外で特技を身に付けたかったんです！　でも、料理がきっかけで、料理をテーマとしたドラマ『サチのお寺ごはん』に、BOYS AND MEN水野さんと 田村さんと一緒に出演させてもらうことになったんです！　料理やってて良かったなって思いましたね」

■そうだね。「鳴呼、夢神輿」でデビューするわけだけど、まさに、祭nine.のテーマ曲とも言える1曲だね。

浦上「そうなんです！　和太鼓とかの日本の伝統的な楽器の音も詰め込まれているので、日本の方々には受け入れてもらいやすいと思いますし、海外の方達には珍しく感じていただけるんじゃないかなと思いますね」

野々田「今まで、爽やかな曲調しか歌ってこなかったこともあるので、祭nine.としては珍しい1曲でもあるんですよ」

清水「爽やかな曲が多かったからね」

寺坂「そうだね。どっちかっていうと、カップリングの“オマエもかっ!?”みたいな楽曲が多かったんです。なので、本当に言ってもらったように、“鳴呼、夢神輿”は、祭nine.のテーマ曲だと思ってます！　みんな神輿とか大好きですからね！」

一同「神輿大好きっす！」

寺坂「全員アクロバットができるというのも祭nine.の個性だったりするんですよ。なので、間奏は見せ場だったりします！」

■全員アクロバットができるの!?

髙崎「全員できるんですよ！」

浦上「すごく練習したんです。最初から全員できたわけではなかったんで、本当に必死で練習しました」

寺坂「この曲でも、間奏ですごくカッコ良くアクロバットを見せるんだけど、早口言葉が組み込まれた歌詞を歌うときには、違うドキドキがあるんですよ（笑）」

清水「そう！　なかなか言えないんですよ、上手く（笑）。“黄巻き紙”が“きまきまき”になっちゃって（笑）」

神田「かなりみんな苦戦してました（笑）」

■カップリングの「オマエもかっ!?」は、リード曲の男臭さとはまたちょっと違ったファニーな歌い方も特徴的な1曲だよね。

寺坂「振りもすごく可愛い感じなんですよ！」

神田「みんなで女の子になりきって躍ってるシーンのところもあったりするので、すごく面白いと思います！」

野々田「ちょっとお芝居チックに見せるところもあるからね」

■爽やかな曲だけど、“オレのモノになれ”とか“オレのそばにいろ”とか、意外と歌詞はすごく男気のある内容だったりするよね?

清水「最近、草食系の男子が多いとか言われているので、こういう引っ張っていく系の男子っていいんじゃないかな?って思います。1人の女の子を取り合ってる歌詞なんですけど、なんか青春って感じがします！　なんかキュンとしちゃいますよね！」

浦上「等身大の歌詞の内容なので、共感してくれる人も多いんじゃないかなと思います！」

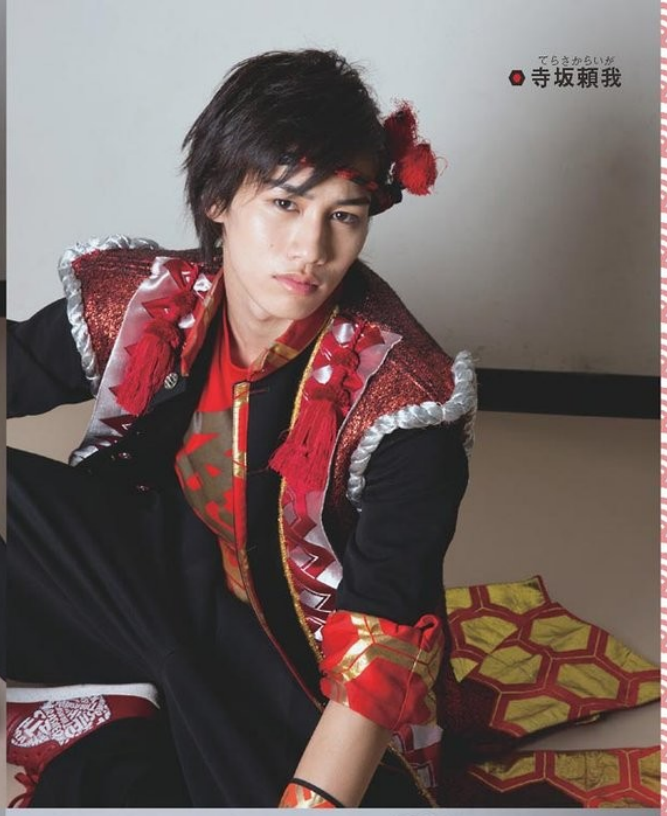
寺坂「この曲のミュージックビデオは、グアムで撮影したんで、より夏っぽさを感じてもらえる1曲になってると思います！」

■「BE☆THE WIND」も、“魅せる曲”になりそうなテンポ感の曲だよね。

神田「個人的に最初の勢いが好きなんです！」

Book Share ZIP
http://bszip.com

浦上拓也


寺坂頼我

野々田奏

清水天規

「嗚呼、夢神輿」は、祭nine.のテーマ曲だと思ってます！

■初登場になるので、担当カラーと、グループ内での役割りや担当的なことも含めての自己紹介から教えてもらえる？

清水天規「はい！　誰からも頼られるお兄ちゃん担当でございます！　紫担当、清水天規19歳！　調理師免許持ってます！」

浦上拓也「白色17歳、浦上拓也です！　グループの中では正当派担当です！　八重歯がチャームポイントです！」

寺坂頼我「赤色17歳、寺坂頼我、リーダー。名前の由来はプロレスラーの獣神サンダー・ライガーです！　ハッピー大好きマンです！」

神田陸人「19歳ピンク担当、勉強大好き神田陸人です！　大学2年生です！　ちなみに、僕は自分のことを知識の冒険家と呼んでます！」

髙崎寿希也「テーマカラー青色の16歳、髙崎寿希也です！　ムードメーカーです！」

一同「ホントかなぁ～」

髙崎「いやいや、ムードメーカーじゃないですか！　ムードメーカーなんですって！」

野々田奏「はい！　続きまして黄色17歳の野々田奏です！　僕は元気担当で、自分自身のことは、歩くスピーカーと言ってます！　声が大きいのと眉毛がチャームポイントです」

横山統威「緑色16歳の横山統威です！　自分大好きな超絶ナルシストです！　カッコ良くてすみません！」

■祭nineは、BOYS AND MEN研究生の中から選ばれた7人だということだけど、それぞれこの世界に入ったきっかけを聞いてもいい？

横山「僕は小さい頃から芸能界に入りたくて目指してて、新聞紙を丸めてマイクを

Book Share ZIP
http://bszip.com

嗚呼、夢神輿

フレッシュな7人組がデビュー！　BOYS AND MENの弟分であるBOYS AND MEN研究生より選抜された祭nine.（まつりナイン）が、シングル「嗚呼、夢神輿」でメジャーの舞台へ。まずは初めましての自己紹介から、新曲についてを根掘り葉掘り聞きました。前のめりの彼らにご期待ください！

Text ⇒ 武市尚子　Photo ⇒ 森崎純子　Hair & Make-Up ⇒ 岩谷友子、松山麻由美、東なつみ

Book Share ZIP
http://bszip.com

祭 nine.

Book Share ZIP
http://bszip.com

例え無謀だと言われても、抱いた夢は叶えなくちゃ意味がない。武道館公演を実現し、BOYS AND MENの次なる大きな夢へ向けて、メンバーの想いはひとつ。それを叶える為に今日も全力で走り回る彼らだからこそ、応援したくなるのだろうし、きっと成せるに違いない。笑って、泣いて、汗かいて、泥臭く追いかける夢の先に、追風に帆を上げるようにさらなる飛躍が約束されているはずだ。

BOYS AND MEN

追風に帆を上げろ!

Book Share ZIP
http://bszip.com

BOYS AND MEN ⇒
ボーイズアンドメン。2010年に結成された東海エリア出身・在住のメンバーで構成されたエンターテイメント集団。'17年1月7日に日本武道館公演を開催した。8月5日に名古屋国際会議場センチュリーホールにて「ボイメン真夏のがむしゃらライブinNAGOOOOOYA～乗り込め!船出だ!アイアイサー!!!～」が行なわれる。

Book Share ZIP
http://bszip.com

巻末特集はP.216からスタート!

本田剛文
東海テレビ「スタイルプラス」月イチレギュラー決定。
若干身長が伸びていた。
勇翔
赤穂の天塩の CM。ドラマ『マジで航海してます。』
平松賢人
趣味で始めたカメラ。ついに写真展をやらせていただけることになりました。
土田拓海
自分の名前のついたラジオ番組ができた。
吉原雅斗
餃子好きって言っていたら食べる仕事をさせてもらえた。

Q4 他メンバーの中で上半期 MVP を決めるなら誰？

水野勝
田村くん　理由：全国ツアー 35 県!!　メンバーの中で最多の参加数!!　ツアーマスター!!! (笑)
田中俊介
田村　理由：ツアーでメンバー内最多の 35 箇所廻った男なので!
田村侑久
勇翔　理由：CM やドラマやらひっぱりダコだから
辻本達規
平松賢人　理由：他のメンバーも大きな活躍をしてて、すごいなと思うけど、賢人は全国ツアーや、リリースのイベントなど、たくさんのライブをしていたがひとつひとつ熱を最大限までもって、ボイメンイズム全力で体現していたから!
小林豊
勇翔　理由：赤穂の天塩の CM が最近の僕の目覚ましになってます（笑）
本田剛文
田村くん　理由：47 都道府県ツアーを支えたという面での貢献度がとても高いです。
勇翔
辻本　理由：スポ男（「究極の男は誰だ!?最強スポーツ男子頂上決戦」）で新記録を出したから
平松賢人
勇翔　理由：TVCM、ドラマ、映画。メンバーの中で目立ってはないですが、一番仕事をしていたような気がします。
土田拓海
辻本達規　理由：あの江頭（2：50）さんと叩き合いの死闘をしたから。
吉原雅斗
辻本くん　理由:“めちゃイケ”で彼はがんばった。

Q5 下半期の活動での公約をしてください！

水野勝
個人：さらにいろんな役を演じたい。とにかく貪欲に!!!
グループ：紅白歌合戦
田中俊介
個人：1 作品でも多く映画やドラマに出演できるように俳優業一生懸命がんばります!
グループ：紅白歌合戦に出ます!!
田村侑久
個人:プロダーツプレイヤーになる!!　バースデーライヴをまた Zepp でやる。
グループ：紅白出場!!
辻本達規
個人：スポーツで天下を取る!　誰にも負けない!
グループ：紅白に出場して 2017 年を最高の 1 年にする。
小林豊
個人：資格をもう1つくらい取りたい。
グループ：紅白に出場!!
本田剛文
個人：無病息災!
グループ：紅白歌合戦!
勇翔
個人：筋トレ、肉体改造
グループ：紅白歌合戦
平松賢人
個人：技術の向上!!　目に見えてわかるくらい成長したい。
グループ:日本のトレンドになること。話題になって、最後には紅白歌合戦に出場したい!
土田拓海
個人：パフォーマンス（歌）力をあげる。マラソン速くなる!!
グループ：紅白出場
吉原雅斗
個人：韓国語。日常会話まで!!
グループ：紅白歌合戦に出ること

Book Share ZIP
https://bszip.com

5Question 上半期成績表

5つの質問で、上半期を総まとめ！　コラムインタビューの元になったアンケートはこちらです。それぞれの抱えている想いが知れるかも。

Q1 上半期の活動を評価してください。☆でつけると？

水野勝

★★★★½

理由：武道館、全国ツアー、個人の仕事（演技）充実した上半期でした。しかし、現状に満足したくないので、まだまだという気持ちを込めて5ではなく4.5!!

田中俊介

★★★☆☆

理由：反省点がたくさんあるので。でも、後悔はありません！　とことんやりきってはいます！

田村侑久

★☆☆☆☆

理由：メディアへチャンスはたくさんいただけましたが、原点であるチラシ配りが最近できていないので……。

辻本達規

★★★★☆

理由：自分の中では初めてうまくいった事が多くあったから。ただ、その反面、もっとやらなきゃというのもあって、-1.2になった。

小林豊

★★★☆☆

理由：とある目標を……まだ達成できてないので。

本田剛文

★★★☆☆

理由：11月になったら本厄から抜け出すので、伸び代を残しておきました。

勇翔

★★★★☆

理由：ツアー以前と比べて自分の中でも心境の変化があった。

平松賢人

★★★★½☆

理由：武道館をやり、全国47都道府県ツアーも廻ったしやりたかった事、目標をいくつか達成できたので。3.5☆。伸びしろを考えてのこれにしました!

土田拓海

★★★☆☆

理由：ラジオでやっと見学メンバーを卒業させていただいたから。

吉原雅斗

★★★★★

理由：グループとして目標だった武道館と全国ツアーを無事成功させることができたから。

Q2 印象に残ったグループでの出来事は？

水野勝

日本武道館ライヴ。なかなか立てる場所じゃないし、メンバー・スタッフと力を合わせてあのステージに立てて本当に感謝です。

田中俊介

武道館LIVE、47都道府県ツアー、ホノルル駅伝

田村侑久

みんなでホノルル駅伝を走れたこと

辻本達規

みんなで“めちゃイケ”に出演したこと!

小林豊

全国ツアー。楽しかったです!

本田剛文

日本武道館ライヴ、ホノルル駅伝

勇翔

武道館ライヴ、47都道府県ツアー

平松賢人

日本武道館単独Live 2017.1.7

土田拓海

武道館ライヴ、47都道府県ツアー、ホノルル駅伝

吉原雅斗

武道館ライヴ

Q3 印象に残った個人での出来事は？

水野勝

役者の仕事を沢山やらせていただいて、髪型がいろいろ変わり、それぞれの人格になれたこと。これからも精進していきたい

田中俊介

W主演映画『ダブルミンツ』公開

田村侑久

ニコニコ超会議でいろんな芸能人の方とトークができたこと

辻本達規

スポーツで全国の猛者と戦ったこと!

小林豊

資格とった事!（フィンガーフード・コーディネーター）

Book Share ZIP
http://bszip.com

人だな、あと1票」
一同「誰！？」
辻本「賢人（平松）」
一同「なんで！？」
辻本「おいっ！（笑）　なんで？って！　オマエら、賢人に謝れ！（笑）」
平松「いや、俺も“え〜っ！？”って言っちゃったし（笑）。なんで！？」
辻本「みんなも全員そうだったんだけど、賢人はとくに、どんなに狭いライヴハウスでのライヴでも、本当に全力以上の全力で向き合ってたんだよね。そこに感動しちゃったというか。コイツ、すごいなって思ったんですよね。そういう小さな積み重ねがすごいなって。僕はそういうとこに目を付けてましたね」
本田「たしかに！　結構目立たないとこで頑張ってるんですよ（笑）」
平松「かなぁ（笑）」
辻本「頑張っとったて！（怒）」
一同「あははは。怒られた（笑）！」

■BOYS AND MENにとって成長の上半期だったと。では、下半期の目標はなんだろう?

一同「紅白歌合戦出場！」
水野「これは10人全員同じですね。下半期は、そこを目指して10人で力を合わせて頑張っていきたいと思ってますので、是非、応援よろしくお願いします！」

Book Share ZIP
http://bszip.com

Column 上半期MVPは誰?

疾風怒濤の上半期、大きなトピックスである初の日本武道館公演の振り返りとアンケートを元にしたメンバー内MVPを決定しました!

■武道館をやってみて、感じ方が変化したり、成長を感じることはある?

辻本「武道館をやった後に、47都道府県ツアーをやって、大きな場所を目指すのももちろん大事なことだし、これからも目標としては持っていたいけど、こうやってコツコツとファンのみなさんと近い距離で頑張って笑顔を広げていけることが、自分たちの目指すところだなって、改めて感じる様になりましたね。そこが自分たちの原点だなって思えたというか」

水野「うん。両方目指したいよね」

■さっきも話が出たけど、本当の意味でのエンタテインメントだなって思ったよ。楽しかった!っていう印象がすごく残ったからね。

小林「【一休さんゲーム】で?(笑)」

■あ、そうそう! ライヴ中に全員でゲーム始めたときには、本当に笑ったし、オープニングいきなり寸劇から始まったときには、意外過ぎて驚いたし! でも、それがすごく楽しくて。生でバラエティ番組を見ている様な感覚だったというか。

田村「あ、それ嬉しいなぁ〜」

辻本「最初の武道館だし、めっちゃカッコ付けて、舞台の下から迫り上るとか、そういうオープニングなんだろな!って僕らも思ってましたからね!(笑) でも、社長の案で寸劇から始まる様にしようって言われて、勝くんと俺と2人で刑事役で最初にステージに出たんだけど、そのときのファンの人たちのキョトンとした目に、“いや、だよね。そうなるよね!”って思いましたから(笑)」

本田「本当に、最初にセットリストを見たとき、大丈夫かな?って思ったけど、やってみたら、大丈夫だったんですよね(笑)。社長はすごくボイメンのことわかってるんだなって思いました」

平松「でも、いままでも、あんなにヌメッとステージに登場したことなかったんで、本当にどうなるか?と思ったんですよ、最初」

辻本「俺らもホント、最初ステージ出たとき怖かったもんな。みんなが“何の曲から始まるんだろ!”って思って期待してくれてる中に、ヌメッと出てくのは結構ツラかったから(笑)」

水野「うんそうだね、どうなるんだろう? 大丈夫かな?って思ったよね」

田中「ファンのみんなの前のめり感が、舞台袖まで伝わってきてたから、ある意味すごくいいプレッシャーだった。でも、そのみんなの“一緒に武道館を楽しむんだ!”っていう気持ちがすごく伝わってきてたから、本当に心強かったんですよ。みんなで夢を追えてるんだなって思えたし、このファミリー感をずっと大事にしたいなって改めて感じることができたんです」

■そうだね。そして、今、撮影中に、メンバー内で【上半期MVP】を決めてもらうアンケートを取ってみたんだけど、その結果をみんなに当ててもらおうと思います。1位、誰だったと思う?

一同「タムタムじゃない?」

■おっ、当たってる! あと、もう1人。同票な人がいる。

吉原「辻本くんじゃないですか?」

■当り! 辻本くんはスポーツやバラエティで活躍してたもんね。田村くんは……?

土田「タムタムは47都道府県ツアー最多でしたからね!」

田村「はい! いろいろな場所でボイメンを愛してくれる人たちに会って来ました! 本当に地方によってライヴのノリもまったく違うし、盛り上がる場所も違うし、すごいなって。いかに自分がちっちゃい世界で生きてたのか思い知りましたし、本当に視野が広がりました。土地土地の風土を1つ1つ感じることができて、食べ物も考え方も本当にまったく違うんだなって感じたんです。それで自分って、ちっちぇなって思ったんです。まだまだいけるな!って思えたし。すごく素敵な県民性を感じたところもあったので、そういうところを名古屋に持ち込めたら、もっともっと名古屋が素敵な街になるんじゃないかなって思いました。いろいろと輸入していけたらいいなと」

■いいことだね。あとね、2位が勇翔くん。

本田「たしかに、勇翔は上半期、躍進したなって感じましたからね!」

吉原「そう。本当に勇翔くんは、ツアーを経て、喋れるようになって帰って来たんですよ! それがすごい成長で! 勇翔くんがMCをする回もあって、同じ誠メンバーとして、それがすごく嬉しかったんです!」

小林「あ、ちゃむちゃむ(※自分のこと。小林のあだ名は“ゆーちゃむ”です!)も勇翔に入れたけど、まだアンケート提出してないから、1票増えるよ、勇翔!」

勇翔「ありがとうございます!」

■ん? ということは、田村、辻本、勇翔が3票ずつで同票1位だね!

吉原「ということは、あと1票は誰?」

辻本「あ、俺もアンケートまだ出してないわ!(笑) ってことは、俺が書いた

Book Share ZIP
http://bszip.com

BookShare ZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

本田剛文

勇翔

平松賢人

土田拓海

Book Share Zip
http://bszip.com

張せず、構えずできたのも、帰れる場所である名古屋という場所がある、名古屋のみんなが付いててくれる！っていう想いがあったから、思いっきりできたと思うんです。本当に心強いというか、だからこそ思いきり向き合えるし、アグレッシブに動けるんだなって、最近本当に改めて地元名古屋に感謝しています」

■自分たちを受けとめてくれる場所というかね。

水野「そうなんです。最初は、名古屋の人たちに知ってもらおう！　名古屋で有名になってやろう！って思って頑張ってきたんですけど、今は、帰れる場所、大切な場所、自分たちが頑張れる原点になりましたね。武道館公演のときに、名古屋のスタッフのみなさんとか、ずっとボイメンを支えて来てくれた名古屋のファンの人たちがたくさん駆けつけてくれたのも、すごく心強かったし、自信が持てたんです。“僕たちには帰れる場所があるんだ！　だから思いっきりやっていいんだ！”と思わせてくれました。そういう意味では、すごく意識が変わったと思います」

小林「やっぱり活動拠点を名古屋にしているからこそ、みんながボイメンを通して名古屋を知ってくれたり、興味を持ってくれたりしてくれているなって感じることがすごく多くて。“名古屋に行ってみたくなったよ〜”って言われることがすごく増えたんです。それが本当に嬉しいんです！」

水野「本当にそうなんですよ。自分たちがきっかけとなって、名古屋に行ってみたい！って思ってもらえることが、本当に1番嬉しくて。名古屋を誇りに思えるようになったことが、自分たち的にも本当に嬉しいんですよね。それもやっぱり、名古屋という地元があったからこそだと思うし、全国進出させてもらったからこその意識の変化だと思うので、これからも名古屋のために頑張っていけたらなと思いますね」

土田「前以上に地元を愛せてるなって、本当に最近思います。ずっと名古屋にいたら気付けなかった魅力にも気付けてる気がするし。もっともっとボイメンを通して名古屋を知ってもらいたいなって思います！」 B

New Single
帆を上げろ
2017.08.02　Release
初回限定盤A CD+DVD ¥1,667(tax out)
初回限定盤B CD+DVD ¥1,667(tax out)
初回限定盤 CD ¥1,000(tax out)
通常盤 CD ¥1,250(tax out)

初回盤A

初回盤B

通常盤

初回限定盤A
[CD]
01. 帆を上げろ!
02. がむしゃらロケンロー
03. NAGOOOOOYA

[DVD]
「帆を上げろ!」-Music Video-
「帆を上げろ!」-Making of Music Video-

初回限定盤B
[CD]
01. 帆を上げろ!
02. がむしゃらロケンロー
03. NAGOOOOOYA

[DVD]
47都道府県ツアー　ロードムービー　long ver.
「帆を上げろ!」-Making of Jacket Photos-

初回限定盤
[CD]
01. 帆を上げろ!
02. がむしゃらロケンロー

通常盤
[CD]
01. 帆を上げろ!
02. がむしゃらロケンロー
03. NAGOOOOOYA
04. 帆を上げろ!(カラオケVer.)
05. がむしゃらロケンロー(カラオケVer.)
06. NAGOOOOOYA(カラオケVer.)

BOYS AND MEN Single Interview

Book Share ZIP
http://bszip.com

誠

えることになったときは、すごく嬉しかったんですよ！　僕、番組でも歌ったことがあるくらい好きな曲だったんで、本当に嬉しかったです！」

平松「親が聴いてたのを、なんとなく聴いてたのが脳裏に残っていたりするのかな？って思いますね」

■なるほどね。でも、そういう意味では、BOYS AND MEN が目指す、幅広い層を巻込んだエンタテインメントにはピッタリなのかもしれないよね。ボイメンって、“若者達だけ”が楽しむグループではないというか。

辻本「そうなんです。最初にミュージカルを始めた頃、つまり、ボイメンをスタートさせた頃から、お客さんがすごく幅広くて、お母さんと娘とか、おばあちゃんと孫と一緒に観に来てくれる人たちが多かったんです。それが僕たちすごく嬉しかったんです」

本田「あんまり“ナウい”グループになりたくないんです。若者だけの中で流行ってるグループというより、お茶の間でみんなに愛されるグループになりたいんです」

■そうだね。それこそがエンタテインメントだと思うからね。「NAGOOOOOYA」では、名古屋の魅力をいろいろと歌っているよね。“デラいい女（すごく綺麗な人）”つまり、“でらべっぴん（すごく綺麗な人）”が多いって歌っているけど、名古屋って、三大ブスって言われてるでしょ?

一同「うわぁ〜〜！　今、名古屋を完全に敵に回しましたよ！」

■いやいやいや（笑）、私も名古屋出身なんで、そこをボイメンに否定してもらえたらなと思った訳で。味方だよ、名古屋の味方!

田村「なるほどね！　それなら納得です！　本当に名古屋は可愛い人多いんですよ！」

土田「本当にそうですよ！　名古屋の子は気だてもいいし、愛嬌もあるし、本当に綺麗な子が多いんですよ！　それに、オシャレな人が多いんです！」

平松「そうそう。オシャレな子多いよね！　最近はもう、栄とか名駅とかには海外のブランドもいっぱいできてますからね！」

辻本「いや、そこ、最近じゃねぇだろ！（笑）」

田村「メイクも本当に上手だし、美意識高いなって思うんですよね、名古屋の子って」

小林「そう、“名古屋巻き”っていう言葉があるように、文化として根付かせるくらい、芯のある強い女性が多いっていう地域性もあると思います。誰がそんな“三大ブス”なんて言い出したのか知らないですけど、そこは本当に違うぞ！って声を大にして言いたいですね！　本当に可愛い子多いですよ、名古屋」

■素敵!　ありがとう!　名古屋人が証明してくれたから、汚名返上だな。ところで、ボイメンは、最近全国放送のテレビにも多く出演していたり、47 都道府県ツアーをして、全国規模で知ってもらえるグループになった訳だけど。名古屋という街を飛び出して大きな世界を見たからこそ、感じる名古屋の良さというのはあったりする?

田村「ありますよ、すごくあります！　俺ね、久しぶりに名古屋に帰ってきたときに、昔以上にすごく名古屋を愛せたんです。愛しいと思えたというか。道の広さも、人も、街の広さも、本当に好きだなって思ったんです。ちょうどいいなって。東京はすごいところだなと思うんですけど、本当に人が多くて、いろんな場所が混んでいたりして大変だったりするけど、名古屋ってちょうどいいんですよね、何もかもが。過ごしやすいなと思ったというか。あと、料理が改めて好きだなと、名古屋飯の魅力を改めて感じましたね。久々に名古屋で飯食ったとき、“あ〜。やっぱ美味い！”って思いましたもん」

■いい話だね。やっぱり古里ってそういうものだったりするよね。

水野「本当にそうですよね。なんかあったかいというか。精神面で言うなら、『めちゃ×2イケてるッ！』に全員で出させてもらったときに、みんなで全国放送のバラエティ番組に出るのは初めてだったので、“とにかくめちゃめちゃやろうな！”って誓って本番に挑んだんです。後先考えず、とにかくボイメンらしく、緊

小林 豊

Book Share ZIP
http://bszip.com

水野 勝

田中俊介

田村侑久

辻本達規

Book Share ZIP
http://bszip.com

というか、曲調にもピッタリハマるんです！」
田中「おもちゃ箱をひっくり返したみたいな感じの曲だなって思いましたね。聴けば聴くほどハマるというか。トレーニング中に聴くとテンション上がるし、すごく気に入ってますね」
勇翔「難しいんだけど、キャッチーなんで、1回覚えちゃえば、一緒に歌ってもらえると思うんで、一緒に歌ってほしいなって思いますね。僕、最近毎朝この曲を目覚ましにして起きてるんですよ！」
水野「制作時間的にも今回が一番長くて、本当に丁寧に作っていったんです。カモメの鳴き声とかもそうだし、いろんな方々が、とにかくいろんなところに細かくこだわって大切に作り上げて下さった曲でもあります。みんなが言うように、ピッチの面とかすごく難しかったですしね、やっぱり。僕は台詞があったので、そこを何パターンも取り直したりしました。難しさはあったんですけど、それ故に達成感のある一曲になりましたね」

■なるほど。“やるせない王子”、土田くんは?

土田拓海「そこ違いますから！　やるせなくはないです！　“キマラナイ王子”です！　お願いしますよ〜（笑）。僕的には、この曲を聴いたときに、爽やかだなってまず思ったんですけど、聴いていくうちに、爽やかだけじゃなく、すごくエネルギッシュだなって感じましたね。なので、朝とか、今から出かけるぞ！っていうときに聴いてもらえたら嬉しいです！」

■ミュージックビデオは?

田村「ミュージックビデオは、今回すごくでっかいセットで、ミュージカル風に撮影しているので、是非、楽しんでいただけたらと思いますね！　シチュエーションが結構変わるので、観てて飽きないんで、何回も観て楽しんでほしいです」
辻本「今回、振り付けをラッキィ池田さんにやっていただいてるんで、すごくキャッチーだし、一緒に踊りたくなるような振りなので、ちいちゃい子供たちにも真似してほしいし、お父さんお母さん、おじいちゃんおばあちゃんにも楽しんでもらえたら嬉しいなと思いますね。覚えやすい振り付けでもあるので、本当に一緒に躍ってほしいです！」

■ダンスはもう任せろ!って感じ?

辻本「最初の頃に比べたら、だいぶ覚えるのも早くなってきたかな？って思いますけど、いまだに怒られながらやってますよ（笑）。まぁ、中でも一番覚えが遅いのは僕なんですけど（笑）。体は覚えてるんですけど、頭がついてこないっていう（笑）。脳の伝達が追いついてないんで、体が覚えてても思う様に動かないっていう（笑）。でも、頑張って踊ってます！」
田村「ボイメンでもできたんで、絶対できるんで、一緒に是非踊ってほしいですね」

■「がむしゃらロケンロー」は、男臭いロックンロールになってるね。

田中「そうですね、ボイメン魂を感じる1曲になってると思います」
本田「この曲は、少し前からライヴで披露してた曲なんですけど、いつものボイメンらしい熱さのある曲なので、初披露したときから、お客さんもすんなり入ってくれてましたね」
辻本「誰もロックンロールをルーツとして通ってはないんですけど、自然とノレちゃう不思議な力を持ってますよね」
吉原「男は誰もがロッカーなんでね、みんなロックンロール魂持ってるんですよ」
辻本「嘘付け！（笑）　オマエがロッカーだったところを見た事は一度もないて！」

“何ごとにも挑戦する”というスピリットが活きてる曲

吉原「まぁ、気持ちの問題です（笑）」

■気持ち、大事だよね（笑）。ところで、3曲目の「NAGOOOOOYA」は、沢田研二さんの「TOKIO」のリメイクカバーだけど、そういうものを歌うというのは、ボイメンにとって、どういう狙いがあるの?　前も西城秀樹さんの「YOUNG MAN（Y.M.C.A.）」のリメイクカバー、「ヤングマン〜B.M.C.A.〜」を歌っていたでしょ?

田中「そうですね。“ヤングマン〜B.M.C.A.〜”を歌わせてもらったときに、お父さん世代、お母さん世代、おじいちゃん、おばあちゃん世代の人たちが、一緒になって歌ってくれてるのを目の当たりにして、“わっ！　これが名曲の力だな！”って思ったんです。それを、ボイメンがボイメンらしく魅せていくという素晴しさを感じました。なので、今回も、“NAGOOOOOYA”を歌っていくことで、より一層ボイメンが、みんなに知ってもらえて、多くの世代の人たちと一緒に盛り上げていけたらなと思っているんです。みんなでボイメンを楽しんでもらえたらと思うんです！」
本田「本当にこういうカバーをさせてもらうと、幅広い層の人たちに知ってもらえるきっかけにもなるんですよ」

■選曲は自分たちでするの?

辻本「スタッフさんが、“次はこれがいいんじゃないか?”って案をくれるんです。やっぱりそういう人の意見もすごく大事で。大人の人たちが今聴いて、懐かしいなとか、やっぱりいい曲だなって思ってくれてひっかかってくれたら嬉しいなと思っています」
本田「僕たちが生まれる前の曲だったりするので、僕たち自身も歌ってて楽しいんですよ！　すごく新鮮だし」
水野「生まれる前の曲だけど、やっぱり有名な曲だから、楽曲自体は不思議と知ってるんですよね、僕たちも」

■なるほど、知らず知らずのうちに耳にしているんだね。

小林「そうなんですよね。なんか、すごくメロが印象深く残ってるというか。この時代の歌謡曲って偉大だなって思います。だから、リアルタイムに聴いてきた訳ではないんですけど、不思議と懐かしいんですよ」
辻本「色褪せないな〜って思いますね。本当にそれはすごい力だなって思います」

■みんなにとっては、懐かしい曲ではないのに、懐かしさを感じるって、すごいことだよね。邦楽ならではの旋律なんだろうね。

本田「不思議ですよね。でも、個人的には、カラオケで“TOKIO”を歌ってたくらい好きな曲だったんで、ボイメンで歌

Book Share ZIP
http://bszip.com

Single Interview

1月の日本武道館公演後、初のシングル「帆を上げろ!」についてのほか、名古屋から全国へ急速に拡大しているボイメンの活動で、改めて感じたことなど話してもらいました。

■8月2日リリースのニューシングル「帆を上げろ!」は、ヒャダインさん作曲、いしわたり淳治さん作詞のゴールデンコンビによる楽曲だよね。

田村侑久(ゆきひさ)「そうなんですよ！　すごく豪華なタッグでの新曲なんです！　ヒャダインさんといしわたりさんが、BOYS AND MENのために書き下ろしてくれたんです!」

田中俊介「まさに、夢のコラボですよね！　新しいボイメン色でもあると思うし、気合いを込めて歌っていきたいと思える1曲になりましたね」

小林 豊「“帆を上げろ!”は、MBS／TBSドラマ『マジで航海してます。』の主題歌でもあるんですよ!」

勇翔「僕はこのドラマに、鳴海新太役で出演させてもらっているんです！『マジで航海してます。』は、航海士を目指す学校がありまして、その実習で、1ヵ月間海の上で生活をするというのが、メインとなっている物語なんです。主人公が坂本真鈴ちゃん（飯豊まりえ）、石川燕ちゃん（武田玲奈）という女の子2人なんですが、その主人公と同じ班に男子が4人いて、その中でそれぞれがどうやって成長していくか？　という青春ドラマになってます!」

■なるほど、それで今回衣装がちょっと航海士の制服っぽいアレンジなんだね。航海って、よく人生に例えられると思うけど、この楽曲も“人生”を感じる前向き曲だよね。

水野 勝(まさる)「前作の“YAMATO☆Dancing”と同じく、BOYS AND MENの“何ごとにも挑戦する”というスピリットがしっかりと活きてる曲だなと思います。今回はさらに航海にもかけてあるんですよね。何かに挑戦するときって、人間は保険として戻って来る場所を作っておきたくなるものだと思うんですけど、本当に新たな新大陸を目指すためには、それを投げ打っていく覚悟がないと叶えられないよっていうメッセージが込められているんです。なので、ファンのみなさんと一緒にこの歌を歌って、その気持ちを共有できたらいいなと思ってますね」

小林「僕も、すごくボイメンっぽい曲だなって思いましたね。ライヴでやったら絶対に盛り上がるなって思ったんで、とにかく早く歌いたい！って思った曲です。昔、社長から、“グループ活動っていうのは船と一緒で、みんなでやっていくもんだ”って、言われた事があったんで、この曲は本当にボイメンのことを歌った曲だなって思いました」

本田剛文(たかふみ)「歌詞がすごく詰め込まれているんですけど、メッセージ性をすごく強く感じる1曲だなって思いますね。僕らが信じてここまでやってきた道のりも詰め込まれていたりするので、楽しいだけの曲じゃなく、すごく深いメッセージを感じながら歌えてます!」

田村「曲も、最初に聴いたときから、爽快感たっぷりな、いい曲だなって思いましたね」

辻本達規(たつのり)「BOYS AND MENの曲の中では、1番歌詞が詰め込まれてるんじゃないかな。一聴して、ヒャダインさんっぽいなって思いましたからね!」

■独特な個性を感じるよね。でも、本当に歌詞が詰め込まれているから、歌うのが難しそうだなって思ったんだけど、どう?

辻本「そうなんですよ！　隙間無く歌が詰め込んであるので、みんなレコーディング前にすっごい練習してバッチリ仕上げてきてましたからね！（笑）」

■ Aメロ Bメロサビ、っていうオーソドックスな流れではない難解曲だよね。

辻本「そう！　ちょっとBメロが出っ張ってるかな？っていう節もあってね（笑）」

吉原雅斗「本当にこれ、同じ曲！？って思うくらい1曲の中で転調があったり変化がある曲だし、効果音もすごく多いですからね。ボイメンの曲の中で、一番音数が多いらしいんですよ！　本当にいろんなトリックがあるというか。ピッチも上下するので、僕的にはそこがすごく難しかったですね。最初全然歌えへんくて、レコーディング中にかなり凹みましたからね。でも、ちゃんと（いしわたりさんが）ボイメンのことを知ってくださって、“もう一歩先に行こうぜ！　ボイメン!”っていう強いメッセージが込められてるんですよね。歌詞の中にコロンブスが出てくるんですが、コロンブスにジパングに連れてってもらえる、素敵ソングになったんじゃないかな！って思います！　コロンブスが見つけた新大陸がジパングですからね!」

本田「いやいや、日本を見つけた人はコロンブスじゃなくてマルコ・ポーロやて！（ヨーロッパに最初に紹介したと言われている）」

吉原「いい加減なこと言いましたね。すみません（笑）。ま、でも、そんな感じです！　ボイメンとファンのみなさんとスタッフさんをファミリーと考えて、そういう新しい境地に行ける1曲だなと思いました」

平松賢人「この歌ってすごく不思議なんですけど、“歌を歌おう”とすると歌えないんですよ！　テンションで乗り切らないと、上手く歌えないんです！　テンションで歌うと、リズムに上手く乗れる

Book Share ZIP
http://bszip.com

BOYS AND MEN

追風に帆を上げろ!

全国区のバラエティやドラマ出演、映画主演などグループだけでなく個人でも活躍の場を広げ、まさに追い風を受けているBOYS AND MEN。そんな“ボイメン”が、初のバックカバー・巻末特集に登場! シングル「帆を上げろ!」についての楽曲インタビューのほか、コラムとアンケートで躍進した上半期を振り返ってもらった。

Text ⇒ 武市尚子　Photo ⇒ 大川晋児

Book Share ZIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

BOYS AND MEN

Book Share VIP
http://bszip.com

Book Share ZIP
http://bszip.com

バックステージ・パス9月号　2017年7月27日発行・発売（毎月27日発行・発売）第33巻第9号通巻472号　昭和61年8月2日第3種郵便物認可
発行人　草野夏矢
編集人　吉崎美也子
シンコーミュージック・エンタテイメント

宮野真守 初の表紙巻頭30P大特集！ 高橋 優、家入レオ、超特急 他

音楽、人間マガジン バックステージ・パス

BACKSTAGE B-PASS

2017 9

付録
ピンナップ
宮野真守

GRANRODEO
FLOWER FLOWER
高橋 優
家入レオ
大原櫻子
超特急
LiSA
Kalafina
天月-あまつき-
THE BEAT GARDEN
BugLug
フレデリック
B.A.P
SF9
祭nine.
and more

1万字超インタビューとたっぷりのグラビアで紐解く
ニュー・アルバム「THE LOVE」のすべて

表紙巻頭特集30P
宮野真守

バックカバー&巻末特集17P

今夏、巻き起こせボイメン旋風！
集合インタビュー＋アンケート＋ミニコラムで
新曲と上半期を総まとめ

BOYS AND MEN

追風に帆を上げろ！

Book Share ZIP
http://bszip.com